

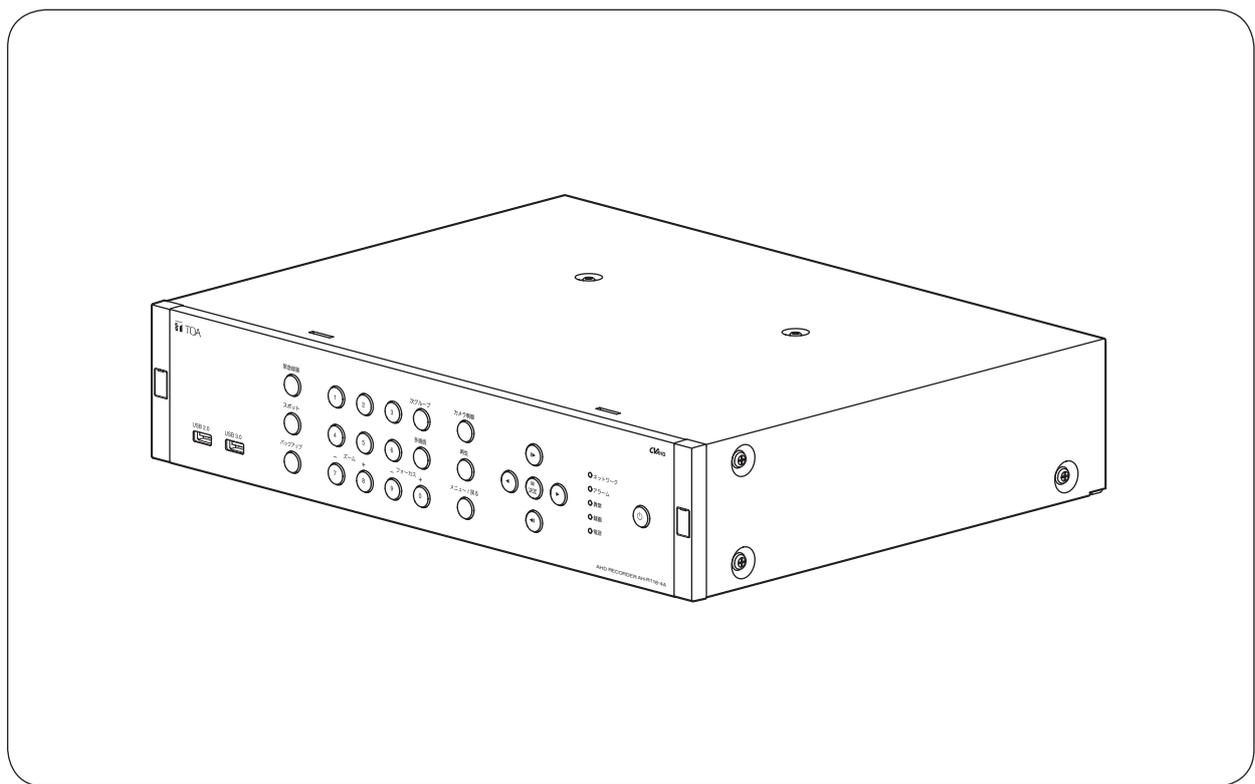


取扱説明書

CVAHD

AHD レコーダー 16 局 4 TB

AH-R116-4A



このたびは、TOA AHD レコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みにになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

目次

安全上のご注意	6
設置上のご注意	9
使用上のご注意	9
個人情報について	10
ネットワーク使用時のセキュリティ対策について	10
第1章 はじめに	
概要	1-2
特長	1-2
各部の名称とはたらき	1-4
前面	1-4
後面	1-6
運用までに行う作業の流れ	1-8
第2章 設置のしかた	
接続例	2-2
基本システム	2-2
コンビネーションカメラ制御システム	2-3
リモートコントローラーシステム	2-4
多地点遠隔監視システム	2-5
接続のしかた	2-6
使用できる線材	2-6
緊急録画入力端子の接続	2-6
センサー入力端子の接続	2-6
コントロール出力端子の接続	2-6
調時入出力端子の接続	2-7
UPS 入出力端子の接続	2-9
LAN 端子の接続	2-12
RS-485 端子の接続	2-12
USB2.0 端子、USB3.0 端子の接続	2-13
電源ケーブル用クランプの使いかた	2-14
ラックに取り付けるとき	2-15
第3章 基本操作	
起動と終了	3-2
本機の起動	3-2
本機の終了	3-5

ログインとログアウト	3-8
ログイン	3-8
ログアウト	3-9
マウスによる操作	3-10
画面表示と遷移	3-10
画面の概要	3-11
画面の遷移	3-12
第4章 設定のしかた	
設定メニュー構成	4-2
設定メニューの基本操作	4-5
設定メニュー画面を表示する	4-5
設定を変更する	4-6
設定メニュー画面を終了する	4-10
簡易設定	4-11
システム設定（簡易設定）	4-11
ネットワーク設定（簡易設定）	4-15
録画設定（簡易設定）	4-17
記録装置設定（簡易設定）	4-18
表示設定（簡易設定）	4-22
システム設定	4-23
情 報	4-23
日付・時間設定	4-27
ユーザー設定	4-31
グループ別操作権限一覧	4-37
デバイス設定	4-39
カメラ設定	4-39
音声設定	4-44
アラーム設定	4-46
RS485 設定	4-49
ディスプレイ設定	4-50
表示設定	4-50
モニタリング設定	4-54
録画設定	4-56
記録装置	4-56
録画設定	4-59
録画ツール	4-65
ネットワーク設定	4-67
アドレス設定	4-67
遠隔通知設定	4-74
映像配信	4-79

イベント設定	4-81
センサー設定	4-81
モーション設定	4-91
ビデオロス設定	4-95
システム設定	4-97

第5章 基本機能

ライブ	5-2
ライブ画面の表示	5-2
ライブ操作	5-6
スポット出力	5-14
ライブ音声	5-16
録画	5-17
録画する	5-17
録音する	5-20
録画の OSD 表示	5-20
再生	5-21
再生画面の表示	5-21
再生操作	5-25
検索	5-31
音声を再生する	5-36
録画データのバックアップ（コピー）	5-37
データ保存形式	5-37
バックアップ中の OSD 表示	5-37
バックアップ（コピー）する	5-38
再生中にバックアップする（簡易バックアップ）	5-44
バックアップのエラーメッセージ	5-46
バックアップしたデータを見る	5-47

第6章 その他の機能

コンビネーションカメラ制御	6-2
設定と接続	6-2
コンビネーションカメラの操作	6-2
AHD カメラ制御	6-8
AHD カメラの操作	6-8
リモートコントローラー制御	6-10
リモートコントローラーからの操作	6-10
イベント機能	6-12
イベントの種類	6-12
イベントの動作	6-12

アラーム動作	6-15
イベントによるアラーム	6-15
スケジュールによるアラーム	6-15
ログ情報	6-16
システムログ	6-16
イベントログ	6-22
異常動作	6-24
機器異常	6-24
ファン異常	6-24
ハードディスクエラー	6-25
S.M.A.R.T.	6-26
ハードディスクフル（残量警告）	6-27
ビデオロス	6-28
自動復旧動作について	6-29
停電復旧後の動作について	6-29
ハードディスク交換時の ミラーリングハードディスクのコピーについて	6-30
Remote Monitoring System（Web ブラウザー）	6-31
Remote Monitoring System に接続する	6-31
遠隔監視する（Live）	6-37
遠隔設定する	6-39
遠隔再生する（Playback）	6-42
第7章 補足・仕様	
ファイルサイズ一覧表	7-2
記録時間表	7-4
故障かな？と思ったら	7-8
工場出荷時設定一覧表	7-12
設定メニュー	7-12
操作メニュー	7-16
仕 様	7-17
付属品	7-17
別売品	7-17
商標および登録商標について	7-17
ライセンス情報	7-18
アフターサービスについて	7-19

安全上のご注意

- ご使用前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

表示について

ここでは、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

図記号について

行為を禁止する記号	行為を強制する記号	注意を促す記号
 分解禁止	 強制	 注意を促す記号
 禁止	 電源プラグを抜く	 指のケガに注意
 接触禁止	 アース線を接続せよ	



誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

水にぬらさない

本機に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。
火災・感電の原因となります。



禁止

指定外の電源電圧で使用しない

表示された電源電圧を超えた電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



禁止

電源コードや配線を傷つけない

電源コードや配線を傷つけたり、配線する際に本機や壁などに線材を挟み込まないようにしてください。
火災・感電の原因となります。



禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



禁止

電源のアースを接続する

アース線を接続しないと、漏電のとき、感電の原因となります。



アース線を接続せよ

LAN 端子に過電圧を加えない

LAN 端子に過電圧が加わるおそれがあるネットワーク機器を接続しないでください。
感電、火災の原因となります。



禁止



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

使用するとき

万一、異常が起きたら

次の場合、電源を切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 煙が出ている、変なにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- 落としたり、ケースを破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（心線の露出、断線など）



電源プラグ
を抜け

内部を開けない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、ケースを開けたり、改造したりすると、火災・感電の原因となります。

内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止

液体の入った容器や小さな金属物を上に置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁止

内部に異物を入れない

本機の通風口などから内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

火災・感電の原因となります。



禁止

雷が鳴ったらさわらない

雷が鳴り出したら、本機にはさわらないでください。感電の原因となります。



接触禁止



注意

誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。



禁止

電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。



禁止

移動させるときは電源プラグを抜く

差し込んだまま移動させるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグ
を抜け



注意

誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容
および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

通風口をふさがない

通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。また、通風口にほこりがたまらないよう定期的に掃除をしてください。



禁止

湿気やほこりの多い場所などに置かない

湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、油煙や湯気のあたるような場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。



禁止

使用するとき

ラックに取り付けるときの注意

次のことを必ずお守りください。

守らないと、火災・けがの原因となることがあります。

- ラックは安定したところに据え付け、アンカーボルトなどで転倒・移動防止の処置を行うこと。
- ラックに取り付けるねじは、付属していません。別売の金具に付属するねじをご使用ください。



強制

上に重いものを置かない

本機のバランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。



禁止

ファンの開口部に指を入れない

ファンの開口部に指を入れないでください。
けがの原因となることがあります。



指のケガに注意

定期的に内部の掃除をする

内部の掃除については、販売店にご相談ください。

内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災の原因となることがあります。



強制

電源プラグやコンセント部の掃除をする

電源プラグを差してあるコンセント部にほこりがたまると、火災の原因となることがあります。定期的にコンセント部の掃除をしてください。
また、電源プラグは根元まで差し込んでください。



強制

お手入れの際、長期間使用しない場合の注意

お手入れのときや長期間本機をご使用にならないときは、安全のため電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
守らないと、感電・火災の原因となることがあります。



電源プラグを抜く

この機器は子どもがいる可能性がある場所での使用には適していません。

設置上のご注意

- 本機を壁などに近づけて設置しないでください。内部の温度が上昇して、故障の原因となることがあります。（本機の周囲は、100 mm 以上のスペースを空けてください。）
- 本機の下に大量の熱を発生する機器を設置しないでください。内部の温度が上昇し、故障の原因となることがあります。
- エアコンの吹き出し口付近の設置などは、結露が発生しやすいので避けてください。結露が発生したときは十分に乾くまで電源を入れないでください。
- 本機には冷却用ファンが内蔵されていますのでモーター音がします。モーター音が共振しない場所に設置してください。
- 冷却用ファンの排気口は絶対にふさがらないでください。内部の温度が上昇して、故障の原因となることがあります。
- 強力な磁界や強い電波のある場所には設置しないでください。映像が乱れたり、故障の原因となることがあります。
- 本機は、電気用品安全法の解釈別表第 12 の規定に基づくクラス A 情報技術装置です。住宅環境で使用する場合は、電波障害を発生させるおそれがあります。その際は、本機の利用者は、適切な手段を講ずることが必要とされる場合があります。
- 本機を強い衝撃が加わるところに設置しないでください。本機は精密機器です。強い衝撃を与えると、故障の原因になります。輸送するとき、付属のカートンに梱包し、本機に衝撃を与えないように注意してください。
- 本機を振動のあるところに設置しないでください。本機は精密機器です。振動のある場所で使用すると、故障の原因になります。
- 本機を縦置きにしたり、傾けたりして設置しないでください。本機は水平位置で設置するよう設計されています。
- アース接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから切り離してから行ってください。
- 機器は電源コンセントの近くに設置し、電源プラグ（遮断装置）へ容易に手が届くようにしてください。
- 本機は電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続できません。本機をインターネットに接続する場合は、必ずルーターなどを経由し接続してください。

使用上のご注意

- 付属の電源コードは、本機専用部品です。本機以外の機器には使用しないでください。
- 温度が 0 ~ 40°C、湿度が 80% 以下（ただし結露のないこと）の場所で使用してください。
- 本機の移動は電源を切った後、30 秒以上経過してから行ってください。
- 寒いところから暖かいところへの移動などは、結露が発生しやすいので避けてください。結露が発生したときは十分に乾くまで電源を入れないでください。また、寒い屋外から暖かい室内に持ち込んだ場合は、半日ほど放置してから使用してください。
- 通風口にほこりがたまる場合がありますので、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、定期的に通風口の掃除をしてください。通風口の掃除は年 1 回程度実施することをお勧めします。
- 本機を掃除するときには、必ず電源を切ってから、乾いた布でふいてください。またひどい汚れは中性洗剤をしみこませた布を使用してください。ベンジン、シンナー、アルコール類、化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。変形や故障の原因になります。

- ファン異常が発生した場合は、すぐに電源の供給を停止してください。ファン異常発生後、電源を入れたままにすると内部の温度が上昇し、機器が故障することがあります。
- ハードディスクについて
 - ・ 万一、ハードディスクが故障した場合、記録したデータの復旧はできません。
 - ・ 大切な記録の場合は、USB メモリーに保存してください。
 - ・ 著作権を有する映像や録画（録音）物などから記録したものは、個人として楽しむほかは、著作権上権利者に無断で使用できません。
- 消耗品について

次の部品は消耗品です。寿命時間を目安にして交換してください。ただし、この時間はあくまでも目安であり、部品の寿命時間を保証するものではありません。

 - ・ ハードディスク：約 3 年（使用環境温度 25°C）
 - ・ 冷却用ファン：約 3 年（使用環境温度 25°C）
- カメラを電源同期で使用しないでください。カメラを電源同期で使用すると、画面が揺れることがあります。また、電源周波数に大きな変動があると、ビデオロスになることがあります。
- 無停電電源装置（UPS）は、電源出力の波形が正弦波の機器を使用してください。矩形波の機器と接続した場合、本機または無停電電源装置（UPS）が故障することがあります。
- 本機のファームウェアは、リリース時点での環境において動作検証を行っております。リリース後に弊社の責によらず生じた問題についての責任はご容赦ください。
- 本機の故障もしくは不具合により発生した、付随的損害（営業損失などの補償）の責についてはご容赦ください。

個人情報について

本機または本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる映像情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。*
法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

* 個人情報保護委員会の「個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン（通則編）」における「個人情報に該当する事例」を参照してください。

● 機器を譲渡・廃棄される場合

本機とともに使用する記憶媒体に記録された情報は「個人情報」に該当する場合があります。廃棄、譲渡、修理などで本機または記憶媒体が第三者に渡る場合は、その取り扱いに十分注意し、お客様の責任において廃棄、譲渡、修理を行ってください。

ネットワーク使用時のセキュリティ対策について

- お客様ご自身の責任の下、ネットワークのセキュリティ対策を十分に行ってください。
不正アクセスなどのネットワークのセキュリティ上の問題により発生した被害・損害については、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本機への不正アクセスを防ぐために、機器の ID、およびパスワードは、初期設定から変更して運用してください。
設定方法など、詳細については本書を参照してください。
- パスワードの管理には十分ご注意ください。

第1章

はじめに

概要

ハードディスクドライブ（HDD）を内蔵したデジタルレコーダーです。
NTSC カメラと AHD カメラを接続でき、AHD カメラと組み合わせることで、高画質な映像監視および録画が可能です。映像入力 16 系統、音声入力 16 系統を装備し、最大総録画レート 480 ips で録画することができます。内蔵している 2 台のハードディスクに、同時に同じデータを録画するミラーリングが可能です。USB マウスによる操作やコンビネーションカメラの操作、ネットワーク経由による遠隔監視もできます。別売のラックマウント金具を使用すれば、EIA 規格に適合するラックに取り付けることができます。（2サイズ）

特長

● 2つの画像圧縮方式を採用

画像圧縮方式は H.264（MPEG-4 AVC）と H.265（HEVC）を採用し、長時間の記録が可能です。

● 2つの映像方式に対応

NTSC 信号方式のカメラ（NTSC カメラ）と AHD2.0 信号方式のカメラ（AHD カメラ）を接続することができます。2つの方式を自動で判別するため、混在して使用することも可能です。

● AHD コンビネーションカメラの同軸多重制御に対応

AHD 信号方式のコンビネーションカメラを同軸ケーブルで接続するだけで制御可能です。RS-485 制御線を接続することで、RS-485 制御も可能です。

● カメラの簡易操作

コンビネーションカメラの簡易操作、メニュー設定ができます。また、AHD カメラのメニュー設定ができます。

● 16 系統の録音を実現

16 系統の独立した録音が可能で、各カメラの映像と音声を記録することができます。

● 高画質のライブ映像表示

AHD カメラ（AHD2.0 信号）と組み合わせると、フル HD（1920 × 1080）のライブ映像を表示することができます。

● さまざまな解像度に対応

録画やネットワーク配信の画像サイズを Full HD（1920 × 1080）*1、HD（1280 × 720）*1、WD1（944 × 480）、D1（704 × 480）、WQVGA（480 × 272）から選択することができます。

*1 Full HD（1920 × 1080）、HD（1280 × 720）は、AHD カメラ（AHD2.0 信号）との組み合わせ

● ミラーリング機能に対応

2 台のハードディスクに同時に同じ映像と音声を録画することができます。
一方のハードディスクが破損した場合でも、もう一方のハードディスクで録画や再生ができます。

● カメラごとの高レート録画

30 ips（image per second）のフルフレーム録画が可能です。

● 録画データのイベント検索

センサー入力や映像に動きを検知した時刻を検索でき、その時刻から再生できます。

● バックアップ機能

USB メモリーへ録画データをバックアップすることができます。

● マウスによる操作

市販の USB マウスを接続し、設定や操作などを簡単に行うことができます。

● ネットワーク経由の操作

ネットワークを経由して、付属のネットワークソフトウェア DRNET（以下「DRNET」）で遠隔監視、検索、再生、バックアップ、本機の設定ができます。

Web ブラウザーまたはスマートフォンアプリケーション DRNET Mobile *²（以下「DRNET Mobile」）で操作することもできます。

*² スマートフォンアプリケーション DRNET Mobile は、App Store または Google Play ストアから入手できます。

● 多彩なモニター出力

モニター出力は HDMI 出力とアナログ RGB 出力を装備しています。また、スポット出力も装備しています。HDMI 出力の解像度は、4K（3840 × 2160 30p）に対応しています。

● セキュリティ機能

ユーザーのログイン・ログアウトの機能があります。ユーザーごとに操作権限を細かく制限できます。

● メール送信機能

イベントが発生したときや機器異常が発生したときに、あらかじめ設定したメールアドレスにメールを送信することができます。

● 多彩なコントロール出力機能

イベントの発生時や指定時刻にコントロール出力を出力することができます。

● 調時機能

ネットワーク上の NTP サーバーや接点端子を利用して、自動的に時刻を調整することができます。

また、本機を NTP サーバーとして動作させることもできます。

● 無停電電源装置（UPS）との連動

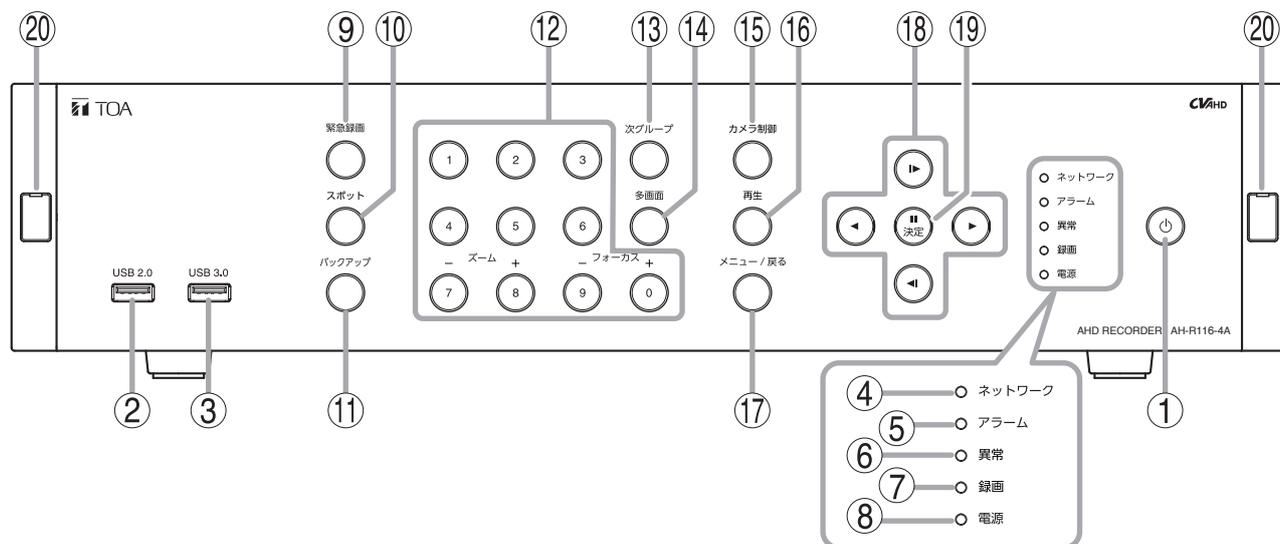
UPS と組み合わせることで停電前後の録画データの消失を防止できます。

● Wi-Fi 子機対応

Wi-Fi 子機を接続することで、Wi-Fi のアクセスポイントと接続できます。

各部の名称とはたらき

【前面】



① 電源キー ㊤

スタンバイモードのときに押すと本機は起動します (P. 3-4 「スタンバイモードから起動する」)。本機の動作中に押すと、スタンバイモードになります (P. 3-5 「電源キー ㊤ で本機を終了する」)。

② USB2.0 端子

市販の USB マウス、USB メモリー、または Wi-Fi 子機を接続します。(P. 2-13 「USB2.0 端子、USB3.0 端子の接続」)

③ USB3.0 端子

市販の USB マウス、USB メモリー、または Wi-Fi 子機を接続します。(P. 2-13 「USB2.0 端子、USB3.0 端子の接続」)

④ ネットワーク表示灯 (緑)

Wi-Fi 子機を接続しているとき、Wi-Fi アクセス中は点灯します。
有線 LAN で接続しているとき、有線 LAN アクセス中は点滅します。

⑤ アラーム表示灯 (赤)

アラームが発生したときは点灯します。

⑥ 異常表示灯 (赤)

ハードディスク異常やファン異常が発生したときは点灯します。

⑦ 録画表示灯 (赤)

録画中に点灯します。

⑧ 電源表示灯 (緑)

本機の電源を入れると「システム起動中...」のメッセージが表示されている間は 1 秒ごとに点滅します。システム起動後は点灯します。スタンバイモード中は 5 秒間隔で点灯します。電源が切れているときは消灯します。

⑨ 緊急録画キー

緊急録画を開始します。(P. 5-18「緊急録画」)

⑩ スポットキー

スポット表示選択メニューを表示します。スポット設定でスポット出力映像を「メイン+ライブ」に設定しているときは、キーを 3 秒以上押すと、スポット出力映像が HDMI 出力やアナログ RGB 出力と同じ映像(メイン)に変更されます。(P. 5-14 「スポット出力の表示を切り換える」)

⑪ バックアップキー

バックアップ設定画面を表示します (P. 5-38 「バックアップ (コピー) する」)。1 倍速での再生中に押すと、簡易バックアップ設定画面を表示します (P. 5-44 「再生中にバックアップする (簡易バックアップ)」)。

⑫ カメラ選択キー

ライブ画面または再生画面で選択したカメラ選択キー (0 ~ 9) と同じチャンネルを 1 画面で表示します。コンビネーションカメラ制御画面のときは、フォーカスとズームのマニュアル操作ができます (P. 6-3 「コンビネーションカメラを操作する」)。

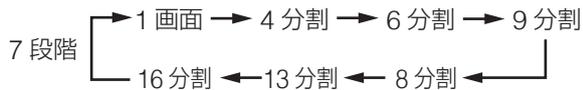
また、設定メニュー画面のときは、キーを押すと直接数値（0～9）を入力できます（☞ P. 4-8「数値を直接入力する」）。

⑬ 次グループキー

1 画面表示中はカメラチャンネルが次のチャンネルに切り換わります。分割画面表示中は同じ分割画面の次の画面（グループ）に切り換わります。

⑭ 多画面キー

画面表示が切り換わります。押すごとに画面表示が段階的に変化します。



キーを3秒以上押すと、HDMI出力とアナログRGB出力に出力する映像の解像度が変更されます。通常は、設定メニューで解像度を設定してください。（☞ P. 4-52「モニター出力の解像度を決める」）

⑮ カメラ制御キー

ライブ画面のとき、制御するコンビネーションカメラまたはAHDカメラが1画面で表示しているときは、カメラ制御画面が表示されます。分割画面で表示しているときは、制御するカメラの選択画面が表示されます。（☞ P. 6-2「コンビネーションカメラの操作」、☞ P. 6-8「AHDカメラの操作」）

⑯ 再生キー

ライブ画面のときは、本機のハードディスクに録画された最新の再生画面に切り換わります。再生画面のときは、ライブ画面に戻ります。

⑰ メニュー／戻るキー

表示画面により以下のように動作が異なります。また、キーを3秒以上押すとログアウトします。（☞ P. 3-9「ログアウト」）

[ライブ画面]

ライブ操作メニューを表示します。

[再生画面]

再生操作メニューを表示します。

[操作メニュー画面]

操作メニュー画面の階層に戻る、または、終了します。

[設定メニュー画面]

設定メニュー画面の階層に戻ります。

⑱ 上下左右キー(再生操作キー)

表示画面により以下のように動作が異なります。

[ライブ画面]

使用しません。

[再生画面]

再生操作(再生／逆再生／コマ送り／コマ戻し／イベント飛ばし)を行います。（☞ P. 5-26「再生操作を行う」）

[操作メニュー画面]

選択している項目(オレンジ色)を移動させます。

[設定メニュー画面]

選択している項目(オレンジ色)を移動する、選択している数値を増減させます。

⑲ 決定キー(一時停止キー)

表示画面により以下のように動作が異なります。

[ライブ画面]

使用しません。

[再生画面]

再生または逆再生を一時停止します。

[操作メニュー画面]

選択している項目(オレンジ色)を決定します。

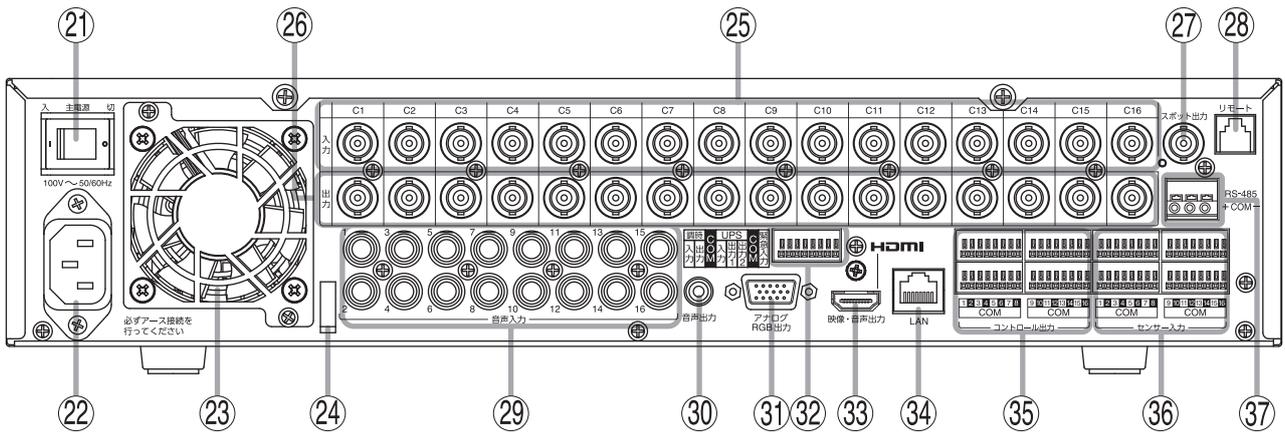
[設定メニュー画面]

選択している項目(オレンジ色)を決定します。

⑳ メンテナンス用ゴムカバー

メンテナンス用です。

【後面】



21 主電源スイッチ

本機の電源スイッチです。

22 電源インレット

付属の電源コードを接続します。

23 冷却用ファン排気口

冷却用ファンの排気口です。

24 電源ケーブル用クランプ

電源ケーブルを固定します。(P. 2-14 「電源ケーブル用クランプの使いかた」)

25 映像入力端子 (BNC)

カメラの映像出力と接続します。BNC コネクターを接続すると自動的に 75 Ω 終端されます。

26 映像出力端子 (BNC)

映像入力端子と同じ映像が出力されます。本機の主電源スイッチが「切」のときやスタンバイ状態のときにも映像を出力します。

ご注意

BNC コネクターを接続すると映像入力端子が自動的にハイインピーダンスになります。映像出力端子と接続する機器側で必ず 75 Ω 終端してください。

27 スポット出力端子 (BNC) (モニター出力)

HDMI 出力やアナログ RGB 出力と同じ映像を出力したり、ライブ映像専用の出力として 1 画面表示、4 / 9 / 16 分割画面表示、シーケンス表示します。(P. 5-14 「スポット出力」)

28 リモート端子

使用しません。

29 音声入力端子 (RCA ピンジャック)

各チャンネルの音声を入力できます。

30 音声出力端子 (RCA ピンジャック)

モニターの音声入力端子などに接続します。各チャンネルの音声入力を選択して出力するほか、記録した音声を出力できます。

31 アナログ RGB 出力端子 (モニター出力)

映像を出力します。アナログ RGB 入力を持ったモニターに接続してください。HDMI 出力と同じ映像を出力します。

ライブ映像 (1 画面表示、4 / 6 / 8 / 9 / 13 / 16 分割画面表示、シーケンス表示)、再生映像 (1 画面、4 / 6 / 8 / 9 / 13 / 16 分割画面)、各種メニュー画面を出力します。

出力する解像度は設定によって変更できます。(P. 4-52 「モニター出力の解像度を定める」)

32 調時入出力 / UPS 入出力 / 緊急録画入力端子

● 調時入出力端子

接点出力が可能なタイムサーバーを使用して本機の時刻を合わせたり、複数台のデジタルレコーダー間の時刻を合わせたりするための端子です。(P. 2-7 「調時入出力端子の接続」)

● UPS 入出力端子

無停電電源装置 (UPS) と接続するための端子です。停電前後の録画データの消失を防止できます。(P. 2-9 「UPS 入出力端子の接続」)

● 緊急録画入力端子

外部スイッチなどからの信号で、緊急録画をするための端子です。(P. 2-6 「緊急録画入力端子の接続」)

③③ HDMI 出力端子 (モニター出力)

映像と音声を出力します。HDMI 入力を持ったモニターに接続してください。アナログ RGB 出力と同じ映像を出力します。ライブ映像(1画面表示、4 / 6 / 8 / 9 / 13 / 16 分割画面表示、シーケンス表示)、再生映像 (1画面、4 / 6 / 8 / 9 / 13 / 16 分割画面)、各種メニュー画面を出力します。出力する解像度は設定によって変更できます。(P. 4-52 「モニター出力の解像度を定める」)
各チャンネルの音声入力を選択して出力するほか、記録した音声を出力できます。

ご注意

すべての HDMI 機器への接続を保証するものではありません。

③④ LAN 端子

ネットワークを経由して、DRNET、DRNET Mobile、または Web ブラウザーと接続してライブ映像の表示やコンビネーションカメラの操作、録画の検索、再生を行う場合などに使用します。(P. 2-12 「LAN 端子の接続」)

③⑤ コントロール出力端子

緊急録画やセンサーイベント、モーションイベント、ビデオロスイベント、システムイベント発生時に信号を出力する端子です。指定時刻に出力することも可能です。(P. 2-6 「コントロール出力端子の接続」)

③⑥ センサー入力端子

外部センサーなどの無電圧接点信号を接続しセンサー録画をするための端子です。(P. 2-6 「センサー入力端子の接続」)

③⑦ RS-485 端子

コンビネーションカメラを制御したり、リモートコントローラー (C-RM700) から本機を操作するための端子です。(P. 2-12 「RS-485 端子の接続」)

運用までに行う作業の流れ

本機を運用するまでに行う作業の流れは、以下のとおりです。

1 本機を設置する

2 機器を接続する (☞ P. 2-6 「接続のしかた」)

3 本機を起動する (☞ P. 3-2 「本機の起動」)

ログイン画面が表示されます。
ログインが完了すると簡易設定画面が表示され、基本的な設定を変更できます。
(☞ P. 4-11 「簡易設定」)

メモ

2回目以降の起動では、ライブ映像が表示されます。

4 本機の設定を行う (☞ 第4章 「設定のしかた」)

- 簡易設定
- システム設定
- デバイス設定
- ディスプレー設定
- 録画設定
- ネットワーク設定
- イベント設定

メモ

設定完了の状態を保存しておくことをお勧めします。(☞ P. 4-25 「設定データを USB メモリーに保存する」)

5 本機の運用を開始する

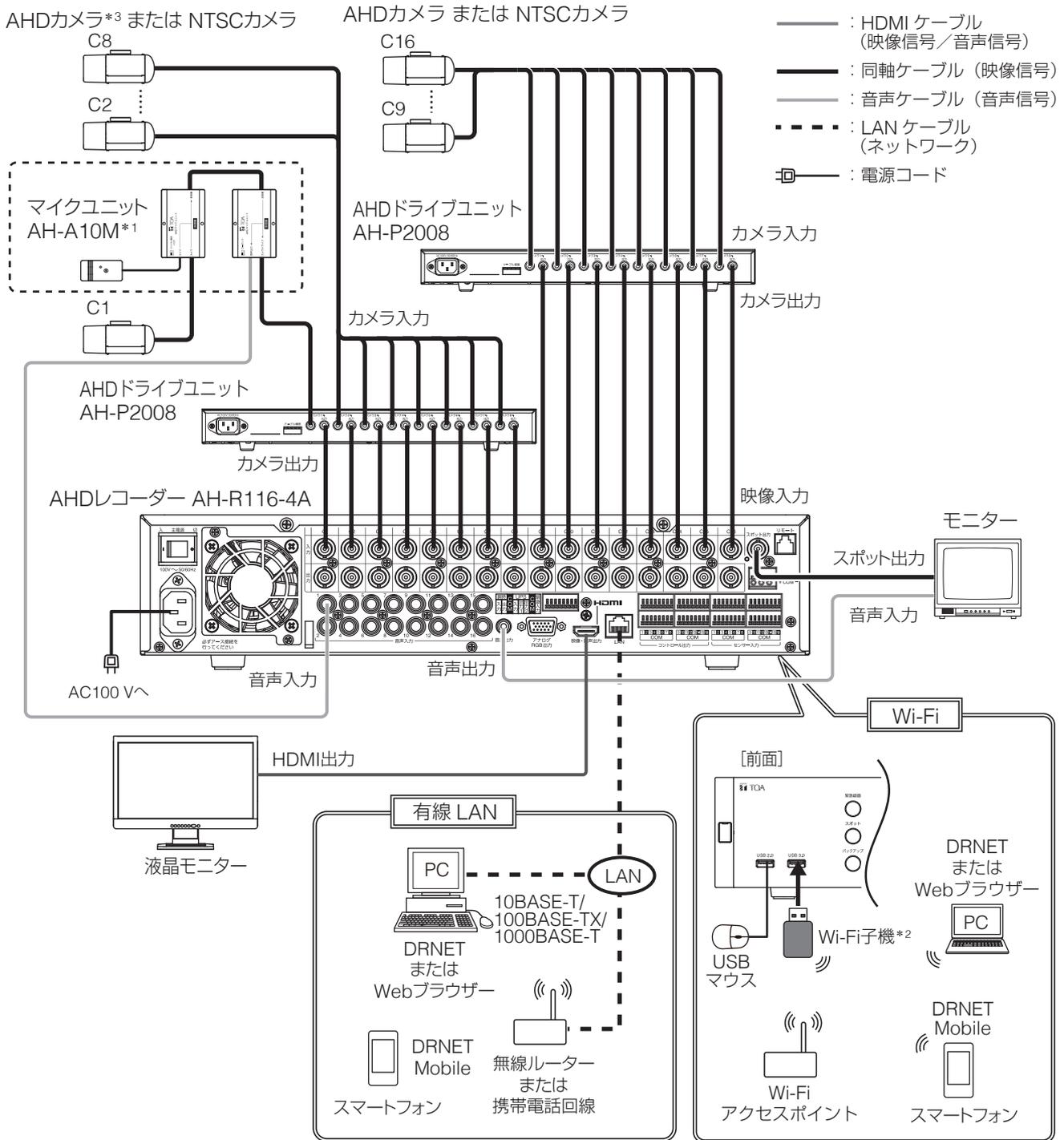
- ライブ表示する (☞ P. 5-2 「ライブ」)
- 録画する (☞ P. 5-17 「録画」)
- 録画データを再生する (☞ P. 5-21 「再生」)
- 録画データをバックアップ (コピー) する (☞ P. 5-37 「録画データのバックアップ (コピー)」)

第2章

設置のしかた

接続例

■ 基本システム



*1 マイクユニット AH-A10M (別売品) は、ファンタム電源の供給が可能です。詳しくは AH-A10M の取扱説明書をご覧ください。

*2 推奨品の Wi-Fi 子機を使用してください。詳しくは TOA 商品データダウンロードサイト (<https://www.toa-products.com/download>) で本機の品番を検索し、ご確認ください。

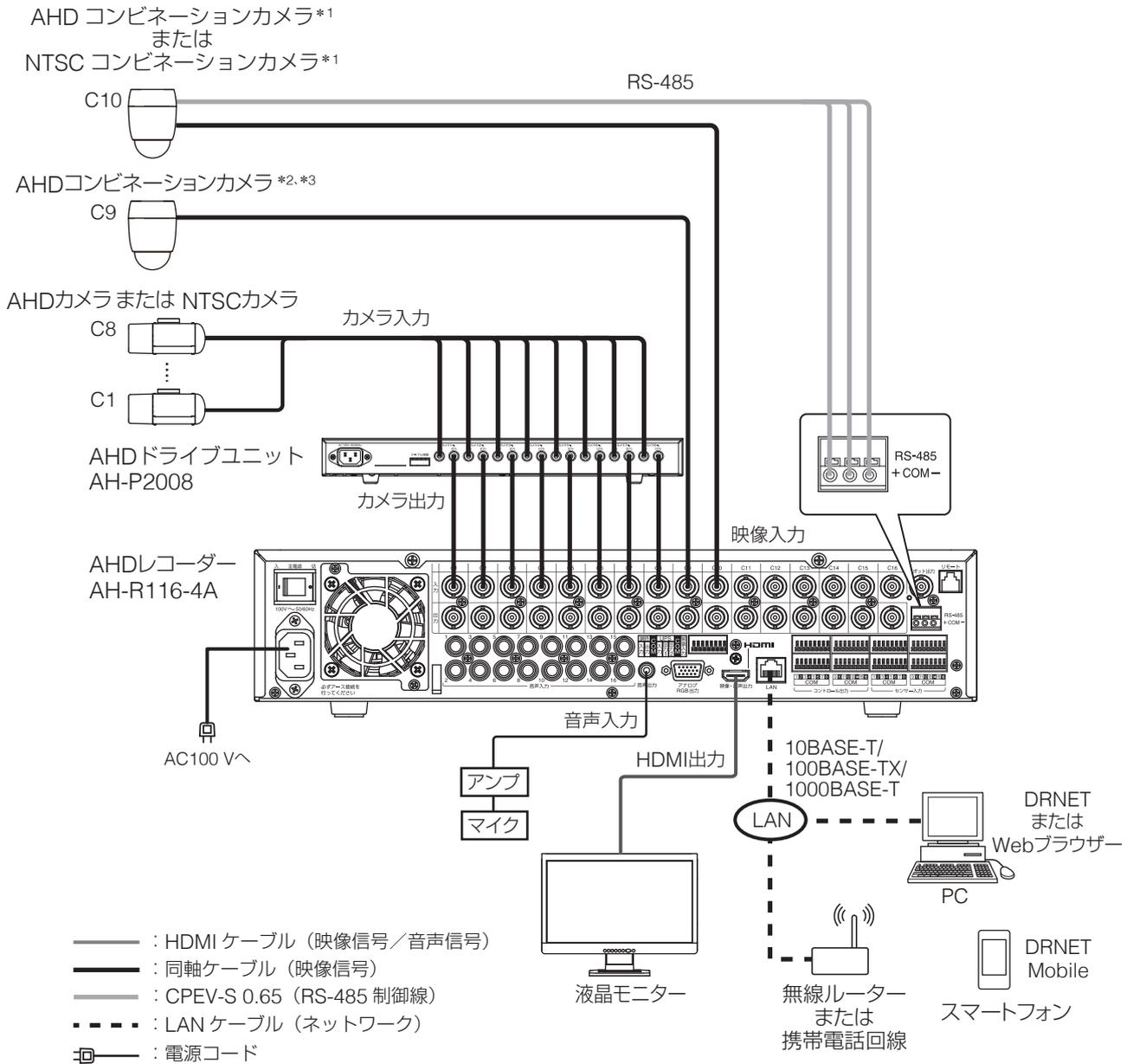
*3 AHD カメラのメニュー表示/設定を行う場合の最大延長距離は 500 m です。

ご注意

有線 LAN と Wi-Fi を同時に使用することはできません。

■ コンビネーションカメラ制御システム

コンビネーションカメラの同軸多重制御（AHD コンビネーションカメラのみ）、および RS-485 制御するシステムです。



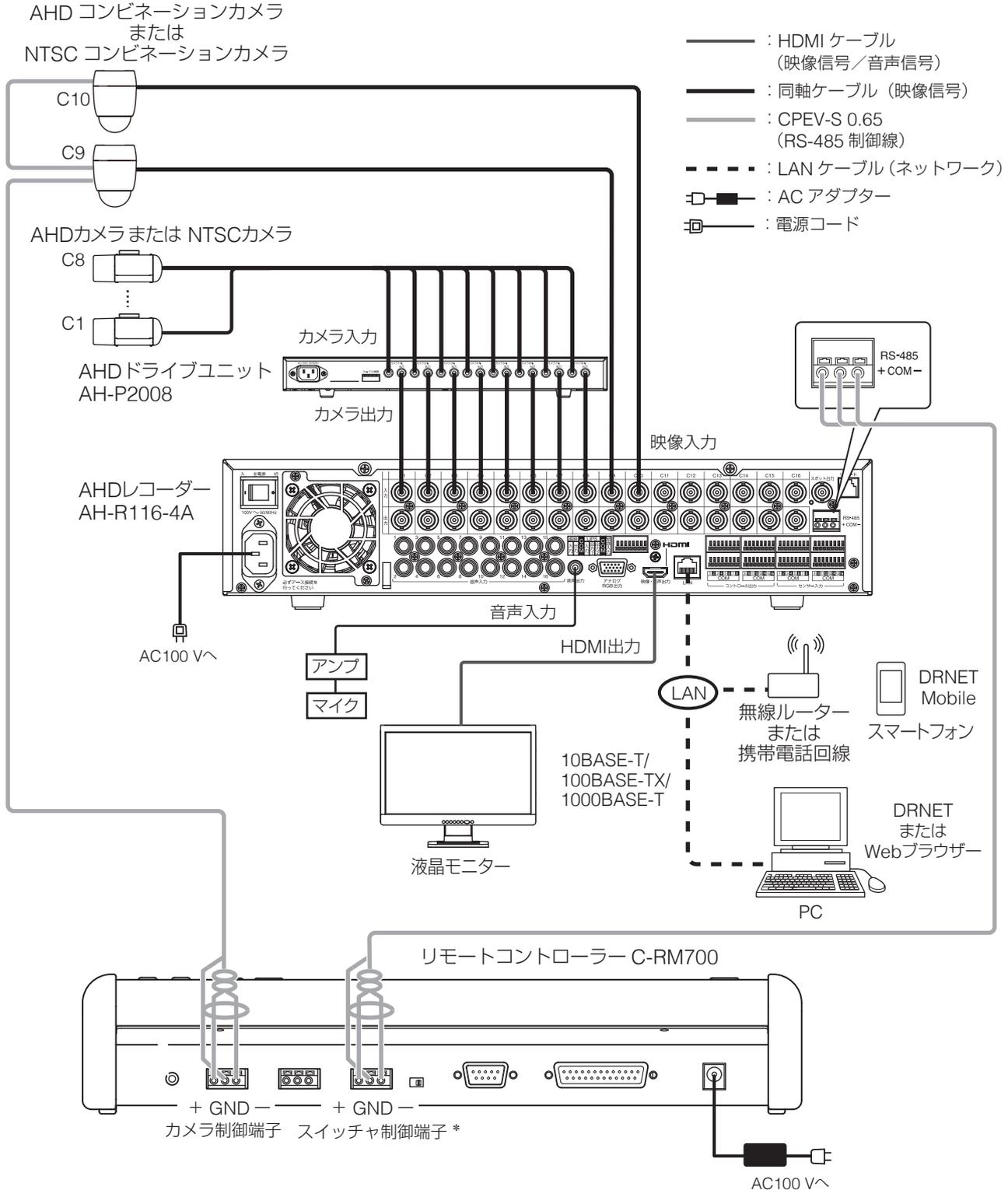
*1 コンビネーションカメラを RS-485 制御する場合の通信方式（カメラプロトコル）は、タイプ B を使用してください。また、本機の RS-485 の用途を「PTZ」、カメラのプロトコルを「TOA-B」に設定してください。（P. 4-49「RS485 設定」、P. 4-42「コンビネーションカメラ設定をする（PTZ）」）
 コンビネーションカメラの通信方式については、コンビネーションカメラの取扱説明書をご覧ください。

*2 AHD コンビネーションカメラは、RS-485 制御および同軸多重制御が可能です。同軸多重制御する場合は「同軸多重」に設定してください。同軸多重制御する場合、カメラ制御線（RS-485）の接続は不要です。（P. 4-42「コンビネーションカメラ設定をする（PTZ）」）

*3 AHD コンビネーションカメラを同軸多重制御で操作 / メニュー表示 / 設定をする場合の最大延長距離は 500 m です。500 m を超える場合は RS-485 制御で操作してください。（P. 6-2「コンビネーションカメラ制御」）

■ リモートコントローラーシステム

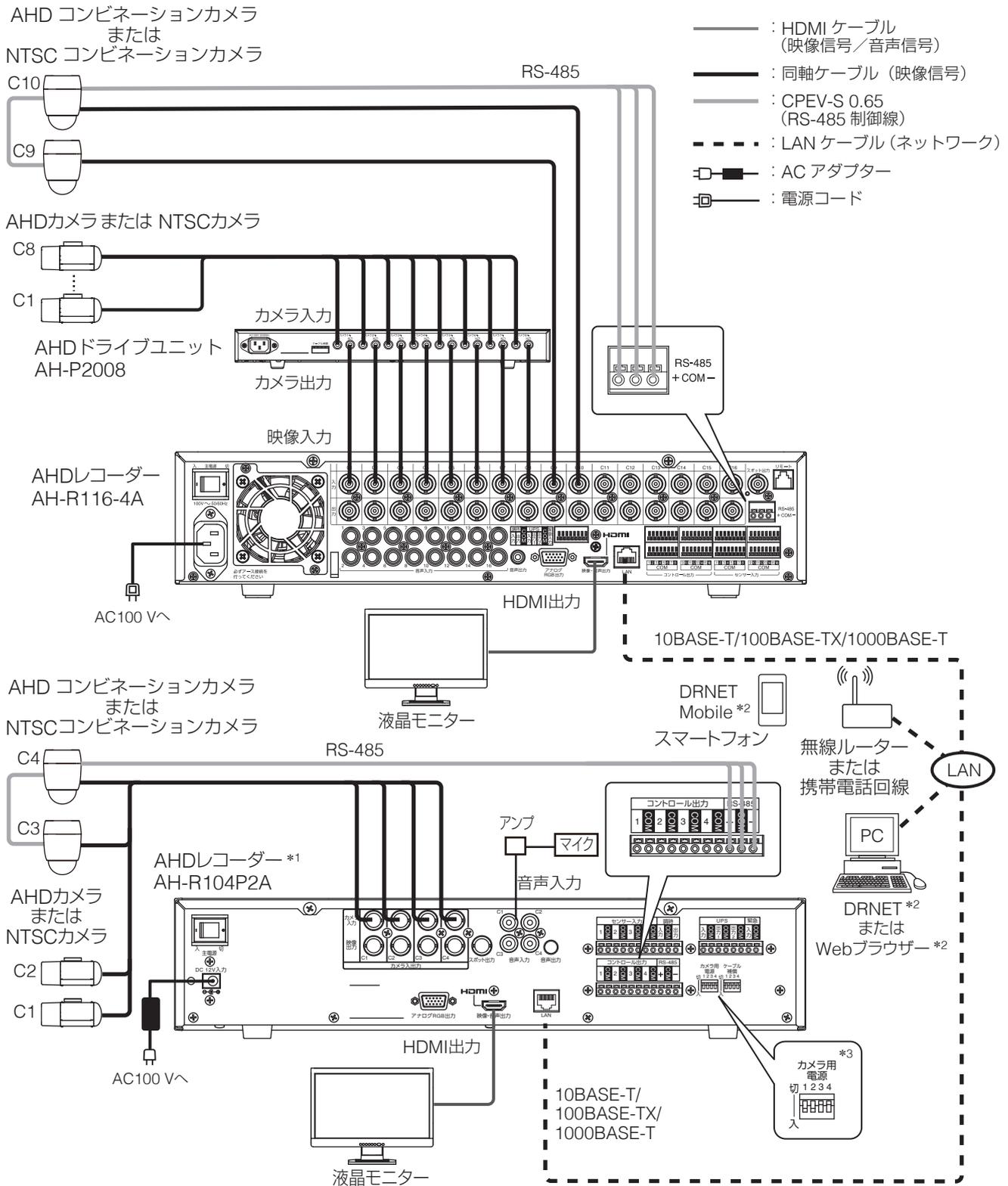
リモートコントローラー (C-RM700) を接続し、リモートコントローラーから1画面表示、分割画面表示、1画面シーケンス表示、4分割シーケンス表示を選択することができます。(P. 6-10「リモートコントローラーからの操作」)



* 本機とリモートコントローラー (C-RM700) のスイッチャ制御端子を接続して本機の画面を操作する場合は、本機のRS-485の用途を「コントローラー」に設定してください。(P. 4-49「RS485 設定」)
用途を「コントローラー」に設定すると、本機、DRNET、DRNET Mobile、および Web ブラウザーからコンビネーションカメラを操作することはできません。リモートコントローラー (C-RM700) にコンビネーションカメラの制御線を接続し、リモートコントローラー (C-RM700) から操作してください。

■ 多地点遠隔監視システム

ネットワークを経由して、DRNET、DRNET Mobile、および Web ブラウザーで多地点から遠隔監視することができます。



*1 TOA 製 AHD レコーダーシリーズ、HD-SDI レコーダーシリーズ、デジタルレコーダー C-DR044、C-DR084、C-DR164、C-DV044、C-DV084、C-DV164 シリーズと組み合わせて使用できます。

*2 多地点からコンビネーションカメラを操作する場合は、後優先になります。

*3 定電圧方式のワンケーブルカメラ接続時のみ「入」に設定します。設定を間違えると、故障の原因となります。

接続のしかた

■ 使用できる線材

緊急録画入力端子、センサー入力端子、調時入出力端子、UPS 入出力端子、コントロール出力端子で使用可能な電線の線径は、以下のとおりです。

- 単線 : $\phi 0.32 \text{ mm} \sim \phi 0.65 \text{ mm}$ (AWG28 ~ AWG22)
- より線 : $0.08 \text{ mm}^2 \sim 0.32 \text{ mm}^2$ (AWG28 ~ AWG22)
- 剥き線長 : 9 ~ 10 mm

RS-485 端子で使用可能な電線の線径は、以下のとおりです。

- 単線 : $\phi 0.4 \text{ mm} \sim \phi 1.2 \text{ mm}$ (AWG26 ~ AWG16)
- より線 : $0.2 \text{ mm}^2 \sim 1.25 \text{ mm}^2$ (AWG24 ~ AWG16)
- 剥き線長 : 10 ~ 11 mm

RS-485 端子の接続には CPEV-S (対よりシールドケーブル) $\phi 0.65 \text{ mm}$ 以上を推奨します。

■ 緊急録画入力端子の接続

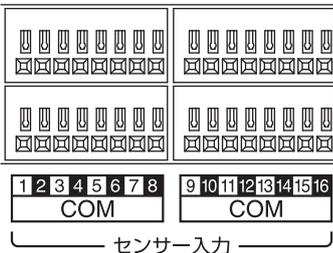
外部スイッチなどからの信号で緊急録画を行う場合は、緊急録画入力端子と COM 端子に接続してください。



端子記号	名称
緊急入力	緊急録画入力
COM	接地

■ センサー入力端子の接続

外部センサーなどから本機へセンサー入力する場合は、センサー入力端子と COM 端子に接続してください。



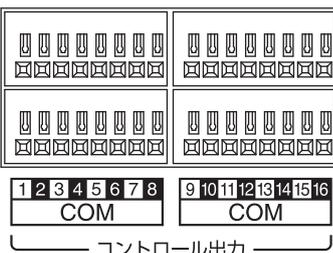
端子記号	名称
1	センサー入力 1
COM	接地
2	センサー入力 2
COM	接地
3	センサー入力 3
COM	接地
4	センサー入力 4
COM	接地
5	センサー入力 5
COM	接地
6	センサー入力 6
COM	接地

端子記号	名称
7	センサー入力 7
COM	接地
8	センサー入力 8
COM	接地
9	センサー入力 9
COM	接地
10	センサー入力 10
COM	接地
11	センサー入力 11
COM	接地
12	センサー入力 12
COM	接地

端子記号	名称
13	センサー入力 13
COM	接地
14	センサー入力 14
COM	接地
15	センサー入力 15
COM	接地
16	センサー入力 16
COM	接地

■ コントロール出力端子の接続

本機から外部のブザー機器など他の機器へコントロール出力する場合は、コントロール出力端子と COM 端子に接続してください。



端子記号	名称
1	コントロール出力 1
COM	接地
2	コントロール出力 2
COM	接地
3	コントロール出力 3
COM	接地
4	コントロール出力 4
COM	接地
5	コントロール出力 5
COM	接地
6	コントロール出力 6
COM	接地

端子記号	名称
7	コントロール出力 7
COM	接地
8	コントロール出力 8
COM	接地
9	コントロール出力 9
COM	接地
10	コントロール出力 10
COM	接地
11	コントロール出力 11
COM	接地
12	コントロール出力 12
COM	接地

端子記号	名称
13	コントロール出力 13
COM	接地
14	コントロール出力 14
COM	接地
15	コントロール出力 15
COM	接地
16	コントロール出力 16
COM	接地

■ 調時入出力端子の接続

調時入出力端子を接続し、複数台のデジタルレコーダーの時刻を合わせることができます。(P. 4-30「機器間の時刻を合わせる(調時)」)

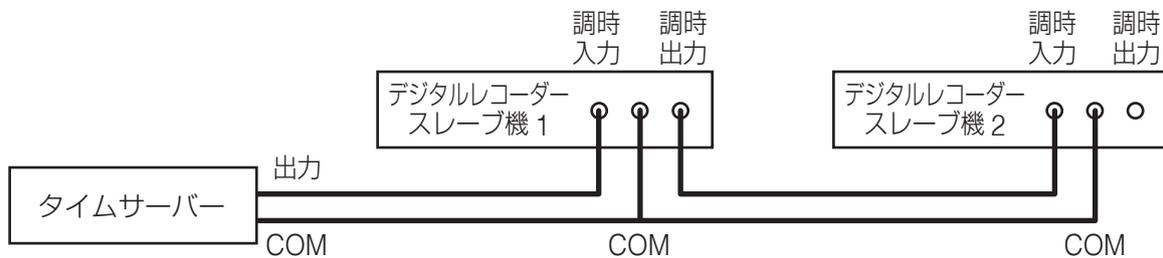


端子記号	名称
入力	調時入力
COM	接地
出力	調時出力

● タイムサーバーで本機の時刻を合わせる場合

接点出力可能なタイムサーバーを使用してデジタルレコーダーを正確な時刻に合わせることができます。このとき、デジタルレコーダーはスレーブ機に設定してください。

調時の接続は、タイムサーバーの出力とスレーブ機 1 の調時入力、スレーブ機 1 の調時出力とスレーブ機 2 の調時入力と接続していきます。



メモ

- 機器間の COM 端子を接続してください。
- ネットワーク上の NTP サーバーでデジタルレコーダーを正確な時刻に合わせることもできます。(P. 4-28「NTP 調時機能を設定する」)

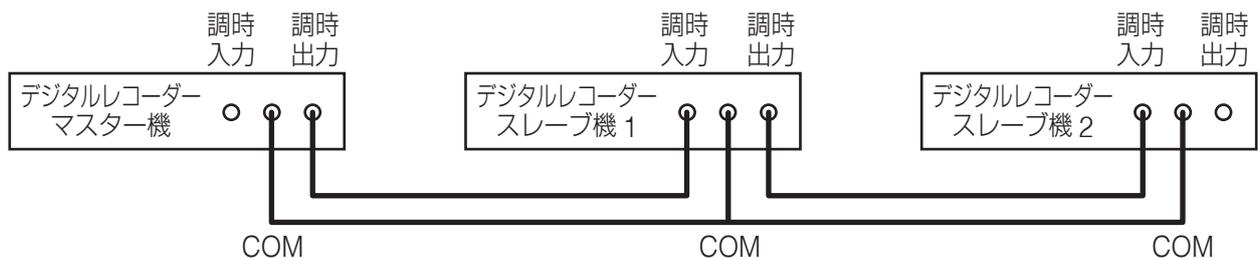
● デジタルレコーダー間で時刻を合わせる場合

複数のデジタルレコーダーを調時入出力端子で接続すると、デジタルレコーダー間で時刻を同期させることができます。このとき、合わせたい時刻になっているデジタルレコーダーをマスター機、それ以外をスレーブ機に設定してください。

調時の接続は、マスター機の調時出力とスレーブ機 1 の調時入力、スレーブ機 1 の調時出力とスレーブ機 2 の調時入力と接続していきます。

ご注意

使用環境により本機の内蔵時計に時刻のずれが生じる場合があります。より正確な時刻で記録するために、タイムサーバーをご使用ください。



メモ

機器間の COM 端子を接続してください。

第2章 設置のしかた

【デジタルレコーダーをマスター機にした場合の動作】

設定した調時時刻になると調時出力端子から 1 秒間出力します。

【ご注意】

デジタルレコーダーをマスター機にした場合、マスター機に調時入力端子からの入力があっても現在時刻は調時されません。入力端子には外部機器を接続しないでください。

【デジタルレコーダーをスレーブ機にした場合の動作】

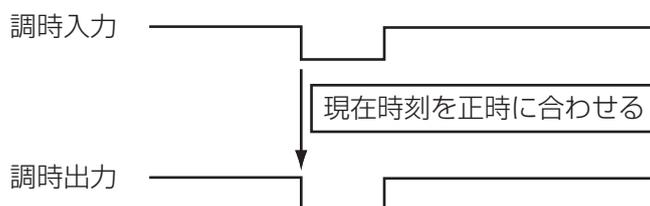
調時入力端子から入力があると現在時刻を正時に調時します。

調時出力端子は、調時入力端子が入力されている間出力します。

【メモ】

スレーブ機の現在時刻が正時± 20 分以内のとき、調時入力端子に入力があると正時に調時されます。

ただし、スレーブ機の現在時刻が± 10 秒未満のときは、録画データが重複しないように少しずつ時刻を合わせるので、すぐに正時に調時しません。



■ UPS 入出力端子の接続

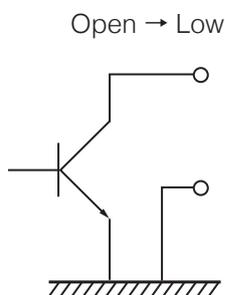
無停電電源装置（UPS）と接続し、停電前後の録画データの消失を防止できます。



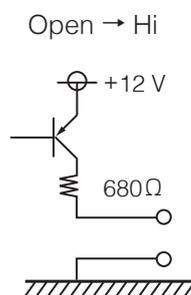
端子記号	名称
COM	接地
入力	UPS 入力
出力 1	UPS 出力 1
出力 2	UPS 出力 2
COM	接地

デジタルレコーダーは2つのUPS出力（出力回路は下図）を持っています。UPSの入力端子仕様により、UPS出力1またはUPS出力2を接続してください。

[UPS 出力 1 回路]



[UPS 出力 2 回路]



停電が発生した場合、本機はUPSからの信号でシャットダウン状態に移行します。UPSからの信号で本機をシャットダウン状態にするまでの時間は、電源異常待機時間で設定できます。（P. 4-100「UPSの設定を行う」）

シャットダウン状態では、電源表示灯が5秒間隔で点灯し、UPSからの電源供給が停止されるまでUPS出力1とUPS出力2から信号を出力します。

ご注意

UPSは、電源出力の波形が正弦波の機器を使用してください。矩形波の機器と接続した場合、本機または無停電電源装置（UPS）が故障することがあります。

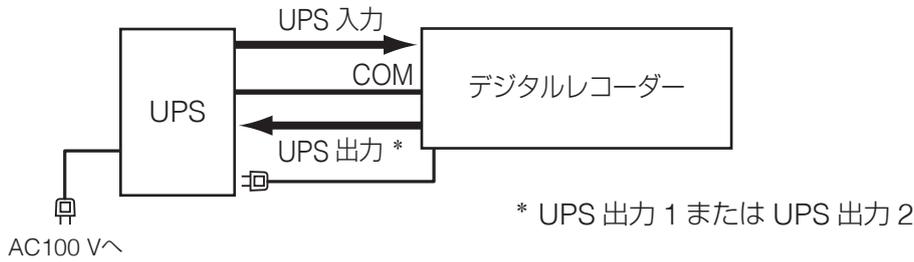
メモ

電源異常待機時間が経過する前に、電源の復旧などでUPSからの信号が無効となったときは、シャットダウン状態には移行しません。

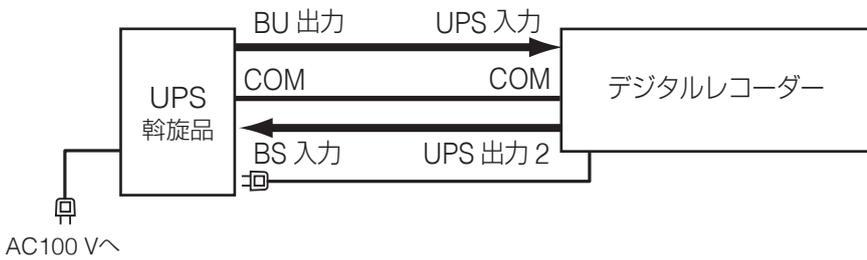
第2章 設置のしかた

● UPS にデジタルレコーダーを 1 台接続する場合

デジタルレコーダーから UPS に接続する UPS 出力端子は、「UPS 出力 1」または「UPS 出力 2」のどちらかを接続します。UPS の入力端子の仕様を確認して、どちらを接続するか選択してください。



幹旋品の UPS (BY50FW、BW40T、または BW100T) を使用する場合は、以下の接続を行ってください。



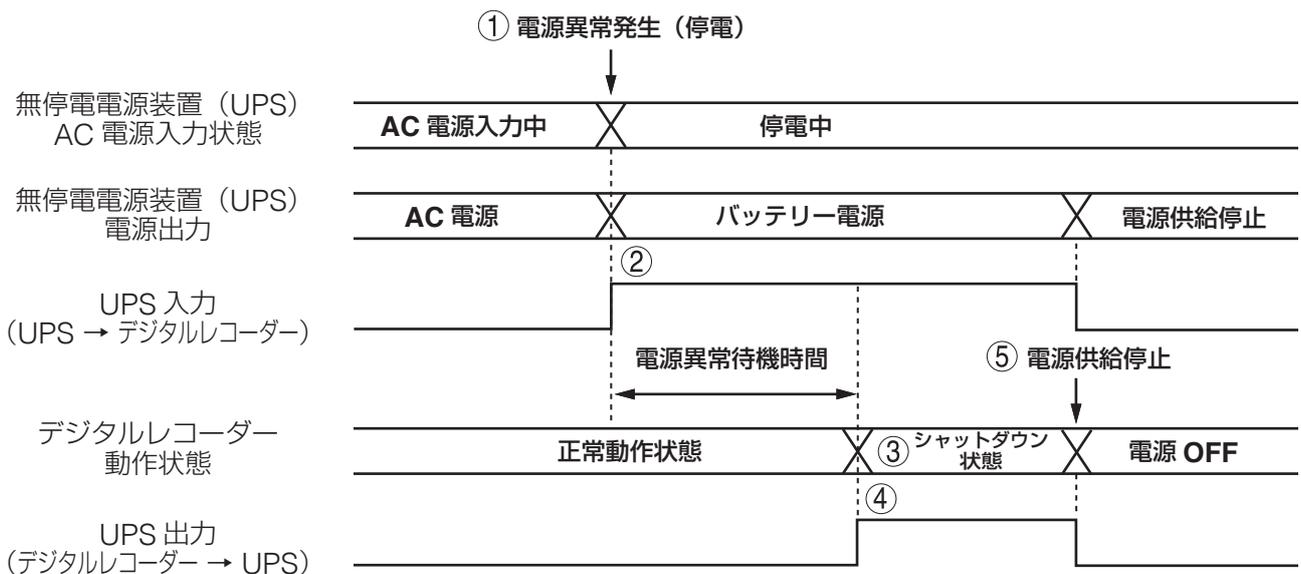
メモ

機器間の COM 端子を接続してください。

【電源異常発生時の動作】

UPS の AC 電源 (AC100 V) に異常 (停電) が発生したとき (下図 ①)、UPS からの信号 (下図 ②) で本機は電源異常待機時間経過後にシャットダウン状態 (下図 ③) になります。

このとき、本機から UPS に信号 (下図 ④) を送り、UPS からの電源供給を停止 (下図 ⑤) させることで、本機の電源を切ることができます。電源異常待機時間の設定については、P. 4-100「UPS の設定を行う」を参照してください。

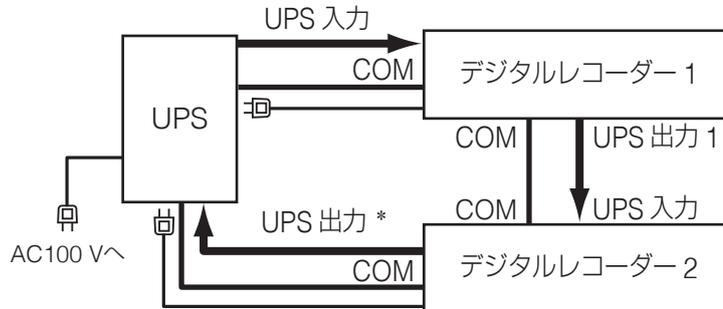


【復電後の動作】

UPS からの電源供給が再開されると自動的にシステムが起動します。(P. 6-29「停電復旧後の動作について」)

● UPS にデジタルレコーダーを 2 台接続する場合

デジタルレコーダー 1 からデジタルレコーダー 2 への UPS 出力は、「UPS 出力 1」を使用します。デジタルレコーダー 2 から UPS に接続する UPS 出力端子は、「UPS 出力 1」または「UPS 出力 2」のどちらかを接続します。UPS の入力端子の仕様を確認して、どちらを接続するか選択してください。



* UPS 出力 1 または UPS 出力 2

メモ

機器間の COM 端子を接続してください。

【電源異常発生時の動作】

UPS の AC 電源 (AC100 V) に異常 (停電) が発生した場合、UPS から信号でデジタルレコーダー 1 は電源異常待機時間が経過した後にシャットダウン状態となり、UPS 出力 1 を出力します。

デジタルレコーダー 1 の UPS 出力 1 によりデジタルレコーダー 2 は電源異常待機時間が経過したあとにシャットダウン状態となります。

このとき、デジタルレコーダー 2 から UPS に信号を送り、UPS からデジタルレコーダー 1 と 2 の電源供給を停止させることができます。

電源異常待機時間の設定については、P. 4-100 「UPS の設定を行う」を参照してください。

【復電後の動作】

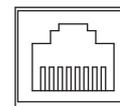
UPS からの電源供給が再開されると自動的にシステムが起動します。(P. 6-29「停電復旧後の動作について」)

LAN 端子の接続

コネクタはRJ45、通信速度は10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-Tに対応しています。

LANケーブルは、10BASE-T/100BASE-TXの場合はUTPカテゴリ5以上を使用し、1000BASE-Tの場合はUTPカテゴリ5e以上を使用してください。

ストレートケーブル、クロスケーブルどちらも使用できます。(AUTO MDI/MDIX対応)



LAN

ご注意

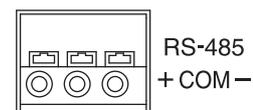
有線LANとWi-Fiを同時に使用することはできません。

RS-485 端子の接続

コンビネーションカメラを制御する場合は、RS-485端子にカメラの制御線を接続し本機のRS-485の用途を「PTZ」、カメラのプロトコルを「TOA-B」に設定してください(P. 4-49「RS485設定」、P. 4-42「コンビネーションカメラ設定をする(PTZ)」)。

リモートコントローラー(C-RM700)から本機を操作する場合は、RS-485端子にリモートコントローラーのスイッチャ制御線(RS-485)を接続し本機のRS-485の用途を「コントローラー」に設定してください(P. 4-49「RS485設定」)。

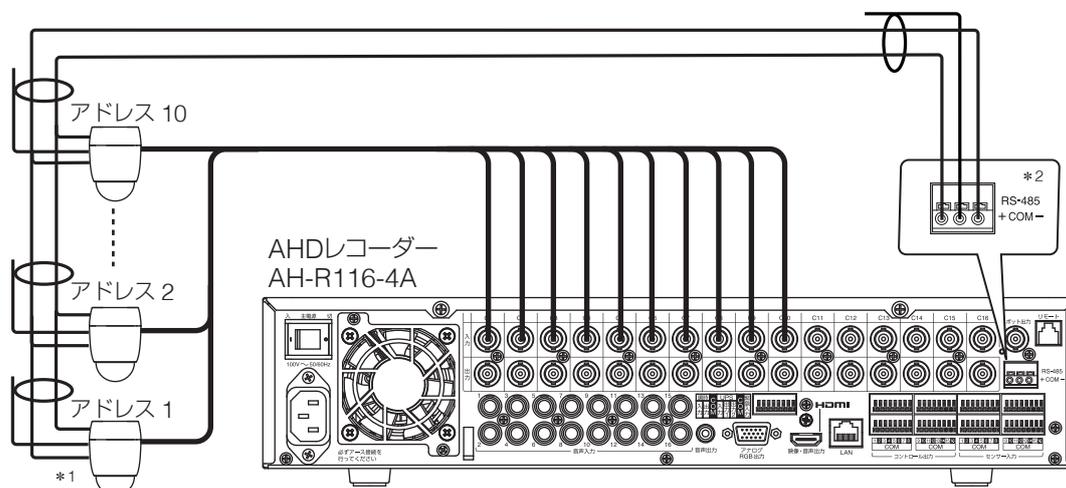
RS-485端子の接続にはCPEV-S(対よりシールドケーブル)φ0.65mm以上を推奨します。また、シールド線は、必ず「COM」端子に接続してください。



RS-485 + COM -

端子記号	名称
+	RS-485 (+)
COM	接地
-	RS-485 (-)

コンビネーションカメラの接続



*1 コンビネーションカメラの終端スイッチは、正しく設定してください。詳しくは、コンビネーションカメラの取扱説明書をご覧ください。

*2 AHDコンビネーションカメラを同軸多重制御する場合は、カメラ制御線(RS-485)の接続は不要です。

ご注意

本機から終端に設定されたカメラまでの制御線(RS-485)の延長距離は最長で1.2kmです。また、リモートコントローラー(C-RM700)から本機までの制御線の延長距離は最長で1.2kmです。

メモ

別売のインターフェースユニット(C-IF500)を使用すると、コンビネーションカメラとデジタルレコーダー間の制御線(RS-485)をスター型配線にできます。

デジタルレコーダーをマスター側、コンビネーションカメラをスレーブ側に接続してください。

● リモートコントローラーの接続

本機の RS-485 端子とリモートコントローラー (C-RM700) のスイッチャ制御端子を接続します。
(P. 2-4 「リモートコントローラーシステム」)

ご注意

本機とリモートコントローラー (C-RM700) のスイッチャ制御端子を接続した場合は、本機、DRNET、DRNET Mobile、および Web ブラウザーから RS-485 制御のコンビネーションカメラを操作することはできません。コンビネーションカメラを操作したい場合は、リモートコントローラー (C-RM700) にカメラの制御線を接続し、リモートコントローラー (C-RM700) から操作してください。

■ USB2.0 端子、USB3.0 端子の接続

● USB メモリーを接続する

市販の USB メモリーを使用して本機の手データを入出力するときに接続します。

- ・録画されたデータをバックアップする。(P. 5-37 「録画データのバックアップ (コピー)」)
- ・設定データを出力する。(P. 4-25 「設定データを USB メモリーに保存する」)
- ・設定データを入力する。(P. 4-26 「USB メモリーに保存した設定データを入力する」)
- ・システムログ情報を保存する。(P. 6-17 「システムログを USB メモリーに保存する」)

ご注意

- FAT32 または NTFS でフォーマットされた USB メモリーを使用してください。
- 同時に複数の USB メモリーを接続して使用しないでください。

メモ

USB3.0 対応の USB メモリーを使用するときは、USB3.0 端子に接続することをお勧めします。
バックアップにかかる時間が短くなります。

● マウスを接続する

市販の USB マウスを使用して本機を操作するときに接続します。(P. 3-10 「マウスによる操作」)

メモ

USB2.0 端子と USB3.0 端子のどちらも接続できます。

● Wi-Fi 子機を接続する

Wi-Fi を使用するときには市販の Wi-Fi 子機を接続します。(P. 4-71 「Wi-Fi を設定する」)

ご注意

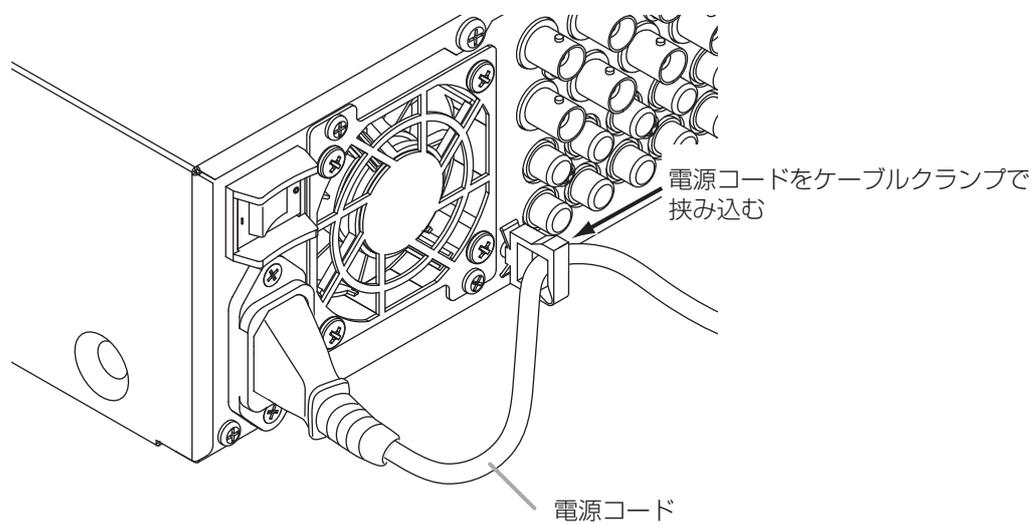
- 推奨品の Wi-Fi 子機を使用してください。詳しくは TOA 商品データダウンロードサイト (<https://www.toa-products.com/download>) で本機の商品番号を検索し、ご確認ください。
- 有線 LAN と Wi-Fi を同時に使用することはできません。

メモ

USB3.0 対応の Wi-Fi 子機を使用するときは、USB3.0 端子に接続することをお勧めします。
通信速度が速くなります。

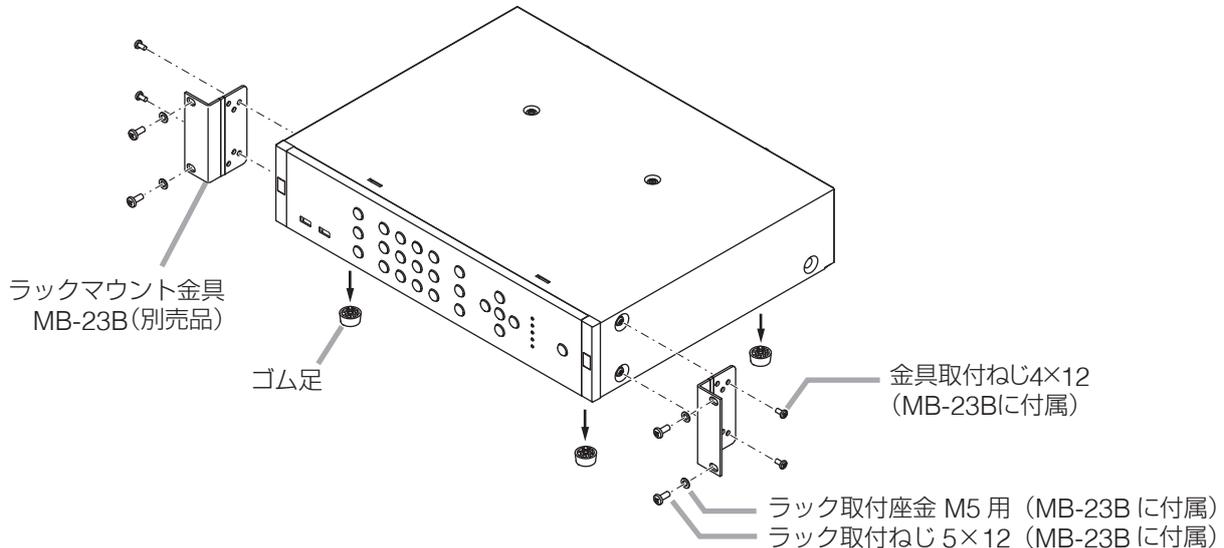
■ 電源ケーブル用クランプの使いかた

電源インレットから電源ケーブルが抜けるのを防止します。
図のように電源コードを固定します。



ラックに取り付けるとき

ラックに取り付けるときは別売の金具（MB-23B）を使用します。
底面のゴム足（4個）を外してください。
ゴム足は固定しているねじをマイナスドライバーで緩めると外れます。

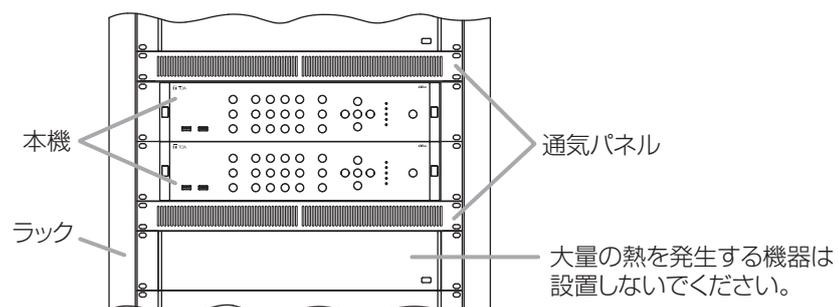


ご注意

- MB-23B に付属のラック取付ねじは、当社のラック専用です。他のラックには使用しないでください。
- 本機の使用温度範囲は 0 ~ +40°C です。ラック内部に外気が十分に通気できるように設置してください。
- 本機には冷却用ファンが内蔵されています。冷却用ファンの排気口は、絶対にふさがないでください。
- 振動の多い場所には設置しないでください。
- 本機への電源供給をパワーディストリビューター（PD-1130、PD-150）から行う場合、非連動の AC コンセントに接続してください。本機のシャットダウンを行わず主電源を切ると、ハードディスク内のデータが破損したりハードディスクが故障することがあります。
- 本機をラックなどに設置し、後面の主電源スイッチが操作できない場合は、スタンバイモードで起動した後で設置してください。ハードディスクが動作中に移動すると、振動によってハードディスクが故障することがあります。（スタンバイモードではハードディスクは動作していません。）
スタンバイモード：前面の電源キー  を押しながら、後面の主電源スイッチを入れる。
- 本機の下に大量の熱を発生する機器（パワーアンプなど）は設置しないでください。
- 本機を設置する場合は、本機の上下に 1U サイズ以上の通気パネル（PF-013B（別売品）等）を取り付けてください。

【複数台設置する場合】

本機を 2 台以上設置する場合は、2 台ごとに通気パネルを上下に取り付けてください。

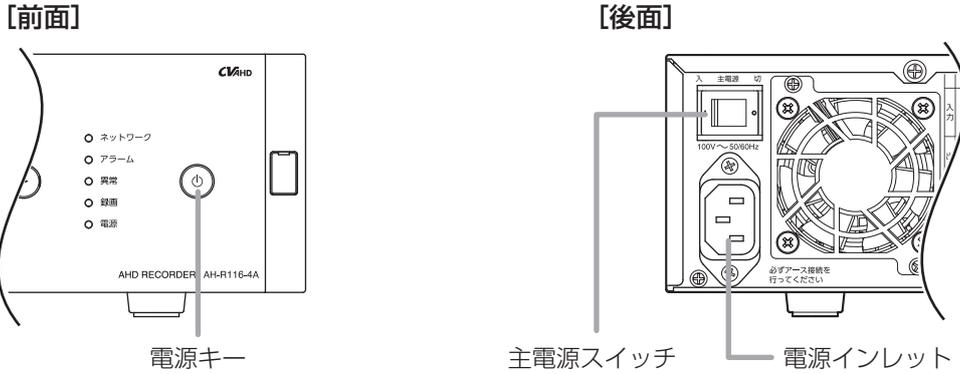


第 3 章

基本操作

起動と終了

■ 本機の起動



1 各機器を正しく接続する。

2 電源プラグを電源インレットに差し込む。

3 後面の主電源スイッチを「入」にする。

本機が起動し、ライブ映像が表示されます。

[メモ]

- 本機の起動には約2分かかります。
- 工場出荷後の初回起動時は、ログイン画面が表示されます。工場出荷後の初回起動時は、ユーザーIDは「Administrator」が選択され変更できません。⇒ **手順6**へ
2回目以降の起動時は、前回本機を終了したときの状態（1画面または分割画面）でライブ映像が表示されます。
- スポット出力は、システム起動中は黒画面が表示され、システム起動が終了するとライブ映像が表示されます。

4 緊急録画キー以外のいずれかのキーを押す。

ログイン画面が表示されます。

[メモ]

オートログイン機能を有効にしている場合は、ログイン画面は表示されません。(P. 4-31「ユーザーを設定する」)

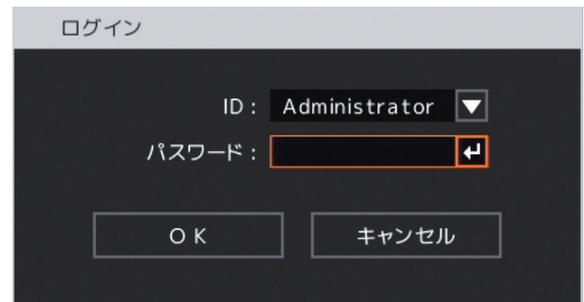
5 「ID」を選択し、決定キーを押す。

登録されているユーザーIDがすべて表示されます。

6 ログインしたいユーザーIDを選択し、決定キーを押す。

選択したユーザーIDが「ID」欄に表示されます。

[ログイン画面]



7 「パスワード」を選択し、決定キーを押す。

「文字入力画面」が表示されます。(P. 4-13 「文字を入力する」)

8 「文字入力画面」でパスワードを入力して「OK」を選択し、決定キーを押す。

ログイン画面に戻ります。

入力したパスワードは「*」で表示されます。

☒ ☒

ユーザー ID 「Administrator」と「Guest」の工場出荷時の初期パスワードは、どちらも「guest」に設定されています。運用前に必ずパスワードを変更してください。

9 ログイン画面で「OK」を選択し、決定キーを押す。

ログインが完了し、操作が可能になります。

ご注意

- 本機の動作中に主電源スイッチを「切」にしないでください。また、電源プラグを抜かないでください。設定メニューのデータ破損やハードディスク内のデータ破損、ハードディスク故障の原因となることがあります。
- 本機の移動は、電源を切り 30 秒以上経過してから行ってください。

☒ ☒

- パスワードが異なりログインできないときは「パスワードが不正です。」とメッセージが表示されます。
- 工場出荷後の初回起動時は、ログインが完了すると自動的に簡易設定画面が表示されますので、必要な設定を行ってから本機を使用してください。(P. 4-11 「簡易設定」)

● 電源投入時にスタンバイモードにする

本機をスタンバイモードにしておくと、前面の電源キー  を押して起動させることができます。

スタンバイモードでは、ハードディスクは動作していないため、本機を移動してもハードディスクへの影響がありません。

後面の主電源スイッチの操作がしづらい場合には、スタンバイモードにしたあとで設置してください。

1 後面の主電源スイッチが「切」になっていることを確認する。**2 各機器を正しく接続する。****3 電源プラグを電源インレットに差し込む。****4 前面の電源キー  を押しながら、後面の主電源スイッチを「入」にする。**

スタンバイモードになります。

スタンバイモード時は、電源表示灯が 5 秒間隔で点灯し、モニターに映像は出力されません。

● スタンバイモードから起動する

本機がスタンバイモード時は、前面の電源キー  で起動させることができます。
スタンバイモード時は、電源表示灯が5秒間隔で点灯し、モニターに映像は出力されません。

1 前面の電源キー を押す。

本機が起動し、ライブ映像が表示されます。

- 本機の起動には約2分かかります。
- 前回本機を終了したときの状態（1画面または分割画面）でライブ映像が表示されます。
- スポット出力は、システム起動中は黒画面が表示され、システム起動が終了するとライブ映像が表示されます。

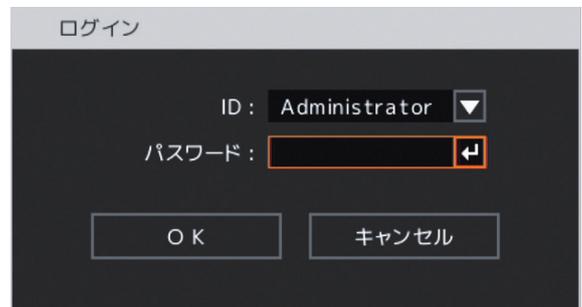
2 緊急録画キー以外のいずれかのキーを押す。

ログイン画面が表示されます。

オートログイン機能を有効にしている場合は、ログイン画面は表示されません。（P. 4-31「ユーザーを設定する」）

[ログイン画面]



3 「ID」を選択し、決定キーを押す。

登録されているユーザーIDがすべて表示されます。

4 ログインしたいユーザーIDを選択し、決定キーを押す。

選択したユーザーIDが「ID」欄に表示されます。

5 「パスワード」を選択し、決定キーを押す。

「文字入力画面」が表示されます。（P. 4-13「文字を入力する」）

6 「文字入力画面」でパスワードを入力して「OK」を選択し、決定キーを押す。

ログイン画面に戻ります。
入力したパスワードは「*」で表示されます。

ユーザーID「Administrator」と「Guest」の工場出荷時の初期パスワードは、どちらも「guest」に設定されています。運用前に必ずパスワードを変更してください。

7 ログイン画面で「OK」を選択し、決定キーを押す。

ログインが完了し、操作が可能になります。

ご注意

- 本機の動作中に主電源スイッチを「切」にしないでください。また、電源プラグを抜かないでください。設定メニューのデータ破損やハードディスク内のデータ破損、ハードディスク故障の原因となることがあります。
- 本機の移動は、電源を切り30秒以上経過してから行ってください。

- パスワードが異なりログインできないときは「パスワードが不正です。」とメッセージが表示されます。
- 本機の動作中にスタンバイモードにするには、P. 3-5「本機の終了」を参照してください。

■ 本機の終了

● 電源キー ⏻ で本機を終了する

⚠️ ご注意

シャットダウン権限を持つユーザーでログインしている場合のみ、シャットダウンを実行できます。(P. 4-31「ユーザー設定」)

1 電源キー ⏻ を押す。

ログイン画面が表示されます。
ログイン中に電源キーを押すとシャットダウン確認画面が表示されます。
⇒ 手順 7 へ

2 「ID」 を選択し、決定キーを押す。

登録されているユーザー ID がすべて表示されます。

3 シャットダウン権限を持つユーザー ID を選択し、決定キーを押す。

選択したユーザー ID が「ID」欄に表示されます。

4 「パスワード」 を選択し、決定キーを押す。

「文字入力画面」が表示されます。(P. 4-13「文字を入力する」)

5 「文字入力画面」でパスワードを入力し「OK」を選択し、決定キーを押す。

ログイン画面に戻ります。
入力したパスワードは「*」で表示されます。

ユーザー ID 「Administrator」と「Guest」の工場出荷時の初期パスワードは、どちらも「guest」に設定されています。運用前に必ずパスワードを変更してください。

6 ログイン画面で「OK」を選択し、決定キーを押す。

シャットダウン確認画面が表示されます。

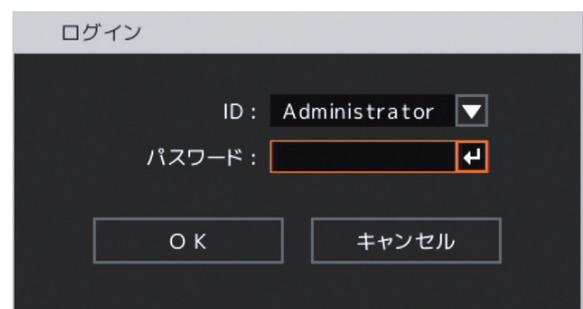
パスワードが異なりログインできないときは「パスワードが不正です。」とメッセージが表示されます。

7 シャットダウン確認画面で「はい」を選択し、決定キーを押す。

シャットダウン実行中は「システムを終了しています…」とメッセージが表示されます。
システムが正常に終了するとスタンバイモードになります。

スタンバイモード時は、電源表示灯が 5 秒間隔で点灯します。モニターに映像は出力されません。

[ログイン画面]



[シャットダウン確認画面]



8 スタンバイモードになっていることを確認し、後面の主電源スイッチを「切」にする。
電源が切れます。

ご注意

- スタンバイモードになる前に主電源スイッチを「切」にしないでください。また、電源プラグを抜かないでください。設定メニューのデータ破損やハードディスク内のデータ破損、ハードディスク故障の原因となることがあります。必ず上記手順で電源を切るようにしてください。
- 本機の移動は、電源を切り 30 秒以上経過してから行ってください。

● **設定メニューから本機を終了する**

ご注意

シャットダウン権限を持つユーザーでログインしている場合のみシャットダウンを実行できます。(P. 4-31「ユーザー設定」)

1 ライブ画面でメニューキーを押す。

ログイン画面が表示されます。
ログイン中はライブ操作メニューが表示されます。
⇒ 手順 7 へ

2 「ID」を選択し、決定キーを押す。

登録されているユーザー ID がすべて表示されます。

3 シャットダウン権限を持つユーザー ID を選択し、決定キーを押す。

選択したユーザー ID が「ID」欄に表示されます。

4 「パスワード」を選択し、決定キーを押す。

文字入力画面が表示されます。(P. 4-13「文字を入力する」)

5 「文字入力画面」でパスワードを入力して「OK」を選択し、決定キーを押す。

ログイン画面に戻ります。
入力したパスワードは「*」で表示されます。

[X M]

ユーザー ID 「Administrator」と「Guest」の工場出荷時の初期パスワードは、どちらも「guest」に設定されています。運用前に必ずパスワードを変更してください。

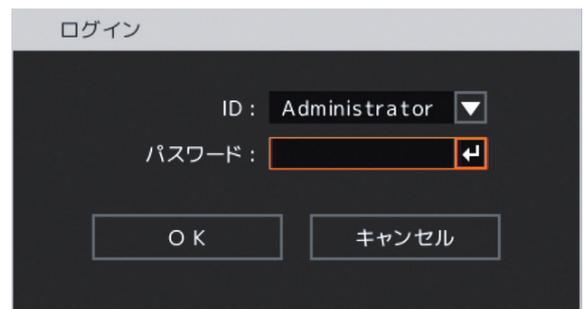
6 ログイン画面で「OK」を選択し、決定キーを押す。

ライブ操作メニューが表示されます。

[X M]

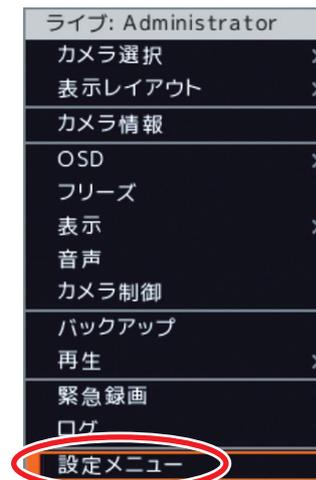
パスワードが異なりログインできないときは「パスワードが不正です。」とメッセージが表示されます。

[ログイン画面]



- 7** ライブ操作メニューの「設定メニュー」を選択し、決定キーを押す。
設定メニュー画面が表示されます。

[ライブ操作メニュー]

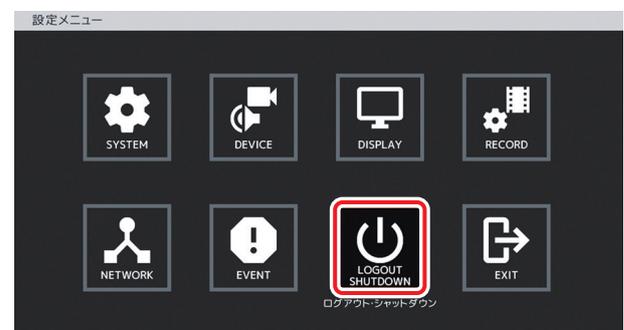


[設定メニュー画面]

- 8** 設定メニュー画面で「ログアウト・シャットダウン」を選択し、決定キーを押す。
ログアウト・シャットダウン確認画面が表示されます。

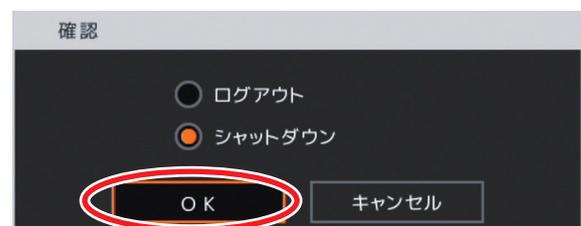
- 9** ログアウト・シャットダウン確認画面で「シャットダウン」を選択し、決定キーを押す。

- 10** ログアウト・シャットダウン確認画面で「OK」を選択し、決定キーを押す。
シャットダウン確認画面が表示されます。



[ログアウト・シャットダウン確認画面]

- 11** シャットダウン確認画面で「はい」を選択し、決定キーを押す。
シャットダウン実行中は「システムを終了しています…」とメッセージが表示されます。
システムが正常に終了するとスタンバイモードになります。

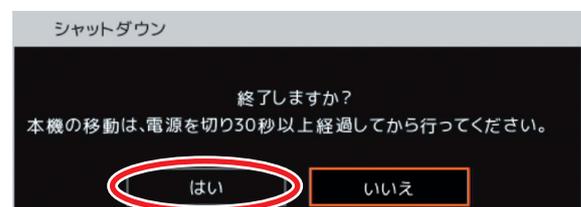


[シャットダウン確認画面]

[×モ]

スタンバイモード時は、電源表示灯が5秒間隔で点灯し、モニターに映像は出力されません。

- 12** スタンバイモードになっていることを確認し、後面の主電源スイッチを「切」にする。
電源が切れます。



ご注意

- スタンバイモードになる前に主電源スイッチを「切」にしないでください。また、電源プラグを抜かないでください。設定メニューのデータ破損やハードディスク内のデータ破損、ハードディスク故障の原因となることがあります。必ず上記手順で電源を切るようにしてください。
- 本機の移動は、電源を切り30秒以上経過してから行ってください。

ログインとログアウト

本機の操作は、操作を行う権限を持つユーザーでログインする必要があります。
ユーザーごとに本機の操作を行う権限を設定できます。(P. 4-31 「ユーザー設定」)

■ ログイン

本機を起動して最初に操作を行う場合、または、ログアウト後に再度操作を行う場合は、ログイン画面が表示されます。

[× モ]

- オートログイン機能を有効にしている場合は、ログイン画面は表示されません。(P. 4-31 「ユーザーを設定する」)
- 別のユーザーでログインしなおす場合は、一旦ログアウトしてから再度ログイン操作を行ってください。(P. 3-9 「ログアウト」)

以下は、ログイン画面が表示されたときの操作手順です。

1 「ID」を選択し、決定キーを押す。

登録されているユーザー ID がすべて表示されます。

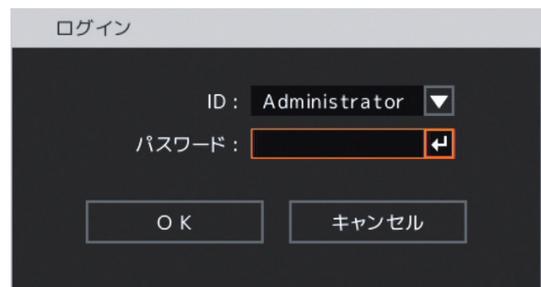
2 ログインしたいユーザー ID を選択し、決定キーを押す。

選択したユーザー ID が「ID」欄に表示されます。

3 「パスワード」を選択し、決定キーを押す。

「文字入力画面」が表示されます。(P. 4-13 「文字を入力する」)

[ログイン画面]



4 「文字入力画面」でパスワードを入力して「OK」を選択し、決定キーを押す。

ログイン画面に戻ります。
入力したパスワードは「*」で表示されます。

[× モ]

ユーザー ID 「Administrator」と「Guest」の工場出荷時の初期パスワードは、どちらも「guest」に設定されています。運用前に必ずパスワードを変更してください。

5 ログイン画面で「OK」を選択し、決定キーを押す。

ログインが完了し、操作が可能になります。

[× モ]

パスワードが異なりログインできないときは「パスワードが不正です。」とメッセージが表示されます。

■ ログアウト

権限を持たないユーザーの操作を防止するために、操作後はログアウトを行ってください。

手順：メニューキーを3秒以上押す。

「ピッ」というブザー音が鳴りログアウトします。

[設定メニューからログアウトする]

1 ライブ画面でメニューキーを押す。
ライブ操作メニューが表示されます。

2 ライブ操作メニューの「設定メニュー」を選択し、決定キーを押す。
設定メニュー画面が表示されます。

3 「ログアウト・シャットダウン」を選択し、決定キーを押す。
ログアウト・シャットダウン確認画面が表示されます。

4 ログアウト・シャットダウン確認画面で「ログアウト」を選択し、決定キーを押す。

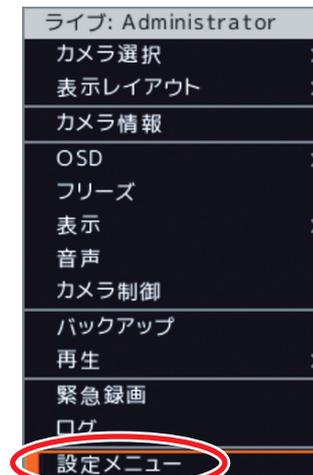
5 ログアウト・シャットダウン確認画面で「OK」を選択し、決定キーを押す。
「ログアウトしますか？」と確認画面が表示されます。

6 ログアウト確認画面で「はい」を選択し、決定キーを押す。
ライブ画面に戻ります。

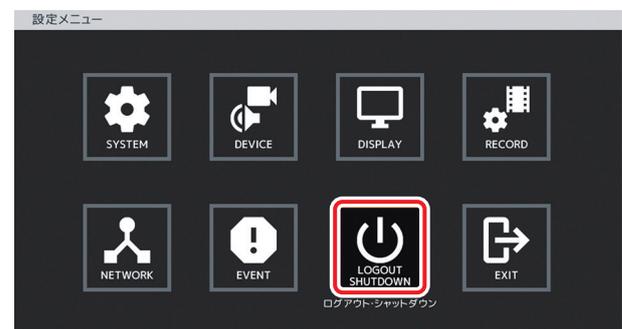
[メモ]

前面キーでログアウトすることもできます。
メニューキーを3秒以上押すと、「ピッ」というブザー音が鳴りログアウトします。

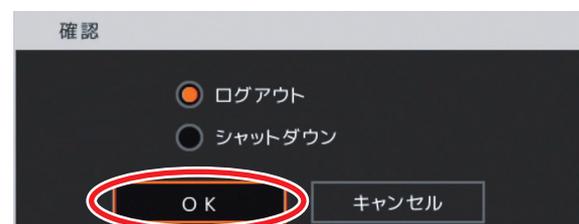
[ライブ操作メニュー]



[設定メニュー画面]



[ログアウト・シャットダウン確認画面]



[ログアウト確認画面]



マウスによる操作

市販の USB マウスを前面の USB2.0 端子または USB3.0 端子に接続すると本機の操作ができます。

	ダブルクリック	クリック	右クリック	ホイール
ライブ画面	1画面、分割画面の切り換え*1	—	ライブ操作メニューの表示	—
再生画面			再生操作メニューの表示	
カメラ制御画面	—	ボタンの選択	カメラ制御メニューの表示	—
ライブ操作、再生操作、カメラ制御メニュー	—	項目の選択/決定、メニューの非表示	メニューの非表示	
設定メニュー画面	—	項目の選択/決定/解除	—	選択している数値を増減

*1 1画面表示中は、直前に表示していた分割画面に切り換わります。分割画面表示中は、ダブルクリックしたカメラチャンネルの1画面に切り換わります。

画面表示と遷移

モニター出力は HDMI 出力、アナログ RGB 出力とスポット出力があります。

HDMI 出力やアナログ RGB 出力は、ライブ画面、再生画面、カメラ制御画面や設定メニュー画面を表示します。

スポット出力は、HDMI 出力やアナログ RGB 出力と同じ映像を表示したり、ライブ映像専用の出力として1画面表示、分割画面表示、シーケンス表示します。(P. 5-14「スポット出力」)

メモ

- HDMI 出力とアナログ RGB 出力は、同じ映像を出力します。
- スポット出力をライブ映像専用の出力に設定しているときは OSD 表示はできません。

○：表示可 ×：表示不可

表示画面	ライブ画面						
	1画面	分割画面	シーケンス	電子ズーム	PIP	フリーズ	操作メニュー
HDMI 出力	○	○	○	○	○	○	○
アナログ RGB 出力							
スポット出力*2							
ライブ映像専用	○	○	○	×	×	×	×

表示画面	再生画面				カメラ制御画面		設定メニュー画面
	1画面	分割画面	電子ズーム	操作メニュー	1画面	操作メニュー	
HDMI 出力	○	○	○	○	○	○	○
アナログ RGB 出力							
スポット出力*2							
ライブ映像専用	×	×	×	×	×	×	×

*2 スポット出力は、工場出荷時は HDMI 出力やアナログ RGB 出力と同じ映像を出力します。

■ 画面の概要

画面	説明
ライブ画面	電源起動後の表示画面です。モニター出力に現在のカメラ映像を表示します。
ライブ操作メニュー	ライブ画面に表示するカメラの選択などライブ画面操作を行います。再生画面やカメラ制御画面、設定メニュー画面への切り換えも行います。
再生画面	録画されたデータを再生します。
再生操作メニュー	再生画面に表示するカメラの選択や再生操作を行います。ライブ画面への切り換えも行います。
カメラ制御画面	コンビネーションカメラの簡易操作、メニュー設定やAHDカメラのメニュー設定を行います。
カメラ制御メニュー	コンビネーションカメラのオート動作の選択やメニュー画面を表示します。また、AHDカメラのメニュー画面も表示します。
設定メニュー画面	カメラ名や録画設定など、本機を使用するときの設定を行います。

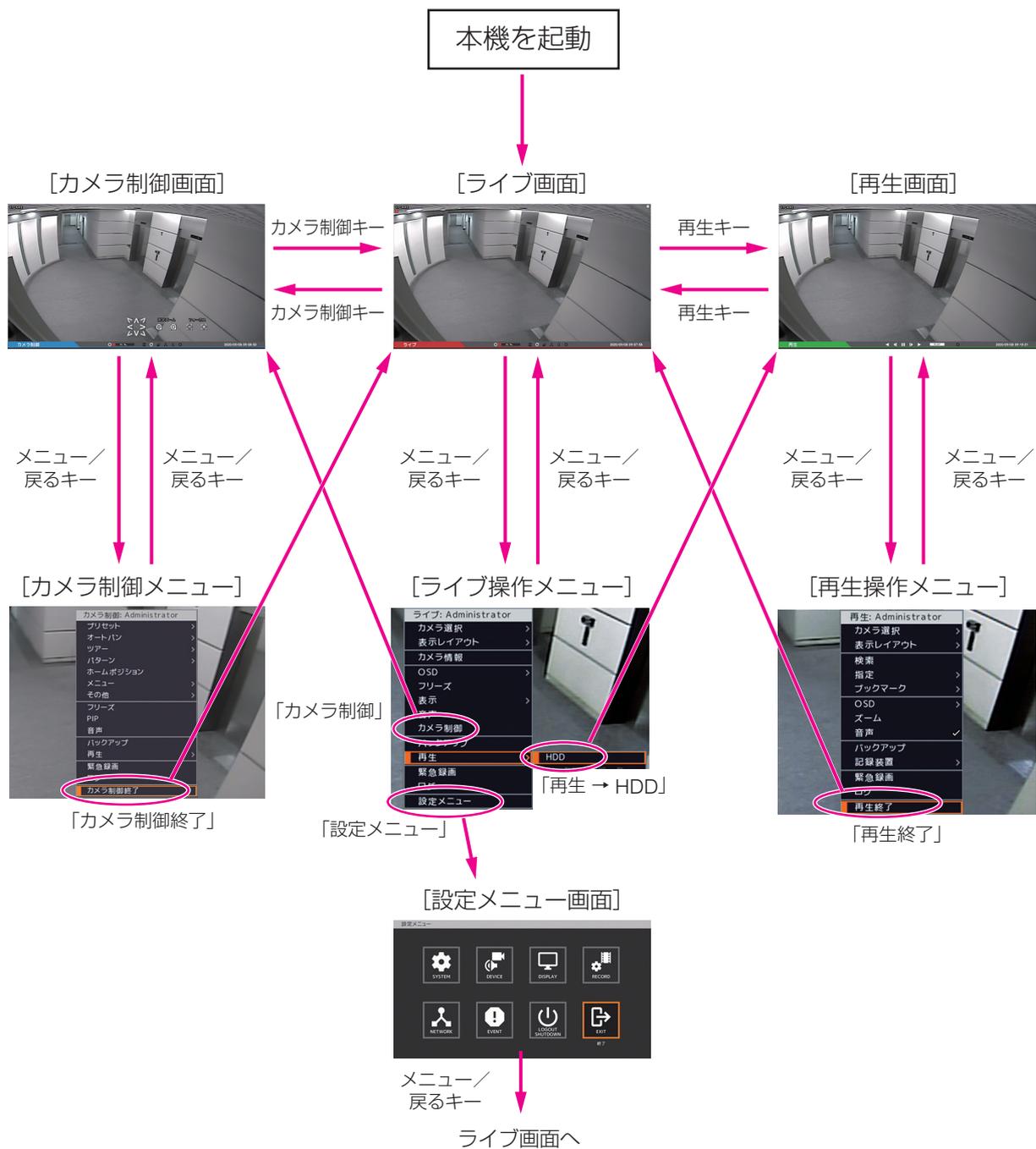
メモ

ライブ画面、再生画面、カメラ制御画面は、画面下部に表示されるステータスバーなどで見分けることができます。

[ステータスバー]

ライブ画面 (赤)	: 	2020/09/07 13:05:07
再生画面 (緑)	: 	2020/09/07 13:55:27
カメラ制御画面 (青)	: 	2020/09/07 13:55:53

■ 画面の遷移



第4章

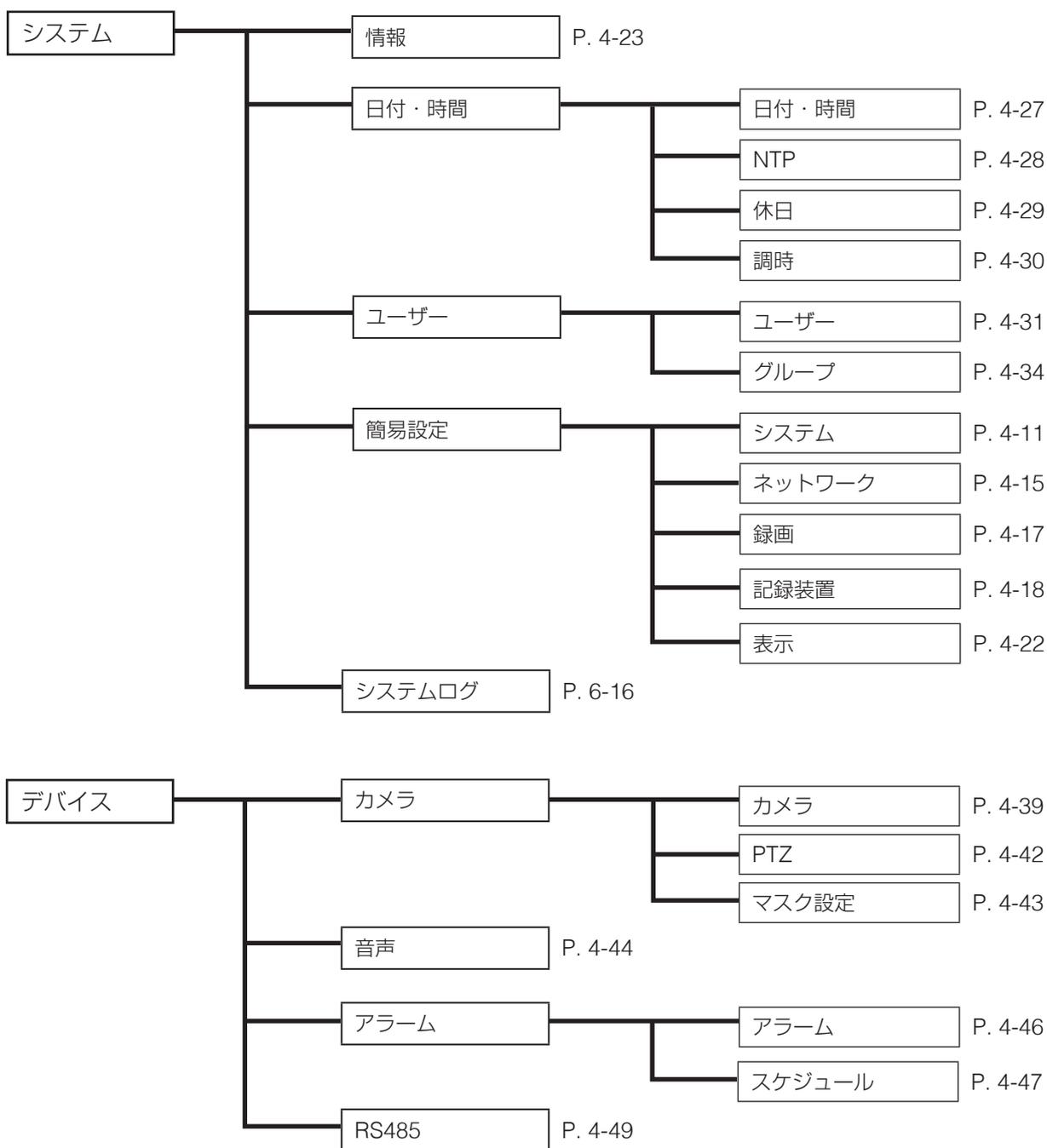
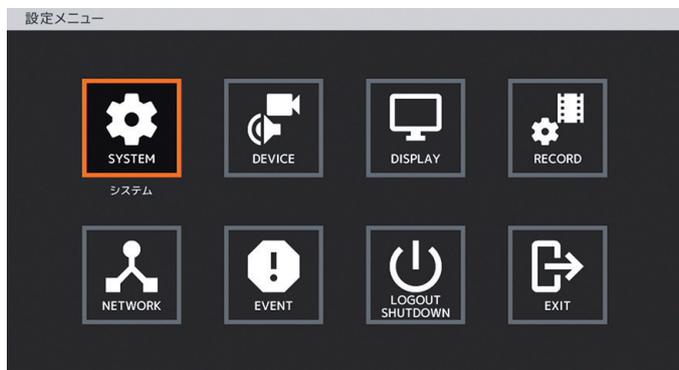
設定のしかた

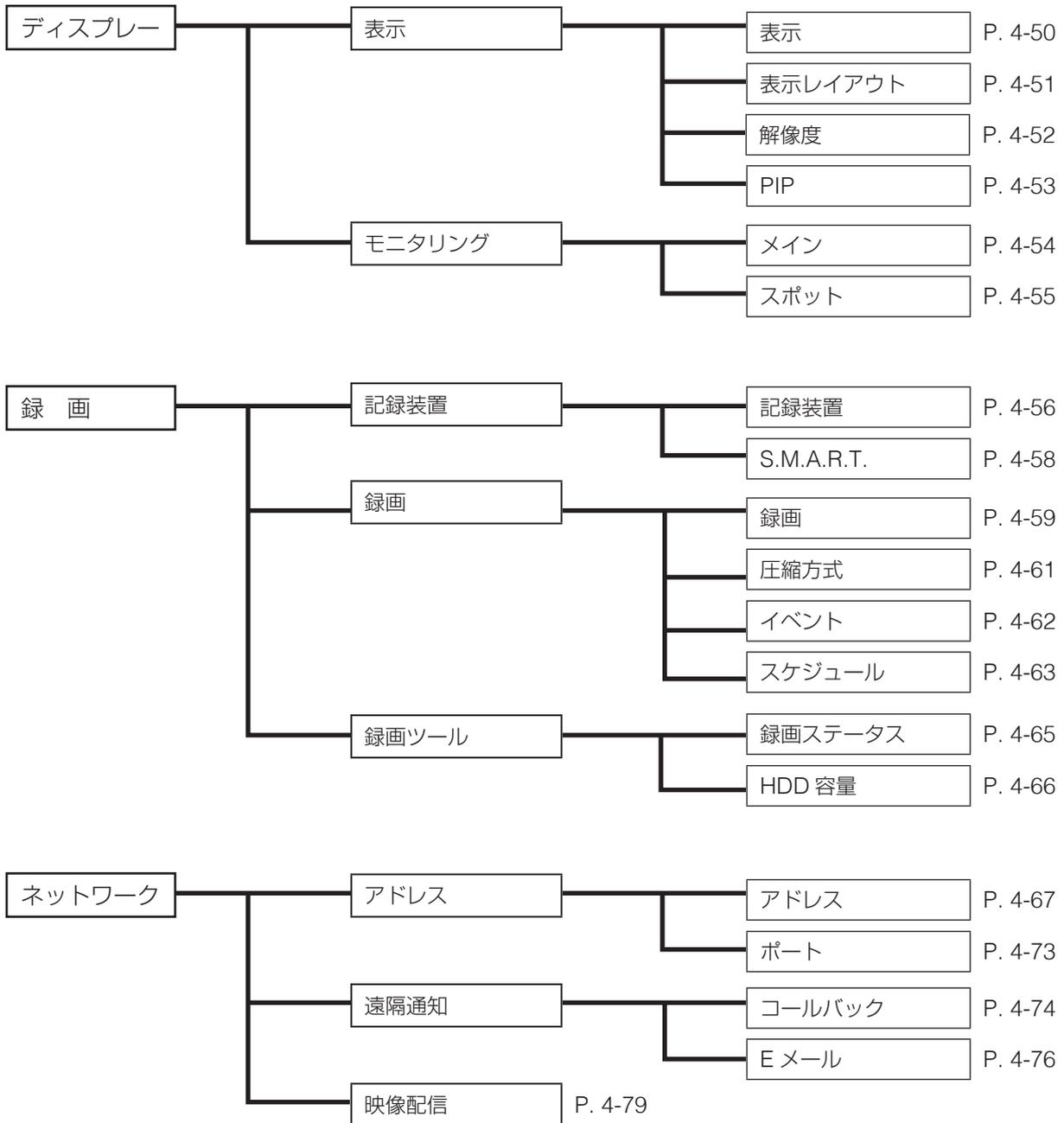
設定メニュー構成

設定メニューの設定項目は、次の7つから構成されています。

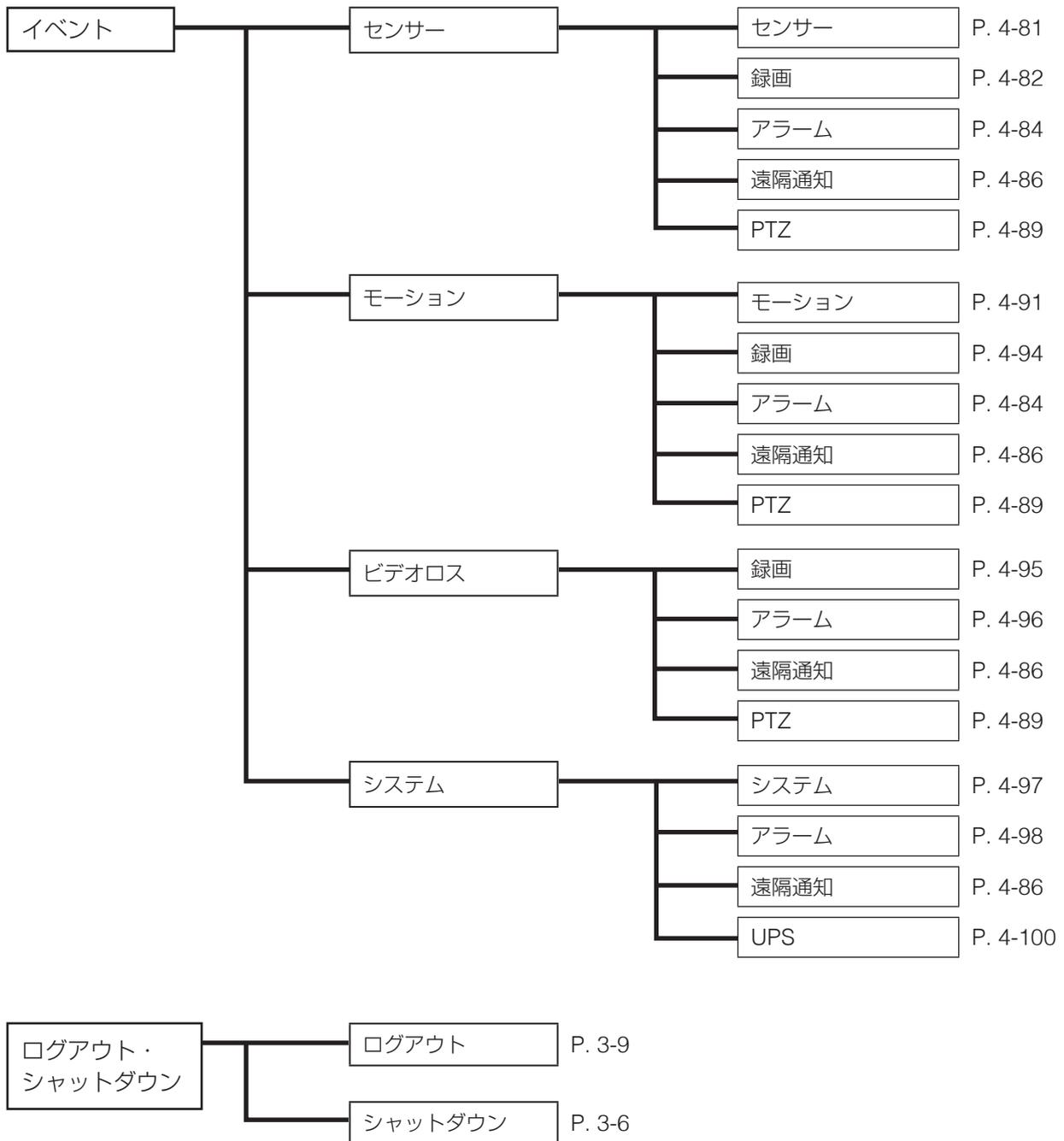
- システム設定
- デバイス設定
- ディスプレー設定
- 録画設定
- ネットワーク設定
- イベント設定
- ログアウト・シャットダウン

設定メニュー画面





第4章 設定のしかた



設定メニューの基本操作

本機の設定を変更できます。使用する前に、必要な設定を行ってください。

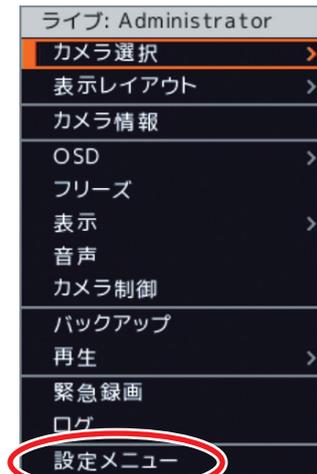
ご注意

設定変更は、設定権限を持つユーザーでログインしている場合のみ行えます (P. 3-8 「ログイン」)。

■ 設定メニュー画面を表示する

上下左右キーで選択している項目 (オレンジ色) を移動します。

[ライブ操作メニュー]



1 ライブ画面でメニューキーを押す。

ライブ操作メニューが表示されます。

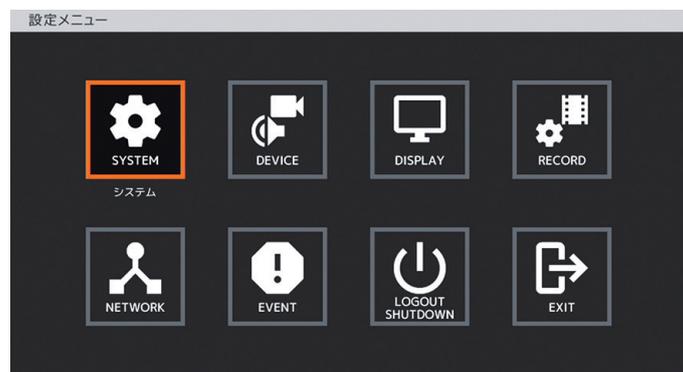
[メモ]

- ライブ操作メニューを閉じる場合は、メニューキーを押します。
- ログアウト時はログイン画面が表示されます。
設定権限を持つユーザーでログインしてください。

2 ライブ操作メニューの「設定メニュー」を選択し、決定キーを押す。

設定メニュー画面が表示されます。

[設定メニュー画面]



■ 設定を変更する

上下左右キーで選択している項目（オレンジ色）を移動し、決定キーを押します。
以下は、時刻を変更する場合の操作例です。

1 設定メニュー画面の「システム」を選択し、決定キーを押す。
システム設定画面が表示されます。

2 システム設定画面の「日付・時間」を選択し、決定キーを押す。

[システム設定画面]



日付・時間設定画面が表示されます。

3 時間を選択し、決定キーを押す。
カーソルが表示され、数値が変更できるようになります。

[日付・時間設定画面]



4 左右キーで時・分・秒にカーソルを移動し、上下キーで数値を変更する。

メモ

- 録画レートやネットワークのIPアドレス、UPSの電源異常待機時間（秒）など数値の設定範囲が広い項目は、数値を直接入力することができます。（P. 4-8 「数値を直接入力する」）
- マウスの場合は、時・分・秒をクリックし、ホイールを上下に回転、または、 で数値を変更できます。

5 決定キーを押す。

数値が保存され、カーソルが消えます。

6 「OK」を選択し、決定キーを押す。

時刻を保存し前画面に戻ります。

メモ

「キャンセル」を選択し、決定キーを押すと、時刻を保存せずに前画面に戻ります。

7 システム設定画面で「トップメニュー」を選択し、決定キーを押す。

設定メニュー画面に戻ります。

メモ

- チェックボックスを選択し決定キーを押すとチェックが入り、もう一度決定キーを押すとチェックが外れます。
- 選択肢の変更は、設定項目を選択して決定キーを押すと選択肢が表示されるため、上下キーで選択し決定キーを押します。

第4章 設定のしかた

● 数値を直接入力する

録画レートやネットワークの IP アドレス、UPS の電源異常待機時間など、数値の設定範囲が広い項目は、数値を直接入力できます。

数値を直接入力できる項目は以下のとおりです。

入力できる項目	参照ページ
簡易ネットワーク設定およびネットワークアドレス設定（有線 LAN / Wi-Fi）の IP アドレス / サブネットマスク / ゲートウェイ / DNS サーバー / ネットワークポート / ウェブポート	🔍 P. 4-15 「ネットワーク設定（簡易設定）」 🔍 P. 4-67 「アドレス設定」
ネットワーク遠隔通知設定のコールバックポート / Eメール SMTP ポート	🔍 P. 4-74 「遠隔通知設定」
ネットワーク映像配信設定の帯域制限 / ips	🔍 P. 4-79 「映像配信」
イベントシステム設定の残容量警告しきい値 / 電源異常待機時間	🔍 P. 4-97 「ハードディスクの S.M.A.R.T. 限界温度や残容量警告しきい値を設定する」 🔍 P. 4-100 「UPS の設定を行う」
デバイス設定の PTZ アドレス	🔍 P. 4-42 「コンビネーションカメラ設定をする (PTZ)」
録画共通設定の自動消去日数	🔍 P. 4-59 「各録画の共通設定をする」

以下は、キーの数値入力のみ可能な項目です。

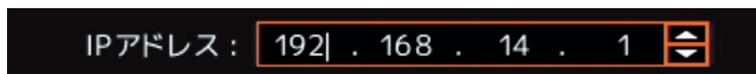
入力できる項目	参照ページ
簡易録画設定 / 録画共通設定 / 録画スケジュール設定 / 録画ツール (HDD 容量) の ips (録画レート)	🔍 P. 4-17 「録画設定（簡易設定）」 🔍 P. 4-59 「各録画の共通設定をする」 🔍 P. 4-64 「録画設定画面」 🔍 P. 4-66 「記録時間を算出する (HDD 容量)」
PTZ 設定のスピード	🔍 P. 4-42 「コンビネーションカメラ設定をする (PTZ)」
表示設定のステータスバー垂直位置 / OSD 垂直位置 / OSD 水平位置	🔍 P. 4-50 「OSD やステータスバー表示位置を設定する」

以下は、IP アドレスを変更する場合の操作例です。

【キーを使って数値を入力する】

1 IP アドレスを選択し、決定キーを押す。

カーソルが表示され、数値が変更できるようになります。



2 左右キーで変更したい数値にカーソルを移動する。

3 カメラ選択キー（0～9）を押す。

押したキーの数字が入力されます。

メモ

上下キーで数値を変更することもできます。

4 決定キーを押す。

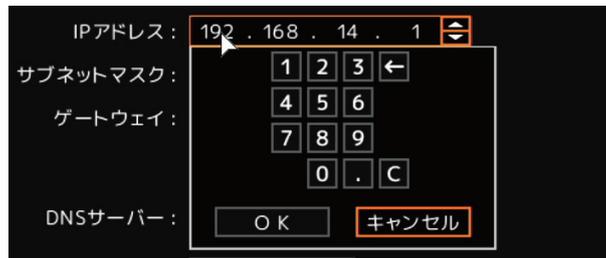
入力した数値が保存され、カーソルが消えます。

[マウスで操作する]

1 IPアドレスの数値にマウスを移動し、右クリックする。

数字キーパッドが表示されます。

[数字キーパッド画面]



2 数字キーパッドの数字をクリックする。

IPアドレスに数値が入力されます。

-  : カーソル位置の右側の1文字を削除します。
-  : カーソルがある数値欄の数値を削除し、最小の数値にします。
-  : 次の数値欄にカーソルが移動します。
-  : 入力した数値を保存して数字キーパッドが消えます。
-  : 入力した数値を保存せずに数字キーパッドが消えます。

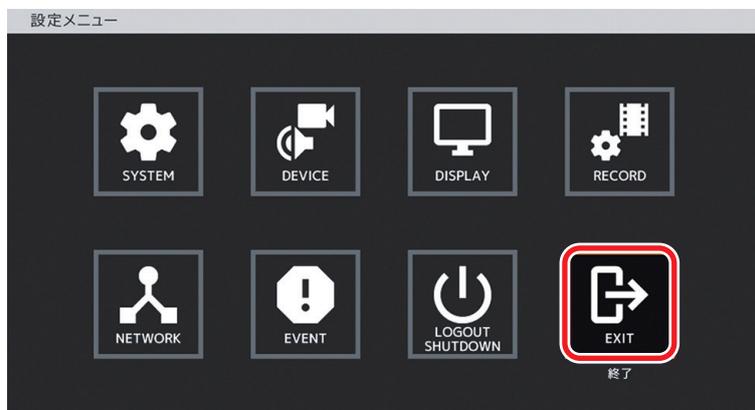
3 「OK」をクリックする。

入力した数値を保存して数字キーパッドが消えます。

■ 設定メニュー画面を終了する

1 設定メニュー画面の「終了」を選択し、決定キーを押す。

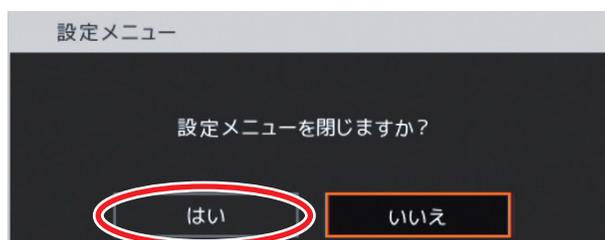
[設定メニュー画面]



設定メニュー終了確認画面が表示されます。

2 「はい」を選択し、決定キーを押す。

[設定メニュー終了確認画面]



設定メニュー画面が終了し、ライブ画面が表示されます。

簡易設定

本機の初回起動時に簡易設定画面が表示され、本機の基本的な設定を変更できます。
使用する前に、必要な設定を行ってください。
初回起動以降も設定メニューの [システム → 簡易設定] で簡易設定画面を表示できます。

簡易設定は、次の5つの基本設定によって構成されています。

- システム設定 ⇒ P. 4-11 「システム設定 (簡易設定)」
⇒ P. 4-13 「文字を入力する」
⇒ P. 4-14 「パスワードを設定する」
- ネットワーク設定 ⇒ P. 4-15 「ネットワーク設定 (簡易設定)」
- 録画設定 ⇒ P. 4-17 「録画設定 (簡易設定)」
- 記録装置 ⇒ P. 4-18 「記録装置設定 (簡易設定)」
- 表示設定 ⇒ P. 4-22 「表示設定 (簡易設定)」

■ システム設定 (簡易設定)

日付、時刻設定、言語設定、Administrator パスワードの設定など、本機の基本的な設定を行います。

ご注意

ユーザー ID 「Administrator」と「Guest」の工場出荷時の初期パスワードは、どちらも「guest」に設定されています。運用前に必ずパスワードを変更してください。

[システム設定画面]



- ① DVR 名 : デジタルレコーダーの名前を表示します。決定キーを押すと「文字入力画面」が表示されます。英数、記号で最大 32 文字まで入力できます。(P. 4-13 「文字を入力する」)
設定した DVR 名は、遠隔通知機能の E メールや DRNET の Callback イベントリストに表示されます。

ご注意

「\」「,」「%」は DVR 名に使用しないでください。
DRNET や DRNET Mobile と接続して使用したときに正しく表示されないことがあります。

第4章 設定のしかた

- ② 言語 : 表示言語を表示します。
日本語に設定されています。設定は変更しないでください。
- ③ Administrator パスワード: 「設定」を押すと、パスワード設定画面が表示されます。
Administrator のパスワードを入力します。(P. 4-14 「パスワードを設定する」)
- ④ タイムゾーン : 標準時間に対する時差を表示します。
「(GMT+ 09 : 00) Osaka, Sapporo, Tokyo」(日本) に設定されています。
設定は変更しないでください。
- ⑤ 日付 : 日付を設定します。
決定キーを押して、左右キーで年・月・日を選択し、上下キーで数値を変更します。
- ⑥ 表示形式変更 : 日付の表示方法を設定します。
[選択]
年-月-日 月/日/年
年/月/日 日-月-年
月-日-年 日/月/年
- ⑦ 時間 : 時刻を設定します。
決定キーを押して、左右キーで時・分・秒を選択し、上下キーで数値を変更します。
- ⑧ 表示形式変更 : 時刻の表示方法を設定します。
[選択]
時:分:秒 AM (PM) : 12 時間表示
時:分:秒 : 24 時間表示
- ⑨  : 設定を保存してネットワーク設定画面に移ります。
- ⑩ 閉じる : 設定を保存せずに簡易設定を終了します。

メモ

設定メニューの [システム → 情報] (P. 4-23 「情報」)、[システム → 日付・時間 → 日付・時間タブ] (P. 4-27 「現在時刻を変更する」)、[システム → ユーザー → ユーザータブ] (P. 4-33 「ユーザー設定を登録・変更する」) で同様の設定ができます。

● 文字を入力する

DVR 名やカメラ名などを英数、記号で入力します。

1 文字入力画面で英数、記号を選択し、決定キーを押す。

名称表示部に入力した文字が表示されます。

メモ

名称表示部を選択して決定キーを押すとカーソルが表示されます。左右キーで修正したい位置にカーソルが移動するため、文字の挿入、削除ができます。

2 「OK」を選択し、決定キーを押す。

入力した名称を保存して前画面に戻ります。

[文字入力画面]



- ① 名称表示部 : 入力した名称が表示されます。
- ② Del : カーソル位置の右側の 1 文字を削除します。
- ③ SPACE : 1 文字分の空白を入力します。
- ④ ← : カーソル位置の左側の 1 文字を削除します。
- ⑤ ↑ : 大文字入力と小文字入力の 2 つの画面を切り換えます。
- ⑥ OK : 入力した名称を保存して前画面に戻ります。
- ⑦ キャンセル : 入力した名称を保存せずに前画面に戻ります。

● パスワードを設定する

本機で各種操作や設定変更などを行うためには、それぞれの機能の操作権限を持つユーザー ID で本機にログインする必要があります。本機では、あらかじめ管理者レベルのユーザー「Administrator」が登録されています。(P. 4-31「ユーザーを設定する」)

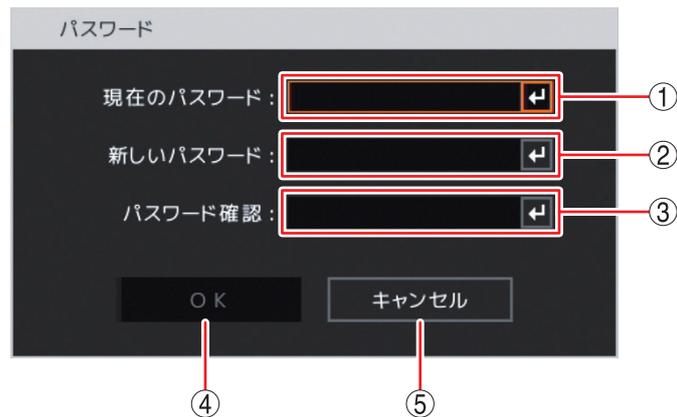
ここでは「Administrator」で本機にログインするためのパスワードを設定します。

パスワードは英数、記号で最小 4 文字から最大 16 文字まで入力できます。

【注意】

パスワードは本機を操作するうえで非常に重要な情報です。パスワードを忘れないよう、メモを取るなどして大切に保管してください。

[パスワード設定画面]



- ① 現在のパスワード : 決定キーを押すと「文字入力画面」が表示されます。
現在のパスワードを入力します。入力した文字は「*」で表示されます。
ユーザーを新しく追加するときは「現在のパスワード」の入力は不要です。(P. 4-13「文字を入力する」)
- ② 新しいパスワード : 決定キーを押すと「文字入力画面」が表示されます。
新たに登録したいパスワードを入力します。入力した文字は「*」で表示されます。
(P. 4-13「文字を入力する」)
- ③ パスワード確認 : 決定キーを押すと「文字入力画面」が表示されます。
確認のため、「新しいパスワード」と同じ文字を入力します。入力した文字は「*」で表示されます。(P. 4-13「文字を入力する」)
- ④ OK : 新しいパスワードを設定して前画面に戻ります。
- ⑤ キャンセル : 設定せずに前画面に戻ります。

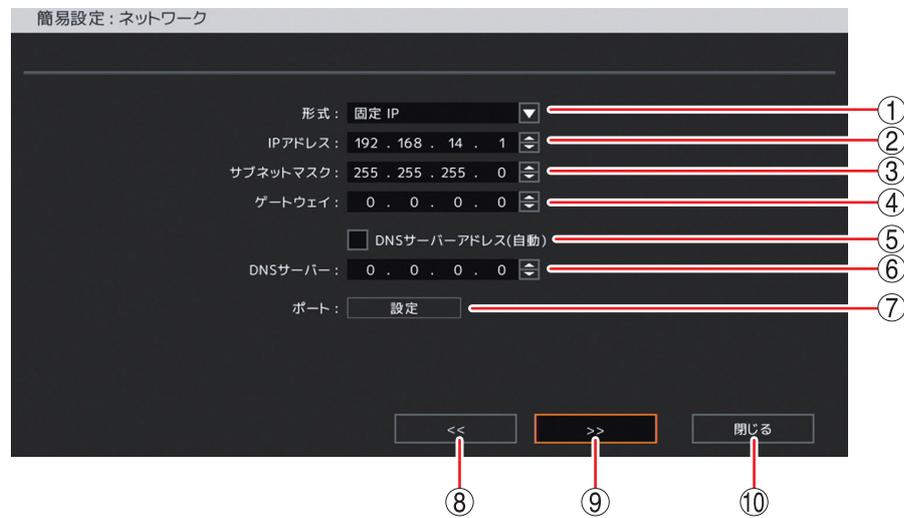
【メモ】

- 「文字入力画面」で入力した文字数が少ないときは、「パスワードが不正です。パスワードは 4 文字以上です。」とメッセージが表示されます。
- 「パスワード設定画面」で入力したパスワードが異なる場合は、以下のメッセージを表示します。
 - ・ 「現在のパスワード」が異なるとき
パスワードが不正です。
 - ・ 「新しいパスワード」と「パスワード確認」が異なるとき
パスワードが違います。

■ ネットワーク設定（簡易設定）

ネットワークへ接続するための設定を行います。

[ネットワーク設定画面]



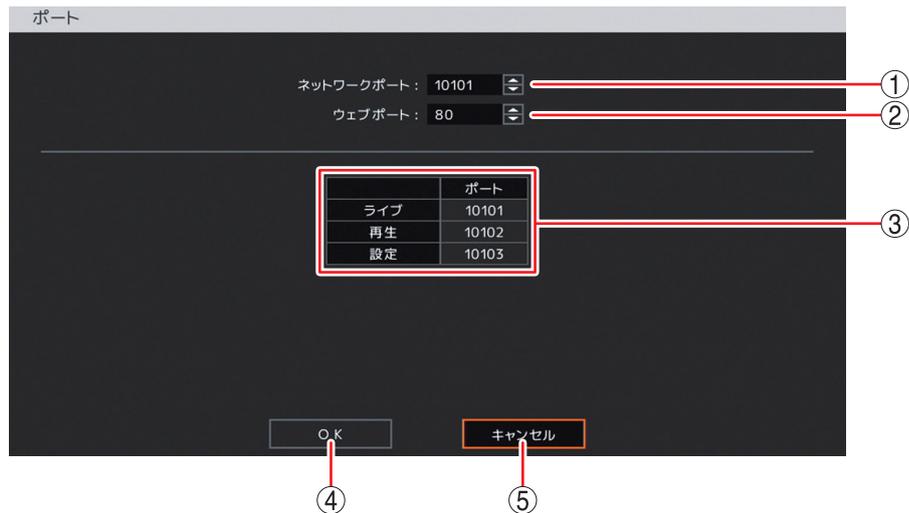
- ① 形式 : ネットワークへの接続方法を選択します。
[選択]
固定 IP : 固定 IP アドレスを設定して接続します。IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを入力してください。
DHCP : DHCP サーバーから自動で割り振られる IP アドレスを使用して接続します。
- ② IP アドレス* : 固定 IP を選択した場合に設定します。決定キーを押して、左右キーでそれぞれの数値を選択し、上下キー数値を変更します。
- ③ サブネットマスク* : 固定 IP を選択した場合に設定します。決定キーを押して、左右キーでそれぞれの数値を選択し、上下キー数値を変更します。
- ④ ゲートウェイ* : 固定 IP を選択した場合に設定します。決定キーを押して、左右キーでそれぞれの数値を選択し、上下キー数値を変更します。
- ⑤ DNS サーバーアドレス(自動) : DHCP サーバーから自動で割り振られる DNS サーバーアドレスを使用して接続する場合にチェックを入れます。
- ⑥ DNS サーバー* : 「DNS サーバーアドレス (自動)」が選択されていない場合に DNS サーバーの IP アドレスを設定します。決定キーを押して、左右キーでそれぞれの数値を選択し、上下キー数値を変更します。
- ⑦ ポート* : ネットワークへ接続するための「ポート設定画面 (次ページ)」が表示されます。
- ⑧ << : 設定を保存せずにシステム設定画面に戻ります。
- ⑨ >> : 設定を保存して録画設定画面に移ります。
- ⑩ 閉じる : 設定を保存せずに簡易設定を終了します。

* カメラ選択キーを押す、または、マウスの右クリックで数字キーパッドを表示し、数値を直接入力できます。
(P. 4-8 「数値を直接入力する」)

メモ

- DNS サーバーは、ドメイン名で指定された NTP サーバーやメールサーバーの IP アドレスを取得するために使用します。
- 設定メニューの [ネットワーク → アドレス → アドレスタブ] (P. 4-67 「IP アドレスを設定する」、P. 4-73 「ポートを設定する」) で同様の設定ができます。

[ポート設定画面]



- ① ネットワークポート* : DRNET、DRNET Mobile、または Web ブラウザーに映像配信するとき使用する本機のポート番号を設定します。
決定キーを押して、上下キーで 1500 ~ 32000 から数値を選択します。
- ② ウェブポート* : Web ブラウザーと接続するための本機のポート番号を設定します。
決定キーを押して、上下キーで 80 ~ 32000 から数値を選択します。
- ③ ポート : 本機で使用するポート番号が表示されます。
- ライブ : 遠隔監視に使用するポート番号です。① で設定した「ネットワークポート」の番号が割り振られます。
- 再生 : 遠隔再生に使用するポート番号です。① で設定した「ネットワークポート」に 1 を加えた番号が割り振られます。
- 設定 : 遠隔設定に使用するポート番号です。① で設定した「ネットワークポート」に 2 を加えた番号が割り振られます。
- ④ OK : 設定を保存して前画面に戻ります。
- ⑤ キャンセル : 設定を保存せずに前画面に戻ります。

* カメラ選択キーを押す、または、マウスの右クリックで数字キーパッドを表示し、数値を直接入力できます。
(P. 4-8 「数値を直接入力する」)

メモ

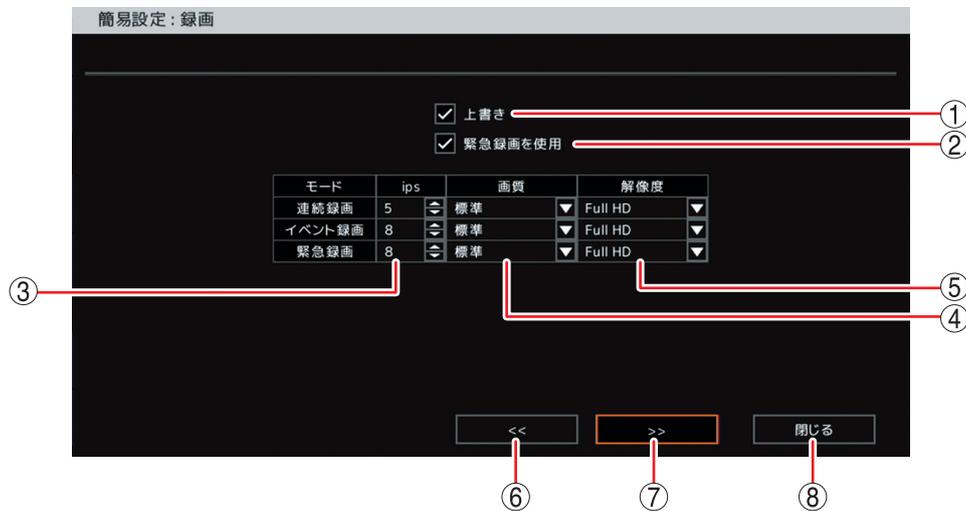
- ネットワークポート (ライブ、再生、設定) とウェブポートは同じ番号は使用できません。同じ番号にすると警告メッセージが表示されますので、異なる番号を設定してください。
- ポート番号は、有線 LAN と Wi-Fi で共通になります。

■ 録画設定（簡易設定）

録画の基本設定を行います。

工場出荷時は連続録画を行うように録画スケジュールが設定されています。接続したすべてのカメラを以下の画面の条件で録画します。

[録画設定画面]



- ① 上書き : ハードディスクのすべての領域に録画データが書き込まれたときに、自動的に古いデータを消しながら録画を継続する場合にチェックを入れます。

ご注意

上書きが選択されていない場合は、ハードディスクのすべての領域に録画データが書き込まれた時点で録画を停止します。

- ② 緊急録画を使用 : 緊急録画を使用する場合はチェックを入れます。

ご注意

「緊急録画を使用」が選択されていない場合は、緊急録画キーを押す、ライブ操作メニューや再生操作メニューで緊急録画を選択する、または、緊急録画入力端子に入力があっても、緊急録画は行いません。

- ③ ips * : 連続録画、イベント録画、緊急録画のカメラ 1 台あたりの録画レートを設定します。1 ~ 30 ips で設定します。

- ④ 画質 : 連続録画、イベント録画、緊急録画の画質を設定します。
[選択] 最高/高/標準/中/低

- ⑤ 解像度 : 録画データの解像度を選択します。

[選択]

4M : 使用できません Full HD : 1920 × 1080 HD : 1280 × 720
WD1 : 944 × 480 D1 : 704 × 480 WQVGA : 480 × 272

ご注意

- NTSC カメラを接続しているチャンネルは、Full HD または HD を選択した場合、WD1 の解像度で録画されます。
- Full HD を選択した場合は、総録画レートは 240 ips に制限されます。(P. 5-19 「録画レートについて」)

- ⑥ << : 設定を保存せずにネットワーク設定画面に戻ります。

- ⑦ >> : 設定を保存して記録装置画面に移ります。

- ⑧ 閉じる : 設定を保存せずに簡易設定を終了します。

* カメラ選択キーを押して、数値を直接入力できます。(P. 4-8 「数値を直接入力する」)

メモ

設定メニューの [録画 → 録画 → 録画タブ] (P. 4-59 「各録画の共通設定をする」) で同様の設定ができます。

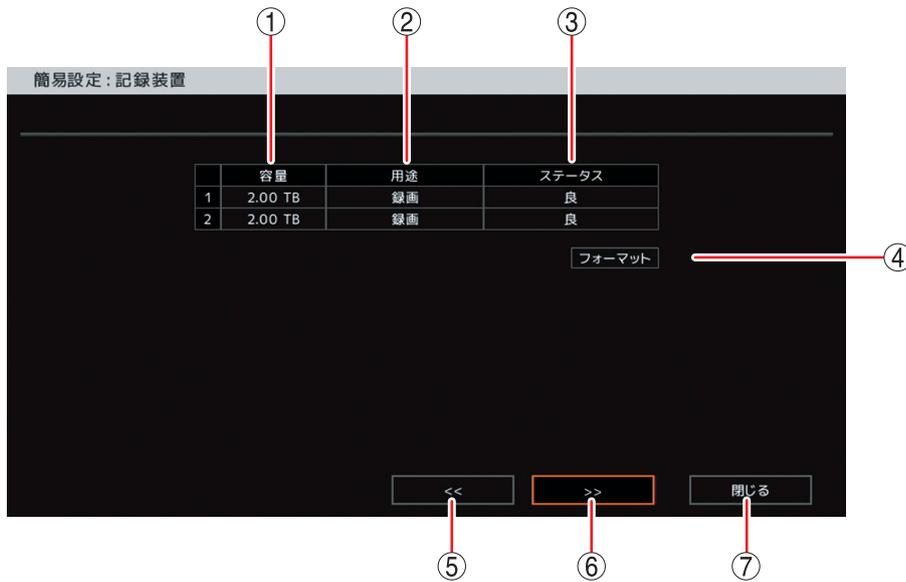
■ 記録装置設定（簡易設定）

ハードディスク内の録画データをすべて消去して使用する場合にハードディスクをフォーマットします。内蔵している2台のハードディスクに、同時に同じデータを録画するミラーリング機能を設定することもできます。工場出荷時は、ハードディスクは「録画」でフォーマットされています。ミラーリング機能を使う場合には、「ミラーリング」でフォーマットしてください。（P. 4-20「ハードディスクをミラーリングする」）

【注意】

- フォーマットすると、ハードディスク内の録画データ、イベントログが消去されます。ハードディスクに必要な録画データがある場合は、あらかじめUSBメモリーに保存してください。ただし、イベントログは保存できません。（P. 5-37「録画データのバックアップ（コピー）」）
- フォーマット中に主電源スイッチを「切」にしないでください。また、電源プラグを抜かないでください。ハードディスク内のデータ破損やハードディスク故障の原因となることがあります。

[記録装置画面]



- ① 容量 : 記録装置の容量を表示します。
- ② 用途 : 記録装置の用途を表示します。
[選択]
録画 : 録画ハードディスク
ミラーリング : ミラーリングハードディスク
- ③ ステータス : 記録装置の状態を表示します。

【注意】

「不良」と表示されている場合は、ハードディスクエラーです。フォーマットを行ってください。

フォーマットしても「不良」と表示される場合には、ハードディスクを交換する必要があります。販売店へお問い合わせください。

- ④ フォーマット : ハードディスクをフォーマットします。（P. 4-19「ハードディスクをフォーマットする」、P. 4-20「ハードディスクをミラーリングする」）
- ⑤ << : 録画設定画面に戻ります。
- ⑥ >> : 表示設定画面に移ります。
- ⑦ 閉じる : 簡易設定を終了します。

【メモ】

設定メニューの [録画 → 記録装置 → 記録装置タブ]（P. 4-56「記録装置」）で同様の設定ができます。

● ハードディスクをフォーマットする

- 1** 記録装置画面で「フォーマット」を選択し、決定キーを押す。
フォーマット画面が表示されます。

メモ

記録装置画面は、設定メニュー画面で [録画 → 記録装置 → 記録装置タブ] を選択すると表示されます (P. 4-56)。また、初回起動時の簡易設定画面 (記録装置設定) でも表示されます (P. 4-18)。

[フォーマット画面]



- 2** フォーマットするハードディスクのチェックボックスを選択し、決定キーを押す。

ハードディスク番号のチェックボックスにチェックが入ります。再度押すと、選択を解除できます。チェックが入ると「フォーマット」ボタンが選択可能になります。



- 3** 「ミラーリング使用」チェックボックスを確認する。

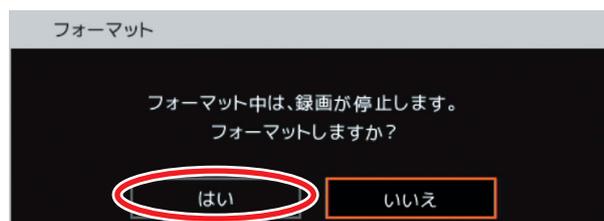
チェックボックスにチェックが入っていないことを確認してください。

チェックが入っている場合は、チェックボックスを選択し、決定キーを押すと選択が解除されます。ミラーリング機能を使用する場合は、チェックボックスにチェックを入れます。(P. 4-20 「ハードディスクをミラーリングする」)

- 4** 「フォーマット」を選択し、決定キーを押す。

フォーマット確認画面が表示されます。

[フォーマット確認画面]



メモ

フォーマットにかかる時間は約3分です。

- 5** 「はい」を選択し、決定キーを押す。

フォーマットが開始されます。フォーマットが完了すると、記録装置画面に戻ります。

● ハードディスクをミラーリングする

2 台のハードディスクに同じデータを書き込み、一方のハードディスクが故障しても、もう一方のハードディスクで録画を継続する機能をミラーリングといいます。

1 台のハードディスクを「録画ハードディスク」、録画ハードディスクと同じデータが書き込まれるハードディスクを「ミラーリングハードディスク」と呼びます。

1 記録装置画面で「フォーマット」を選択し、決定キーを押す。

フォーマット画面が表示されます。

[フォーマット画面]



2 「ミラーリング使用」チェックボックスを選択し、決定キーを押す。

チェックが入り、ハードディスク番号2の「用途」が「ミラーリング」に変わります。再度押すと選択を解除できます。



3 録画ハードディスクとミラーリングハードディスクのチェックボックスを選択し、決定キーを押す。

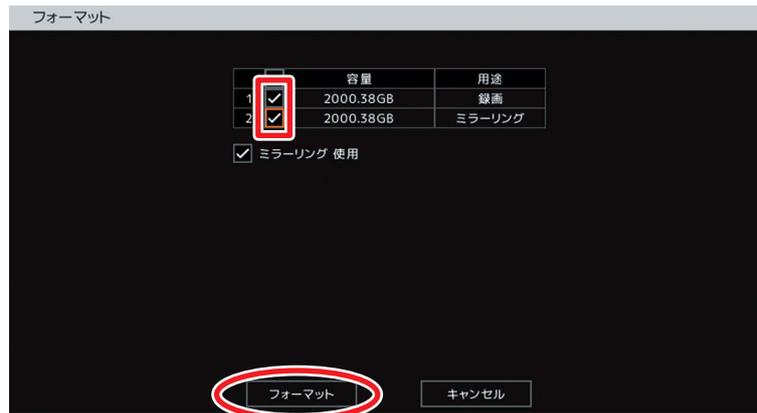
ハードディスク番号のチェックボックスにチェックが入ります。再度押すと選択を解除できます。

2 台のハードディスク番号のチェックボックスにチェックが入ると「フォーマット」ボタンが選択可能になります。

ご注意

ハードディスクをミラーリングで使用している場合は、「フォーマット」ボタンは選択できません。

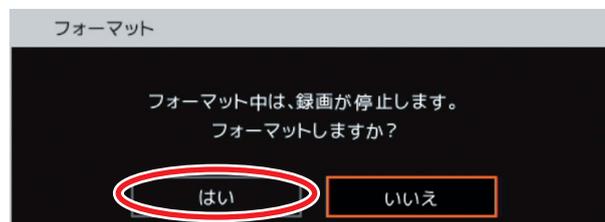
ハードディスク内の録画データをすべて消去したい場合は、ハードディスクをフォーマットしてください。ハードディスク内の録画データ、イベントログが消去されます。(P. 4-19「ハードディスクをフォーマットする」)



4 「フォーマット」を選択し、決定キーを押す。

フォーマット確認画面が表示されます。

[フォーマット確認画面]



5 「はい」を選択し、決定キーを押す。

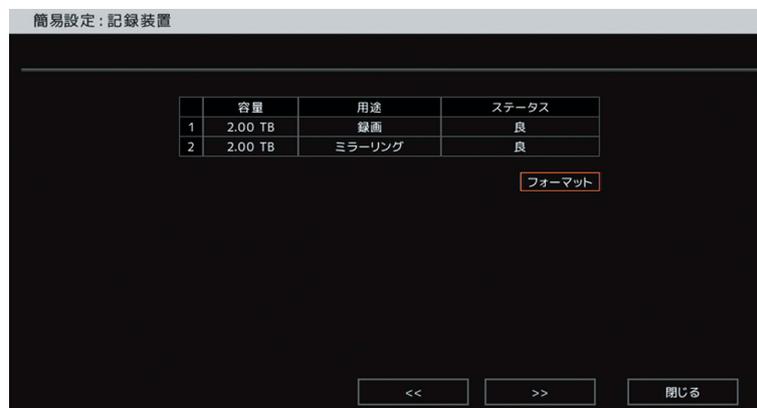
ミラーリング録画のフォーマットが開始され、最初に「ミラーリング中 ...」のメッセージが表示され、次に「フォーマット中 ...」のメッセージが表示されます。フォーマットが完了すると記録装置画面に戻ります。

メモ

フォーマットにかかる時間は約3分です。

6 ミラーリング設定を確認する。

記録装置画面でミラーリングが設定されたことを確認できます。ハードディスク番号2の「用途」が「ミラーリング」になっていることを確認してください。



■ 表示設定（簡易設定）

HDMI 出力とアナログ RGB 出力から出力する映像の解像度を、接続するモニターの解像度に合わせて設定できます。工場出荷時は 1920 × 1080 に設定されています。Full HD（1920 × 1080 60p）に対応したモニターを使用してください。

HDMI 出力のみ使用する場合は、本機の解像度を 3840 × 2160 に設定して、4K（3840 × 2160 30p）に対応したモニターを使用することで、さらに鮮明な映像を表示することもできます。

ご注意

- 本機で設定する出力解像度に対応していないモニターは使用できません。
- HDMI 出力とアナログ RGB 出力の解像度を異なる設定にすることはできません。

[モニター解像度設定画面]



① 解像度 : 出力する解像度を設定します。

ご注意

アナログ RGB 出力は、3840 × 2160、2560 × 1440 の解像度を使用できません。

誤って設定しても、20 秒程度待つと元の解像度に戻ります。

② HDMI の解像度を自動で検知する : チェックを入れると、本機で設定した出力解像度が HDMI 出力と接続しているモニターで対応しているか確認し、対応している場合は設定した出力解像度のまま出力します。対応していない場合は最適な解像度に自動で変更します。
チェックを外すと、本機で設定した出力解像度のまま出力します。モニターが対応していない場合は映像が正しく表示されません。
このため、通常はチェックを入れてください。

③ << : 記録装置画面へ戻ります。

④ 閉じる : 簡易設定を終了します。

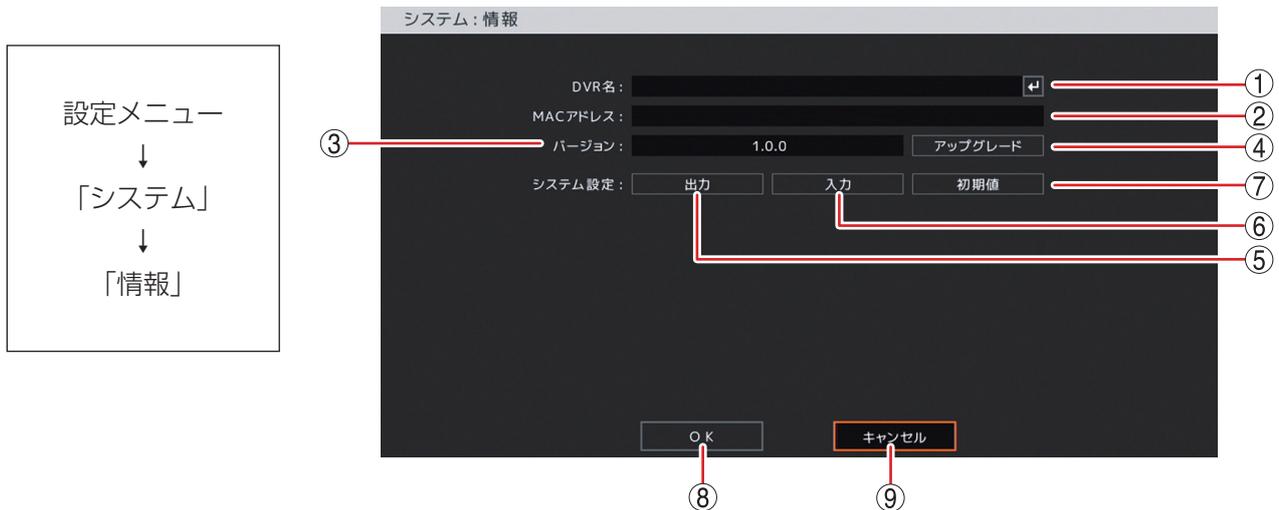
×モ

設定メニューの[ディスプレイ → 表示 → 解像度タブ]で同様の設定ができます。また、工場出荷時やモニター交換時に接続するモニターの解像度が本機の解像度に非対応でモニターに映像が表示されない場合は、前面キーで解像度を変更することができます。(P. 4-52「モニター出力の解像度を決める」)

システム設定

■ 情報

本機の設定データを工場出荷時に戻したり、USB メモリーに出力したりすることができます。また、USB メモリーから本機へ設定データを入力することができます。設定メニュー画面で [システム → 情報] を選択すると、以下の画面が表示されます。



- ① DVR 名 : デジタルレコーダーの名前を表示します。決定キーを押すと「文字入力画面」が表示されます。英数、記号で最大 32 文字まで入力できます。(P. 4-13 「文字を入力する」) 設定した DVR 名は、遠隔通知機能の E メールや DRNET の Callback イベントリストに表示されます。

ご注意

「\」, 「,」, 「%」は DVR 名に使用しないでください。
DRNET や DRNET Mobile と接続して使用したときに正しく表示されないことがあります。

- ② MAC アドレス : 本機の MAC アドレスが表示されます。
- ③ バージョン : 本機のファームウェアのバージョンが表示されます。
- ④ アップグレード : 本機のファームウェアを更新します。(P. 4-24 「ファームウェアを更新する」)
- ⑤ 出力 : 本機で設定しているデータを USB メモリーに保存します。(P. 4-25 「設定データを USB メモリーに保存する」)

ご注意

システム設定やネットワーク設定の一部、録画設定の圧縮方式を出力できません。詳細は、P. 7-12 「工場出荷時設定一覧表」を参照してください。

- ⑥ 入力 : USB メモリーに保存してある設定データを入力し、本機の設定を置き換えます。(P. 4-26 「USB メモリーに保存した設定データを入力する」)
- ⑦ 初期値 : 工場出荷時の設定に戻ります。

ご注意

ユーザー設定やネットワーク設定の一部、録画設定の圧縮方式は初期化されません。詳細は、P. 7-12 「工場出荷時設定一覧表」を参照してください。

- ⑧ OK : 設定を保存して前画面に戻ります。
- ⑨ キャンセル : 設定を保存せず前画面に戻ります。

● ファームウェアを更新する

ファームウェアデータの入った USB メモリーを使って、本機のファームウェアを更新することができます。使用する USB メモリーにファームウェアデータが入っていることを確認してください。

最新のファームウェアデータは、TOA 商品データダウンロードサイト (<https://www.toa-products.com/download>) から入手できます。本機の品番を検索してダウンロードし、USB メモリーに保存してください。

ファームウェアデータのファイル名：AH-R116-4A-vx.x.x.pkg
(x.x.x 部分にはバージョン番号が入ります。)

ご注意

- ファームウェアの更新は、アップグレード権限を持つユーザーでログインしている場合のみ行えます。(P. 4-31 「ユーザー設定」)
- USB メモリーは FAT32 または NTFS フォーマットされたものを使用してください。
- USB メモリーは USB2.0 端子または USB3.0 端子に 1 つだけ接続してください。
- ファームウェアデータは USB メモリーの直下に保存してください。他の場所に保存するとデータを認識できません。
- ファームウェアの更新中は、主電源スイッチを「切」にしないでください。また、電源プラグを抜かないでください。
また、USB メモリーを取り外さないでください。システムに異常が発生するおそれがあります。

1 ファームウェアデータの入った **USB メモリー** を **USB2.0 端子** または **USB3.0 端子** に挿入する。

2 設定メニューの「システム」から「情報」を選択する。

本機のファームウェアバージョンが表示されます。

3 バージョンの「アップグレード」を選択し、決定キーを押す。

ファイル名確認画面が表示されます。

×モ

USB メモリーが認識できないときは「USB メモリーエラー。[No such device.]」と表示されます。

4 ファイル名確認画面で「ファイル名」を選択し、決定キーを押す。

USB メモリー内に保存されているファームウェアデータのファイルがすべて表示されます。

5 更新したいファームウェアデータのファイルを選択し、決定キーを押す。

選択したファイルが「ファイル名」に表示されます。

6 「OK」を選択し、決定キーを押す。

ファームウェアの更新を開始します。ファームウェアの更新には約 1 分程度かかります。

ファームウェアの更新が完了すると、自動的に再起動します。

×モ

- 本機に対応していないファームウェアデータを選択した場合には、以下のエラーメッセージが表示されます。
「システムアップグレード失敗。エラー：無効なパッケージ」

- ファームウェアの更新中は、録画やネットワーク配信等すべての機能は停止します。

7 再起動完了後、設定メニューの「システム」から「情報」を選択し、決定キーを押す。

更新されたファームウェアのバージョンが表示されます。

8 **USB メモリー** を取り外す。

● 設定データを USB メモリーに保存する

本機の設定データを USB メモリーへ出力することができます。出力されたファイルは、USB メモリーの直下に保存されます。

【注意】

- USB メモリーは FAT32 または NTFS でフォーマットされたものを使用してください。
- データを保存する場合は、USB メモリーを USB2.0 端子または USB3.0 端子に 1 つだけ接続してください。
- データの保存中は、USB メモリーを取り外さないでください。システムに異常が発生するおそれがあります。
- システム設定やネットワーク設定の一部、録画設定の圧縮方式は出力できません。詳細は、P. 7-12 「工場出荷時設定一覧表」を参照してください。

1 USB メモリーを USB2.0 端子または USB3.0 端子に挿入する。

2 設定メニューの「システム」から「情報」を選択し、決定キーを押す。

3 システム設定の「出力」を選択し、決定キーを押す。

ファイル名確認画面が表示されます。

メモ

USB メモリーが認識できないときは「USB メモリーエラー。[No such device.]」と表示されます。

4 ファイル名確認画面で「ファイル名」を選択し、決定キーを押す。

文字入力画面が表示され、ファイル名の入力ができます。英数、記号で最大 16 文字まで入力できます。(P. 4-13 「文字を入力する」)

メモ

ファイル名の初期値は untitled.cfg です。

【注意】

「|」「\」「/」「,」「?」「*」「<」「>」「:」はファイル名に使用できません。

5 文字入力画面でファイル名を入力し「OK」を選択し、決定キーを押す。

ファイル名確認画面に戻ります。

6 ファイル名確認画面で「OK」を選択し、決定キーを押す。

「設定値出力中…」とメッセージが表示され、出力が完了するとメッセージは消えます。

メモ

USB メモリーが認識できなくなったときや、USB メモリーの容量がいっぱいで出力できないときは「設定値出力失敗」と表示されます。

7 USB メモリーを取り外す。

● USB メモリーに保存した設定データを入力する

出力した設定データを本機へ入力することができます。

USB メモリーにデータファイルが入っていることを確認してください。USB メモリーの直下に保存されていないと設定データが認識できません。

ご注意

- USB メモリーは FAT32 または NTFS でフォーマットされたものを使用してください。
- データを読み込みする場合は、USB メモリーを USB2.0 端子または USB3.0 端子に 1 つだけ接続してください。
- データの読み込み中、または保存中は USB メモリーを取り外さないでください。システムに異常が発生するおそれがあります。
- システム設定の「入力」を実行すると、キャンセルはできません。

1 設定データの入った **USB メモリー** を **USB2.0 端子** または **USB3.0 端子** に挿入する。

2 設定メニューの「システム」から「情報」を選択し、決定キーを押す。

3 システム設定の「入力」を選択し、決定キーを押す。

ファイル名確認画面が表示されます。

USB メモリーが認識できないときは「USB メモリーエラー。[No such device.]」と表示されます。

4 ファイル名確認画面で「ファイル名」を選択し、決定キーを押す。

USB メモリー内に保存されている設定ファイルがすべて表示されます。

5 入力したいファイルを選択し、決定キーを押す。

選択したファイルが「ファイル名」に表示されます。

6 「OK」を選択し、決定キーを押す。

「設定値入力中…」とメッセージが表示され、完了するとメッセージは消えます。

USB メモリーが認識できなくなったときや、別の機種で作成された設定データを選択したときは「設定値入力失敗」と表示されます。

7 USB メモリーを取り外す。

■ 日付・時間設定

● 現在時刻を変更する

現在の時刻を設定できます。

設定メニュー画面で [システム → 日付・時間 → 日付・時間タブ] を選択すると、以下の画面が表示されます。

ご注意

- 時刻を戻す変更を行った場合、すでに録画データがあれば同時刻の録画データが重複します。
- 使用環境により本機の内蔵時計に時刻のずれが生じる場合があります。
より正確な時刻で記録するために、タイムサーバー（NTP サーバー）をご使用ください。



- ① タイムゾーン : 標準時間に対する時差を表示します。
「(GMT+ 09:00) Osaka, Sapporo, Tokyo」(日本) に設定されていますので、設定は変更しないでください。
- ② 日付 : 日付を設定します。
決定キーを押して、左右キーで年・月・日を選択し、上下キーで数値を変更します。
- ③ 表示形式変更 (日付) : 日付表示形式を設定します。
[選択]
年-月-日 月/日/年
年/月/日 日-月-年
月-日-年 日/月/年
- ④ 時間 : 時刻を設定します。
決定キーを押して、左右キーで時・分・秒を選択し、上下キーで数値を変更します。
- ご注意**
NTP 設定を有効にしている場合は、現在時刻の設定ができません。現在時刻変更後に自動的に NTP 調時が行われます。(P. 4-28 「NTP 調時機能を設定する」)
- ⑤ 表示形式変更 (時間) : 時刻の表示方法を設定します。
[選択]
時:分:秒 AM (PM) : 12 時間表示
時:分:秒 : 24 時間表示
- ⑥ OK : 設定を保存して前画面に戻ります。
[X] [モ]
- NTP 設定で“NTP を使用する”にチェックが入っていると、同時に NTP 調時が動作します。(P. 4-28 「NTP 調時機能を設定する」)
- ⑦ キャンセル : 設定を保存せずに前画面に戻ります。

● NTP 調時機能を設定する

ネットワーク上にある NTP サーバーに接続し、本機の現在時刻を調時します。

本機を起動したときや NTP サーバーによる調時機能を有効にしたときに調時を行い、その後は設定した間隔に従って NTP サーバーへ自動で接続して調時を行います。NTP サーバーと本機のずれが ± 10 秒未満の場合、録画データが重複しないように少しずつ時刻を合わせます。

また、本機を NTP サーバーとして使用することができます。ネットワークを使用して、NTP サーバーによる調時機能を持つ機器の内蔵時計をすべて同じ時刻に調時することができます。

接続にネットワークを使うため、ネットワークの設定を行う必要があります。(P. 4-67 「ネットワーク設定」) 設定メニュー画面で [システム → 日付・時間 → NTP タブ] を選択すると、以下の画面が表示されます。

ご注意

現在時刻の設定が正確な時刻に対して 10 秒以上未来に設定されている場合、NTP サーバーに接続して調時を行うと、すでに録画データがあれば同時刻の録画データが重複します。



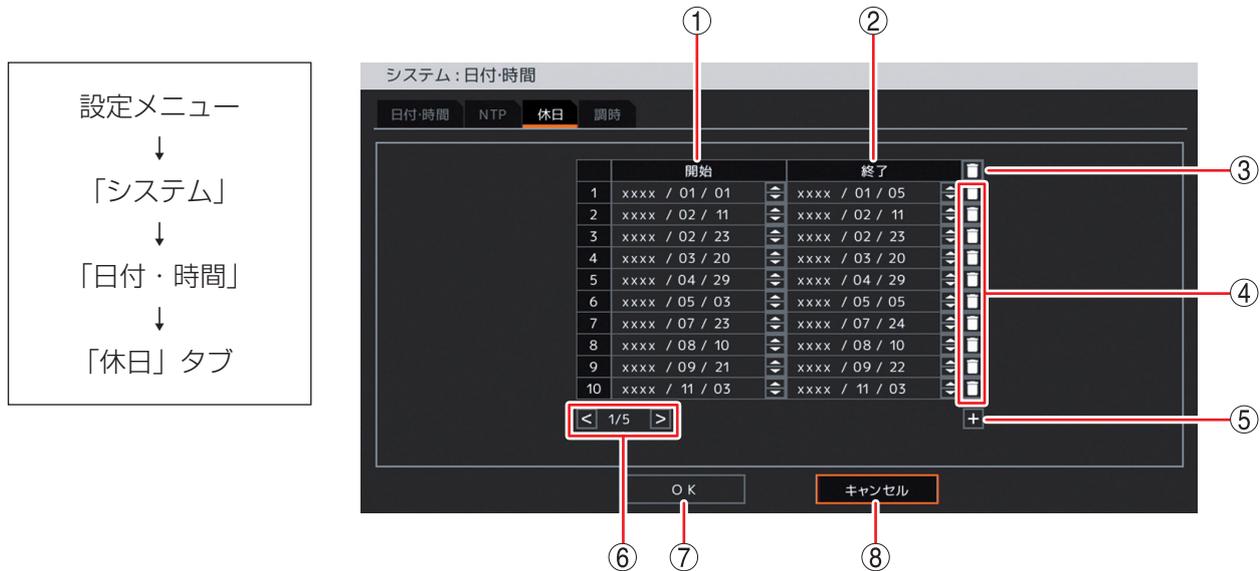
- ① NTP を使用する : チェックを入れるとネットワーク上にある NTP サーバーによる調時機能が有効になります。
- ② NTP サーバー : NTP サーバーのサーバー名または IP アドレスを表示します。
決定キーを押すと「文字入力画面」が表示されます。最大 32 文字まで入力できます。(P. 4-13 「文字を入力する」)
- ③ 間隔 : NTP サーバーに接続する間隔を設定します。
[選択] 30 分 / 1 時間 / 2 時間 / 3 時間 / 6 時間 / 12 時間 / 1 日
- ④ アップデート : 決定キーを押すと NTP サーバーに接続し、NTP 調時が動作します。
正しく調時が行われた場合、画面に「時間調整完了」のメッセージが表示されます。
メモ
NTP サーバーに接続できない場合、画面に「時間調整失敗」のメッセージが表示されます。
- ⑤ NTP サーバー機能を有効にする : チェックを入れると本機は NTP サーバーとして動作します。
本機の時刻をネットワーク経由で取得する機器は、本機の IP アドレスを NTP サーバーに設定してください。
- ⑥ OK : 設定を保存して前画面に戻ります。“NTP を使用する”にチェックが入っていると、同時に NTP 調時が動作します。
- ⑦ キャンセル : 設定を保存せずに前画面に戻ります。

● 休日を設定する

休日の設定ができます。

休日は、録画スケジュール (P. 4-63「録画スケジュールを設定する」)、アラームスケジュール (P. 4-47「アラームを有効にする条件を決める (スケジュール)」)、マスク機能 (P. 4-43「モニター画面で表示しないカメラを決める (マスク設定)」) に使用できます。

開始日と終了日を含む日を休日とします。設定は翌年以降も有効になります。最大 50 件まで設定できます。設定メニュー画面で [システム → 日付・時間 → 休日タブ] を選択すると、以下の画面が表示されます。



- ① 開始 : 休日の開始日を設定します。
決定キーを押して、左右キーで月・日を選択し、上下キーで数値を変更します。
- ② 終了 : 休日の終了日を設定します。
決定キーを押して、左右キーで月・日を選択し、上下キーで数値を変更します。
- ③ 🗑️ (全削除) : すべての休日設定を削除します。
- ④ 🗑️ (削除) : 選択した休日設定を削除します。
- ⑤ + (追加) : 休日の開始・終了日を追加します。
- ⑥ ページ切り換え : 11 件以上作成した場合、< > でページを切り換えます。
- ⑦ OK : 設定を保存して前画面に戻ります。
- ⑧ キャンセル : 設定を保存せずに前画面に戻ります。

⚠️ ご注意

祝日は年ごとに日付が異なるため、祝日の休日設定は毎年行ってください。

メモ

うるう年には 2 月 29 日を設定できます。

● 機器間の時刻を合わせる（調時）

本機をタイムサーバーや本機以外のデジタルレコーダーの時刻に合わせることができます。本機の時刻が正時±10秒未満のときは、録画データが重複しないように少しずつ時刻を合わせます。また、本機以外のデジタルレコーダーを本機の時刻に合わせることもできます。設定メニュー画面で「システム → 日付・時間 → 調時タブ」を選択すると、以下の画面が表示されます。

【注意】

- 外部機器からの調時によって10秒以上時刻を戻す変更を行った場合、すでに録画データがあれば同時刻の録画データが重複します。
- 接点調時を使用して本機の時刻を合わせる場合は、マスター機の調時出力端子と本機の調時入力端子を正しく接続してください。間違った接続を行うと、本機の時刻がずれることがあります。調時入力端子からの入力で行った場合は、システムログを保存します。



- ① 調時を使用する : 接点調時を使用する場合は、チェックを入れて有効にします。
- ② 調時モード : 本機を調時のマスター機として使用するか、スレーブ機として使用するかを選択します。
[選択]
マスター：本機の時刻が調時時刻で設定した時刻になると調時出力端子から信号を出力します。
[×モ]
調時モードがマスターのとき、本機は調時入力信号は受け付けません。
スレーブ：本機の時刻が正時±20分以内のときに、調時入力端子から信号を受け付けると本機の時刻を正時に合わせます。また、調時入力端子から入力を受けると同時に調時出力端子から信号が出力されます。
[×モ]
正時とは、ある時間の分と秒が0分0秒である時刻です。
本機の時刻が40分00秒から59分59秒にあるとき、時刻が正時まで進み、00分00秒から20分00秒にあるとき、時刻が正時まで戻ります。これら以外の時刻では調時されません。
- ③ 調時時刻 : 調時モードがマスターの場合に調時出力端子から信号を出力する時刻を設定します。
[選択]
正時 : 毎正時に出力します。
00:00 ~ 23:00 : 1日1回、設定した時間の正時に出力します。
[×モ]
調時モードがスレーブのときは、設定する必要はありません。
- ④ OK : 設定を保存して前画面に戻ります。
- ⑤ キャンセル : 設定を保存せずに前画面に戻ります。

■ ユーザー設定

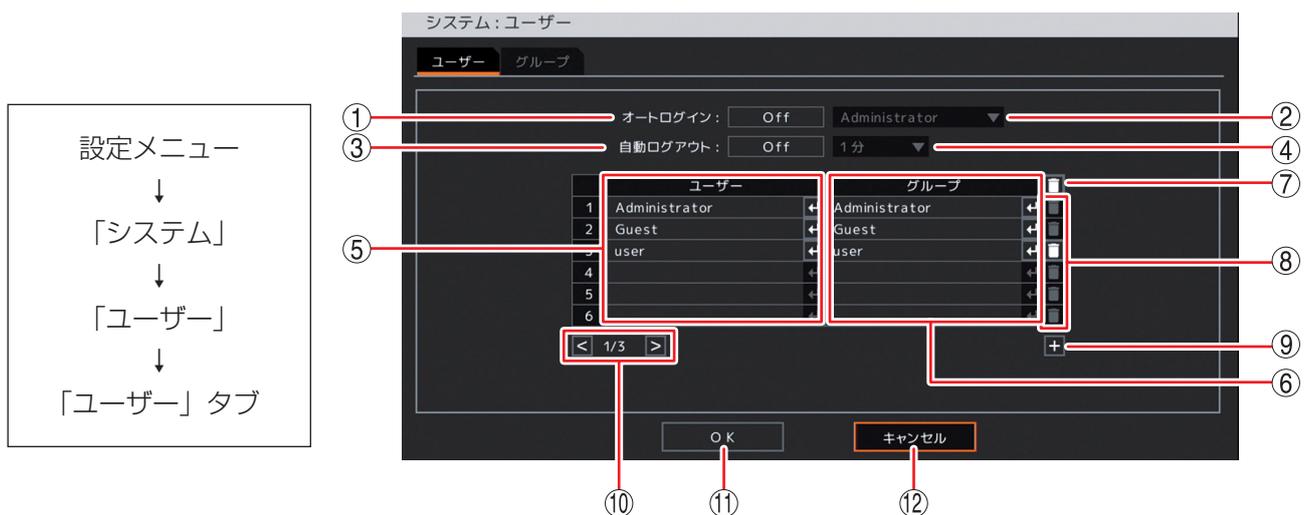
本機で各種操作や設定変更などを行うためには、それぞれの機能の操作権限を持つユーザー ID で本機にログインする必要があります。

ご注意

- 操作権限のない機能进行操作すると「アクセス拒否されました。権限を確認してください。」とメッセージが表示されます。
- ユーザー設定はグループ「Administrator」のユーザー ID だけがすべての操作ができます。「設定」権限を持つほかのユーザー ID は、自分のパスワードと自動ログアウト設定だけを変更できます。

● ユーザーを設定する

本機では、あらかじめ管理者レベルのユーザー「Administrator」と基本的な操作だけが出来るユーザー「Guest」が登録されています。ユーザーは「Administrator」と「Guest」以外に16名追加できます。設定したユーザーで自動的にログインしたり、一定時間操作しないとき自動的にログアウトしたりすることができます。また、自動ログアウトを設定しているときも手動でログアウトできます。(P. 3-9「ログアウト」) 設定メニュー画面で [システム → ユーザー → ユーザータブ] を選択すると、以下の画面が表示されます。



- ① オートログイン : On/Off の切り換えができます。
On にすると、本機を起動したときに設定したユーザーで自動的にログインします。
- ② ログインユーザー : 自動的にログインするユーザーを設定します。オートログインが On のとき有効になります。
- ③ 自動ログアウト : On/Off の切り換えができます。
On にすると、自動ログアウト時間で設定した時間が経過すると自動的にログアウトします。
- ④ 自動ログアウト時間 : 自動ログアウトが On のとき有効になります。
[選択]
10 秒 / 20 秒 / 30 秒 / 1 分 / 2 分 / 3 分 / 4 分 / 5 分 / 10 分 / 20 分 / 30 分 / 1 時間

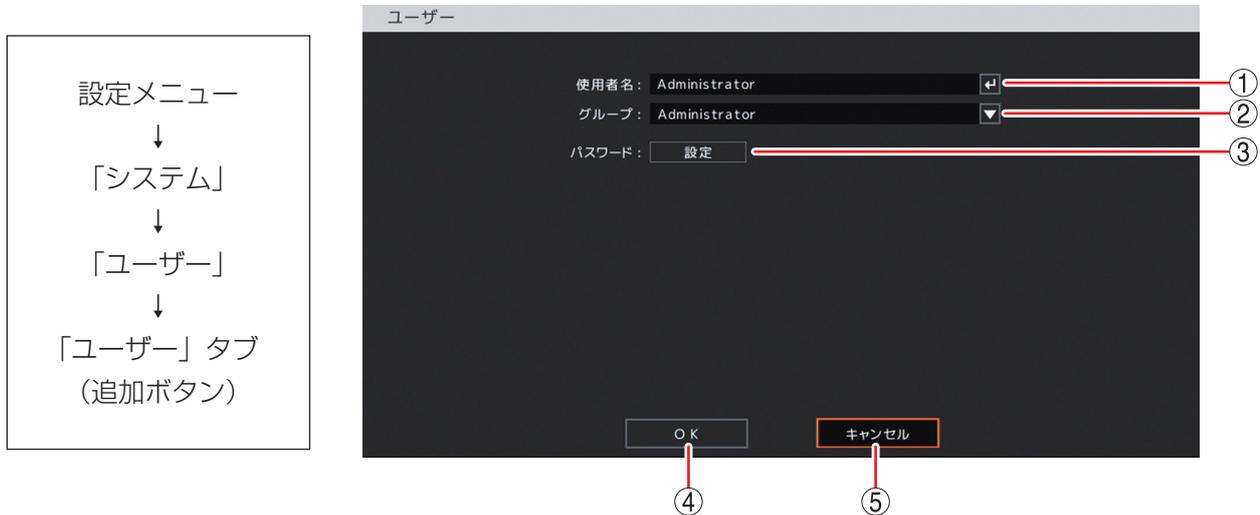
第4章 設定のしかた

- ⑤ ユーザー : 登録されているユーザーを表示します。
ユーザーの設定を変更をするときは、決定キーを押すと「ユーザー登録画面」が表示されます。(P. 4-33 「ユーザー設定を登録・変更する」)
- ⑥ グループ : 選択したユーザーの所属するグループを表示します。
決定キーを押すと操作権限が確認できます。
- メモ**
この画面ではグループの操作権限を変更できません。変更はグループ設定画面で行ってください。(P. 4-34 「グループを設定する (グループ)」)
- ⑦ **全削除** : ユーザーリストに登録されたすべてのユーザーを削除します。
決定キーを押すと確認画面が表示されます。「はい」を選択し、決定キーを押すと「Administrator」と「Guest」を除くすべてのユーザーを削除します。
- ⑧ **削除** : 選択したユーザーを削除します。
決定キーを押すと確認画面が表示されます。「はい」を選択し、決定キーを押すと選択したユーザーを削除します。
- ご注意**
「Administrator」と「Guest」は削除できません。
- ⑨ **+** (追加) : 新しいユーザーを登録します。
決定キーを押すと「ユーザー登録画面」が表示されます。(P. 4-33 「ユーザー設定を登録・変更する」)
- ⑩ ページ切り換え : ユーザーを7名以上作成した場合、**< >** でページを切り換えます。
- ⑪ OK : 設定を保存して前画面に戻ります。
- ⑫ キャンセル : 設定を保存せずに前画面に戻ります。

● ユーザー設定を登録・変更する

新しいユーザー ID の登録や、登録したユーザーのユーザー ID、グループ、およびパスワードを変更できます。設定メニュー画面で [システム → ユーザー → ユーザータブ] を選択します。追加ボタンを選択して決定キーを押すと、以下の画面が表示されます。

[ユーザー登録画面]



- ① 利用者名 : ユーザー ID を表示します。決定キーを押すと「文字入力画面」が表示され、利用者名の入力ができます。英数、記号で最大 16 文字を入力できます。(P. 4-13 「文字を入力する」)

【注意】

「\」「,」「%」は利用者名に使用しないでください。

- ② グループ : ユーザーの所属するグループを選択します。「Administrator」、「Guest」またはグループ設定 (P. 4-34) で操作権限を設定した Group 3 ~ 16 のグループ ID から選択します。

【メモ】

利用者名が「Administrator」または「Guest」の場合はグループの変更はできません。利用者名が「Administrator」のときはグループは「Administrator」であり、利用者名が「Guest」のときはグループは「Guest」です。

- ③ パスワード : パスワード設定画面を開きます。(P. 4-14 「パスワードを設定する」)

【注意】

- 必ずパスワードを設定してください。パスワードを設定すると「OK」が有効になります。
- 登録しているユーザーのパスワードを忘れた場合は、グループ「Administrator」のユーザー ID でメニューにログインし、ユーザー設定でパスワードを忘れたユーザーを削除して、再度新しいユーザーとして追加してください。
「Administrator」または「Guest」のパスワードを忘れた場合は、販売店にご相談ください。

- ④ OK : 設定した内容を保持して前画面に戻ります。
保存するには、前画面で「OK」を選択し、決定キーを押してください。

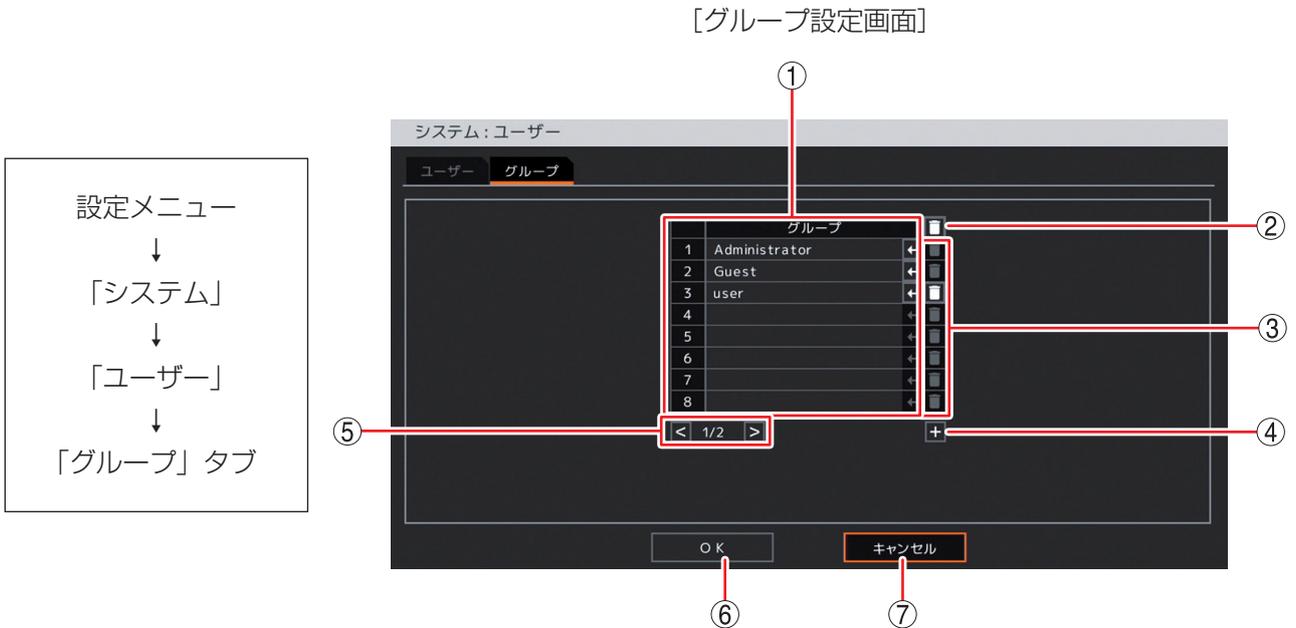
- ⑤ キャンセル : 設定を保存せずに前画面に戻ります。

● グループを設定する（グループ）

本機では、あらかじめ管理者レベルのグループ「Administrator」と基本的な操作だけができるグループ「Guest」が設定されています。「Administrator」と「Guest」以外に14のグループを設定できます。設定メニュー画面で「システム → ユーザー → グループタブ」を選択すると、以下の画面が表示されます。

ご注意

グループ設定はグループ「Administrator」のユーザーIDだけが操作できます。ほかのユーザーIDは登録、変更できません。



- ① グループ : 登録されているグループを表示します。
操作権限を変更するときは、決定キーを押します。
- ご注意**
「Administrator」と「Guest」のグループ設定は変更できません。
- ② (全削除) : グループリストに登録されたすべてのグループを削除します。
決定キーを押すと確認画面が表示されます。「はい」を選択し、決定キーを押すと「Administrator」と「Guest」を除くすべてのグループを削除します。
- ご注意**
削除したグループに設定されているユーザー（使用者名）も削除されます。
- ③ (削除) : 選択したグループを削除します。
決定キーを押すと確認画面が表示されます。「はい」を選択し、決定キーを押すと選択したグループを削除します。
- ご注意**
- 「Administrator」と「Guest」は削除できません。
 - 削除したグループに設定されているユーザー（使用者名）も削除されます。
- ④ (追加) : 新しいグループを登録します。
決定キーを押すと「グループ登録画面」が表示されます。(P. 4-35「グループ設定を登録・変更する」)
- ⑤ ページ切り換え : 9グループ以上作成した場合、 でページを切り換えます。
- ⑥ OK : 設定を保存して前画面に戻ります。
- ⑦ キャンセル : 設定を保存せずに前画面に戻ります。

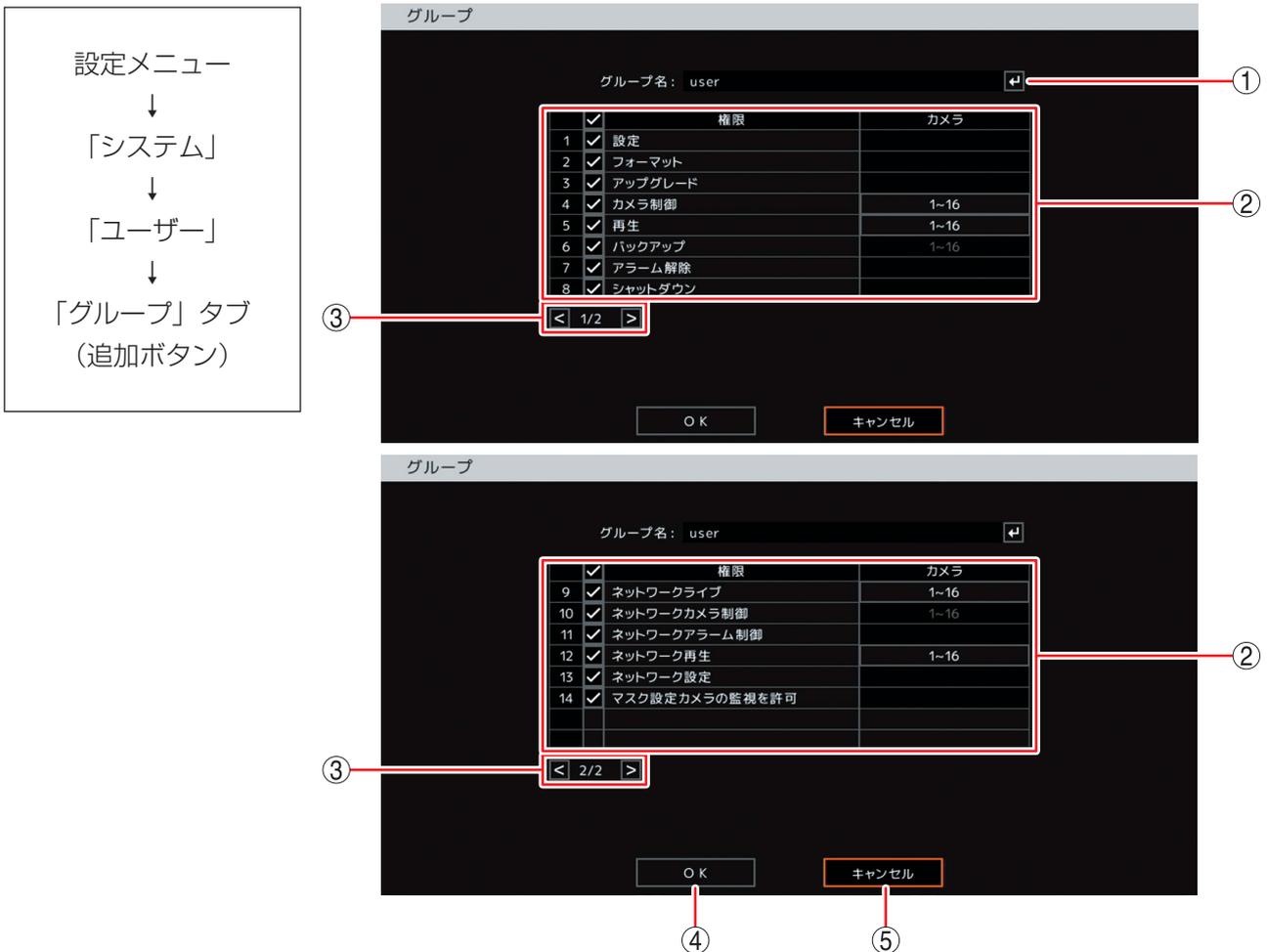
● グループ設定を登録・変更する

グループを追加する場合は、グループ名を決めて、権限を与える設定にチェックを入れて有効にします。あらかじめ設定されているグループ「Administrator」はすべての権限が有効になっています。また、グループ「Guest」はすべての権限が無効になっています。設定メニュー画面で「システム → ユーザー → グループタブ」を選択します。追加ボタンを選択して決定キーを押すと、以下の画面が表示されます。

メモ

グループ「Administrator」と「Guest」の権限は変更できません。

[グループ登録画面]



- ① グループ名 : グループ名を表示します。決定キーを押すと「文字入力画面」が表示されます。英数、記号で最大 16 文字を入力できます。(P. 4-13「文字を入力する」)

ご注意

「\」「.」「%」はグループ名に使用しないでください。

- ② 操作権限項目 : 権限を有効にするには、チェックボックスにチェックを入れます。
設定 : 設定メニューの操作権限を有効/無効にします。

ご注意

ユーザー設定はグループ「Administrator」のユーザー ID だけがすべての操作ができます。「設定」権限が有効なほかのユーザー ID は、自分のパスワードと自動ログアウト設定だけを変更できます。

- フォーマット : ハードディスク初期化の操作権限を有効/無効にします。

メモ

ハードディスクのフォーマットを実行するためには、「設定」の権限を有効にしてください。

第4章 設定のしかた

アップグレード	: ファームウェアを更新する権限を有効／無効にします。 メモ ファームウェアの更新を実行するためには、「設定」の権限を有効にしてください。
カメラ制御	: コンビネーションカメラの操作・設定変更またはAHDカメラの設定変更の権限を有効／無効にします。
再生	: 時間指定、検索を含む再生の操作権限を有効／無効にします。
バックアップ	: バックアップの操作権限を有効／無効にします。 メモ バックアップを実行するためには、「再生」の権限を有効にしてください。
アラーム解除	: アラーム状態を解除する権限を有効／無効にします。 (P. 6-15「アラーム動作」)
シャットダウン	: シャットダウンの操作権限を有効／無効にします。
ネットワークライブ*	: コンビネーションカメラ制御を除くライブ映像の操作権限を有効／無効にします。
ネットワークカメラ制御*	: コンビネーションカメラの操作・設定変更またはAHDカメラの設定変更の権限を有効／無効にします。 ご注意 ネットワークライブ権限が無効になっていると変更できません。
ネットワークアラーム制御*	: アラームの発生と解除の操作権限を有効／無効にします。 メモ ネットワークアラーム制御を実行するためには、「ネットワークライブ」の権限を有効にしてください。
ネットワーク再生*	: 時間指定、検索を含む再生の操作権限を有効／無効にします。
ネットワーク設定*	: 遠隔設定の操作権限を有効／無効にします。
マスク設定カメラの監視を許可	: 「マスク設定」のモードを「中」または「高」にしているカメラの映像を表示する権限を有効／無効にします。 (P. 4-43「モニター画面で表示しないカメラを決める (マスク設定)」)

③ ページ切り換え :   でページを切り換えます。

④ OK : 設定を保存して前画面に戻ります。

⑤ キャンセル : 設定を保存せずに前画面に戻ります。

* ネットワークを経由して、DRNET、DRNET Mobile、または Web ブラウザーのログインユーザーが本機にアクセスしたときに操作できる項目です。

■ グループ別操作権限一覧

あらかじめ設定されているグループ「Administrator」と「Guest」、新規に作成するグループで操作できる項目は以下のとおりです。

○：操作権限あり ×：操作権限なし

操作項目	ログイン	Administrator	Guest	新規グループ
ログイン・ログアウト	必要	○	○	○
設定メニューの表示	必要	○	○	○
設定メニューの設定変更	必要	○	×	×*1
ハードディスクフォーマット	必要	○	×	×*2
ファームウェアの更新	必要	○	×	×*3
操作メニューの表示	必要	○	○	○
ライブ画面の操作	必要	○	○	○
再生画面の操作	必要	○	×	×*4
バックアップ作成	必要	○	×	×*5
アラーム解除 (コントロール出力の停止、ブザー鳴動の停止、アラーム表示灯の消灯)	必要	○	×	×*6
コンビネーションカメラの操作 (マニュアル)	必要	○	×	×*7
コンビネーションカメラやAHDカメラのメニュー設定	必要	○	×	×*7
シャットダウン	必要	○	×	×*8
ネットワークライブ	—	○	×	×*9
ネットワークアラーム制御	—	○	×	×*10
ネットワーク再生	—	○	×	×*11
ネットワークからのコンビネーションカメラの操作 (マニュアル)	—	○	×	×*12
ネットワークからコンビネーションカメラやAHDカメラのメニュー設定	必要	○	×	×*13
ネットワーク設定	—	○	×	×*14
マスク設定カメラの監視	必要	○	×	×*15
緊急録画開始/停止	—	○	○	○
ログの表示・出力	必要	○	○	○

*1 「グループ設定」の「設定」にチェックが入っているグループのユーザーは操作できます。

*2 「グループ設定」の「フォーマット」にチェックが入っているグループのユーザーは操作できます。

*3 「グループ設定」の「アップグレード」にチェックが入っているグループのユーザーは操作できます。

*4 「グループ設定」の「再生」にチェックが入っているグループのユーザーは操作できます。

*5 「グループ設定」の「バックアップ」にチェックが入っているグループのユーザーは操作できます。

*6 「グループ設定」の「アラーム解除」にチェックが入っているグループのユーザーは操作できます。

*7 「グループ設定」の「カメラ制御」にチェックが入っているグループのユーザーは操作できます。

*8 「グループ設定」の「シャットダウン」にチェックが入っているグループのユーザーは操作できます。

*9 「グループ設定」の「ネットワークライブ」にチェックが入っているグループのユーザーは、DRNET、DRNET Mobile、または Web ブラウザーから本機にアクセスして操作できます。

*10 「グループ設定」の「ネットワークアラーム制御」にチェックが入っているグループのユーザーは、DRNET から本機にアクセスして操作できます。

*11 「グループ設定」の「ネットワーク再生」にチェックが入っているグループのユーザーは、DRNET、DRNET Mobile、または Web ブラウザーから本機にアクセスして操作できます。

第4章 設定のしかた

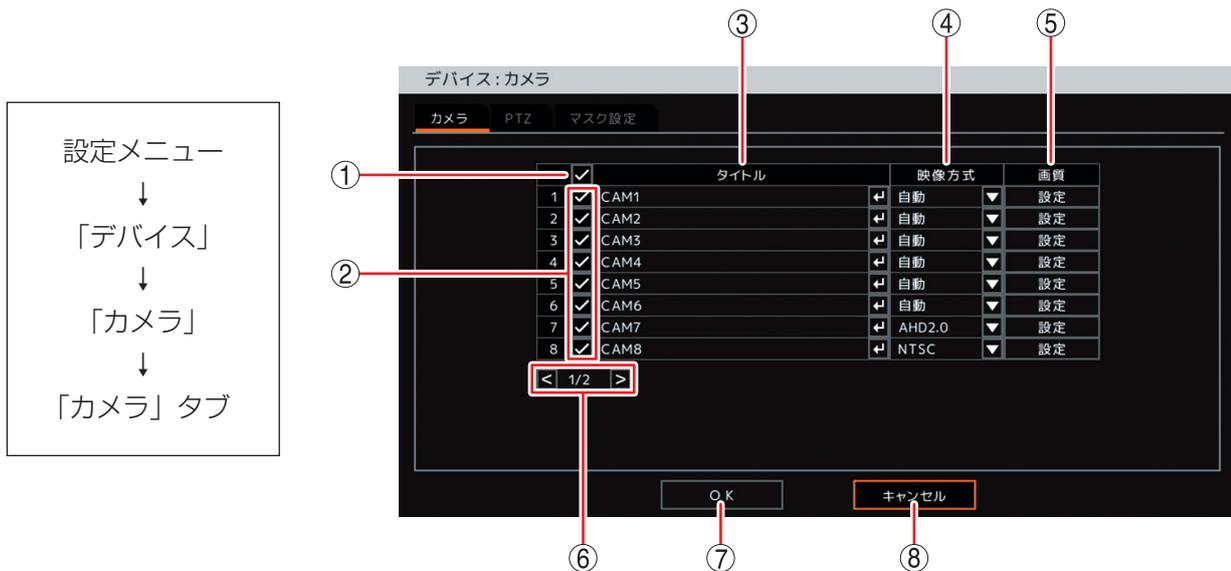
- * ¹² 「グループ設定」の「ネットワークカメラ制御」にチェックが入っているグループのユーザーは、DRNET、DRNET Mobile、または Web ブラウザーから本機にアクセスして操作できます。
- * ¹³ 「グループ設定」の「ネットワークカメラ制御」にチェックが入っているグループのユーザーは、DRNET から本機にアクセスして操作できます。
- * ¹⁴ 「グループ設定」の「ネットワーク設定」にチェックが入っているグループのユーザーは、DRNET、DRNET Mobile、または Web ブラウザーから本機にアクセスして操作できます。
- * ¹⁵ 「グループ設定」の「マスク設定カメラの監視を許可」にチェックが入っているグループのユーザーはカメラの映像を表示します。

デバイス設定

■ カメラ設定

● 使用するカメラとカメラ名称を決める

カメラチャンネル番号ごとに使用するカメラやカメラ名、画質を設定できます。設定メニュー画面で「デバイス → カメラ → カメラタブ」を選択すると、以下の画面が表示されます。



① 一斉チェックボックス：使用するカメラを一斉選択します。チェックを入れるとすべて選択し、外すとすべての選択を解除します。選択を解除すると、すべてのカメラの映像入力は無効になり、ライブ表示と録画のどちらもできません。

② チェックボックス：使用するカメラを選択します。チェックを入れると選択し、外すと選択を解除します。選択を解除すると、カメラの映像入力は無効になり、ライブ表示と録画のどちらもできません。

③ タイトル：カメラ名を表示します。決定キーを押すと「文字入力画面」が表示され、カメラ名の入力ができます。英数、記号で最大 16 文字まで入力できます。(P. 4-13「文字を入力する」)

メモ

Web ブラウザーや DRNET の遠隔設定を使用して日本語（漢字、カタカナ、ひらがな）を入力できます。すべて日本語を使用した場合、最大 10 文字まで入力できます。(P. 6-40「遠隔設定でカメラ名を設定する」) DRNET での入力方法については、DRNET の取扱説明書 (Rev. 4.0 以降) をご覧ください。

ご注意

- 「\」 「,」 「%」 はカメラ名には使用しないでください。DRNET や DRNET Mobile と接続して使用したときに正しく表示されないことがあります。
- 分割画面によってはすべての文字を表示できないことがあります。

第4章 設定のしかた

- ④ 映像方式 : カメラの映像方式を選択します。
「自動」にするとカメラの映像方式を自動で判別します。通常は「自動」を使用してください。
映像信号の劣化などにより自動判別が正しく動作せず、映像が表示されなかったり、映像が乱れたりするときは、カメラの映像方式に合わせて設定します。

[選択]

- 自動 : 自動判別
AHD3.0 : 非対応
AHD2.0 : AHD2.0 信号方式
NTSC : NTSC 信号方式

ご注意

- 映像方式の設定を間違えると、正しく映像が表示されず録画もできません。
- AHD3.0 信号方式は認識しますが、映像（解像度）は非対応です。

[メモ]

映像方式を「自動」以外に設定すると、AHD カメラ映像の劣化を抑える EQ 設定の自動認識は無効になります。手動で最適なケーブル補償レベルに設定してください。(P. 4-40「カメラ映像の画質を調整する」)

- ⑤ 画質 : 「設定」を選択し、決定キーを押すと「画質設定画面」が表示されます。(P. 4-40「カメラ映像の画質を調整する」)
- ⑥ ページ切り換え : ◀ ▶ でページを切り換えます。
- ⑦ OK : 設定を保存して前画面に戻ります。
- ⑧ キャンセル : 設定を保存せずに前画面に戻ります。

[メモ]

カメラの映像入力を無効にすると、スポット出力をライブ映像専用の出力に設定していてもライブ表示できません。

● カメラ映像の画質を調整する

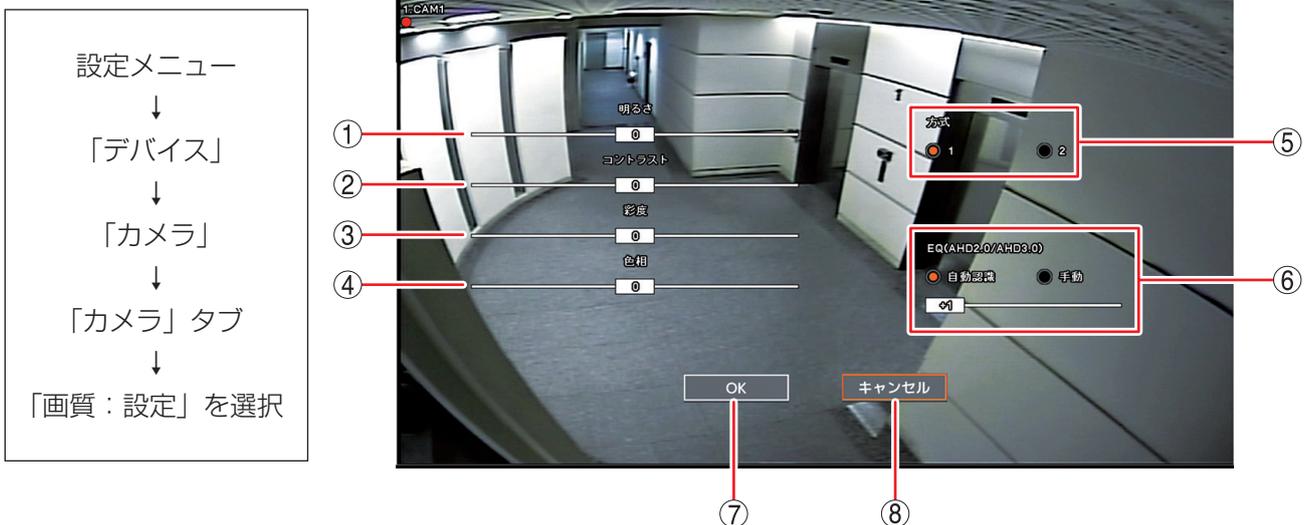
カメラ映像の明るさや色の濃淡、色合いを調整して見やすい映像にできます。また、NTSC カメラ映像のノイズ（細い縦縞など）を低減したり、AHD カメラ映像のケーブル補償機能を設定したりできます。設定した映像は、録画映像にも反映されます。

設定メニュー画面で [デバイス → カメラ → カメラタブ] から「画質：設定」を選択すると、以下の画面が表示されます。

ご注意

- 映像が暗いと、モーション検知の感度が低くなります。
- 設定変更中は、保存前でも録画映像やライブ映像にそのまま反映されます。

[画質設定画面]

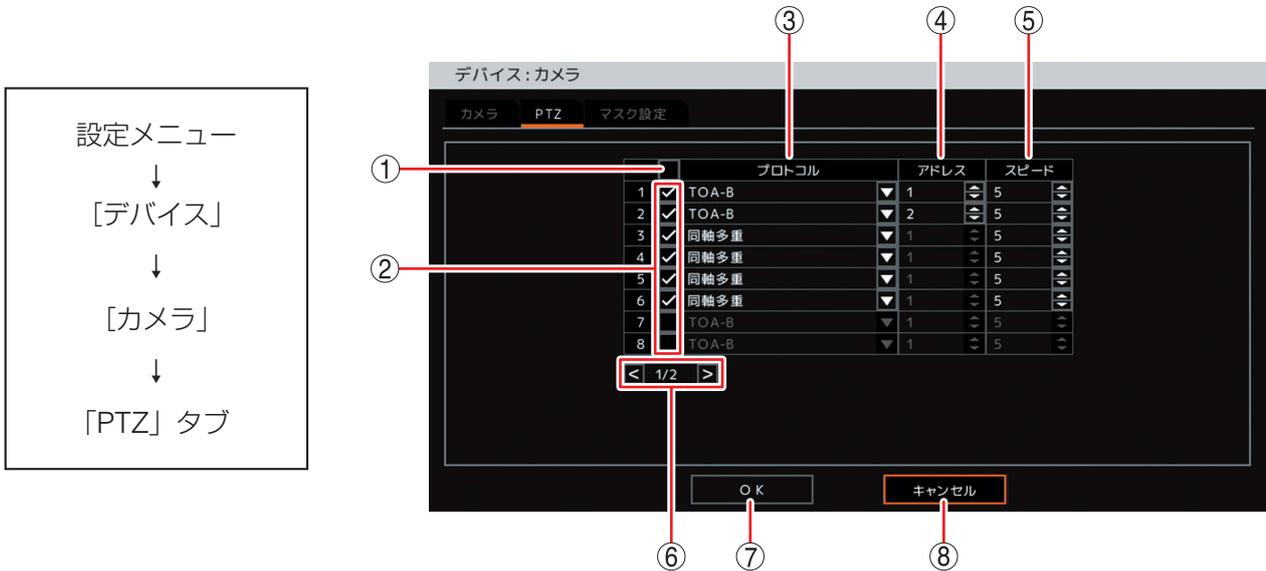


- ① 明るさ : 明るさを -15 ~ +15 から設定します。
- ② コントラスト : コントラストの強さを -15 ~ +15 から設定します。
- ③ 彩度 : 色の濃淡を -15 ~ +15 から設定します。
- ④ 色相 : 色合いを -15 ~ +15 から設定します。
- ⑤ 方式 : NTSC カメラ映像のノイズ（細い縦縞など）を低減することができます。NTSC カメラを接続しているチャンネルのみ動作します。
通常は「1（標準モード）」を使用してください。ライブ映像または再生映像でノイズが気になるときは「2（ノイズ低減モード）」をお試しください。
[選択]
1：標準モード
2：ノイズ低減モード
メモ
ノイズ低減モードは標準モードに比べ解像度が低下します。
- ⑥ EQ (AHD2.0/AHD3.0) : ケーブル延長による AHD カメラ映像の劣化を抑えることができます。AHD カメラを接続しているチャンネルのみ動作します。
本機は電源起動時、または、映像入力時に最適なケーブル補償レベルを判断します。ケーブル補償レベルは、+1（最小）～ +6（最大）の6段階です。
ご注意
AHD3.0 信号方式は認識しますが、映像（解像度）は非対応です。
[選択]
自動認識 : 自動で最適なケーブル補償レベルに設定します。
ケーブル補償レベルは最適値が表示され、変更はできません。通常は「自動認識」を使用してください。
メモ
カメラの映像方式の判別を「自動」に設定している場合に選択可能です。
(P. 4-39 「使用するカメラとカメラ名称を決める」)
手動 : 手でケーブル補償レベルを設定します。
メモ
ケーブル延長距離が短い場合はケーブル補償レベルを小さくし、長い場合は大きくすることをお勧めします。
- ⑦ OK : 設定を保存して前画面に戻ります。
- ⑧ キャンセル : 設定を保存せずに前画面に戻ります。

● コンビネーションカメラ設定をする (PTZ)

コンビネーションカメラを接続するカメラチャンネルを選択し、カメラのプロトコルとアドレス、パン・チルトの回転速度を設定することができます。

設定メニュー画面で [デバイス → カメラ → PTZ タブ] を選択すると、以下の画面が表示されます。



- ① 一斉チェックボックス : コンビネーションカメラとして使用するカメラチャンネルを一斉選択します。チェックを入れるとすべて選択し、外すとすべての選択を解除します。
- ② チェックボックス : コンビネーションカメラとして使用するカメラチャンネルを選択します。チェックを入れると選択し、外すと選択を解除します。
- ③ プロトコル : カメラのプロトコルを選択します。
[選択]
TOA-B : NTSC コンビネーションカメラまたは AHD コンビネーションカメラを RS-485 制御します。
同軸多重 : AHD コンビネーションカメラを同軸多重制御します。
- ④ アドレス * : カメラアドレスを設定します。制御するコンビネーションカメラと同じアドレスに設定してください。
決定キーを押して、左右キーで数値を選択し、上下キーで数値を変更します。

ご注意

- アドレス「0」はコンビネーションカメラを RS-485 制御する場合の一斉通信用のアドレスです。② でチェックを入れたカメラのアドレスに「0」を使用しないでください。
- カメラのプロトコルで「同軸多重」を選択した場合、アドレスはグレイアウトされ無効になります。

- ⑤ スピード * : コンビネーションカメラのパン、チルトの回転速度を選択します。
[選択] 1 (遅い) ~ 10 (速い)
[X M]
ズーム、フォーカスのレンズ速度は一定です。
- ⑥ ページ切り換え : < > でページを切り換えます。
- ⑦ OK : 設定を保存して前画面に戻ります。
- ⑧ キャンセル : 設定を保存せずに前画面に戻ります。

* カメラ選択キーを押す、または、マウスの右クリックで数字キーパッドを表示 (アドレス設定のみ) し、数値を直接入力できます。(P. 4-8 「数値を直接入力する」)

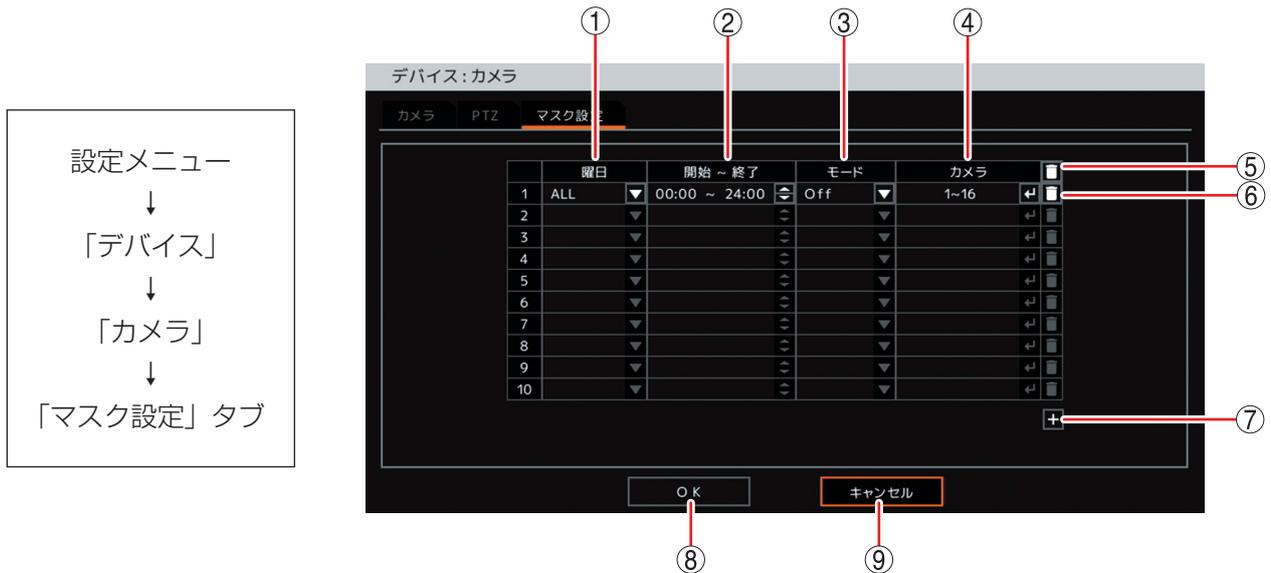
● モニター画面で表示しないカメラを決める（マスク設定）

HDMI 出力とアナログ RGB 出力のライブ画面と再生画面のカメラ映像を表示しないように設定できます（マスク機能）。マスク設定したカメラ映像は黒画面で表示されますが、録画への影響はありません。

スポット出力をライブ映像専用の出力に設定していても、マスク設定したカメラ映像は黒画面で表示されます。設定メニュー画面で [デバイス → カメラ → マスク設定タブ] を選択すると、以下の画面が表示されます。

メモ

マスク設定カメラの監視を許可する権限を持つユーザーでログインしている場合は、マスク設定のモードに関係なくカメラ映像が表示されます。マスク設定したカメラ映像を表示するときは、「Administrator」などマスク設定カメラの監視を許可する権限を持つユーザーで本機にログインしてください。（P. 3-8 「ログイン」）



- ① 曜日 : 設定する曜日を選択します。「ALL」を選択すると、すべての曜日を設定できます。
[選択] ALL / 日 / 月 / 火 / 水 / 木 / 金 / 土 / 休日 / 月～金 / 土日

メモ

休日の設定については、P. 4-29 「休日を設定する」を参照してください。

- ② 開始～終了 : 開始・終了時刻を設定します。決定キーを押して、左右キーでそれぞれの時刻を選択し、上下キーで数値を変更します。設定間隔は 15 分です。

- ③ モード : ライブ画面と再生画面のカメラ映像、OSD 表示のモードを選択します。
[選択]
Off : カメラ映像と OSD を表示します。通常のカメラ表示形式です。
中 : OSD 表示をします。カメラ映像は表示しません。
高 : カメラ映像と OSD 表示のどちらもモニターに表示しません。（カメラチャンネル番号のみ表示します。）

メモ

モードの設定はモニター画面の表示を変えるだけで、録画データへの影響はありません。

- ④ カメラ : マスク設定するカメラ番号を選択します。複数のカメラを設定できます。

- ⑤ (全削除) : すべてのスケジュールをリストから削除することができます。

- ⑥ (削除) : 選択したスケジュールをリストから削除することができます。

- ⑦ (追加) : スケジュールリストが追加されます。

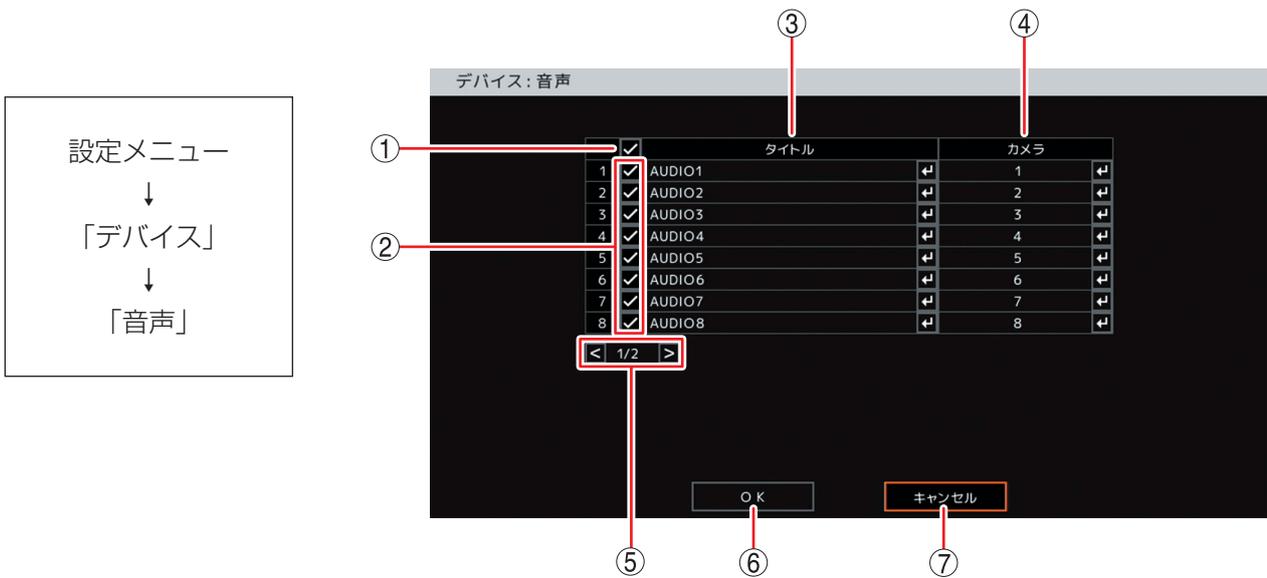
- ⑧ OK : 設定を保存して前画面に戻ります。

- ⑨ キャンセル : 設定を保存せずに前画面に戻ります。

■ 音声設定

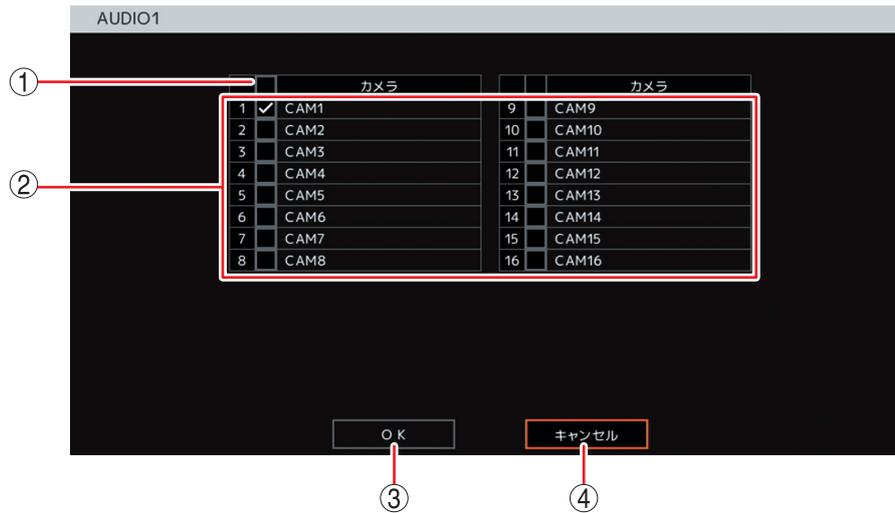
● 使用する音声チャンネルを決める

本機に入力された音声信号と同時に録画するカメラ映像のチャンネルを設定することができます。入力する音声のチャンネルごとに使用する音声チャンネルや名称を設定できます。選択した音声チャンネルはライブ音声として出力できます。ここで選択した音声チャンネルが録音されます。(P. 5-20「録音する」) 設定メニュー画面で「デバイス → 音声」を選択すると、以下の画面が表示されます。



- ① 一斉チェックボックス : 使用する音声チャンネルを一斉選択します。チェックを入れるとすべて選択し、外すとすべての選択を解除します。選択を解除すると、すべての音声チャンネルのライブ音声の出力と録音は無効になります。
- ② チェックボックス : 使用する音声チャンネルを選択します。チェックを入れると選択し、外すと選択を解除します。選択を解除すると、音声チャンネルのライブ音声の出力と録音は無効になります。
- ③ タイトル : 音声チャンネルの名称を表示します。
決定キーを押すと「文字入力画面」が表示され音声チャンネル名の入力ができます。英数、記号で最大 16 文字まで入力できます。(P. 4-13「文字を入力する」) ライブ操作メニューの「音声」を選択したときに表示されます。
- ④ カメラ : 音声チャンネルごとに音声信号と同時に録画するカメラ映像のチャンネルを選択します。決定キーを押すと「録音カメラ選択画面 (次ページ)」が表示されます。
ご注意
カメラチャンネルは重複して設定できません。
- ⑤ ページ切り換え :   でページを切り換えます。
- ⑥ OK : 設定を保存して前画面に戻ります。
- ⑦ キャンセル : 設定を保存せずに前画面に戻ります。

[録音カメラ選択画面]



- ① 一斉チェックボックス : 音声信号と同時に録画するカメラ映像のチャンネルを一斉選択します。チェックを入れるとすべて選択し、外すとすべての選択を解除します。選択を解除すると、すべてのカメラチャンネルの録音は無効になります。
- ② チェックボックス : 音声信号と同時に録画するカメラ映像のチャンネルを選択します。チェックを入れると選択し、外すと選択を解除します。選択を解除すると、カメラチャンネルの録音は無効になります。
- ③ OK : 設定を保存して前画面に戻ります。
- ④ キャンセル : 設定を保存せずに前画面に戻ります。

■ アラーム設定

● アラームの設定を行う

アラーム設定画面では、アラーム継続時間、コントロール出力の名称、出力形式を設定することができます。設定メニュー画面で [デバイス → アラーム → アラームタブ] を選択すると、以下の画面が表示されます。



- ① アラーム継続時間 : センサーイベント、モーションイベントが終了したあとに、コントロール出力とブザー鳴動を継続して出力する時間を設定します。
 [選択]
 5 秒 / 10 秒 / 15 秒 / 20 秒 / 25 秒 / 30 秒 / 40 秒 / 50 秒
 1 分 / 2 分 / 3 分 / 4 分 / 5 分 / 10 分
- ② タイトル : コントロール出力端子の名前を表示します。
 決定キーを押すと「文字入力画面」が表示されます。英数、記号で最大 16 文字まで入力できます。(P. 4-13 「文字を入力する」)
 設定メニューで、コントロール出力端子を選択する項目が表示されるときに各コントロール出力端子の名称として表示されます。
- ③ 形式 : コントロール出力端子の出力形式を設定します。
 [選択]
 NO (Normally Open) : コントロール出力 On 時にメイク、Off 時にブレイクします。
 NC (Normally Close) : コントロール出力 On 時にブレイク、Off 時にメイクします。
- ④ ページ切り換え : < > でページを切り換えます。
- ⑤ OK : 設定を保存して前画面に戻ります。
- ⑥ キャンセル : 設定を保存せず前画面に戻ります。

● アラームを有効にする条件を決める（スケジュール）

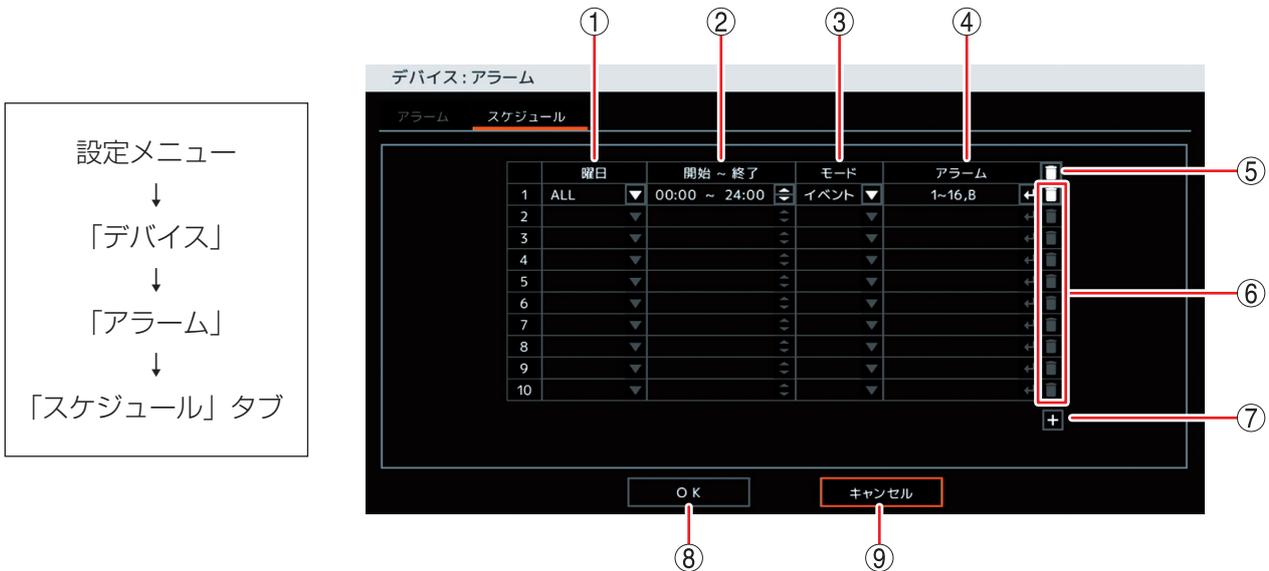
アラームのスケジュールを設定します。曜日、開始～終了、モード、出力内容の設定をすることができます。最大 10 件まで設定できます。

設定したスケジュールの時間帯が重複しているアラームは、番号の大きいスケジュールが優先されます。

設定メニュー画面で [デバイス → アラーム → スケジュールタブ] を選択すると、以下の画面が表示されます。

メモ

スケジュールの終了時刻と別のスケジュールの開始時刻が同じ場合、アラーム状態は途切れません。



- ① 曜日 : 設定する曜日を選択します。「ALL」を選択すると、すべての曜日を設定できます。
[選択] ALL / 日 / 月 / 火 / 水 / 木 / 金 / 土 / 休日 / 月～金 / 土日

メモ

休日の設定については、P. 4-29「休日を設定する」を参照してください。

- ② 開始～終了 : 開始・終了時刻を設定します。決定キーを押して、左右キーでそれぞれの時刻を選択し、上下キーで数値を変更します。設定間隔は 15 分です。

- ③ モード : アラームのモードを選択します。

[選択]

イベント : イベント発生時にアラームを出力します。

On : 設定した出力内容のアラームを出力します。

Off : 設定した出力内容のアラームを出力しません。

メモ

- イベントを選択した場合は、イベント設定メニューのアラーム動作を設定する必要があります。(P. 6-15「イベントによるアラーム」)
- On または Off に設定した場合は、イベントの発生に関係なくスケジュールの設定時間で On または Off されます。

- ④ アラーム : アラームの出力内容を設定します。コントロール出力端子番号やブザー鳴動の選択をしてください。決定キーを押すと「アラーム設定画面（次ページ）」が表示され、動作させたいアラームを設定できます。

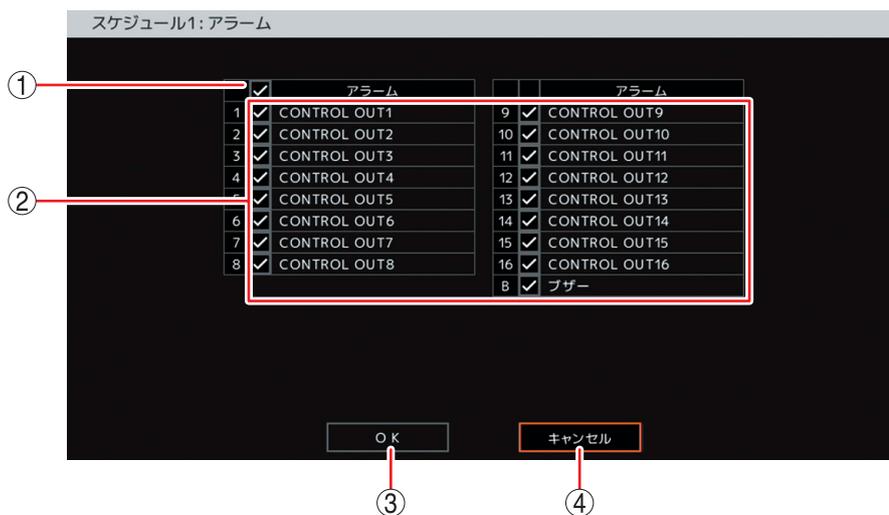
ご注意

出力内容を設定しないとアラームは出力されません。

第4章 設定のしかた

- ⑤  (全削除) : すべてのスケジュールをリストから削除することができます。
- ⑥  (削除) : 選択したスケジュールをリストから削除することができます。
- ⑦  (追加) : 新しいスケジュールがリストに追加されます。
- ⑧ OK : 設定を保存して前画面に戻ります。
- ⑨ キャンセル : 設定を保存せずに前画面に戻ります。

[アラーム設定画面]



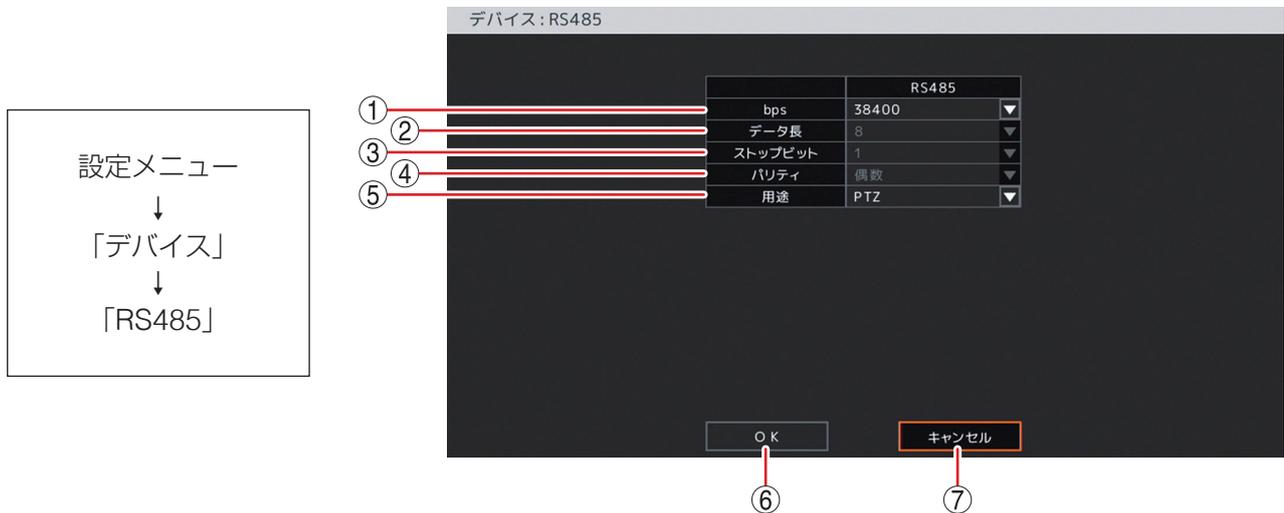
- ① 一斉チェックボックス : すべてのコントロール出力端子番号とブザー鳴動 (ブザー) を選択します。チェックを入れるとすべて選択し、外すとすべての選択を解除します。選択を解除すると、すべてのコントロール出力とブザー鳴動は無効になります。
- ② チェックボックス : コントロール出力端子番号とブザー鳴動 (ブザー) を選択します。チェックを入れると選択し、外すと選択を解除します。選択を解除すると、コントロール出力とブザー鳴動は無効になります。
- ③ OK : 設定した内容を保持して前画面に戻ります。保存するには、前画面で「OK」を押してください。
- ④ キャンセル : 設定を保存せずに前画面に戻ります。

■ RS485 設定

本機からコンビネーションカメラを操作するため、またはリモートコントローラー（C-RM700）から本機を操作するためのRS-485の設定ができます。

工場出荷時は、コンビネーションカメラを操作できる設定になっています。

設定メニュー画面で「デバイス → RS485」を選択すると、以下の画面が表示されます。



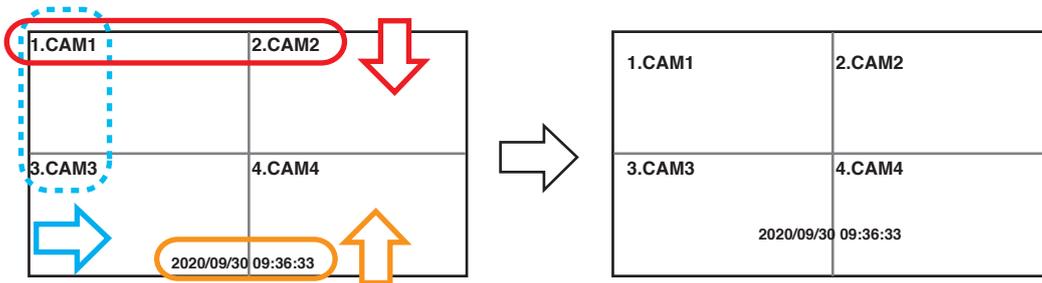
- ① bps : 通信速度を設定します。
 コンビネーションカメラを接続するときには、「38400」を使用してください。
 [選択] 9600 / 19200 / 38400
- ご注意**
 用途を「コントローラー」に設定すると、通信速度は「19200」に固定され変更はできません。
- ② データ長 : データビットを表示します。
- ③ ストップビット : ストップビットを表示します。
- ④ パリティ : パリティを表示します。
- ⑤ 用途 : RS-485 の用途を設定します。
 [選択]
 PTZ : 本機からコンビネーションカメラを操作します。
 コントローラー : リモートコントローラー（C-RM700）から本機を操作します。
- ⑥ OK : 設定を保存して前画面に戻ります。
- ⑦ キャンセル : 設定を保存せずに前画面に戻ります。

ディスプレイ設定

■ 表示設定

● OSD やステータスバー表示位置を設定する

HDMI 出力とアナログ RGB 出力への OSD やステータスバーの表示位置を調整します。モニターによっては、本機のモニター出力映像のすべての領域を表示できないため、OSD やステータスバーがモニター画面に収まらない場合があります。このようなときに、OSD の位置を画面中央方向に寄せてカメラ名を表示させることができます。本機の OSD は画面の左上に表示されるため、画面の左側に配置されたカメラの OSD を右側に寄せ、上側に配置されたカメラの OSD を下側に移動します。また、ステータスバーを表示していないときの日時表示 OSD を上側に移動します。



ディスプレイ表示設定画面では、ステータスバーの表示時間なども設定できます。設定メニュー画面で [ディスプレイ → 表示 → 表示タブ] を選択すると、以下の画面が表示されます。



- ① 言語 : 表示言語を表示します。
日本語に設定されています。設定は変更しないでください。
 - ② ステータスバー消去 : デジタルレコーダーを一定時間操作しないときにステータスバーを非表示にすることができます。非表示にするまでの時間を設定します。
[選択]
Off : ステータスバーを表示し続けます。
On : 5 秒 / 10 秒 / 15 秒 / 20 秒 / 25 秒 / 30 秒 / 40 秒 / 50 秒 / 1 分
- [メモ]
時間経過により非表示になったステータスバーは、キー操作やマウス操作を行うと表示されます。

- ③ ステータスバー垂直位置* : ステータスバーの垂直方向の表示位置を設定します。
決定キーを押して、上下キーで数値を変更します。
[選択] 0～48
[×] [モ] 数値が増えるごとに対象となる文字が画面中央に移動します。
- ④ OSD 垂直位置* : OSD の垂直方向の表示位置を設定します。
決定キーを押して、上下キーで数値を変更します。
[選択] 1～48
[×] [モ] 数値が増えるごとに対象となる文字が画面中央に移動します。
- ⑤ OSD 水平位置* : OSD の水平方向の表示位置を設定します。
決定キーを押して、上下キーで数値を変更します。
[選択] 1～48
[×] [モ] 数値が増えるごとに対象となる文字が画面中央に移動します。
- ⑥ OK : 設定を保存して前画面に戻ります。
- ⑦ キャンセル : 設定を保存せずに前画面に戻ります。

* カメラ選択キーを押し、数値を直接入力できます。(P. 4-8 「数値を直接入力する」)

● 画面の配置を決める (表示レイアウト)

分割画面でカメラ表示位置を別のカメラと入れ換えることができます。入れ換えたレイアウトは、ライブ、再生画面に反映されます。設定メニュー画面で[ディスプレイ → 表示 → 表示レイアウトタブ]を選択すると、以下の画面が表示されます。

◆ ご注意

- 表示レイアウトは1画面シーケンスには反映されません。1画面シーケンスでは、カメラ番号順に表示されます。
- 表示レイアウトはDRNET、DRNET Mobile、およびWebブラウザーのライブ表示には反映されません。それぞれで設定した順に表示されます。



- ① 表示レイアウト : カメラ映像のモニター上の表示位置を設定します。
決定キーを押して、入れ換えたいチャンネルを選択します。設定すると、元のチャンネルと表示位置が入れ換わります。
- ② ページ切り換え : < > でページを切り換えます。
- ③ OK : 設定を保存して前画面に戻ります。
- ④ キャンセル : 設定を保存せずに前画面に戻ります。

● モニター出力の解像度を決める

HDMI 出力とアナログ RGB 出力から出力する映像の解像度を、接続するモニターの解像度に合わせて設定できます。工場出荷時は 1920 × 1080 に設定されています。Full HD (1920 × 1080 60p) に対応したモニターを使用してください。

HDMI 出力のみ使用する場合は、本機の解像度を 3840 × 2160 に設定して、4K (3840 × 2160 30p) に対応したモニターを使用すると、さらに鮮明な映像を表示することもできます。

設定メニュー画面で [ディスプレイ → 表示 → 解像度タブ] を選択すると、以下の画面が表示されます。

ご注意

- 本機で設定する出力解像度に対応していないモニターは使用できません。
- HDMI 出力とアナログ RGB 出力の解像度を異なる設定にすることはできません。



① 解像度 : 出力する解像度を設定します。

ご注意

アナログ RGB 出力は、3840 × 2160、2560 × 1440 の解像度を使用できません。

誤って設定しても、20 秒程度待つと元の解像度に戻ります。

② HDMI の解像度を自動で検知する : チェックを入れると、本機で設定した出力解像度が HDMI 出力と接続しているモニターで対応しているか確認し、対応している場合は設定した出力解像度のまま出力します。対応していない場合は最適な解像度に自動で変更されます。

チェックを外すと、本機で設定した出力解像度のまま出力します。モニターが対応していない場合は映像が正しく表示されません。このため、通常はチェックを入れてください。

③ OK : 設定を保存して前画面に戻ります。

④ キャンセル : 設定を保存せずに前画面に戻ります。

[前面キーによる操作]

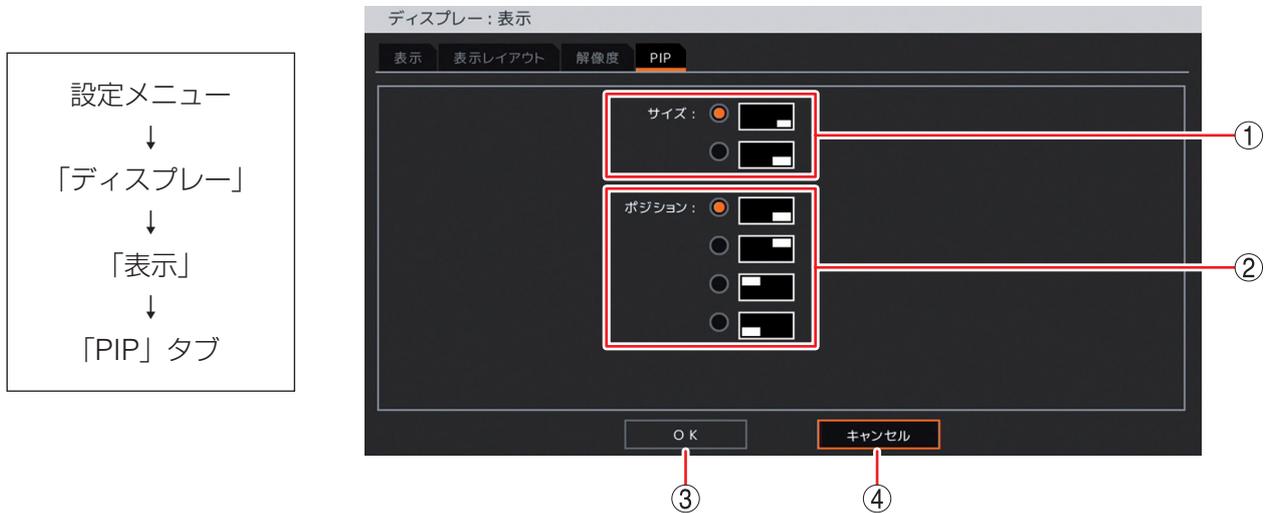
多画面キーを 3 秒以上押すと、HDMI 出力とアナログ RGB 出力に出力する映像の解像度を変更されます。工場出荷時やモニター交換時に接続するモニターの解像度が本機の解像度に非対応で、モニターに映像が表示されない場合に使用してください。

通常は、設定メニューで解像度を設定してください。

● 重ねて表示する小さい画面のサイズと位置を決める (PIP)

1 画面表示をしている画面の一部に、小さい画面で別の映像を重ねて表示できます。(PIP : Picture In Picture)
電子ズーム機能や PIP 機能で表示されます。

設定メニュー画面で [ディスプレイ → 表示 → PIP タブ] を選択すると、以下の画面が表示されます。



- ① サイズ : 重ねて表示する映像の大きさを設定します。
- ② ポジション : 重ねて表示する映像の表示位置を設定します。
- ③ OK : 設定を保存して前画面に戻ります。
- ④ キャンセル : 設定を保存せずに前画面に戻ります。

■ モニタリング設定

● シーケンス表示間隔やイベントポップアップ機能を設定する（メイン）

HDMI 出力やアナログ RGB 出力のシーケンス表示間隔を設定します。また、イベント発生時にイベント録画しているカメラの映像を表示させることができます（イベントポップアップ機能）。

設定メニュー画面で [ディスプレイ → モニタリング → メインタブ] を選択すると、以下の画面が表示されます。

メ モ

スポット出力もシーケンス表示間隔やイベントポップアップ機能の設定ができます。（P. 4-55「スポット出力の表示を設定する（スポット）」）



- ① イベントポップアップ : チェックを入れるとイベントポップアップ機能が有効になります。（P. 5-13「イベントが発生したカメラ映像を表示する（イベントポップアップ機能）」）

ご注意

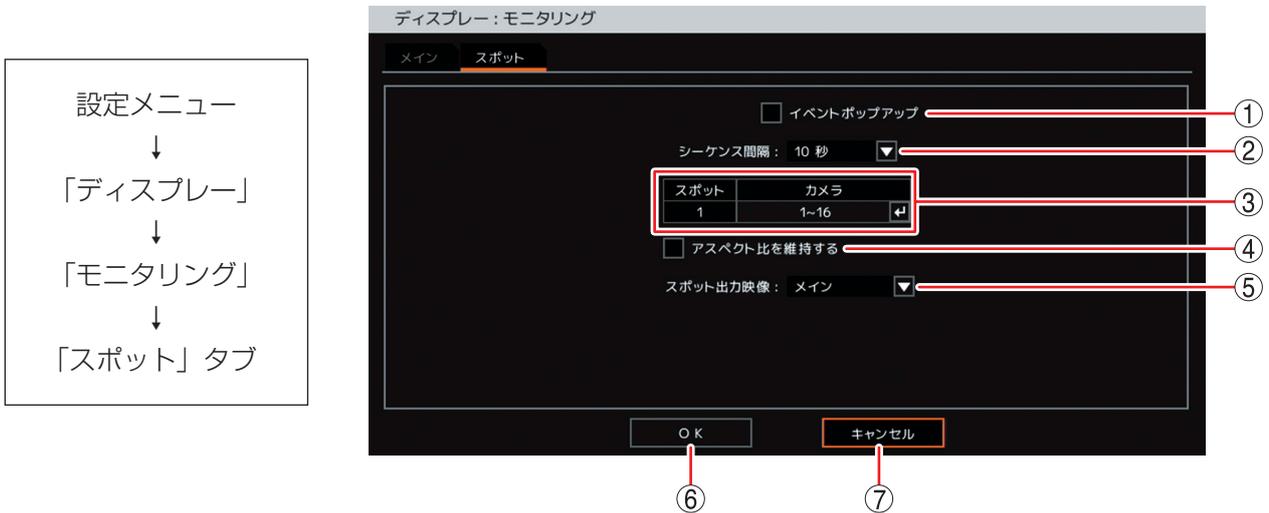
シーケンス中にイベントポップアップが起こるとシーケンスを停止します。再度シーケンスを行うには手動でシーケンスを開始してください。

- ② シーケンス間隔 : シーケンス表示間隔を設定します。
[選択]
1 秒 / 2 秒 / 3 秒 / 4 秒 / 5 秒 / 10 秒 / 15 秒 / 20 秒 / 25 秒 / 30 秒 / 40 秒 / 50 秒 / 1 分
- ③ OK : 設定を保存して前画面に戻ります。
- ④ キャンセル : 設定を保存せずに前画面に戻ります。

● スポット出力の表示を設定する（スポット）

スポット出力の映像を、HDMI 出力やアナログ RGB 出力と同じ映像にするか、ライブ映像専用の映像にするかを選択できます。また、スポット出力をライブ映像専用の映像に設定しているときのシーケンス表示やイベント発生時にイベントポップアップ表示するカメラを選択したり、シーケンス表示間隔やイベントポップアップ機能を使用するときの設定を行います。

設定メニュー画面で [ディスプレイ → モニタリング → スポットタブ] を選択すると、以下の画面が表示されます。



- ① イベントポップアップ : チェックを入れるとスポット出力のイベントポップアップ機能が有効になります。

ご注意

シーケンス中にイベントポップアップが起こるとシーケンスを停止します。再度シーケンスを行うには、手でシーケンスを開始してください。(P. 5-14「スポット出力の表示を切り換える」)

- ② シーケンス間隔 : スポット出力のシーケンス表示間隔を設定します。
[選択]
1 秒 / 2 秒 / 3 秒 / 4 秒 / 5 秒 / 10 秒 / 15 秒 / 20 秒 / 25 秒 / 30 秒 / 40 秒 / 50 秒 / 1 分
- ③ カメラ : スポット出力のシーケンス表示やイベントポップアップ表示するカメラを選択します。
- ④ アスペクト比を維持する : AHD カメラ映像のアスペクト比を維持して表示します。
チェック有 : 画面の上下に黒い帯を表示し、映像のアスペクト比 16 : 9 を維持して表示します。
チェック無 : アスペクト比 4 : 3 の映像に変換して画面全体に表示します。
[メモ]
NTSC カメラの映像は、チェック有 / 無に関係なく画面全体に表示します。
- ⑤ スポット出力映像 : スポット出力の映像を、HDMI 出力やアナログ RGB 出力と同じ映像にするか、ライブ映像専用の映像にするかを選択します。ライブ映像専用の映像は、ライブ操作メニューで画面表示を切り換えます。(P. 5-14「スポット出力の表示を切り換える」)
[選択]
メイン : HDMI 出力やアナログ RGB 出力と同じ映像を出力します。
ライブ : ライブ映像専用の映像を出力します。
メイン+ライブ : ライブ操作メニューでスポット出力を選択します。
- ⑥ OK : 設定を保存して前画面に戻ります。
- ⑦ キャンセル : 設定を保存せずに前画面に戻ります。

録画設定

■ 記録装置

● ハードディスクの状態確認やフォーマットする（記録装置）

ハードディスクの状態や録画情報の確認、フォーマットを行うことができます。

内蔵している2台のハードディスクに、同時に同じデータを録画するミラーリング機能を設定することもできます。工場出荷時は、ハードディスクは「録画」でフォーマットされています。ミラーリング機能を使う場合には、「ミラーリング」でフォーマットしてください。（P. 4-20「ハードディスクをミラーリングする」）設定メニュー画面で「録画 → 記録装置 → 記録装置タブ」を選択すると、以下の画面が表示されます。

ご注意

ハードディスクのフォーマットは、フォーマット権限を持つユーザーでログインしている場合のみ行えます。（P. 3-8「ログイン」）



- ① 容量 : 記録装置の容量を表示します。
- ② 用途 : 記録装置の用途を表示します。
[選択]
録画 : 録画ハードディスク
ミラーリング : ミラーリングハードディスク
- ③ ステータス : 記録装置の状態を表示します。

ご注意

「不良」と表示されている場合は、ハードディスクエラーです。フォーマットを行ってください。

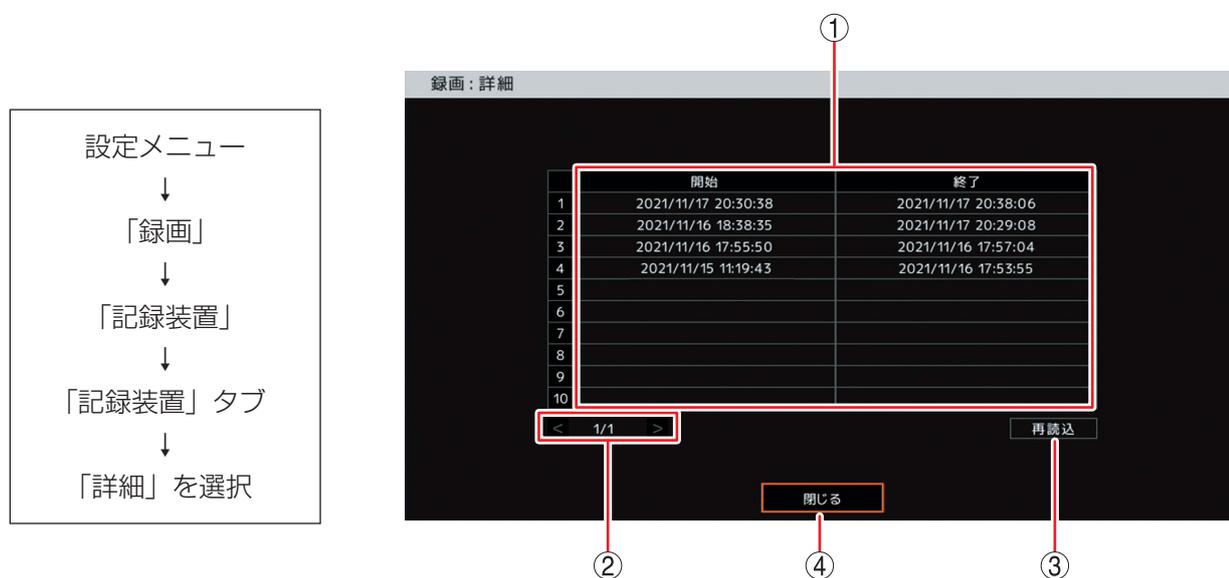
フォーマットしても「不良」と表示される場合には、ハードディスクを交換する必要があります。販売店へお問い合わせください。

- ④ フォーマット : ハードディスクをフォーマットします。（P. 4-19「ハードディスクをフォーマットする」、P. 4-20「ハードディスクをミラーリングする」）
- ⑤ 録画 : ハードディスクに録画しているデータの時刻とハードディスクの使用量を表示します。
- ⑥ 再読込 : 情報を更新します。
- ⑦ 詳細 : ハードディスクに録画しているデータの詳細時刻を表示します。（P. 4-57「録画データが存在する時間を表示する」）
- ⑧ 閉じる : 前画面に戻ります。

● 録画データが存在する時間を表示する

ハードディスクに録画しているデータの時間を確認できます。

設定メニュー画面で [録画 → 記録装置 → 記録装置タブ] から「詳細」を選択すると、以下の画面が表示されます。



① 録画時間 : 録画データのある時間帯（開始～終了）を表示します。

② ページ切り換え : < > でページを切り換えます。

③ 再読込 : 情報を更新します。

④ 閉じる : 前画面に戻ります。

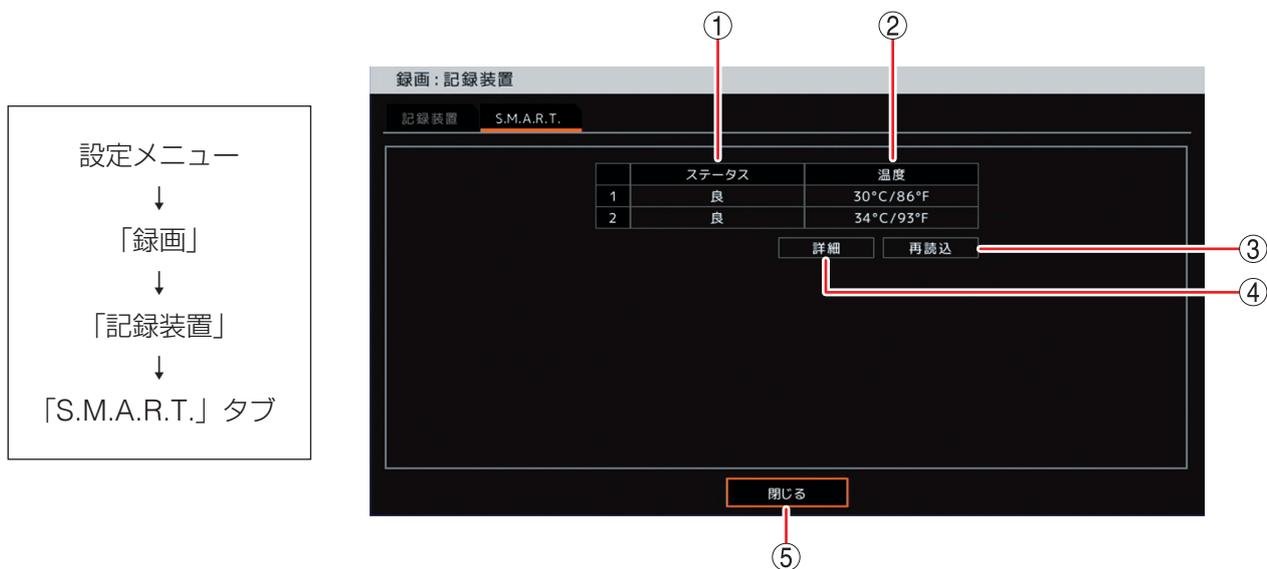
● ハードディスクの状態や温度を確認する（S.M.A.R.T.）

ハードディスクの状態や温度を S.M.A.R.T. 情報から取得して表示します。

ハードディスクから取得した S.M.A.R.T. 情報も表示します。

一般的にハードディスクの温度は本機の使用温度より高くなります。本機の使用温度が高くなるとハードディスクの温度も上昇します。

設定メニュー画面で [録画 → 記録装置 → S.M.A.R.T. タブ] を選択すると、以下の画面が表示されます。



① ステータス : ハードディスクの S.M.A.R.T. 情報にエラーがない場合は「良」、エラーを検知した場合は「不良」と表示します。

② 温度 : ハードディスクの現在温度を表示します。

③ 再読込 : 画面表示の更新を行います。

④ 詳細 : ハードディスクから取得した S.M.A.R.T. 情報を表示します。

⑤ 閉じる : 前画面に戻ります。

■ 録画設定

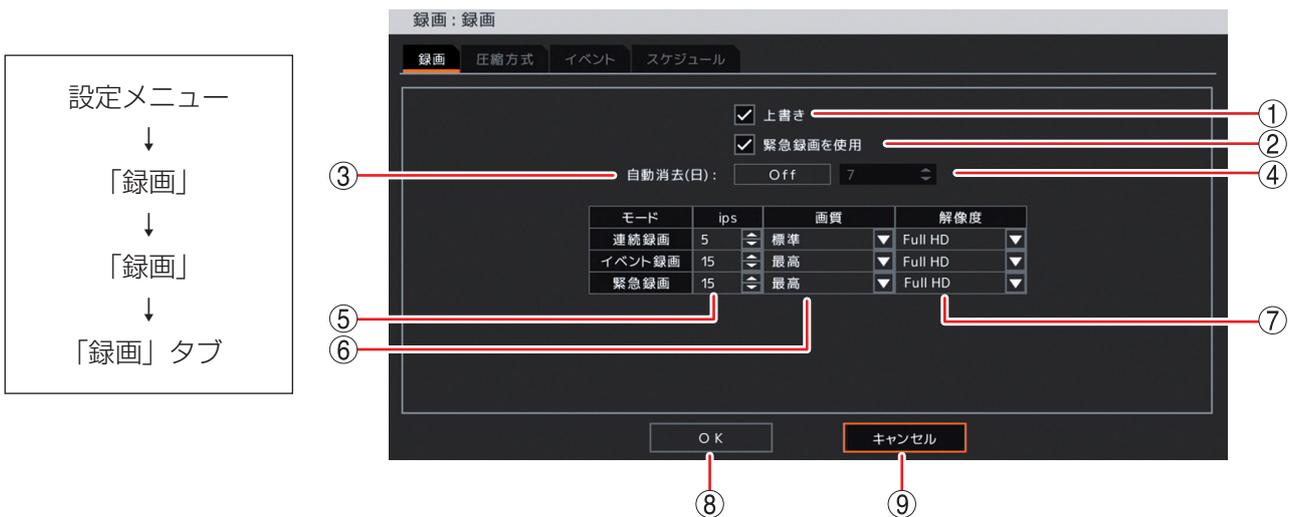
● 各録画の共通設定をする

本機では、各録画設定を行う前に、録画の共通設定を行う必要があります。
設定メニュー画面で「録画 → 録画 → 録画タブ」を選択すると、以下の画面が表示されます。

メモ

録画共通設定では、すべてのカメラに対して同じ録画設定を行います。
連続録画やイベント録画の場合は、録画スケジュールを設定することで、曜日、時間、カメラごとに録画レートと画質、解像度が設定できます。(P. 4-63「録画スケジュールを設定する」)

[録画共通設定画面]



- ① 上書き : ハードディスクのすべての領域に録画データが書き込まれたとき、上書きして録画を継続する場合にチェックを入れて有効にします。(P. 4-60「ハードディスクに上書き録画をする」)
- ② 緊急録画を使用 : 緊急録画を使用する場合はチェックを入れます。
- ご注意**
「緊急録画を使用」が選択されていないときは、緊急録画キーを押しても、ライブ操作メニューや再生操作メニューから緊急録画を選択したり、緊急録画入力端子に入力があっても、緊急録画は行いません。
- ③ 自動消去 : 設定した期間が経過した録画データを自動的に消去します。(P. 4-60「一定期間が過ぎた録画データを自動的に消去する」)
[選択] On / Off
- ④ 自動消去(日) * : 自動消去が On のときに設定する期間の日数を選択します。決定キーを押して上下キーで数値を変更します。
[選択] 1 ~ 180 [日] (1日ごと)
- ⑤ ips * : 連続録画、イベント録画、緊急録画のカメラ1台あたりの録画レートを設定します。
[選択] 1 ~ 30 [ips]
- ⑥ 画質 : 連続録画、イベント録画、緊急録画の画質を設定します。
[選択] 最高 / 高 / 標準 / 中 / 低

第4章 設定のしかた

- ⑦ 解像度 : 録画データの解像度を選択します。
[選択]
4M : 使用できません Full HD : 1920 × 1080 HD : 1280 × 720
WD1 : 944 × 480 D1 : 704 × 480 WQVGA : 480 × 272

ご注意

- NTSC カメラを接続しているチャンネルは、Full HD または HD を選択した場合は WD1 の解像度で録画されます。
- Full HD を選択した場合は、総録画レートは 240 ips に制限されます。(P. 5-19 「録画レートについて」)

- ⑧ OK : 設定を保存して前画面に戻ります。

- ⑨ キャンセル : 設定を保存せずに前画面に戻ります。

* カメラ選択キーを押す、または、マウスの右クリックで数字キーパッドを表示 (自動消去 (日) 設定のみ) し、数値を直接入力できます。(P. 4-8 「数値を直接入力する」)

● ハードディスクに上書き録画をする

ハードディスクのすべての領域に録画データが書き込まれたときに、自動的に古い情報を消しながら、録画を継続すること (上書き) ができます。上書き録画をする場合は、録画共通設定画面 (P. 4-59 「各録画の共通設定をする」) の「上書き」を有効にします。上書きに設定すると、ステータスバーの上書きアイコンが点灯します。(P. 5-4 「ライブ画面の OSD 表示」)

上書きが選択されていない場合は、ハードディスクのすべての領域に録画データが書き込まれた時点で録画を停止します。ハードディスクの使用容量が残容量警告しきい値に達したときにブザーの鳴動やメッセージの表示で知らせることができます。(P. 4-98 「システムイベントが発生したときに出力するアラームを設定する」)

ご注意

上書きに設定している場合は、必要な録画データが上書きされる前にバックアップをとるようにしてください。

● 一定期間が過ぎた録画データを自動的に消去する

設定した期間を過ぎると録画データを消去することができます。

ご注意

録画データの消去は、録画データをハードディスクに書き込むときに行われます。イベント録画の場合、イベントが発生したときだけ録画をするため、録画していないときに消去日を過ぎたときは録画データが残ります。そのため、この機能を使用する場合は連続録画を行ってください。

1 自動消去 (日) を「On」にする。

On にすると自動消去 (日) が設定可能になります。

2 日数を設定する。

[選択] 1 ~ 180 [日] (1日ごと)

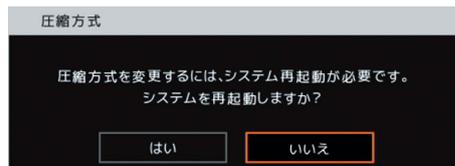
● 画像圧縮方式を設定する

録画するデータの画像圧縮方式を設定します。

設定メニュー画面で [録画 → 録画 → 圧縮方式タブ] を選択すると、以下の画面が表示されます。



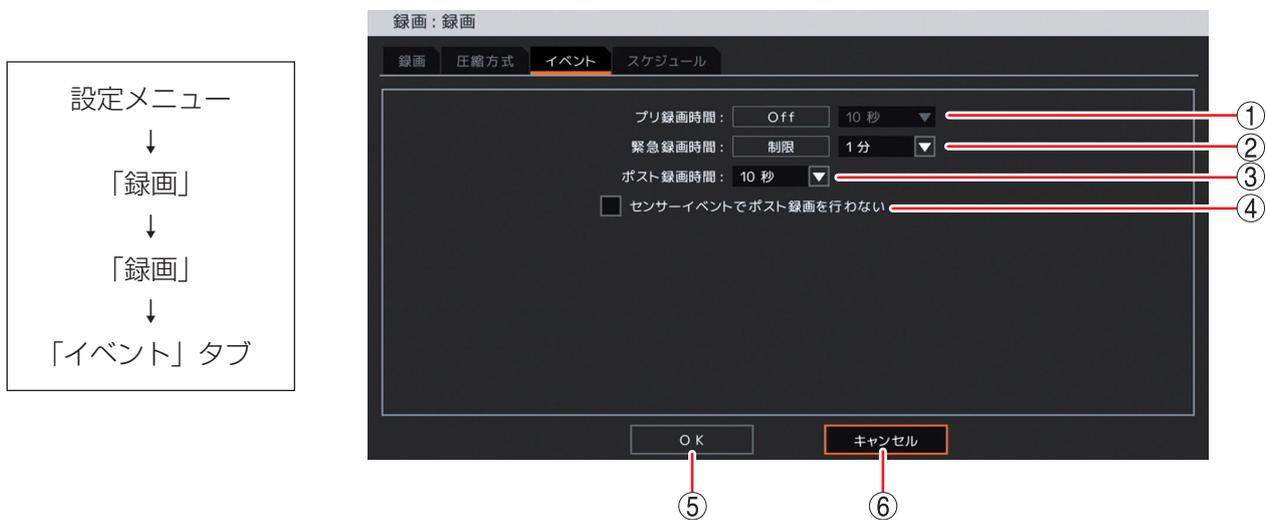
- ① 圧縮方式 : 画像圧縮方式を設定します。
[選択] H.264 / H.265
- ② ページ切り換え : < > でページを切り換えます。
- ③ OK : 圧縮方式を変更した場合は、確認メッセージが表示されます。
「はい」を選択して決定キーを押すと、設定を保存してシステムを再起動します。
「いいえ」を選択して決定キーを押すと、圧縮方式設定画面に戻ります。



- ④ キャンセル : 設定を保存せずに前画面に戻ります。

● イベント録画と緊急録画を設定する

イベント録画と緊急録画は、録画を開始してから停止するまでの時間を設定する必要があります。設定メニュー画面で「録画 → 録画 → イベントタブ」を選択すると、以下の画面が表示されます。



- ① プリ録画時間 : 緊急録画とイベント録画が発生した時刻より前の時間を録画します。
 [選択]
 On : 5秒 / 10秒 / 15秒 / 20秒 / 25秒 / 30秒
 Off : イベント発生前は録画しません。
- ② 緊急録画時間 : 緊急録画の録画継続時間を設定します。
 [選択]
 制限 : 5秒 / 10秒 / 15秒 / 20秒 / 25秒 / 30秒 / 40秒 / 50秒
 1分 / 2分 / 3分 / 4分 / 5分 / 10分 / 15分 / 20分 / 30分
 [メモ]
 緊急録画入力端子の入力で録画を開始した場合は、緊急録画入力端子の入力が終了してからの録画継続時間です。
 無制限 : 緊急録画キーを押すか、ライブ操作メニューや再生操作メニューで緊急録画を再度選択するまで、緊急録画を続けます。
 緊急録画入力端子に入力があると、入力が終了するまで緊急録画を続けます。
- ③ ポスト録画時間 : イベント発生後の録画継続時間を設定します。センサー録画、モーション録画、ビデオロス録画に適用されます。
 [選択]
 1秒 / 5秒 / 10秒 / 15秒 / 20秒 / 25秒 / 30秒 / 40秒 / 50秒
 1分 / 2分 / 3分 / 4分 / 5分 / 10分 / 15分 / 20分 / 30分
- ④ センサーイベントでポスト録画を行わない
 : センサーを入力している間だけセンサー録画を行う場合は、チェックを入れて有効にします。このとき、ポスト録画は行われません。
- ⑤ OK : 設定を保存して前画面に戻ります。
- ⑥ キャンセル : 設定を保存せずに前画面に戻ります。

● 録画スケジュールを設定する

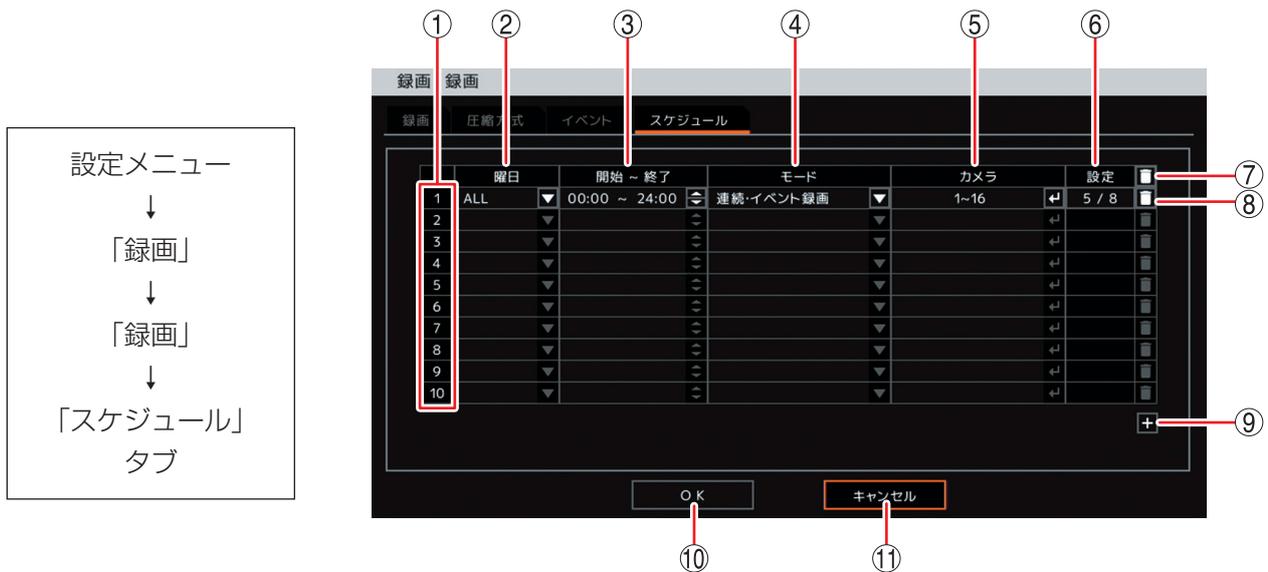
録画スケジュールは、曜日、時間、カメラごとの録画レートと画質、解像度を設定できます。工場出荷時はすべてのカメラで連続録画とイベント録画（センサー録画、モーション録画、ビデオロス録画）を行うようにスケジュールされています。

必要に応じてスケジュールの追加・変更を行ってください。最大 10 件まで設定できます。

設定したスケジュールの時間帯が重複しているカメラは、番号の大きいスケジュールが優先されます。設定メニュー画面で [録画 → 録画 → スケジュールタブ] を選択すると、以下の画面が表示されます。

メモ

スケジュールの終了時刻と別のスケジュールの開始時刻が同じ場合、録画は途切れません。



① スケジュール番号：スケジュールの優先度を表します。番号が大きいほど優先度が高くなります。

② 曜日：設定する曜日を選択します。「ALL」を選択すると、すべての曜日を設定できます。
[選択] ALL / 日 / 月 / 火 / 水 / 木 / 金 / 土 / 休日 / 月～金 / 土日

メモ

休日の設定については、P. 4-29「休日を設定する」を参照してください。

③ 開始～終了：開始・終了時刻を設定します。決定キーを押して、左右キーでそれぞれの時刻を選択し、上下キーで数値を変更します。設定間隔は 15 分です。

④ モード：録画モードを選択します。

[選択]

録画しない：連続録画とイベント録画を行いません。

連続録画：連続録画を行います。

イベント録画：イベント録画を行います。

連続・イベント録画：連続録画とイベント録画を行います。連続録画中にイベントが発生すると、イベント録画を行います。その後、連続録画を行います。

メモ

モードを「イベント録画」に設定した場合はプリ録画が有効になります。

⑤ カメラ：録画するカメラ番号を選択します。複数のカメラ番号を設定できます。

ご注意

カメラ番号を選択しないと録画されません。

⑥ 設定：録画レート、画質、および解像度の設定を行います。決定キーを押すと、「録画設定画面（次ページ）」が表示されます。

⑦ (全削除)：すべてのスケジュールを削除します。

⑧ (削除)：選択したスケジュールを削除します。

⑨ (追加)：新しいスケジュールを追加します。

第4章 設定のしかた

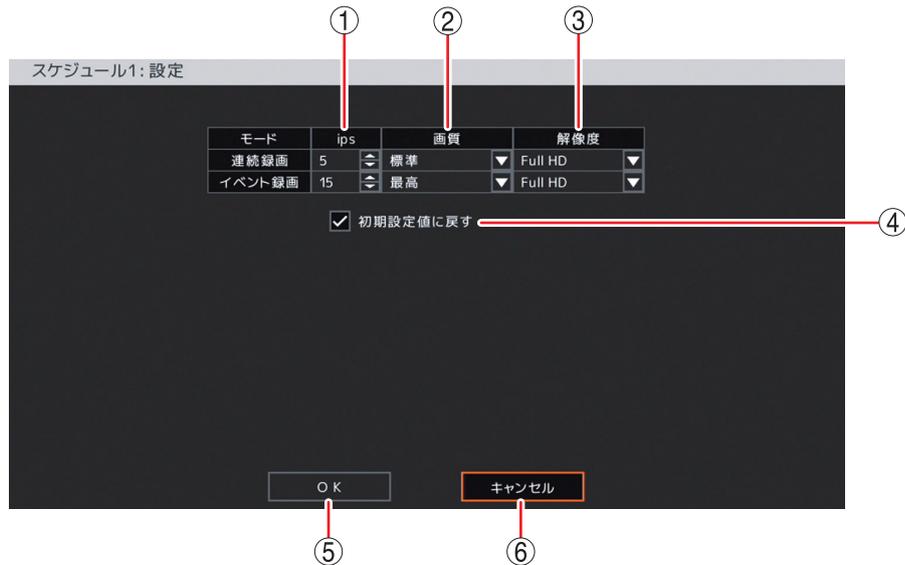
- ⑩ OK : 設定を保存して前画面に戻ります。
⑪ キャンセル : 設定を保存せずに前画面に戻ります。

【録画設定画面】

本機は、スケジュールごとに連続録画とイベント録画それぞれの録画レート (ips) と画質を設定できます。共通設定 (P. 4-59 「各録画の共通設定をする」) で設定した録画レート、画質、および解像度を使用する場合は「初期設定値に戻す」にチェックを入れます。

× モ

モードに「連続録画」を選択した場合、イベント録画は設定できません。また、モードに「イベント録画」を選択した場合、連続録画は設定できません。



- ① ips * : 連続録画、イベント録画のカメラ 1 台あたりの録画レートを設定します。
[選択] 1 ~ 30 [ips]
- ② 画質 : 連続録画、イベント録画の画質を設定します。
[選択] 最高 / 高 / 標準 / 中 / 低
- ③ 解像度 : 録画データの解像度を選択します。
[選択]
4M : 使用できません Full HD : 1920 × 1080 HD : 1280 × 720
WD1 : 944 × 480 D1 : 704 × 480 WQVGA : 480 × 272

ご注意

- NTSC カメラを接続しているチャンネルは、Full HD または HD を選択した場合は WD1 の解像度で録画されます。
 - Full HD を選択した場合は、総録画レートは 240 ips に制限されます。(P. 5-19 「録画レートについて」)
- ④ 初期設定値に戻す : チェックを入れると、連続録画とイベント録画の ① ips、② 画質、および ③ 解像度を共通設定の値にします。(P. 4-59 「各録画の共通設定をする」)
①、②、③ の設定を変更するとチェックが外れます。
- ⑤ OK : 設定した内容を保持して前画面に戻ります。保存するには前画面で「OK」を押してください。
- ⑥ キャンセル : 設定を保存せずに前画面に戻ります。

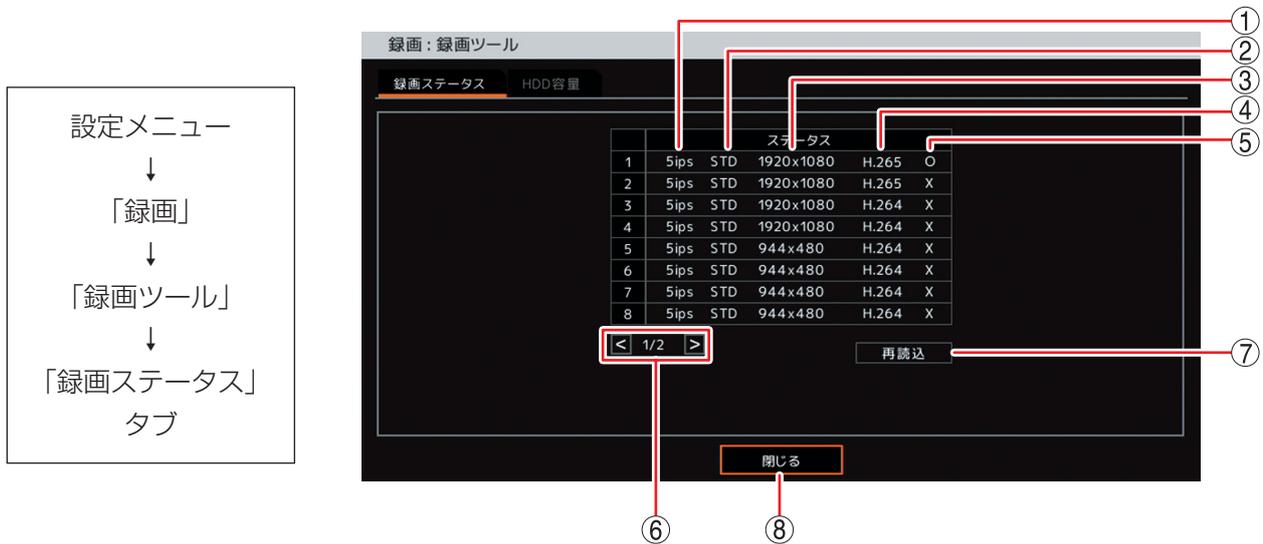
* カメラ選択キーを押し、数値を直接入力できます。(P. 4-8 「数値を直接入力する」)

■ 録画ツール

● 現在の録画の状態を確認する（録画ステータス）

現在録画中の各カメラの録画レート・画質・解像度や録音の状態を確認できます。

設定メニュー画面で「録画 → 録画ツール → 録画ステータスタブ」を選択すると、以下の画面が表示されます。



① ips : 現在の各カメラの録画レートを表示します。

② 画質 : 現在の録画画質を表示します。

表示	HI+	HI	STD	LOW	LO-
画質	最高	高	標準	中	低

③ 解像度 : 現在の録画データの解像度を表示します。

④ 圧縮方式 : 現在の画像圧縮方式を表示します。

⑤ 音声 : 現在の録音の有無を表示します。

○ : 音声録音中
× : 音声録音なし

⑥ ページ切り換え : ◀ ▶ でページを切り換えます。

⑦ 再読込 : 現在の状態を更新します。

⑧ 閉じる : 前画面に戻ります。

ご注意

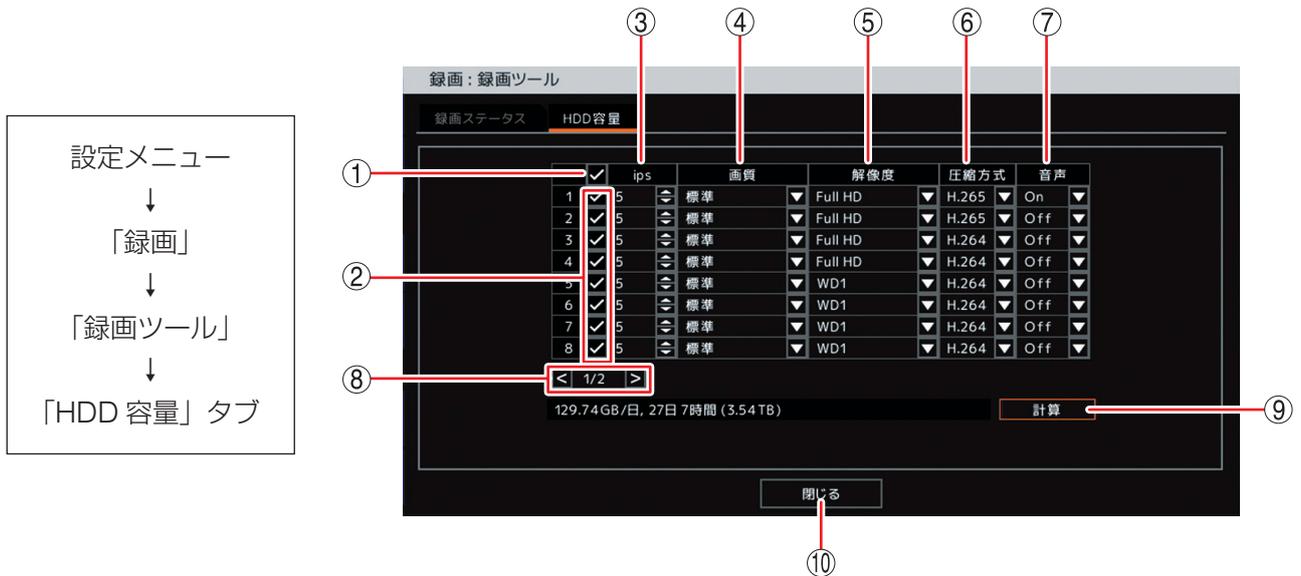
イベント録画中や緊急録画中の録画レートは、録画ステータス画面を表示しているときにイベント録画や緊急録画が行われていなければ確認できません。

● 記録時間を算出する（HDD 容量）

録画条件を設定し、録画できる記録時間とハードディスクの使用容量を計算して表示することができます。各録画条件で算出した記録時間の目安は、P. 7-4 「記録時間表」を参考にしてください。設定メニュー画面で [録画 → 録画ツール → HDD 容量タブ] を選択すると、以下の画面が表示されます。

ご注意

算出した記録時間や使用容量は参考値であり、保証するものではありません。録画する画像により変動することがあります。



- ① 一斉チェックボックス : 録画するカメラチャンネルを一斉選択します。チェックを入れるとすべて選択し、外すとすべての選択を解除します。
- ② チェックボックス : 録画するカメラチャンネルを選択します。チェックを入れると選択し、外すと選択を解除します。
- ③ ips * : カメラ 1 台あたりの録画レートを設定します。
[選択] 1 ~ 30 [ips]
- ④ 画質 : 録画の画質を設定します。
[選択] 最高 / 高 / 標準 / 中 / 低
- ⑤ 解像度 : 録画データの解像度を設定します。
[選択]
Full HD : 1920 × 1080 HD : 1280 × 720 WD1 : 944 × 480
D1 : 704 × 480 WQVGA : 480 × 272
- ⑥ 圧縮方式 : 画像の圧縮方式を設定します。
[選択] H.264 / H.265
- ⑦ 音声 : 音声録音の ON/OFF を設定します。
[選択] On / Off
- ⑧ ページ切り換え : < > でページを切り換えます。
- ⑨ 計算 : 設定した録画条件で録画できる記録時間とハードディスクの 1 日当たりの使用容量を計算して表示します。
- ⑩ 閉じる : 前画面に戻ります。

* カメラ選択キーを押し、数値を直接入力できます。(P. 4-8 「数値を直接入力する」)

ネットワーク設定

■ アドレス設定

本機をネットワークを経由して遠隔地で監視するための設定を行います。また、遠隔地へのイベント通知や Eメールの設定、ライブ映像の配信設定を行います。

本機では、デジタルレコーダー用ネットワークソフトウェアを「DRNET」、遠隔地にイベント内容を通知したときに PC で受信するためのソフトウェアを「DRNET Callback」、スマートフォンアプリケーションを「DRNET Mobile」、Web ブラウザーでデジタルレコーダーに接続したときに起動するアプリケーションを「Remote Monitoring System」と呼びます。

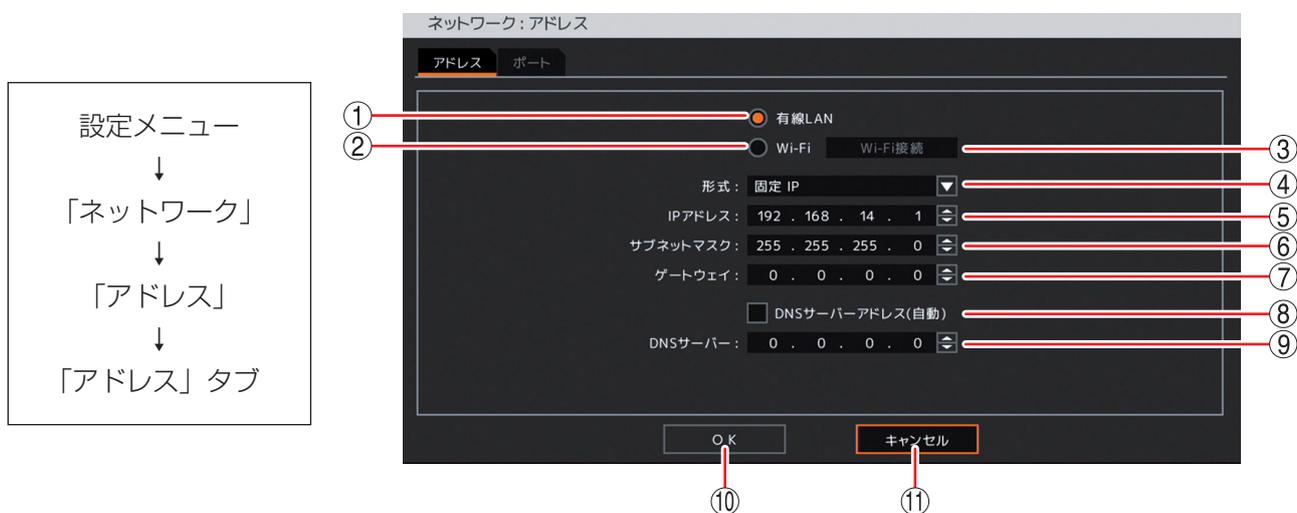
ご注意

- DRNET、DRNET Mobile、または Web ブラウザーのログインは、ネットワークライブやネットワーク再生等、ネットワークの権限を持つユーザーのみ可能です。(P. 4-31 「ユーザー設定」)
- ネットワーク接続を行っている場合や画面全体に激しいノイズのある映像を録画している場合など、本機の負荷が高くなると設定どおりに録画や録音ができないことがあります。その場合は、録画条件を変更する必要があります。

● IP アドレスを設定する

ネットワークへの接続方法や IP アドレスなどを設定します。

設定メニュー画面で [ネットワーク → アドレス → アドレスタブ] を選択すると、以下の画面が表示されます。



- ① 有線 LAN : 有線 LAN を使用する場合に選択します。
- ② Wi-Fi : USB2.0 端子、または、USB3.0 端子に Wi-Fi 子機を接続し、Wi-Fi を使用する場合に選択します。Wi-Fi 子機を認識できた場合に「Wi-Fi 接続」が選択可能になります。
- ③ Wi-Fi 接続 : Wi-Fi 接続可能なアクセスポイントが表示されます。(P. 4-69 「Wi-Fi 接続画面」)
- ④ 形式 : ネットワークへの接続方法を選択します。
[選択]
固定 IP : 固定 IP アドレスを設定して接続します。IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを入力してください。
DHCP : DHCP サーバーから自動で割り振られる IP アドレスを使用して接続します。このとき、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイには、DHCP サーバーで割り振られた値を表示します。

第4章 設定のしかた

- ⑤ IP アドレス* : 固定 IP を選択した場合に設定します。
決定キーを押して、左右キーでそれぞれの数値を選択し、上下キーで 0 ~ 255 から数値を選択します。
- ⑥ サブネットマスク* : 固定 IP を選択した場合に設定します。
決定キーを押して、左右キーでそれぞれの数値を選択し、上下キーで 0 ~ 255 から数値を選択します。
- ⑦ ゲートウェイ* : 固定 IP を選択した場合に設定します。
決定キーを押して、左右キーでそれぞれの数値を選択し、上下キーで 0 ~ 255 から数値を選択します。
- ⑧ DNS サーバーアドレス (自動) : DHCP サーバーから自動で割り振られる DNS サーバーアドレスを使用して接続する場合にチェックを入れます。
- ⑨ DNS サーバー* : 「DNS サーバーアドレス (自動)」が選択されていない場合に DNS サーバーの IP アドレスを設定します。
決定キーを押して、左右キーでそれぞれの数値を選択し、上下キーで 0 ~ 255 から数値を選択します。
- ⑩ OK : 設定を保存して前画面に戻ります。
- ⑪ キャンセル : 設定を保存せずに前画面に戻ります。
ただし、「有線 LAN」または「Wi-Fi」の選択 (チェックの有無) は保存されます。

* カメラ選択キーを押す、または、マウスの右クリックで数字キーパッドを表示し、数値を直接入力できます。
(P. 4-8 「数値を直接入力する」)

ご注意

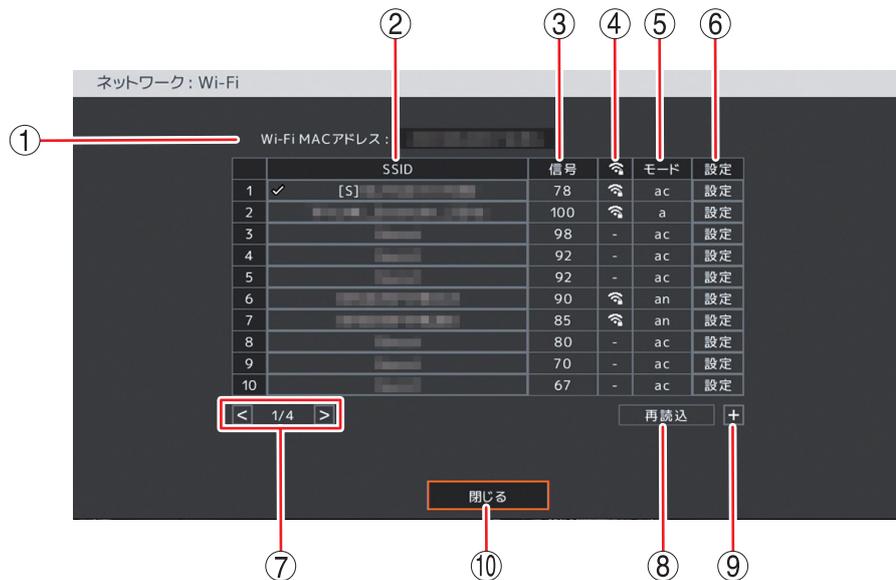
有線 LAN と Wi-Fi を同時に使用することはできません。

メモ

- DNS サーバーは、ドメイン名で指定された NTP サーバーやメールサーバーの IP アドレスを取得するために使用します。
- Wi-Fi 接続中は、④ ~ ⑨ の各項目には「Wi-Fi 設定画面 (P. 4-70)」で設定した情報が表示されます。

【Wi-Fi 接続画面】

接続可能なアクセスポイントを表示します。



① Wi-Fi MAC アドレス: Wi-Fi 子機の MAC アドレスを表示します。

② SSID : アクセスポイントの識別名を表示します。
 「✓」は、現在接続されている Wi-Fi であることを表します。接続されていない場合は表示されません。
 [S] は、パスワードが認証されていることを表します。
 接続したい SSID を選択して決定キーを押すと、パスワードが認識されている場合は Wi-Fi 接続を開始します。パスワードが認識されていない場合は、文字入力画面が表示されるのでアクセスポイントのパスワードを入力し Wi-Fi 接続を開始します。

③ 信号 : Wi-Fi の電波強度を 0 ～ 100 (最大) の数値で表示します。

④  : 暗号化された SSID は  が表示されます。

⑤ モード : アクセスポイントのプロトコルを表示します。

表示	ac	n	a	g	b
プロトコル	802.11ac	802.11n	802.11a	802.11g	802.11b

⑥ 設定 : 「設定」を選択し、決定キーを押すと「Wi-Fi 設定画面 (P. 4-70)」が表示されます。

⑦ ページ切り換え :   でページを切り換えます。

⑧ 再読み込み : Wi-Fi 情報を更新します。

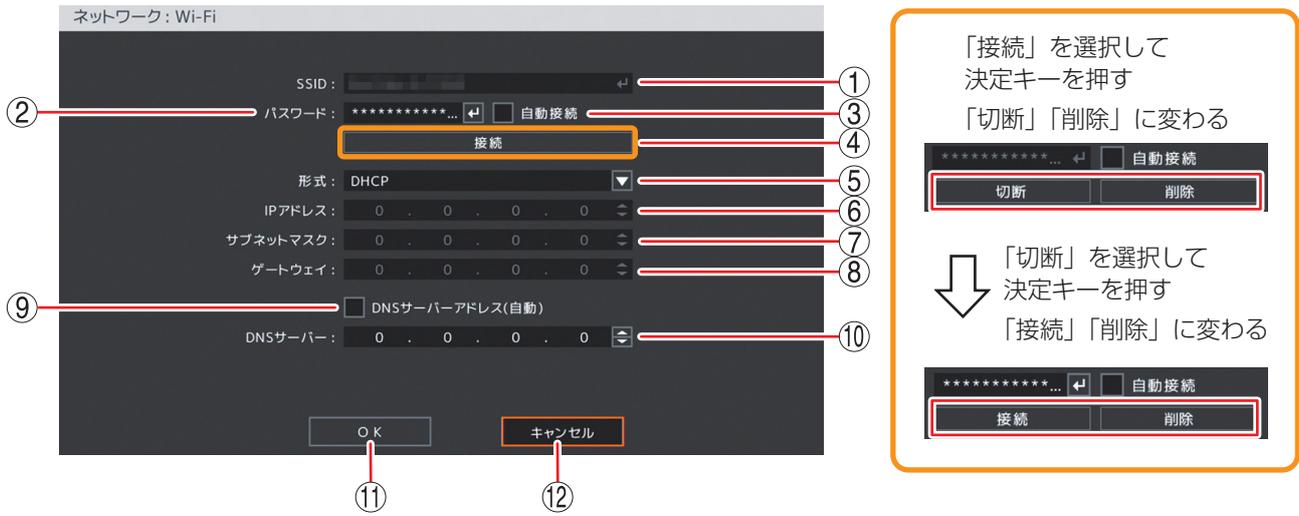
⑨  (追加) : 新規のアクセスポイントを追加し設定を行います。
 決定キーを押すと「Wi-Fi 設定画面 (P. 4-70)」が表示されます。

⑩ 閉じる : 前画面に戻ります。

第4章 設定のしかた

[Wi-Fi 設定画面]

アクセスポイントごとに Wi-Fi 設定を行います。



- ① SSID : 選択した SSID 名が表示されます。
Wi-Fi 接続画面でアクセスポイントの追加を行った場合は、決定キーを押すと「文字入力画面」が表示されます。任意の SSID 名を最大 32 文字まで入力できます。(P. 4-69 「Wi-Fi 接続画面」、P. 4-13 「文字を入力する」)
- ② パスワード : 決定キーを押すと「文字入力画面」が表示されます。
アクセスポイントのパスワードを最大 64 文字まで入力できます。
パスワードを入力すると、自動接続のチェックボックスと「接続」が選択可能になります。(P. 4-13 「文字を入力する」)
- ③ 自動接続 : チェックを入れると、Wi-Fi 切断後に再度接続が可能になると自動で Wi-Fi に接続します。
- ④ 接続切換ボタン : 接続の状態によりボタンが切り換わります。
接続 : Wi-Fi 接続を開始します。
切断 : Wi-Fi 接続を切断します。
削除 : Wi-Fi 接続を切断し、入力したパスワードを削除します。
(P. 4-71 「Wi-Fi を設定する」、P. 4-72 「Wi-Fi を切断または削除する」)
- ⑤ 形式 : ネットワークへの接続方法を選択します。
[選択]
固定 IP : 固定 IP アドレスを設定して接続します。IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを入力してください。
DHCP : DHCP サーバーから自動で割り振られる IP アドレスを使用して接続します。このとき、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイには、DHCP サーバーで割り振られた値を表示します。
- ⑥ IP アドレス* : 固定 IP を選択した場合に設定します。
決定キーを押して、左右キーでそれぞれの数値を選択し、上下キーで 0 ~ 255 から選択します。
- ⑦ サブネットマスク* : 固定 IP を選択した場合に設定します。
決定キーを押して、左右キーでそれぞれの数値を選択し、上下キーで 0 ~ 255 から選択します。

- ⑧ ゲートウェイ* : 固定 IP を選択した場合に設定します。
決定キーを押して、左右キーでそれぞれの数値を選択し、上下キーで 0 ~ 255 から選択します。
- ⑨ DNS サーバーアドレス (自動): DHCP サーバーから自動で割り振られる DNS サーバーアドレスを使用して接続する場合にチェックを入れます。
- ⑩ DNS サーバー* : 「DNS サーバーアドレス(自動)」が選択されていない場合に DNS サーバーの IP アドレスを設定します。
決定キーを押して、左右キーでそれぞれの数値を選択し、上下キーで 0 ~ 255 から選択します。
- ⑪ OK : 設定を保存して前画面に戻ります。
- ⑫ キャンセル : 設定を保存せずに前画面に戻ります。

* カメラ選択キーを押す、または、マウスの右クリックで数字キーパッドを表示し、数値を直接入力できます。
(P. 4-8 「数値を直接入力する」)

● Wi-Fi を設定する

1 Wi-Fi 子機を前面の USB2.0 端子または USB3.0 端子に接続する。

☒ ☒

USB3.0 対応の Wi-Fi 子機を使用するときは、USB3.0 端子に接続することをお勧めます。通信速度が速くなります。

2 設定メニューの [ネットワーク → アドレス → アドレスタブ] を選択する。

3 「Wi-Fi」を選択して「Wi-Fi 接続」を選択し、決定キーを押す。

Wi-Fi 接続画面が表示されます。(P. 4-69 「Wi-Fi 接続画面」)
パスワードが認証されている SSID の先頭には [S] が付いています。

4 Wi-Fi 接続画面で、接続したい SSID の「設定」を選択し、決定キーを押す。

Wi-Fi 設定画面が表示されます。(P. 4-70 「Wi-Fi 設定画面」)

5 Wi-Fi 設定画面でパスワードを選択し、決定キーを押す。

文字入力画面が表示されます。(P. 4-13 「文字を入力する」)

6 パスワードを入力し、「OK」を選択し、決定キーを押す。

Wi-Fi 設定画面が表示されます。

7 自動接続、ネットワークへの接続方法を確認、または変更する。

自動接続にチェックを入れると Wi-Fi 切断後に再度接続が可能になると自動で Wi-Fi 接続します。
ネットワークに固定 IP アドレスで接続するか、DHCP サーバーアドレスを使用して接続するか設定します。

8 「接続」を選択し、決定キーを押す。

Wi-Fi 接続を開始します。接続に成功すると「Wi-Fi 接続に成功しました。」とメッセージが表示されます。

メモ

Wi-Fi 設定画面の入力に間違いがある場合は、「Wi-Fi 接続に失敗しました。」とメッセージが表示されず。「OK」で決定キーを押し、Wi-Fi 設定画面の入力を修正してください。

9 「OK」を選択し、決定キーを押す。

Wi-Fi 接続画面が表示され、接続に成功した SSID の左に「✓」が入ります。

メモ

Wi-Fi 接続画面で接続したい SSID を選択して決定キーを押すと、パスワードが認証されている場合は Wi-Fi 接続を開始することもできます。

パスワードが認証されていない場合は、文字入力画面が表示されるのでアクセスポイントのパスワードを入力し、認証されると Wi-Fi 接続を開始します。(P. 4-13 「文字を入力する」)

自動接続やネットワーク接続方法を変更する場合は、Wi-Fi 設定画面で行ってください。

● Wi-Fi を切断または削除する

1 設定メニューの [ネットワーク → アドレス → アドレスタブ] を選択する。

2 「Wi-Fi」を選択し、決定キーを押す。

Wi-Fi 接続画面が表示されます。(P. 4-69 「Wi-Fi 接続画面」)

3 「Wi-Fi 接続」を選択し、決定キーを押す。

4 Wi-Fi 接続画面で、切断または削除したい SSID の「設定」を選択し、決定キーを押す。

Wi-Fi 設定画面が表示されます。

5 Wi-Fi 設定画面で「切断」または「削除」を選択し、決定キーを押す。

Wi-Fi の切断または削除を開始し、完了すると Wi-Fi 接続画面を表示します。

切断されると、SSID の左のチェックボックスから「✓」の表示が消えます。

削除されると、SSID の左のチェックボックスの「✓」と、SSID 名の先頭から [S] の表示が消えます。

● ポートを設定する

ネットワーク接続するための本機のポート番号を設定します。

設定メニュー画面で [ネットワーク → アドレス → ポートタブ] を選択すると、以下の画面が表示されます。



- ① ネットワークポート* : DRNET、DRNET Mobile、または Web ブラウザーに映像配信するとき使用する本機のポート番号を設定します。
決定キーを押して、上下キーで 1500 ~ 32000 から数値を選択します。
- ② ウェブポート* : Web ブラウザーと接続するための本機のポート番号を設定します。
決定キーを押して、上下キーで 80 ~ 32000 から数値を選択します。
- ③ ポート番号 : 本機で使用するポート番号が表示されます。
ライブ : 遠隔監視に使用するポート番号です。
① で設定した「ネットワークポート」の番号が割り振られます。
再生 : 遠隔再生に使用するポート番号です。
① で設定した「ネットワークポート」に 1 を加えた番号が割り振られます。
設定 : 遠隔設定に使用するポート番号です。
① で設定した「ネットワークポート」に 2 を加えた番号が割り振られます。
- ④ OK : 設定を保存して前画面に戻ります。
- ⑤ キャンセル : 設定を保存せずに前画面に戻ります。

* カメラ選択キーを押す、または、マウスの右クリックで数字キーパッドを表示し、数値を直接入力できます。
(P. 4-8 「数値を直接入力する」)

メモ

- ネットワークポート (ライブ、再生、設定) とウェブポートは同じ番号は使用できません。同じ番号にすると警告メッセージが表示されますので、異なる番号を設定してください。
- ポート番号は、有線 LAN と Wi-Fi で共通になります。

■ 遠隔通知設定

イベントが発生したときに、イベント内容を DRNET Callback へ通知する、または、指定したアドレスへ Eメールを送信することができます。

[DRNET Callback へ通知する場合]

- DRNET のインストールを行う
- DRNET Callback を起動する
- 本機のネットワーク設定を行う (P. 4-67 「ネットワーク設定」)
- コールバックの設定を行う (P. 4-74 「コールバック設定を行う」)
- イベントの設定を行う (P. 4-86 「イベント発生時に遠隔通知を行う」)

メモ

DRNET のインストールと DRNET Callback の起動については、DRNET の取扱説明書をご覧ください。

[E メールを送信する場合]

- 本機のネットワーク設定を行う (P. 4-67 「ネットワーク設定」)
- Eメールの設定を行う (P. 4-76 「Eメール設定を行う」)
- イベントの設定を行う (P. 4-86 「イベント発生時に遠隔通知を行う」)

● コールバック設定を行う

DRNET Callback にイベント内容を通知するための設定を行います。最大 10 台の PC に対して送信することができます。

設定メニュー画面で [ネットワーク → 遠隔通知 → コールバックタブ] を選択すると、以下の画面が表示されます。

ご注意

ネットワークを経由して PC にイベント内容を通知する場合は、あらかじめ受信する PC で DRNET Callback を起動してください。

設定メニュー
↓
「ネットワーク」
↓
「遠隔通知」
↓
「コールバック」タブ

ネットワーク: 遠隔通知
コールバック | Eメール

① コールバック間隔: 1分

	アドレス	ポート
1	<input checked="" type="checkbox"/> 192.168.14.100	10110
2	<input type="checkbox"/>	10110
3	<input type="checkbox"/>	10110
4	<input type="checkbox"/>	10110
5	<input type="checkbox"/>	10110
6	<input type="checkbox"/>	10110
7	<input type="checkbox"/>	10110
8	<input type="checkbox"/>	10110
9	<input type="checkbox"/>	10110
10	<input type="checkbox"/>	10110

② 一斉チェックボックス

③ アドレス

④ ポート

⑤ 10110

⑥ OK

⑦ キャンセル

① コールバック間隔 : 設定時間が経過するまで、同一イベントを送信しません。
[選択]
5秒 / 10秒 / 15秒 / 20秒 / 25秒 / 30秒 / 40秒 / 50秒 / 1分 / 2分 / 3分 / 4分 / 5分 / 10分

② 一斉チェックボックス: イベント内容を通知する IP アドレスを一斉選択します。チェックを入れるとすべて選択し、外すとすべての選択を解除します。選択を解除すると、すべての IP アドレスへのイベント内容の通知は無効になります。

- ③ チェックボックス : イベント内容を通知する IP アドレスを選択します。チェックを入れると選択し、外すと選択を解除します。選択を解除すると、IP アドレスへのイベント内容の通知は無効になります。
-
- ④ のアドレスが設定されていない状態でチェックを入れると「文字入力画面」が表示され、IP アドレスの入力ができます。(P. 4-13「文字を入力する」)
- ④ アドレス : DRNET Callback がインストールされている PC の IP アドレスを入力します。決定キーを押すと「文字入力画面」が表示され、IP アドレスの入力ができます。(P. 4-13「文字を入力する」)
- ご注意**
ドメインには対応していません。数字とドット (.) で入力してください。
- ⑤ ポート* : DRNET Callback に遠隔通知するとき使用する送信先 (PC 側) のポート番号を設定します。決定キーを押して、上下キーで 1500 ~ 32000 から数値を選択します。
- ご注意**
通常は DRNET Callback の「コールバックポート」の番号と同じにしてください。
- ⑥ OK : 設定を保存して前画面に戻ります。
- ⑦ キャンセル : 設定を保存せずに前画面に戻ります。

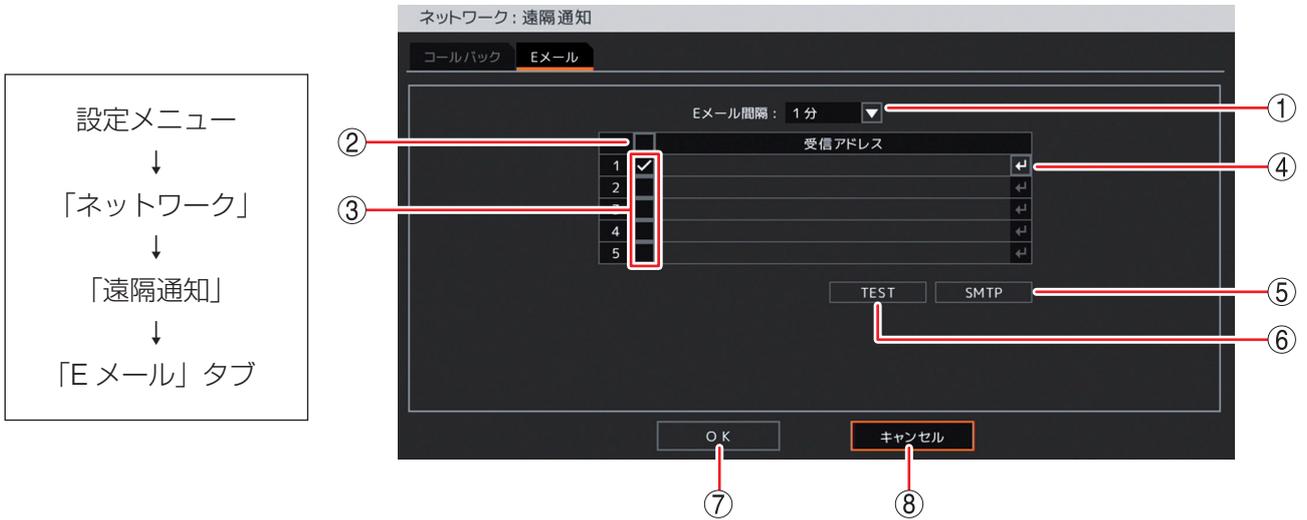
* カメラ選択キーを押す、または、マウスの右クリックで数字キーパッドを表示し、数値を直接入力できます。(P. 4-8「数値を直接入力する」)

● Eメール設定を行う

指定したメールアドレスへEメールを送信するための設定を行います。最大5件のメールアドレスへ同時に送信することができます。また、Eメールの送信テストを行うこともできます。
設定メニュー画面で「ネットワーク → 遠隔通知 → Eメールタブ」を選択すると、以下の画面が表示されます。

ご注意

- Eメール送信内容は文章のみです。画像の添付はできません。
- メール送信を使用する場合は、必ずSMTPサーバーを設定してください。



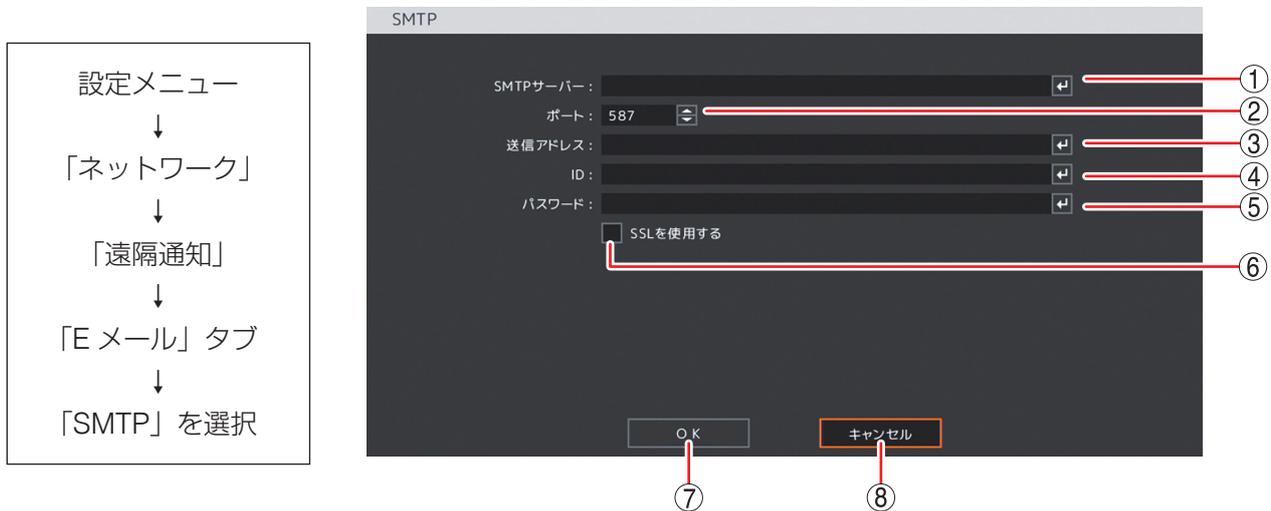
- ① Eメール間隔 : 設定時間が経過するまで、同一イベントのEメールを送信しません。
[選択]
5秒 / 10秒 / 15秒 / 20秒 / 25秒 / 30秒 / 40秒 / 50秒 / 1分 / 2分 / 3分 / 4分 / 5分 / 10分
[×モ]
- センサー入力1とセンサー入力2など異なるイベントの場合、Eメール間隔に関係なくEメールを送信します。
 - 短い間隔で連続してEメールを送信したとき、ご契約のプロバイダーのEメールサーバーによっては設定した送信先へEメールが送信されないことがあります。
- ② 一斉チェックボックス : Eメールを通知するメールアドレスを一斉選択します。チェックを入れるとすべて選択し、外すとすべての選択を解除します。選択を解除すると、すべてのメールアドレスへのEメール通知は無効になります。
- ③ チェックボックス : Eメールを通知するメールアドレスを選択します。チェックを入れると選択し、外すと選択を解除します。選択を解除すると、メールアドレスへのEメール通知は無効になります。
[×モ]
- ④ の受信アドレスが設定されていない状態でチェックを入れると「文字入力画面」が表示され、メールアドレスの入力ができます。最大32文字まで入力できます。(P. 4-13「文字を入力する」)
- ④ 受信アドレス : Eメールを受信するメールアドレスを入力します。決定キーを押すと「文字入力画面」が表示され、メールアドレスの入力ができます。最大32文字まで入力できます。(P. 4-13「文字を入力する」)
- ⑤ SMTP : SMTPサーバーの設定を行う「SMTPサーバー設定画面(次ページ)」を表示します。
- ⑥ TEST : 決定キーを押すと③でチェックが入っているメールアドレスにEメールを送信します。送信結果はメッセージで表示します(P. 4-78「Eメール送信テストのメッセージ」)。Eメールの送信内容には、「テストメール」と表示します(P. 4-88「Eメールの送信内容」)。
- ⑦ OK : 設定を保存して前画面に戻ります。
- ⑧ キャンセル : 設定を保存せずに前画面に戻ります。

【SMTP サーバー設定画面】

本機は、Eメールプロトコルとして SMTP、SMTP-AUTH に対応した Eメールサーバーと接続して Eメールを送信することができます。

本機の Eメール送信機能を使用する場合、ご契約のプロバイダーに合わせた設定を行ってください。

設定メニュー画面で [ネットワーク → 遠隔通知 → Eメールタブ] から「SMTP」を選択すると、以下の画面が表示されます。



- ① SMTP サーバー : SMTP サーバーのサーバー名または IP アドレスを入力します。最大 32 文字まで入力できます。
- ② ポート* : SMTP サーバーのポート番号を入力します。決定キーを押して、上下キーで 0～65535 から数値を選択します。
- ③ 送信アドレス : 送信元のメールアドレスを登録します。最大 32 文字まで入力できます。
- ④ ID : SMTP 認証で使用するユーザー ID を入力します。最大 32 文字まで入力できます。
- ⑤ パスワード : SMTP 認証で使用するパスワードを入力します。最大 16 文字まで入力できます。入力したパスワードは文字数にかかわらず「*」が 8 個表示されます。
- ⑥ SSL を使用する : チェックを入れるとデータを SSL で暗号化します。
- ⑦ OK : 設定を保存して前画面に戻ります。
- ⑧ キャンセル : 設定を保存せずに前画面に戻ります。

* カメラ選択キーを押す、または、マウスの右クリックで数字キーパッドを表示し、数値を直接入力できます。
(P. 4-8 「数値を直接入力する」)

☒ ☒

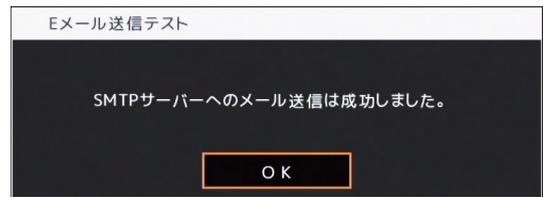
SMTP サーバー、送信アドレス、ID、パスワードの入力方法は、P. 4-13 「文字を入力する」を参照してください。

第4章 設定のしかた

● Eメール送信テストのメッセージ

- ① 本機から SMTP サーバーへのメール送信に成功した場合に表示されます。

指定したメールアドレスに E メールが届いていない場合は、メールの受信側（PC のネットワーク設定やメールソフト等）が正しく設定されているか確認してください。



- ② SMTP サーバーに接続できなかった場合に表示します。原因としては、以下の内容が考えられます。

- ・ ネットワーク設定が正しく設定されていないとき
- ・ SMTP サーバーポート（587 番）で SSL を使用したとき
- ・ SMTP サーバーポート（465 番）で SSL を使用しなかったとき



- ③ SMTP 認証に失敗した場合に表示します。

ID やパスワードに間違いがないか確認してください。



- ④ その他のエラーで失敗した場合は、SMTP サーバーから返ってくる 3 桁の番号を表示します。

エラーの詳細や対処の方法は、ご契約のプロバイダーへご確認ください。



■ 映像配信

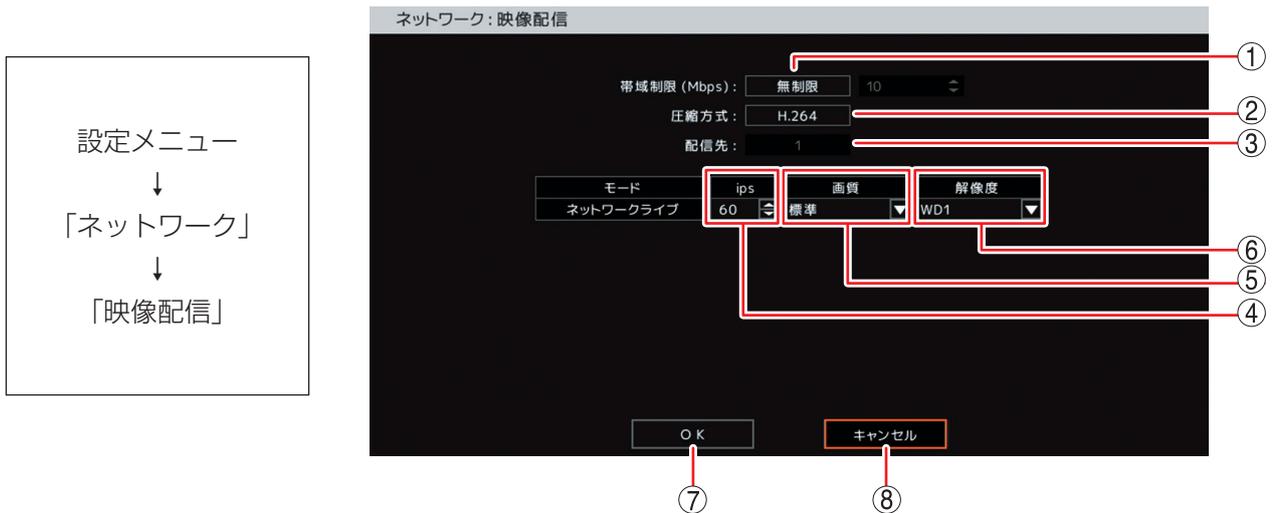
本機にネットワークを接続し、ライブ映像を配信するための設定を行います。

Remote Monitoring System の「Live」、DRNET の「DRNET ライブ」、DRNET Mobile の「遠隔ライブ」機能に適用されます。

設定メニュー画面で [ネットワーク → 映像配信] を選択すると、以下の画面が表示されます。

ご注意

ネットワーク接続を行っている場合や画面全体に激しいノイズのある映像を録画している場合など、本機の負荷が高くなると設定どおりに録画や録音ができないことがあります。その場合は、録画条件を変更する必要があります。



- ① 帯域制限 (Mbps) * : ネットワークに送り出すライブ配信のデータサイズに制限をかけることができます。
 [選択]
 無制限 : 送信するデータに制限をかけません。
 制限 : 1 ~ 1000 Mbps までの設定した範囲内でデータ送信を行います。
 決定キーを押して、上下キーで数値を変更します。

ご注意

遠隔監視で表示しているカメラチャンネルに対して、少なくとも 1 ~ 5 秒間に 1 フレーム送信します。このため、帯域制限内に収まらないことがあります。

- ② 圧縮方式 : 本機からライブ配信する画像の圧縮方式を設定します。
 [選択] H.264 / H.265
- ③ 配信先 : 使用しません。
- ④ ips * : 本機からライブ配信するレートを設定します。決定キーを押して、上下キーで数値を変更します。配信可能なカメラチャンネルに均等に割り振られるように配信レートの自動調整を行います。また、配信レートを低く設定しても配信可能なカメラチャンネルには少なくとも 1 秒間に 1 フレームを送信します。
 設定できるライブ配信レートは解像度によって異なります。

解像度	ライブ配信レート (ips)
Full HD : 1920 × 1080	1 ~ 60
HD : 1280 × 720	1 ~ 120
WD1 : 944 × 480	1 ~ 240
D1 : 704 × 480	
WQVGA : 480 × 272	1 ~ 480

第4章 設定のしかた

⑤ 画質 : 本機からライブ配信するデータの画質を設定します。
[選択] 最高/高/標準/中/低

⑥ 解像度 : 本機からライブ配信するデータの解像度を設定します。
[選択]

4M : 使用できません Full HD : 1920 × 1080 HD : 1280 × 720
WD1 : 944 × 480 D1 : 704 × 480 WQVGA : 480 × 272

ご注意

- NTSC カメラを接続しているチャンネルは、Full HD または HD を選択した場合、WD1 の解像度で配信されます。
- ライブ配信するデータの解像度によってデジタルレコーダーに同時に接続できる台数が異なります (P. 6-37 「遠隔監視する (Live)」)。
変更する解像度で接続可能な台数を超過している場合は、以下のメッセージが表示され変更できません。

(例)

接続可能台数を超過しています (8 台)。
4M、FHD、HD での接続可能台数は 4 台です。

下線部は、現在のライブ配信接続台数を表示します。

二重下線部は、解像度 (4M、FHD (Full HD)、HD、WD1、D1) を表示します。

波形下線部は、同時に接続できる台数を表示します。

⑦ OK : 設定を保存して前画面に戻ります。

⑧ キャンセル : 設定を保存せずに前画面に戻ります。

* カメラ選択キーを押す、または、マウスの右クリックで数字キーパッドを表示し、数値を直接入力できます。
(P. 4-8 「数値を直接入力する」)

イベント設定

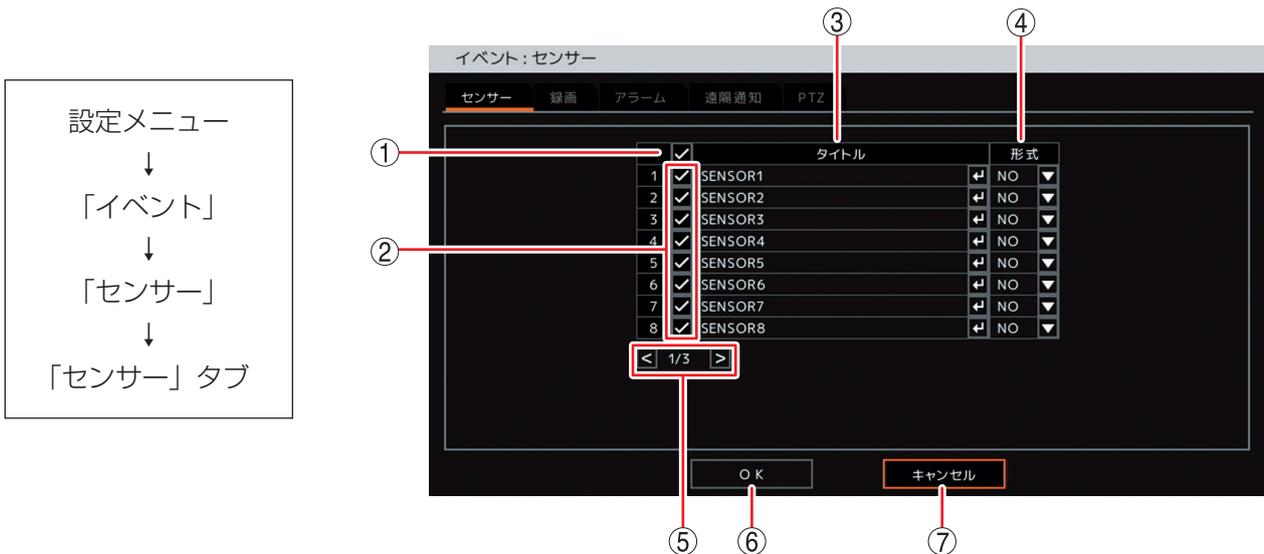
■ センサー設定

● センサー入力を設定する

センサー入力、緊急録画入力の名称、および入力形式を設定できます。

センサーを使用するときは設定を有効にします。

設定メニュー画面で [イベント → センサー → センサータブ] を選択すると、以下の画面が表示されます。



- ① 一斉チェックボックス : 使用するセンサー入力を一斉選択します。チェックを入れるとすべて選択し、外すとすべての選択を解除します。選択を解除すると、すべてのセンサー入力は無効になります。
- ② チェックボックス : 使用するセンサー入力を選択します。チェックを入れると選択し、外すと選択を解除します。選択を解除すると、センサー入力は無効になります。
- ③ タイトル : センサー入力と緊急録画入力の名称を入力します。決定キーを押すと「文字入力画面」が表示されます。英数、記号で最大 16 文字まで入力できます。(P. 4-13「文字を入力する」)
設定したタイトルは、遠隔通知機能の E メールや DRNET の Callback イベントリストに表示されます。

【注意】

「\」「,」「%」はタイトルに使用しないでください。

DRNET や DRNET Mobile と接続して使用したときに正しく表示されないことがあります。

- ④ 形式 : センサー入力信号と緊急録画入力信号の形式を NO、NC から設定します。
[選択]
NO (Normally Open) : 接点をメイクするとイベント発生、ブレイクするとイベント終了になります。
NC (Normally Close) : 接点をブレイクするとイベント発生、メイクするとイベント終了になります。
- ⑤ ページ切り換え : ◀ ▶ でページを切り換えます。
- ⑥ OK : 設定を保存して前画面に戻ります。
- ⑦ キャンセル : 設定を保存せずに前画面に戻ります。

● センサー録画を行う

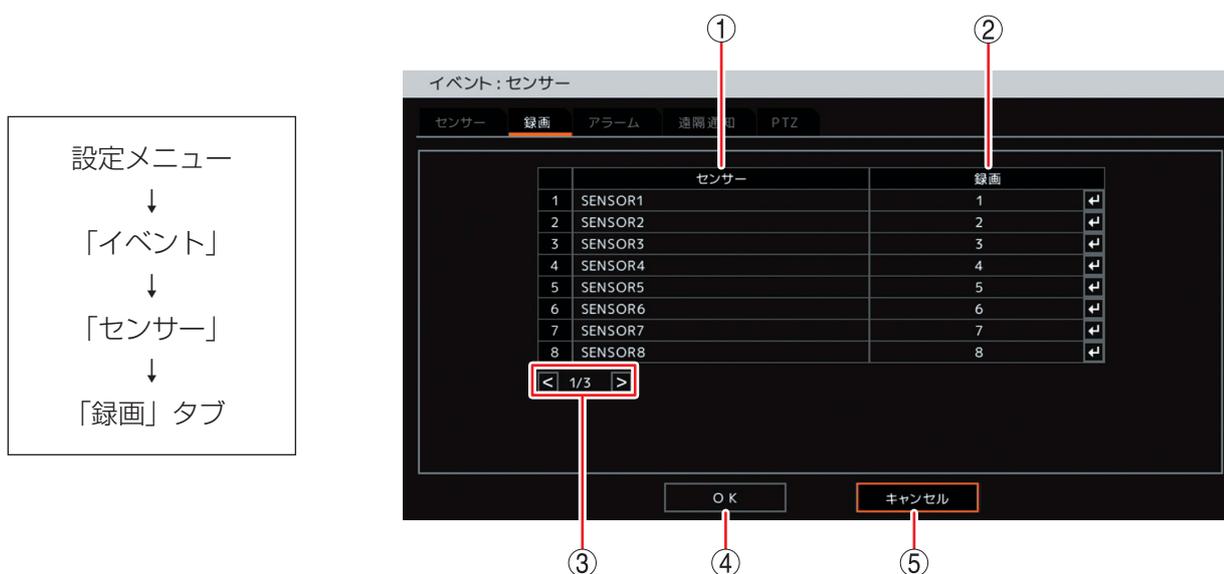
センサー入力によりセンサー録画を行うカメラチャンネルを設定します。

1つのセンサー入力で複数のチャンネルのカメラ映像を録画するように設定できます。

センサー録画を行うには、使用するセンサー入力を選択してください。(P. 4-81「センサー入力を設定する」)
設定メニュー画面で「イベント → センサー → 録画タブ」を選択すると、以下の画面が表示されます。

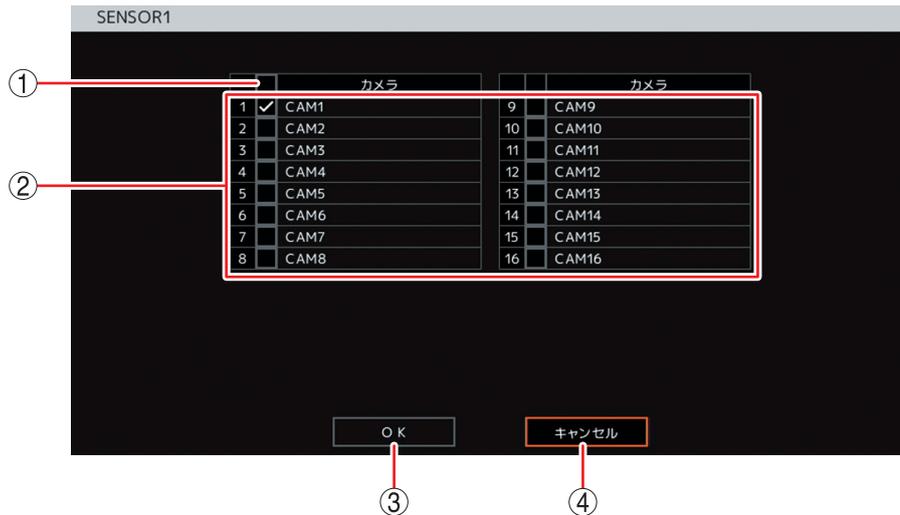
メモ

緊急録画を開始したときは、すべてのカメラチャンネルを録画します。



- ① センサー : センサー入力端子番号と緊急録画入力の名称を表示します。
- ② 録画 : センサー入力が入ったときに録画するカメラチャンネルを選択します。決定キーを押すと「録画カメラ選択画面（次ページ）」が表示されます。複数のカメラチャンネルを設定することができます。
- ③ ページ切り換え : < > でページを切り換えます。
- ④ OK : 設定を保存して前画面に戻ります。
- ⑤ キャンセル : 設定を保存せずに前画面に戻ります。

[録画カメラ選択画面]



- ① 一斉チェックボックス : 録画するカメラチャンネルを一斉選択します。チェックを入れるとすべて選択し、外すとすべての選択を解除します。選択を解除すると、すべてのカメラチャンネルの録画は無効になります。
- ② チェックボックス : 録画するカメラチャンネルを選択します。チェックを入れると選択し、外すと選択を解除します。選択を解除すると、カメラチャンネルの録画は無効になります。
- ③ OK : 設定した内容を保持して前画面に戻ります。保存するには前画面で「OK」を押してください。
- ④ キャンセル : 設定を保存せずに前画面に戻ります。

ご注意

センサー録画カメラとして設定したカメラチャンネルは、録画スケジュールで「イベント録画」を含む録画スケジュールを設定してください。「イベント録画」を含まない録画モードではイベント録画を行いません。(P. 4-63 「録画スケジュールを設定する」)

● イベントが発生したときに出力するアラームを設定する

センサーイベント、モーションイベントの発生時、または緊急録画開始時に出力させるコントロール出力端子やブザー鳴動を設定します。

以下はセンサーのアラーム設定で説明します。モーションイベントのアラーム設定も同様に設定します。

ビデオロスイベントは、P. 4-96「ビデオロスが発生したときに出力するアラームを設定する」、システムイベントは、P. 4-98「システムイベントが発生したときに出力するアラームを設定する」を参照してください。

【緊急録画、センサーイベントの場合】

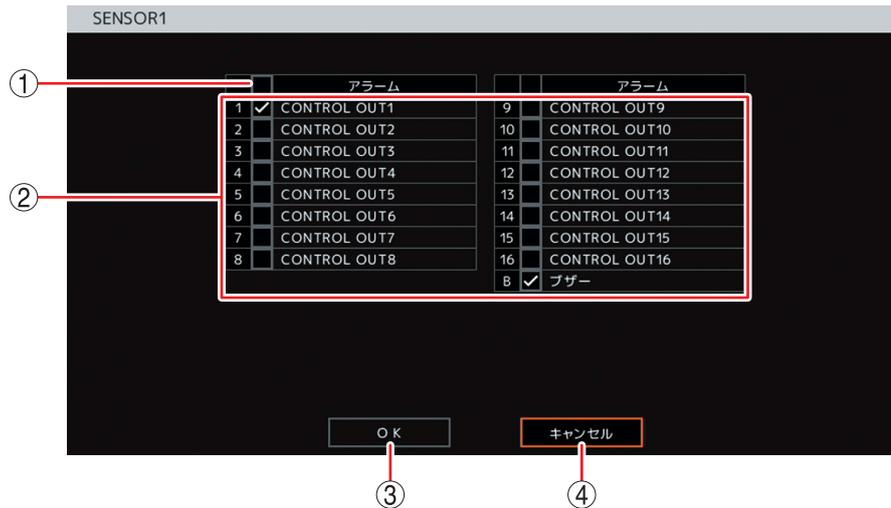
イベントが発生したときに出力するアラームを設定する場合は、あらかじめセンサーの設定を有効にしておいてください。(P. 4-81「センサー入力を設定する」)

設定メニュー画面で [イベント → センサー → アラームタブ] を選択すると、以下の画面が表示されます。



- ① アラーム : イベント発生時または緊急録画開始時に動作するアラームを表示します。決定キーを押すと「イベントアラーム設定画面 (次ページ)」が表示され、アラームを設定できます。
- ② ページ切り換え : < > でページを切り換えます。
- ③ OK : 設定を保存して前画面に戻ります。
- ④ キャンセル : 設定を保存せず前画面に戻ります。

[イベントアラーム設定画面]



- ① 一括チェックボックス : すべてのコントロール出力端子番号とブザー鳴動(ブザー)を選択します。チェックを入れるとすべて選択し、外すとすべての選択を解除します。選択を解除すると、すべてのコントロール出力とブザー鳴動は無効になります。
- ② チェックボックス : コントロール出力端子番号とブザー鳴動(ブザー)を選択します。チェックを入れると選択し、外すと選択を解除します。選択を解除すると、コントロール出力とブザー鳴動は無効になります。
- ③ OK : 設定した内容を保持して前画面に戻ります。保存するには、前画面で「OK」を押してください。
- ④ キャンセル : 設定を保存せずに前画面に戻ります。

● イベント発生時に遠隔通知を行う

緊急録画やセンサーイベント、モーションイベント、ビデオロスイベント、システムイベントが発生したときに遠隔通知を行うための設定をします。

遠隔通知には DRNET Callback へのイベント通知（コールバック機能）と E メール送信があります。

以下はセンサーの遠隔通知設定で説明します。モーションイベント、ビデオロスイベント、システムイベントの遠隔通知設定も同様に設定します。

メモ

イベントが発生したときに遠隔通知を行う場合は、あらかじめ DRNET Callback へのイベント通知の設定 (P. 4-74 「コールバック設定を行う」) と E メール送信の設定 (P. 4-76 「E メール設定を行う」) が必要です。

【緊急録画、センサーイベントの場合】

イベントが発生したときに遠隔通知を行う場合は、あらかじめセンサーの設定を有効にしておいてください。(P. 4-81 「センサー入力を設定する」)

設定メニュー画面で [イベント → センサー → 遠隔通知タブ] を選択すると、以下の画面が表示されます。



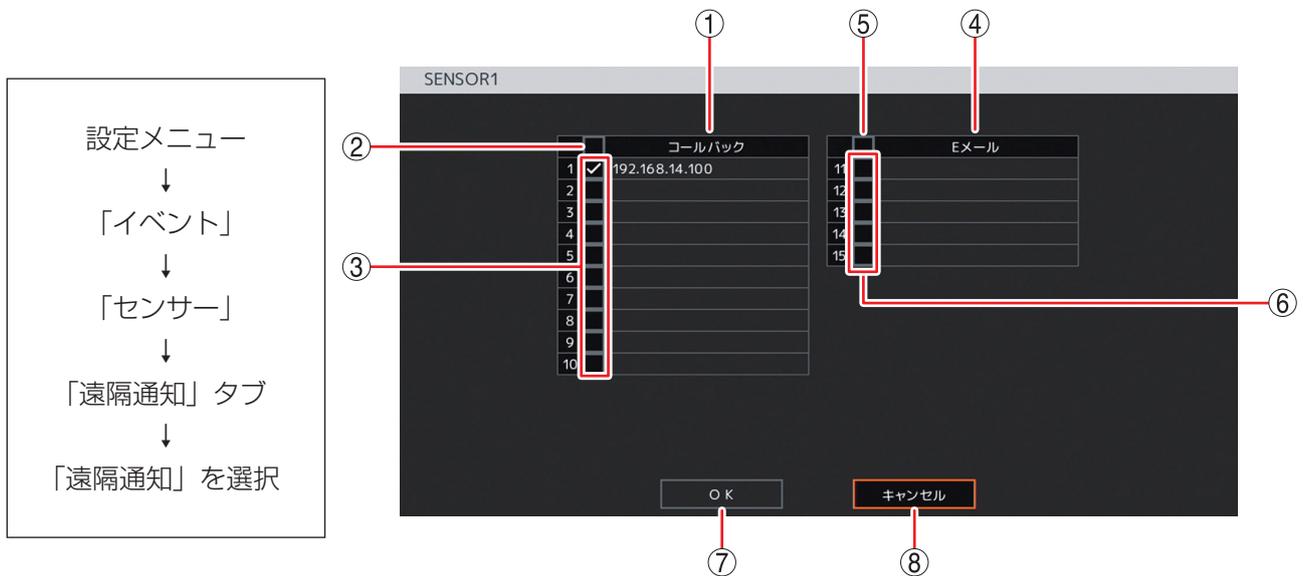
- ① 遠隔通知 : 該当チャンネルのセンサー入力が入ったとき、または、緊急録画を開始したときに通知するコールバックまたはメールアドレスを選択します。決定キーを押すと「通知先アドレス選択画面 (次ページ)」が表示されます。
- ② ページ切り換え : < > でページを切り換えます。
- ③ OK : 設定を保存して前画面に戻ります。
- ④ キャンセル : 設定を保存せずに前画面に戻ります。

【通知先アドレス選択画面】

緊急録画やセンサーイベント、モーションイベント、ビデオロスイベント、システムイベントの各イベント発生時に遠隔通知を送信するアドレスを設定します。

設定するアドレスはあらかじめコールバック設定（P. 4-74 「コールバック設定を行う」）、Eメール設定（P. 4-76 「Eメール設定を行う」）をしてください。

設定メニュー画面で「イベント → センサー → 遠隔通知タブ」から「遠隔通知」を選択すると、以下の画面が表示されます。



- ① コールバック : チェックが入っている IP アドレスにコールバック通知します。
- ② 一斉チェックボックス (コールバック) : コールバックする IP アドレスを一斉選択します。チェックを入れるとすべて選択し、外すとすべての選択を解除します。選択を解除すると、コールバックする IP アドレスはすべて無効になります。
- ③ チェックボックス (コールバック) : コールバックする IP アドレスを選択します。チェックを入れると選択し、外すと選択を解除します。選択を解除すると、コールバックする IP アドレスは無効になります。
- ④ Eメール : チェックの入っているメールアドレスに Eメール送信します。
- ⑤ 一斉チェックボックス (Eメール) : Eメール送信するメールアドレスを一斉選択します。チェックを入れるとすべて選択し、外すとすべての選択を解除します。選択を解除すると、Eメール送信するメールアドレスはすべて無効になります。
- ⑥ チェックボックス (Eメール) : Eメール送信するメールアドレスを選択します。チェックを入れると選択し、外すと選択を解除します。選択を解除すると、Eメール送信するメールアドレスは無効になります。
- ⑦ OK : 設定を保存して前画面に戻ります。
- ⑧ キャンセル : 設定を保存せずに前画面に戻ります。

第4章 設定のしかた

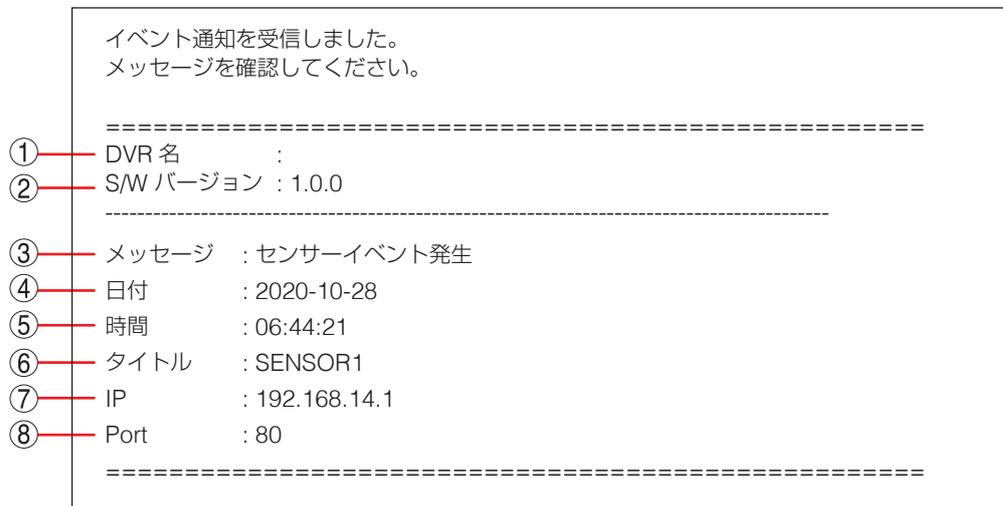
● Eメールの送信内容

遠隔通知でEメールを送信する場合、以下の内容のEメールが送信されます。

[Eメールの件名]

「DVR Eメール通知」と表示されます。

[Eメールの本文]



① DVR名 : 本体のDVR名を表示します。(P. 4-11「システム設定(簡易設定)」)

② S/Wバージョン : デジタルレコーダーのバージョンを表示します。

③ メッセージ : 発生したイベントを表示します。

センサーイベント発生
緊急イベント発生
モーションイベント発生
ビデオロスイベント発生
ビデオ入力イベント発生
HDDエラーイベント発生
HDD接続エラーイベント発生
ファン異常検出イベント発生
録画異常イベント発生
残容量警告イベント発生
S.M.A.R.T.エラーイベント発生
S.M.A.R.T.温度イベント発生

☒ ☒

テストメールの場合は、「テストメール」と表示します。

④ 日付 : イベントが発生した日付を表示します。

⑤ 時間 : イベントが発生した時刻を表示します。

⑥ タイトル : イベントのタイトルを表示します。

☒ ☒

テストメールの場合は、「テストメール」と表示します。

⑦ IP : ネットワーク設定(P. 4-67「IPアドレスを設定する」)で設定した本機のIPアドレスを表示します。

⑧ Port : ネットワーク設定(P. 4-73「ポートを設定する」)で設定したウェブポート番号を表示します。

☒ ☒

● 複数のイベントが同時に発生したときにもEメールはイベントごとに1通ずつ送信します。

● 短い間隔で連続してEメールを送信したとき、ご契約のプロバイダーのEメールサーバーによっては設定した送信先へEメールが送信されないことがあります。

● イベント発生時にプリセット移動させる (PTZ)

緊急録画やセンサーイベント、モーションイベント、ビデオロスイベントのイベント発生時に指定したコンビネーションカメラをあらかじめ設定したプリセット位置に移動させることができます。

以下はセンサーのPTZ設定で説明します。

モーションイベント、ビデオロスイベントのPTZ設定も同様に設定します。

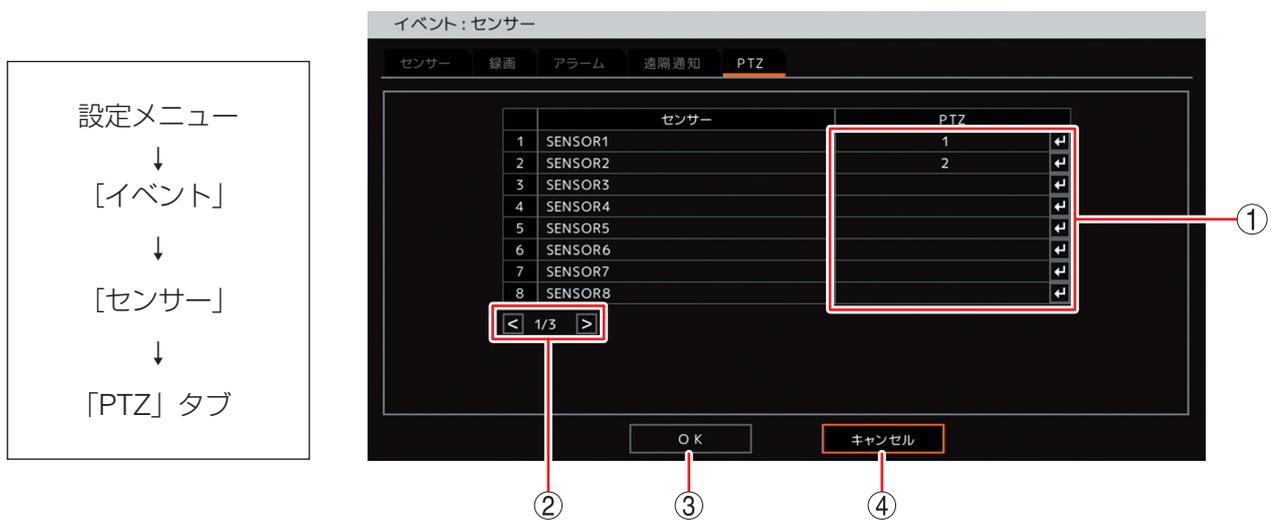
【ご注意】

複数のコンビネーションカメラを設定すると、すべてのカメラが移動するのに数秒かかることがあります。

【緊急録画、センサーイベントの場合】

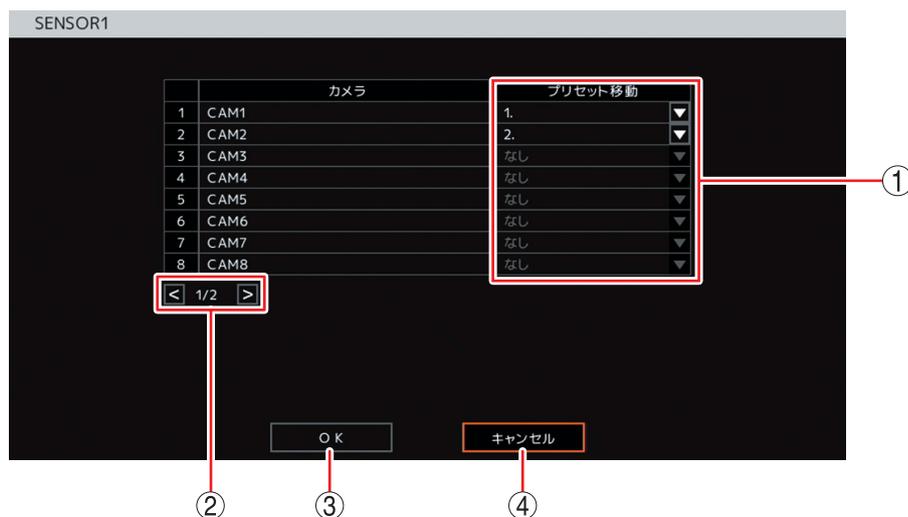
イベント発生時に動作するコンビネーションカメラとプリセット移動番号を設定します。

設定メニュー画面で [イベント → センサー → PTZ タブ] を選択すると、以下の画面が表示されます。



- ① PTZ : イベント発生時に動作するコンビネーションカメラの番号を表示します。決定キーを押すと「プリセット移動設定画面(次ページ)」が表示され、動作させたいコンビネーションカメラのプリセット番号を設定できます。
- ② ページ切り換え : < > でページを切り換えます。
- ③ OK : 設定を保存して前画面に戻ります。
- ④ キャンセル : 設定を保存せずに前画面に戻ります。

[プリセット移動設定画面]



- ① プリセット移動 : 1～16までのプリセット移動番号が表示されます。決定キーを押すと、プリセット番号の選択肢が表示されます。プリセット番号を設定してください。

×モ

プリセット移動がグレーになっているカメラは、コンビネーションカメラとして設定していないカメラです。(P. 4-42「コンビネーションカメラ設定をする (PTZ)」)

- ② ページ切り換え : < > でページを切り換えます。
- ③ OK : 設定した内容を保持して前画面に戻ります。保存するには、前画面で「OK」を押してください。
- ④ キャンセル : 設定を保存せずに前画面に戻ります。

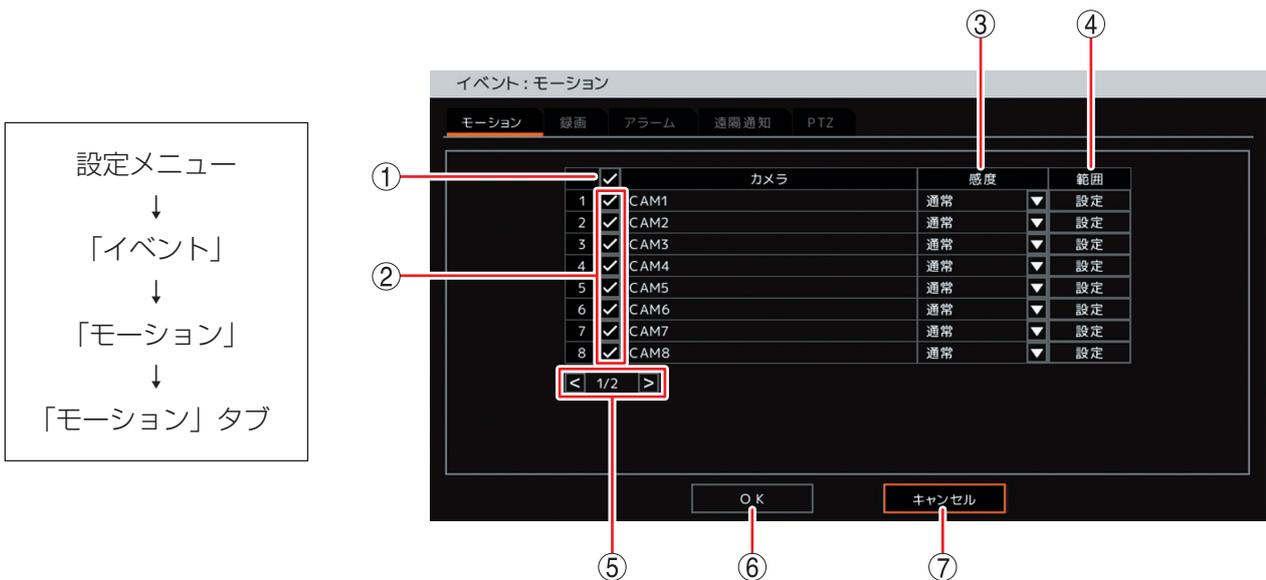
■ モーション設定

● モーション検知の設定をする

モーションを検知する感度と範囲の設定を行います。

モーションを検知するときは設定を有効にしてください。

設定メニュー画面で [イベント → モーション → モーションタブ] を選択すると、以下の画面が表示されます。



① 一斉チェックボックス：モーションを設定するカメラを一斉選択します。チェックを入れるとすべて選択し、外すとすべての選択を解除します。選択を解除すると、すべてのカメラのモーションの設定は無効になります。

② チェックボックス：モーションを設定するカメラを選択します。チェックを入れると選択し、外すと選択を解除します。選択を解除すると、カメラのモーションの設定は無効になります。

③ 感度：モーション感度を以下の5段階から設定します。
[選択] 最高/高/通常/中/低

ご注意

モーション検知感度は、カメラの種類や設置状況による映像の違い、モーション範囲の大きさなどで異なり、動きを検知できない場合や誤検知する場合があります。設置場所に応じて感度を設定してください。

④ 範囲：モーション範囲を設定します。(P. 4-92「モーション範囲を設定する」)

⑤ ページ切り換え：< > でページを切り換えます。

⑥ OK：設定を保存して前画面に戻ります。

⑦ キャンセル：設定を保存せずに前画面に戻ります。

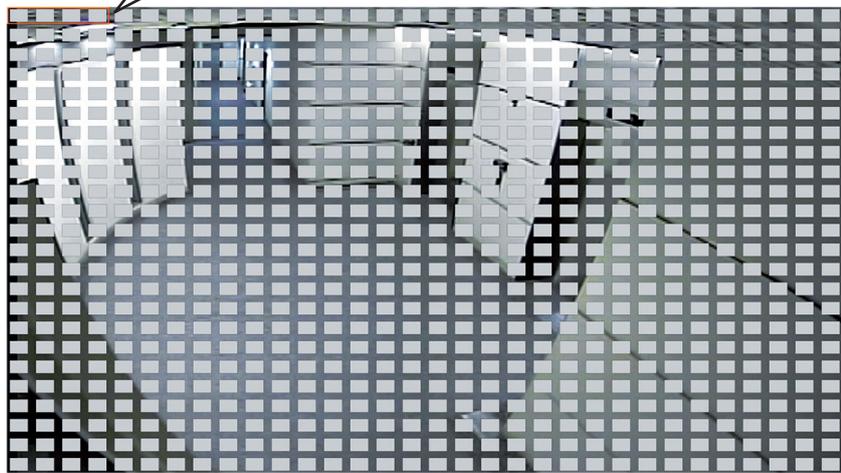
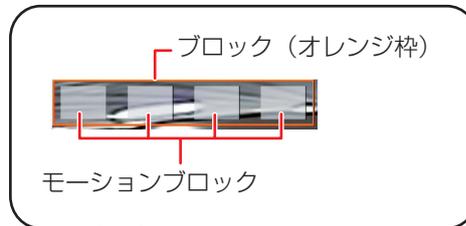
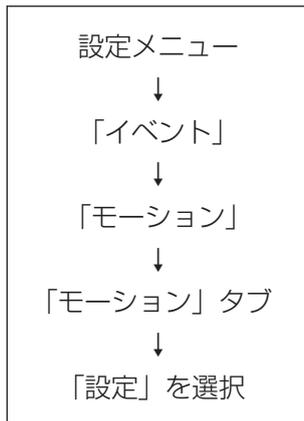
● モーション範囲を設定する

モーションブロックを設定すると、その範囲でモーションを検知できます。

モーションブロックの数：768 モーションブロック（横×縦：32 × 24）

設定メニュー画面で [イベント → モーション → モーションタブ] から「設定」を選択すると、以下の画面が表示されます。

[モーション範囲設定]



1 モーション範囲の「設定」を選択し、決定キーを押す。

モーション範囲設定画面が表示されます。

ⓧ Ⓜ

工場出荷時は全画面のモーションブロックが設定されています。

2 上下左右キーを押し、ブロック（オレンジ色の枠）を設定したいモーションブロックの位置に移動する。

3 モーションブロックの設定を変更する。

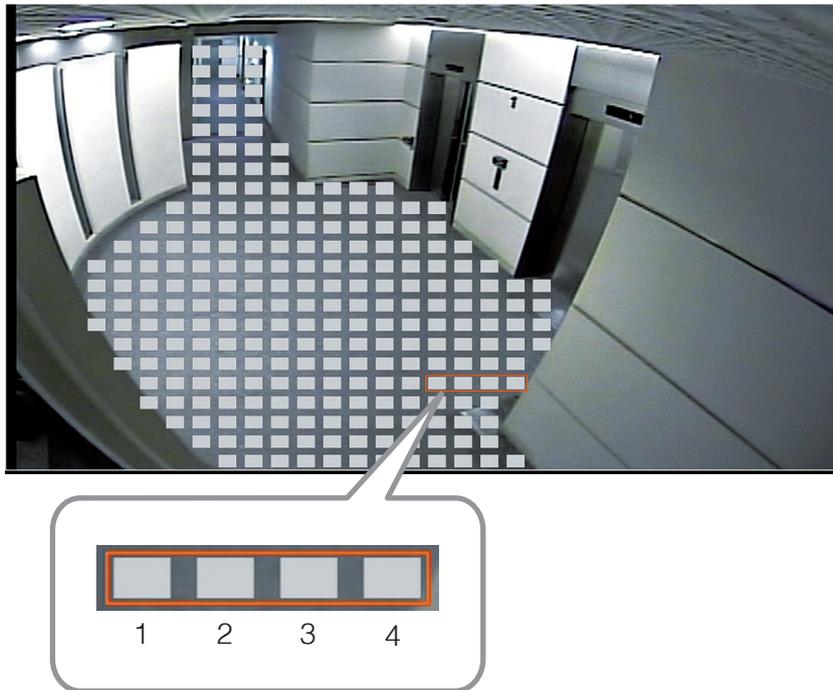
3-1 決定キーを押す。

押すごとに、オレンジ色の枠内すべてのモーションブロックの選択と消去を交互に行います。

3-2 カメラ選択キーを押す。

ブロックの左から順にカメラチャンネル番号（1～4）が割り振られています。

同じカメラ選択キーを押すごとに、モーションブロックの選択と消去を交互に行います。



4 メニューキーを押す。

モーシヨンプロック設定メニューが表示されます。再度メニューキーを押すと、設定メニューは消えます。

ブロック選択：オレンジ色の枠内すべてのモーシヨンプロックに設定します。

ブロック消去：オレンジ色の枠内すべてのモーシヨンプロックを消去します。

全範囲選択：全画面をモーシヨンプロックに設定します。

全消去：全画面のモーシヨンプロックを消去します。

閉じる：設定したモーシヨンプロックを一時的に保存して前画面に戻ります。



5 モーシヨンプロック設定メニューで「閉じる」を選択し、決定キーを押す。

前画面に戻ります。

【ご注意】

モーシヨンプロックはこの時点では保存されていません。モーシヨンプロックを保存するにはモーシヨンプロック設定画面で「OK」を選択し、決定キーを押してください。

第4章 設定のしかた

[マウスによる操作]

手順：モーションブロックの設定を変更する位置をクリックする。

クリックすることによりモーションブロックの設定と消去を交互に行うことができます。

[×モ]

マウスのドラッグ & ドロップ (左ボタンを押してから左ボタンを離すまで) で範囲を決めて、モーションブロックの設定と消去を行うことができます。

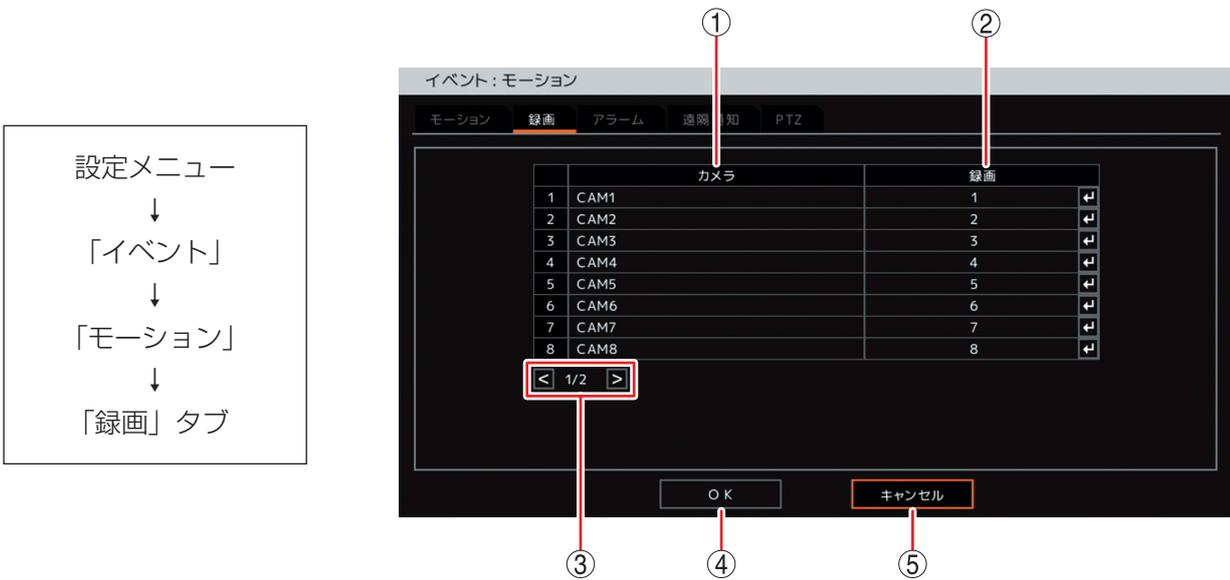
- ・ 左ボタンを押す：選択範囲の始点を決める。
- ・ 左ボタンを離す：選択範囲の終点を決める。

● モーション録画を行う

カメラがモーションを検知したときにモーション録画を行うカメラチャンネルを設定します。

1台のカメラでモーションを検知したときに複数のチャンネルを録画するように設定できます。

モーション録画を行うには、モーションを検知するカメラを選択してください。(P. 4-91「モーション設定」)
設定メニュー画面で [イベント → モーション → 録画タブ] を選択すると、以下の画面が表示されます。



- ① カメラ : モーションを設定するカメラ番号とカメラ名称を表示します。
- ② 録画 : モーションエリアを設定したカメラがモーションを検知したときに録画するカメラを選択します。決定キーを押すと「録画カメラ選択画面 (P. 4-83)」が表示されます。複数のカメラを選択できます。
- ③ ページ切り換え : < > でページを切り換えます。
- ④ OK : 設定を保存して前画面に戻ります。
- ⑤ キャンセル : 設定を保存せずに前画面に戻ります。

ご注意

モーションを検知したときに録画するように設定したカメラチャンネルは、録画スケジュールで「イベント録画」を含む録画スケジュールを設定してください。「イベント録画」を含まない録画モードではイベント録画を行いません。(P. 4-63「録画スケジュールを設定する」)

● イベントが発生したときに出力するアラームを設定する

モーションイベント発生時に出力するコントロール出力端子やブザー鳴動を設定します。(P. 4-84「イベントが発生したときに出力するアラームを設定する」)

● イベント発生時に遠隔通知を行う

モーションイベント発生時に遠隔通知を行うための設定をします。(P. 4-86「イベント発生時に遠隔通知を行う」)

● イベント発生時にプリセット移動させる (PTZ)

モーションイベント発生時にコンビネーションカメラをあらかじめ設定したプリセット位置に移動させるための設定をします。(P. 4-89「イベント発生時にプリセット移動させる (PTZ)」)

■ ビデオロス設定

● ビデオロス録画を行う

ビデオロスを検知したときに、録画を行うカメラチャンネルを設定します。

設定メニュー画面で「イベント → ビデオロス → 録画タブ」を選択すると、以下の画面が表示されます。



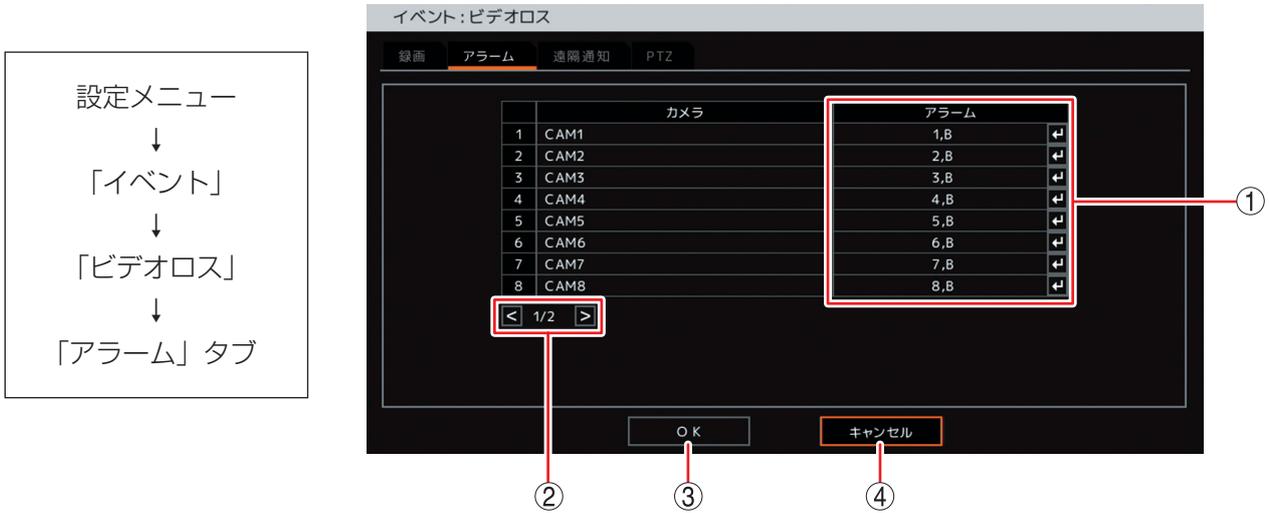
- ① カメラ : カメラ名称を表示します。
- ② 録画 : ① のカメラがビデオロスしたときに録画するカメラを選択します。複数のカメラを選択できます。決定キーを押すと「録画カメラ選択画面 (P. 4-83)」が表示されます。
- [×] [モ]
- ビデオロスしたカメラは録画できません。
- ③ ページ切り換え : < > でページを切り換えます。
- ④ OK : 設定を保存して前画面に戻ります。
- ⑤ キャンセル : 設定を保存せずに前画面に戻ります。

ご注意

録画中のカメラでビデオロスが発生したときに、代わりに録画するように設定したカメラチャンネルは、録画スケジュールで「イベント録画」を含む録画スケジュールを設定してください。「イベント録画」を含まない録画モードではイベント録画を行いません。(P. 4-63「録画スケジュールを設定する」)

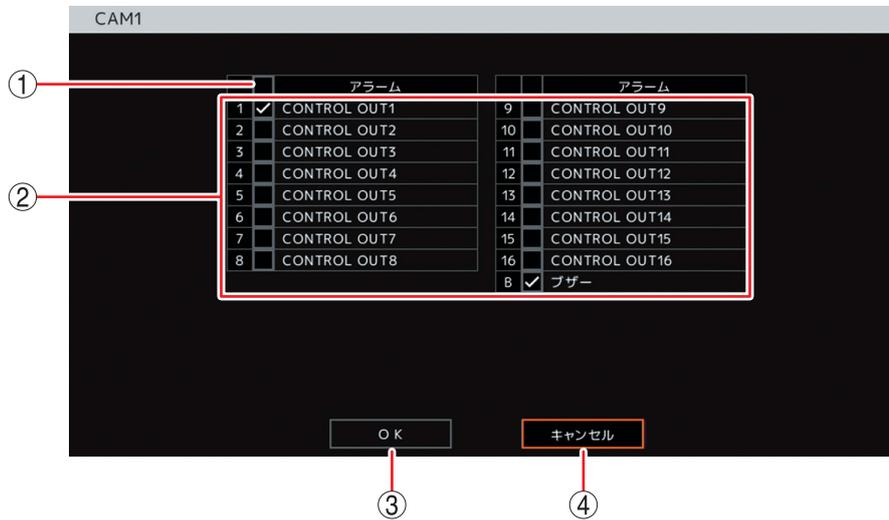
● ビデオロスが発生したときに出力するアラームを設定する

ビデオロスが発生したときに出力させるコントロール出力端子やブザー鳴動を設定します。設定メニュー画面で [イベント → ビデオロス → アラームタブ] を選択すると、以下の画面が表示されます。



- ① アラーム : ビデオロスを検知したときに動作するアラームを表示します。決定キーを押すと以下の「ビデオロスアラーム設定画面」が表示され、アラームを設定できます。
- ② ページ切り換え : < > でページを切り換えます。
- ③ OK : 設定を保存して前画面に戻ります。
- ④ キャンセル : 設定を保存せずに前画面に戻ります。

[ビデオロスアラーム設定画面]



- ① 一斉チェックボックス : すべてのコントロール出力端子番号とブザー鳴動(ブザー)を選択します。チェックを入れるとすべて選択し、外すとすべての選択を解除します。選択を解除すると、すべてのコントロール出力とブザー鳴動は無効になります。
- ② チェックボックス : コントロール出力端子番号とブザー鳴動(ブザー)を選択します。チェックを入れると選択し、外すと選択を解除します。選択を解除すると、コントロール出力とブザー鳴動は無効になります。
- ③ OK : 設定した内容を保持して前画面に戻ります。保存するには、前画面で「OK」を選択し、決定キーを押してください。
- ④ キャンセル : 設定を保持せずに前画面に戻ります。

● イベント発生時に遠隔通知を行う

ビデオロスイベント発生時に遠隔通知を行うための設定をします。(P. 4-86「イベント発生時に遠隔通知を行う」)

● イベント発生時にプリセット移動させる (PTZ)

ビデオロスイベント発生時にコンビネーションカメラをあらかじめ設定したプリセット位置に移動させるための設定をします。(P. 4-89「イベント発生時にプリセット移動させる (PTZ)」)

■ システム設定

● ハードディスクの S.M.A.R.T. 限界温度や残容量警告しきい値を設定する

ハードディスクは温度が上昇すると故障しやすくなります。本機の使用温度範囲内でご使用の場合でもハードディスクの異常などにより、ハードディスクの温度が上昇することがあります。S.M.A.R.T. 情報によってハードディスクの温度を検知し、一定温度に達するとシステムイベントを発生させることができます。また、録画設定で上書き禁止に設定している場合、ハードディスクフルになる前にシステムイベントを発生させることができます。

設定メニュー画面で [イベント → システム → システムタブ] を選択すると、以下の画面が表示されます。



- ① 残容量警告しきい値 (%) * : 残容量警告のイベントを発生させるハードディスクの使用容量を設定します。決定キーを押して、上下キーで数値を変更します。
[選択] 50 ~ 100
- ② S.M.A.R.T. 限界温度 : 本機で使用しているハードディスクに合わせて 65°C に設定しています。この設定で使用してください。
- ③ OK : 設定を保存して前画面に戻ります。
- ④ キャンセル : 設定を保存せずに前画面に戻ります。

* カメラ選択キーを押す、または、マウスの右クリックで数字キーパッドを表示し、数値を直接入力できます。(P. 4-8「数値を直接入力する」)

● システムイベントが発生したときに出力するアラームを設定する

システムイベントが発生したときに出力させるコントロール出力端子、ブザー鳴動やメッセージを設定します。設定メニュー画面で「イベント → システム → アラームタブ」を選択すると、以下の画面が表示されます。



① アラーム : 以下のシステムイベントを検知したときに動作するアラームを表示します。決定キーを押すと「システムイベントアラーム選択画面（次ページ）」が表示され、アラームを設定できます。

HDD エラー : ハードディスクが正常に動作せず、ハードディスクが認識できなくなったとき (P. 6-25 「ハードディスクエラー」)

残容量警告 : 録画設定で上書き禁止に設定している場合、ハードディスクの使用容量が残容量警告しきい値に達したとき (P. 6-27 「ハードディスクフル (残容量警告)」)

S.M.A.R.T. : ハードディスクの S.M.A.R.T. 情報からエラーを検出したときやハードディスクの温度が S.M.A.R.T. 限界温度を超えたとき (P. 6-26 「S.M.A.R.T.」)

録画異常 : ハードディスクが認識できず、録画ができない状態になったとき (P. 6-25 「ハードディスクエラー」)

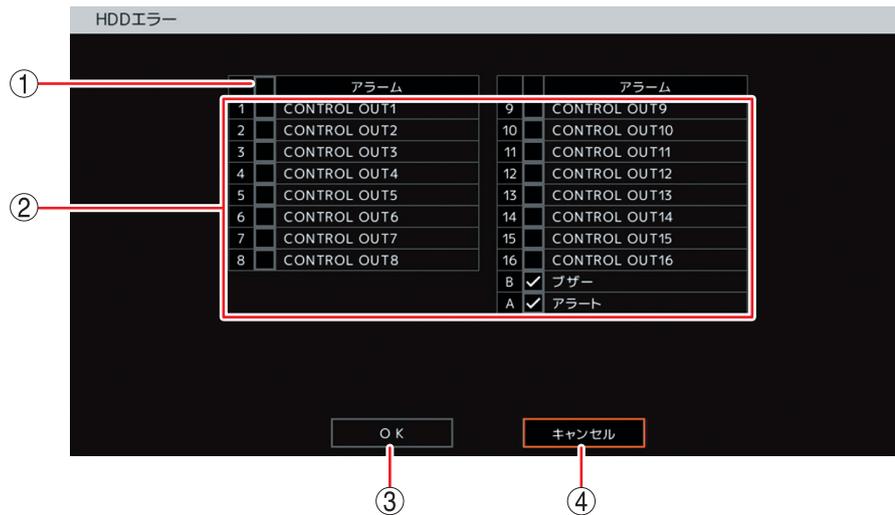
HDD 接続エラー : ハードディスクを認識できない状態で、本機を起動したとき (P. 6-25 「ハードディスクエラー」)

ファン異常検出 : ファンに異常が発生したとき (P. 6-24 「ファン異常」)

② OK : 設定を保存して前画面に戻ります。

③ キャンセル : 設定を保存せずに前画面に戻ります。

[システムイベントアラーム選択画面]



- ① 一斉チェックボックス : すべてのコントロール出力端子番号とブザーの鳴動(ブザー)、メッセージ(アラート)を出力するときに選択します。チェックを入れるとすべて選択し、外すとすべての選択を解除します。選択を解除すると、すべてのコントロール出力、ブザー鳴動、メッセージの出力は無効になります。
- ② チェックボックス : コントロール出力端子番号、ブザー鳴動(ブザー)、メッセージ(アラート)を選択します。チェックを入れると選択し、外すと選択を解除します。選択を解除すると、コントロール出力、ブザー鳴動、メッセージの出力は無効になります。
- ③ OK : 設定した内容を保持して前画面に戻ります。保存するには、前画面で「OK」を選択し、決定キーを押してください。
- ④ キャンセル : 設定を保持せずに前画面に戻ります。

● イベント発生時に遠隔通知を行う

システムイベント発生時に遠隔通知を行うための設定をします。(P. 4-86「イベント発生時に遠隔通知を行う」)

● UPS の設定を行う

無停電電源装置（UPS）と接続し、停電前後の録画データの消失を防止できます。

無停電電源装置（UPS）からの信号により、設定した時間が経過したあとにシャットダウンを行います。

設定メニュー画面で [イベント → システム → UPS タブ] を選択すると、以下の画面が表示されます。

ご注意

電源異常（停電）が発生し、UPS のバッテリー電源で本機が動作しているときに電源異常待機時間を変更しないでください。正しくシャットダウンしないことがあります。

メモ

UPS 接続中で電源異常待機時間が経過する前に、電源の復旧などにより UPS からの信号が無効になったときは、シャットダウン状態には移行しません。



① 電源異常待機時間 (秒) * : 1 秒～ 36,000 秒（10 時間）から時間を設定できます。UPS から信号を受けてシャットダウンするまでの時間を設定します。決定キーを押して、上下キーで数値を変更します。

② OK : 設定を保存して前画面に戻ります。

③ キャンセル : 設定を保存せずに前画面に戻ります。

* カメラ選択キーを押す、または、マウスの右クリックで数字キーパッドを表示し、数値を直接入力できます。
(P. 4-8 「数値を直接入力する」)

第5章

基本機能

ライブ

本機では、モニター出力に現在のカメラ映像を表示することを「ライブ表示」と呼びます。スポット出力のライブ表示は、HDMI 出力やアナログ RGB 出力と同じ映像を表示したり、ライブ映像専用の出力として1画面表示、4 / 9 / 16 分割画面表示、シーケンス表示します。(P. 5-14 「スポット出力」)

■ ライブ画面の表示

● ライブ画面で表示できること

ライブ時の映像は、以下の画面表示をすることができます。

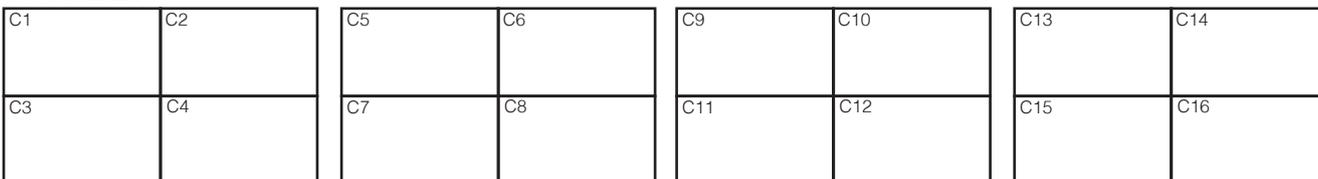
[画面表示]

- 1 画面 : 1 チャンネルの映像を表示します。
- 4 分割画面 : モニターを4分割して4チャンネルの映像を表示します。
- 6 分割画面 : モニターを6分割して6チャンネルの映像を表示します。
- 8 分割画面 : モニターを8分割して8チャンネルの映像を表示します。
- 9 分割画面 : モニターを9分割して9チャンネルの映像を表示します。
- 13 分割画面 : モニターを13分割して13チャンネルの映像を表示します。
- 16 分割画面 : モニターを16分割して16チャンネルの映像を表示します。

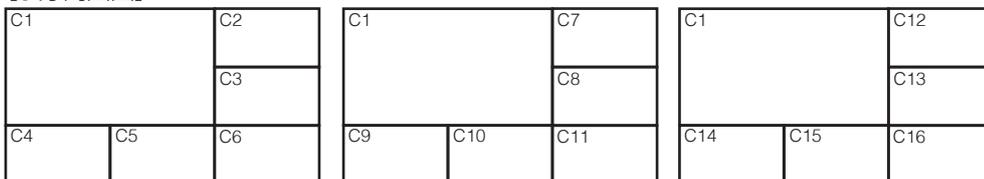
[1画面]



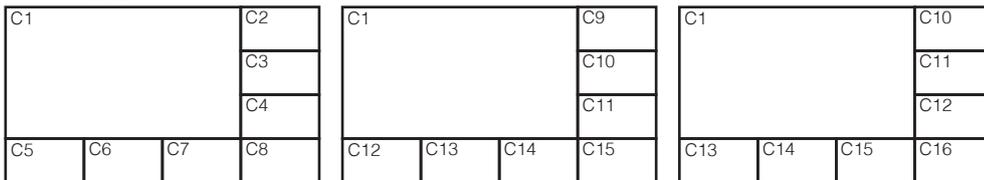
[4分割画面]



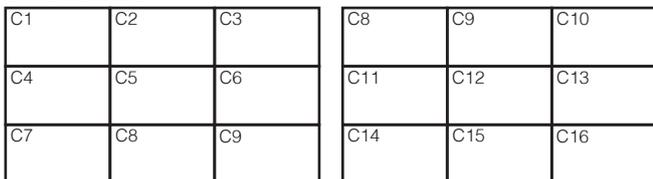
[6分割画面]



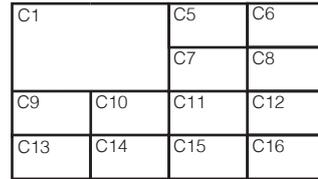
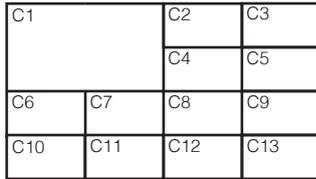
[8分割画面]



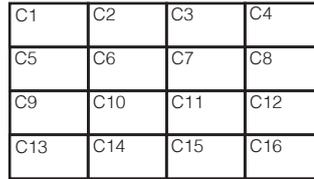
[9分割画面]



[13分割画面]



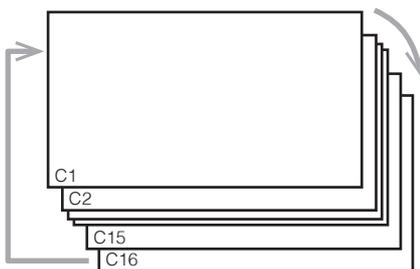
[16分割画面]



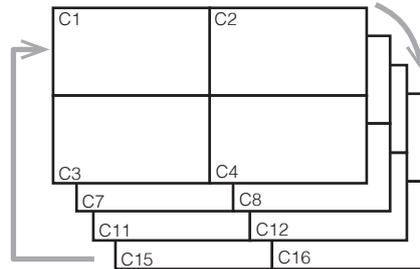
[シーケンス表示]

シーケンス表示は、ライブの1画面表示中または分割画面表示中に、ディスプレイ設定の「シーケンス間隔」で設定した時間で順次画面が切り換わる機能です。(P. 5-10「シーケンス表示する」)

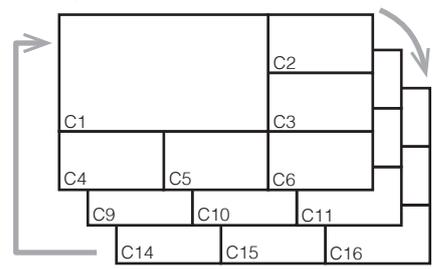
[1画面シーケンス]



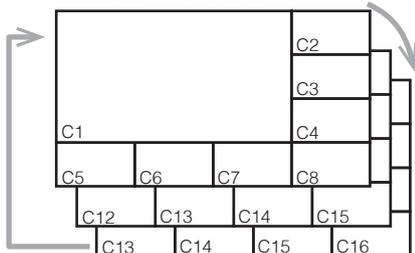
[4分割シーケンス]



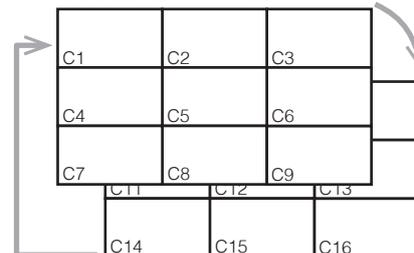
[6分割シーケンス]



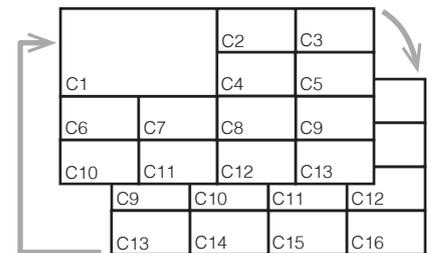
[8分割シーケンス]



[9分割シーケンス]



[13分割シーケンス]

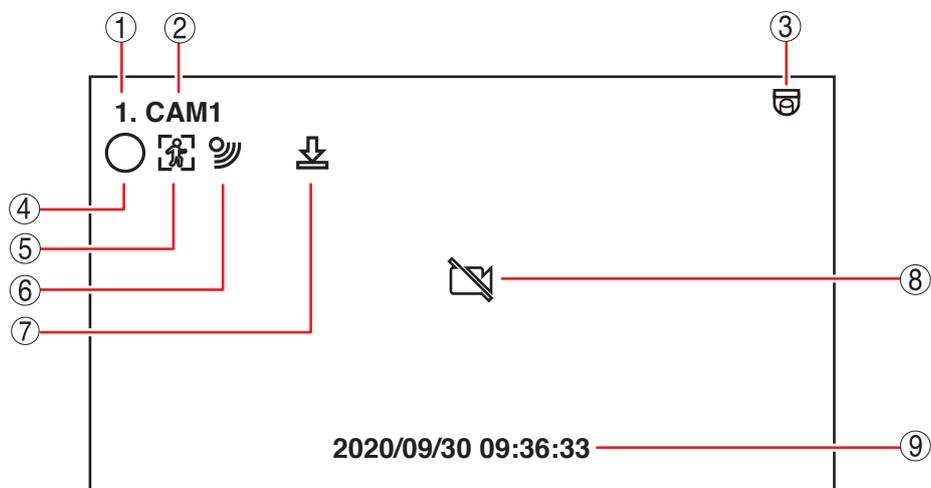


ご注意

- 以下の設定をしているカメラの映像は表示されません。
 - ・「デバイス設定」で使用するカメラとして選択していない (P. 4-39「使用するカメラとカメラ名称を決める」)
 - ・「マスク設定」のモードを「中」または「高」にしている (P. 4-43「モニター画面で表示しないカメラを決める (マスク設定)」)
- シーケンス表示中にライブ画面表示や再生画面表示の操作を行うと、シーケンスを終了します。また、シーケンス表示中にライブ操作メニューの「シーケンス」を選択しても終了します。

● ライブ画面の OSD 表示

HDMI 出力とアナログ RGB 出力にライブ表示中の状態や情報を表示します。



- ① カメラチャンネル番号 : カメラ入力のチャンネル番号を表示します。
- ② カメラ名表示 : カメラ名を表示します。(P. 4-39「使用するカメラとカメラ名称を決める」)
- ③ カメラタイプ表示 : コンビネーションカメラとして使用する設定にしているときに表示されます。(P. 4-42「コンビネーションカメラ設定をする (PTZ)」)
- ④ 録画表示 : 録画の状態を表示します。色やアイコンの形で録画状態を表します。(P. 5-20「録画の OSD 表示」)
- ⑤ モーション検知表示 : モーション検知中に表示されます。
- ⑥ センサー入力表示 : センサー入力中に表示されます。
- ⑦ バックアップ表示 : バックアップ実行中に表示されます。
- ⑧ ビデオロス表示 : ビデオロス中に表示されます。
- ⑨ 日時表示 : 現在日時またはステータスバーを表示します。
(ステータスバー) ステータスバーを表示すると現在日時はステータスバーの中に表示されます。(P. 5-5「ライブ画面のステータスバー表示」)

メモ

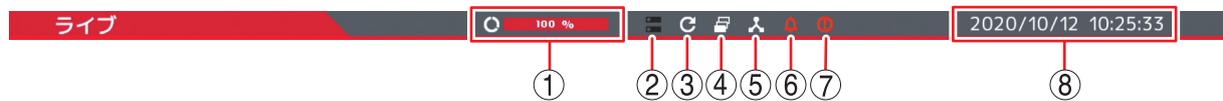
日時の表示形式は変更することができます。(P. 4-27「現在時刻を変更する」)

メモ

- ① ~ ⑨ の OSD はすべて非表示にすることができます。ライブ画面の OSD やステータスバー表示の設定は、ライブ操作メニューの「OSD」で行うことができます。(P. 5-9「OSD 表示を設定する」)
- OSD の表示位置を調整することができます。(P. 4-50「OSD やステータスバー表示位置を設定する」)
- スポット出力をライブ映像専用の出力に設定しているときは、OSD の表示はできません。

● ライブ画面のステータスバー表示

ライブ画面の日時表示部に以下のように表示されます。



- ① ハードディスクの使用率を表示します。
- ② ハードディスクをミラーリング設定にすると点灯（白色）します。（P. 4-20 「ハードディスクをミラーリングする」）
- ③ ハードディスクが上書き設定になると点灯（白色）します。（P. 4-60 「ハードディスクに上書き録画をする」）
- ④ シーケンス表示中に点灯（白色）します。（P. 5-10 「シーケンス表示する」）
- ⑤ ネットワーク接続の状態を表示します。（P. 4-67 「ネットワーク設定」）
 : 有線 LAN を使用して接続しているときに点灯（白色）
 : Wi-Fi を使用して接続しているときに点灯（白色）
- ⑥ アラーム状態になると点灯（オレンジ色）します。（P. 4-46 「アラームの設定を行う」）
- ⑦ 緊急録画中に点灯（オレンジ色）します。（P. 5-18 「緊急録画」）
- ⑧ 現在日時を表示します。

メモ

- ステータスバーの表示時間を設定することができます。（P. 4-50 「OSD やステータスバー表示位置を設定する」）
- ライブ画面の OSD やステータスバー表示の設定は、ライブ操作メニューの「OSD」で行うことができます。（P. 5-9 「OSD 表示を設定する」）
- スポット出力をライブ映像専用の出力に設定しているときは、ステータスバーの表示はできません。

■ ライブ操作

ライブの操作は、ライブ操作メニューで行います。

【ご注意】

スポット出力をライブ映像専用の出力に設定しているときは、ライブ操作メニューは表示できません。

● ライブ操作メニューによるライブ操作

ライブ操作メニューは、ライブ画面でメニューキーを押すと表示されます。メニューを閉じる場合は、メニューキーを押します。

【メモ】

マウスでは、ライブ画面で右クリックすると表示されます。メニューを閉じる場合は、メニュー表示部以外でクリックまたは右クリックします。

カメラ選択 : 1画面表示するカメラチャンネルまたは16分割画面表示を選択します。(P. 5-7「指定したカメラを表示する」)

表示レイアウト : 分割画面表示を選択します。(P. 5-8「分割画面を表示する」)

カメラ情報 : 接続されているカメラの映像方式を表示します。(P. 5-9「カメラの映像信号方式を確認する」)

OSD : OSDとステータスバーの表示状態を選択します。(P. 5-9「OSD表示を設定する」)

フリーズ : 表示中のライブ画面を静止します。(P. 5-10「ライブ映像を一時的に静止する(フリーズ機能)」)

表示 : 1画面表示中のライブ画面をシーケンス、ズーム、PIP表示します。また、スポット出力に表示する映像を選択します。
[シーケンス] シーケンス表示します。(P. 5-10「シーケンス表示する」)

[ズーム] 拡大表示します。拡大表示中に表示領域を移動することができます。(P. 5-11「映像の一部を拡大する(電子ズーム機能)」)

[PIP] PIP(Picture In Picture)機能を使い、小画面で表示するカメラを選択します。(P. 5-12「別のカメラ映像を小さい画面で表示する(PIP機能)」)

[スポット] スポット出力に表示する映像を選択します。(P. 5-14「スポット出力の表示を切り換える」)

音声 : 音声出力チャンネルを選択します。(P. 5-16「音声の切り換えを行う」)

カメラ制御 : 制御するコンビネーションカメラまたはAHDカメラを選択します。(P. 6-2「コンビネーションカメラの操作」、P. 6-8「AHDカメラの操作」)

【メモ】

● コンビネーションカメラに設定したカメラがない場合、または、AHDカメラが接続されていない場合は使用できません。

● カメラ制御権限を持たないユーザーは使用できません。

バックアップ : バックアップ設定画面が表示されます。(P. 5-38「バックアップ(コピー)する」)

【メモ】

バックアップ権限を持たないユーザーは使用できません。

再生 : 本機のハードディスクに録画されたデータを再生するかUSBメモリーに保存された独自形式のバックアップデータを再生するかを選択します。(P. 5-25「再生画面へ切り換える」)

【メモ】

再生権限を持たないユーザーは使用できません。

緊急録画 : 緊急録画を行います。(P. 5-18「緊急録画」)

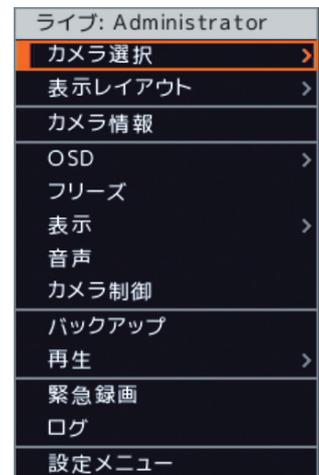
ログ : システムログとイベントログを表示します。(P. 6-16「ログ情報」)

【メモ】

イベントログ表示画面からイベント録画の再生をすることができます。(P. 6-22「イベントログを表示する」)

設定メニュー : 設定メニュー画面が表示されます。(P. 4-2「設定メニュー構成」)

[ライブ操作メニュー]



● 指定したカメラを表示する

1 画面表示するカメラチャンネルを選択します。

手順：表示したいカメラチャンネルのカメラ選択キーを押す。

選択したカメラチャンネルが 1 画面で表示されます。

メモ

カメラチャンネル 10 ~ 16 を選択する場合は、以下のように押してください。

(例) カメラチャンネル「10」のとき：「1」、「0」

[ライブ操作メニューによる操作]

1 画面表示するカメラチャンネルまたは 16 分割画面表示を選択します。

1 ライブ操作メニューの「カメラ選択」を選択し、決定キーを押す。

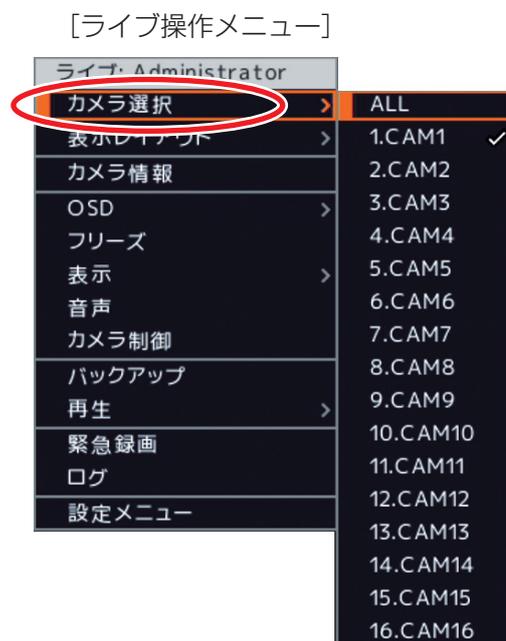
チャンネル選択メニューが表示されます。

現在表示中のカメラチャンネルにチェックが入っています。

2 表示したいカメラチャンネルを選択し、決定キーを押す。

1 画面表示になります。

「ALL」を選択すると 16 分割画面表示になります。



メモ

マウスでライブ画面をダブルクリックすると、1 画面表示中は直前に表示していた分割画面に切り換わります。分割画面表示中はダブルクリックしたカメラチャンネルの 1 画面に切り換わります。

● 分割画面を表示する

分割画面表示を選択します。

手順：多画面キーを押す。

画面表示が切り換わります。押すごとに画面表示が段階的に変化します。

7段階：1画面 ⇒ 4分割 ⇒ 6分割 ⇒ 9分割 ⇒ 8分割 ⇒ 13分割 ⇒ 16分割

[ライブ操作メニューによる操作]

1 ライブ操作メニューの「表示レイアウト」を選択し、決定キーを押す。

表示レイアウト選択メニューが表示されます。

2 ライブ表示したいレイアウトを選択し、決定キーを押す。

選択した分割画面表示になります。

2 × 2 : 4分割画面表示

1 + 5 : 6分割画面表示

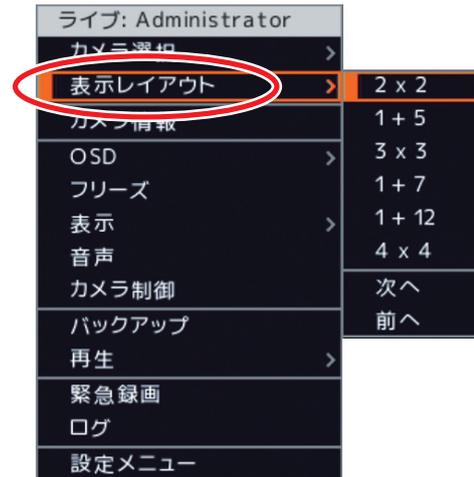
3 × 3 : 9分割画面表示

1 + 7 : 8分割画面表示

1 + 12 : 13分割画面表示

4 × 4 : 16分割画面表示

[ライブ操作メニュー]



メモ

マウスでライブ画面をダブルクリックすると、1画面表示中は直前に表示していた分割画面に切り換わります。分割画面表示中はダブルクリックしたカメラチャンネルの1画面に切り換わります。

● カメラチャンネルや分割画面表示のページを切り換える

手順：次グループキーを押す。

1画面表示中はカメラチャンネルが、次のチャンネルに切り換わります。

分割画面表示中は、同じ分割画面の次の画面（グループ）に切り換わります。

[ライブ操作メニューによる操作]

1 ライブ操作メニューの「表示レイアウト」を選択し、決定キーを押す。

表示レイアウト選択メニューが表示されます。

2 「次へ」、「前へ」を選択し、決定キーを押す。

1画面表示中はカメラチャンネルが、次のチャンネル、前のチャンネルに切り換わります。

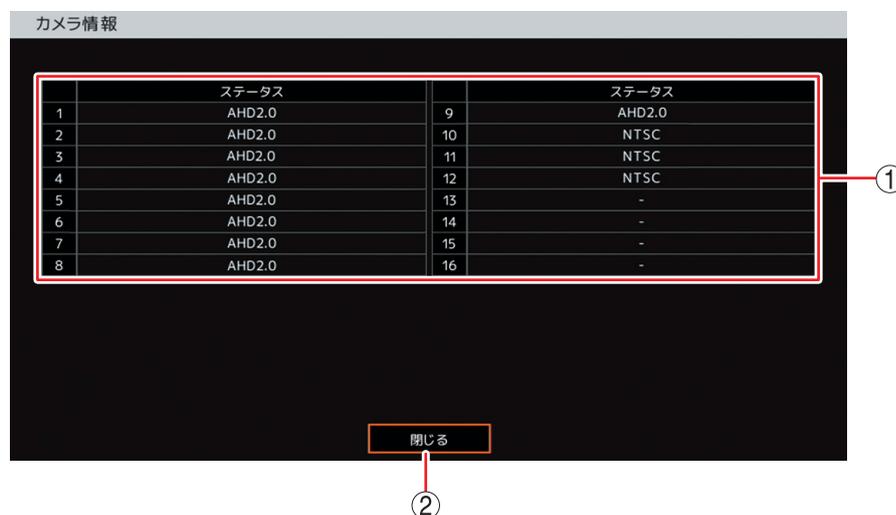
分割画面表示中は、同じ分割画面の次の画面（グループ）、前の画面（グループ）に切り換わります。

● カメラの映像信号方式を確認する

接続されているカメラの映像信号方式を表示します。

手順：ライブ操作メニューの「カメラ情報」を選択し、決定キーを押す。

カメラ情報画面が表示されます。



① ステータス

NTSC : NTSC 信号方式

AHD2.0 : AHD2.0 信号方式

AHD3.0 : AHD3.0 信号方式

不明 : それ以外の映像信号方式

- : カメラが接続されていない、または、映像信号として識別できない

メモ

本機は NTSC 信号方式および AHD2.0 信号方式のカメラに対応しています。AHD3.0 信号方式は認識しますが、映像（解像度）は非対応です。「不明」が表示されている場合は、接続しているカメラの映像方式を確認してください。

② 閉じる

ライブ画面に戻ります。

● OSD 表示を設定する

OSD とステータスバーの表示状態を選択します。

1 ライブ操作メニューの「OSD」を選択し、決定キーを押す。

OSD 選択メニューが表示されます。

現在の表示状態にチェックが入っています。

2 設定したい OSD 表示項目を選択し、決定キーを押す。

項目にチェックが入り、選択した表示状態になります。

[ライブ操作メニュー]



なし : ライブ画面に OSD とステータスバーを表示しません。

OSD : ライブ画面に OSD だけを表示します。ステータスバーは表示しません。

OSD + ステータスバー : ライブ画面に OSD とステータスバーを表示します。

● ライブ映像を一時的に静止する（フリーズ機能）

表示中のライブ画面を静止します。

手順：ライブ操作メニューの「フリーズ」を選択し、決定キーを押す。

ライブ映像が静止します。

メモ

フリーズ解除する場合は、電源キー  以外の前面キーを押してください。元のライブ状態に戻ります。

● シーケンス表示する

シーケンス中はステータスバーのシーケンスアイコンが点灯します。（P. 5-5「ライブ画面のステータスバー表示」）

1 1画面表示する。

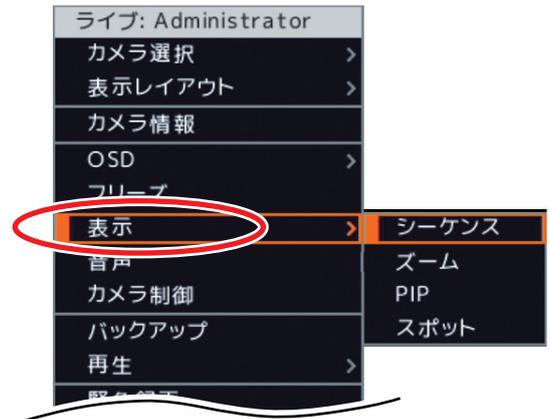
2 ライブ操作メニューの「表示」を選択し、決定キーを押す。

表示選択メニューが表示されます。シーケンス表示中は「シーケンス」にチェックが入っています。

3 表示選択メニューの「シーケンス」を選択し、決定キーを押す。

設定したシーケンス間隔で1画面シーケンスを開始します。

[ライブ操作メニュー]



メモ

- シーケンスを停止する場合は、再度「シーケンス」を選択し、決定キーを押してください。
- カメラチャンネルや分割画面を手動で切り換えると、シーケンス表示は停止します。
- 1画面シーケンスで表示しているときにカメラチャンネルが以下の条件の場合、そのカメラチャンネルは表示しません。また、分割画面のシーケンス中は、すべてのカメラチャンネルが以下の条件の場合、その画面を飛び越して自動で次の画面を表示します。
 - ・「デバイス設定」で使用するカメラとして選択していない（P. 4-39「使用するカメラとカメラ名称を決める」）
 - ・「マスク設定」のモードを「中」または「高」にしている（P. 4-43「モニター画面で表示しないカメラを決める（マスク設定）」）
 - ・ビデオロスしている（P. 6-28「ビデオロス」）

● 映像の一部を拡大する（電子ズーム機能）

カメラ映像の一部を電子ズームします。

1 ズームするカメラを1画面表示する。

2 ライブ操作メニューの「表示」を選択し、決定キーを押す。

表示選択メニューが表示されます。

3 表示選択メニューの「ズーム」を選択し、決定キーを押す。

ズーム倍率選択メニューが表示されます。

現在表示中のズーム倍率にチェックが入っています。

×モ

1画面表示中は、「x1」にチェックが入っています。

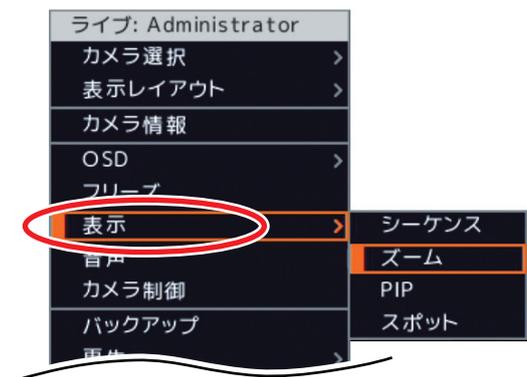
4 ズーム倍率を選択し、決定キーを押す。

選択した倍率でライブ映像が拡大表示されます。

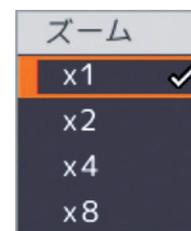
また、ディスプレイ設定の「PIP」で設定した小さい画面が重ねて表示されます。（P. 4-53「重ねて表示する小さい画面のサイズと位置を決める（PIP）」）

小さい画面には通常のライブ映像が表示され、画面内の白枠部分がライブ映像の拡大表示範囲です。

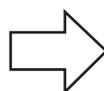
[ライブ操作メニュー]



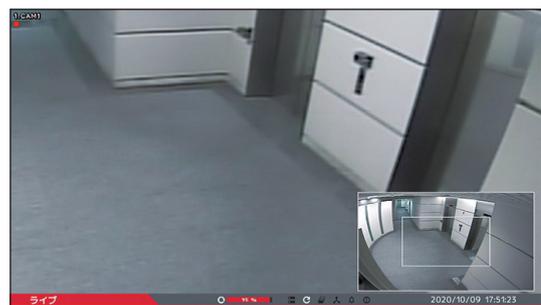
[ズーム倍率選択メニュー]



[通常のライブ画面]



[拡大（ズーム）時のライブ画面]



5 上下左右キーを押す。

拡大表示範囲が移動します。

×モ

- マウス操作では、小さい画面の白枠内で左ボタンを押したままマウスを移動すると、拡大表示範囲が移動します。左ボタンを離すと移動は終了します。
- ズーム解除する場合は、再度「ズーム」を選択して、ズーム倍率の「x1」を選択し、決定キーを押してください。
- 別のカメラチャンネルや分割画面に切り換えるとズームは解除されます。

● 別のカメラ映像を小さい画面で表示する（PIP 機能）

1 画面表示している画面の一部に小さい画面で別のカメラ映像を重ねて表示（PIP 表示）します。

1 カメラ映像を 1 画面表示する。

2 ライブ操作メニューの「表示」を選択し、決定キーを押す。

表示選択メニューが表示されます。

3 表示選択メニューの「PIP」を選択し、決定キーを押す。

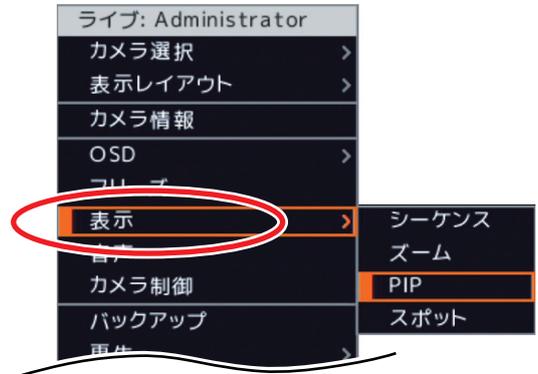
チャンネル選択メニューが表示されます。

PIP 表示中は PIP 表示チャンネルにチェックが入っています。

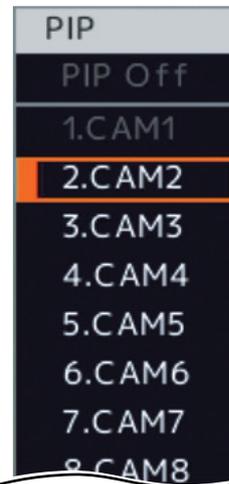
4 PIP 表示するカメラチャンネルを選択し、決定キーを押す。

ディスプレイ設定の「PIP」で設定したライブ画面表示になります。（P. 4-53 「重ねて表示する小さい画面のサイズと位置を決める（PIP）」）

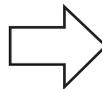
[ライブ操作メニュー]



[チャンネル選択メニュー]



[通常のライブ画面]



[PIP 表示のライブ画面]



メモ

- PIP を解除する場合は、選択メニューの「PIP Off」を選択し、決定キーを押してください。
- 別のカメラチャンネルや分割画面表示に切り換えると、PIP は解除されます。

ご注意

HDMI ケーブルでモニターと接続している場合、PIP 中に HDMI ケーブルを抜き差しすると PIP が解除されます。

● イベントが発生したカメラ映像を表示する（イベントポップアップ機能）

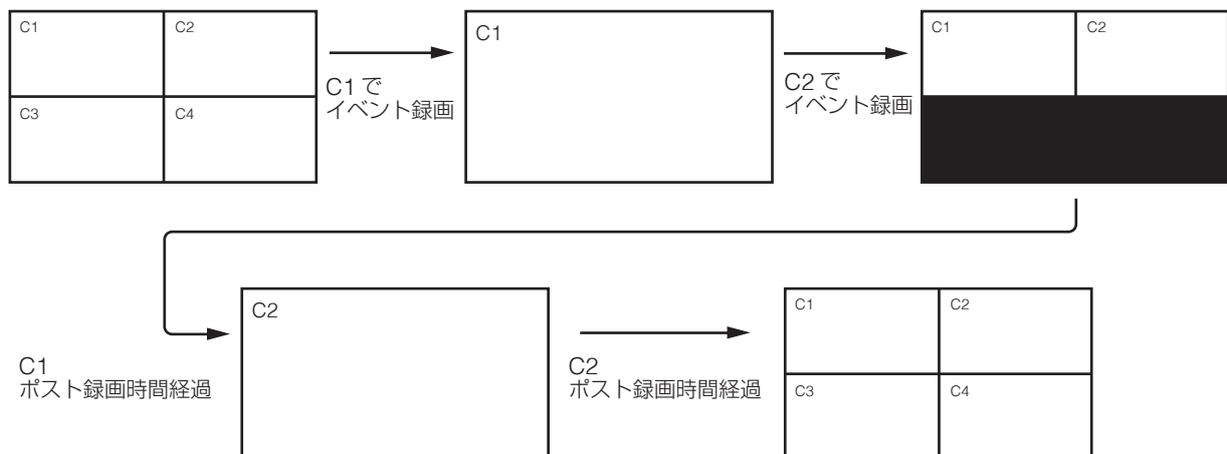
イベント発生時に、イベント録画しているカメラの映像を表示させることができます。

複数のカメラで同時にイベントが発生した場合は、イベントが発生したすべてのカメラチャンネルを表示する分割画面に切り換わります。ただし、ビデオロスイベントの場合は、ビデオロスしたカメラの代わりに録画するカメラ映像を表示します。

ポスト録画時間が経過するとイベントポップアップ表示前の画面に戻ります。

イベントポップアップ表示するカメラは、イベントポップアップ機能（P. 4-54「シーケンス表示間隔やイベントポップアップ機能を設定する（メイン）」）が有効で、イベント録画（P. 6-12「イベント機能」）しているカメラです。

例：C1とC2にイベント録画が発生した場合



メモ

- イベントポップアップ表示中でも、画面の切り換えを行うことができます。この場合、イベントポップアップ表示は解除されます。
- イベントポップアップ表示前にシーケンスを行っていた場合、イベントポップアップ表示が発生するとシーケンスが解除されます。
- 緊急録画を行ってもイベントポップアップ表示します。イベントポップアップ表示するカメラは、緊急録画しているカメラです。
- 分割画面のイベントポップアップ表示は、カメラチャンネル番号の小さい順に表示されます。イベントの発生順ではありません。

■ スポット出力

本機は、HDMI 出力とアナログ RGB 出力とは別にスポット出力があります。

スポット出力は、HDMI 出力やアナログ RGB 出力と同じ映像を表示したり、ライブ映像専用の出力として 1 画面表示、4 / 9 / 16 分割画面表示、シーケンス表示します。(P. 4-55「スポット出力の表示を設定する (スポット)」)

ライブ映像専用の出力は、ライブ操作メニューで画面表示を切り換えます。(P. 5-14「スポット出力の表示を切り換える」)

メモ

工場出荷時は、HDMI 出力やアナログ RGB 出力と同じ映像を出力します。

ご注意

ライブ映像専用の出力では OSD 表示はできません。

● スポット出力の表示を切り換える

スポット出力に表示する映像を変更します。HDMI 出力やアナログ RGB 出力と同じ映像を表示したり、ライブ映像専用の出力として 1 画面表示、4 分割画面表示、1 画面シーケンス表示します。シーケンス表示を行う場合は、あらかじめシーケンス表示するカメラとシーケンス間隔を設定する必要があります。(P. 4-55「スポット出力の表示を設定する (スポット)」)

1 スポットキーを押す。

スポット表示選択メニューが表示されます。

表示中の映像にチェックが入っています。

メニューを閉じる場合は、スポットキーまたはメニューキーを押します。

[メイン]

HDMI 出力やアナログ RGB 出力と同じ映像を表示します。

[シーケンス]

「シーケンス」を選択し、決定キーを押してシーケンス表示選択メニューを表示します (ライブ映像専用)。

1 × 1 : 1 画面シーケンス表示

2 × 2 : 4 分割シーケンス表示

3 × 3 : 9 分割シーケンス表示

[マルチ]

「マルチ」を選択し、決定キーを押して分割画面表示選択メニューを表示します (ライブ映像専用)。

2 × 2 (1 ~ 4) : 4 分割画面表示 (カメラチャンネル 1 ~ 4)

2 × 2 (5 ~ 8) : 4 分割画面表示 (カメラチャンネル 5 ~ 8)

2 × 2 (9 ~ 12) : 4 分割画面表示 (カメラチャンネル 9 ~ 12)

2 × 2 (13 ~ 16) : 4 分割画面表示 (カメラチャンネル 13 ~ 16)

3 × 3 (1 ~ 9) : 9 分割画面表示 (カメラチャンネル 1 ~ 9)

3 × 3 (8 ~ 16) : 9 分割画面表示 (カメラチャンネル 8 ~ 16)

4 × 4 (1 ~ 16) : 16 分割画面表示 (カメラチャンネル 1 ~ 16)

[CAM1 ~ CAM16]

選択したカメラチャンネルを 1 画面で表示します (ライブ映像専用)。

メモ

ライブ操作メニューの「表示 → スポット」を選択してもスポット表示選択メニューが表示されます。(P. 5-6「ライブ操作メニューによるライブ操作」)

[スポット表示選択メニュー]



2 表示したい映像を選択し、決定キーを押す。

選択した映像を表示します。

ご注意

- スポット設定でスポット出力映像を「メイン」に設定している場合は、ライブ操作メニューのスポット表示選択メニューでライブ映像専用の画面表示は選択できません。また、スポット出力映像を「ライブ」に設定している場合は、ライブ操作メニューのスポット表示選択メニューで「メイン」は選択できません。(P. 4-55「スポット出力の表示を設定する (スポット)」)
- スポット表示切換時にスポット出力の映像が乱れることがあります。

メモ

- スポット設定でスポット出力映像を「メイン+ライブ」に設定しているときは、スポットキーを3秒以上押し、スポット出力映像が「メイン」に変更され、HDMI出力やアナログRGB出力と同じ映像を表示します。誤ってライブ映像専用の出力に切り換えてしまった場合に使用してください。
- ライブ映像専用の出力は、フリーズ機能、電子ズーム機能、およびPIP機能は使用できません。
- 「マスク設定」のモードを「中」または「高」にしているカメラの映像は表示されません。(P. 4-43「モニター画面で表示しないカメラを決める (マスク設定)」)
- 1画面シーケンスで表示しているときにカメラチャンネルが以下の条件の場合、そのカメラチャンネルは表示しません。また、分割画面のシーケンス中は、すべてのカメラチャンネルが以下の条件の場合、その画面を飛び越して自動で次の画面を表示します。
 - ・「スポット設定」でシーケンス表示するカメラとして選択していない (P. 4-55「スポット出力の表示を設定する (スポット)」)
 - ・「デバイス設定」で使用するカメラとして選択していない (P. 4-39「使用するカメラとカメラ名称を決める」)
 - ・「マスク設定」のモードを「中」または「高」にしている (P. 4-43「モニター画面で表示しないカメラを決める (マスク設定)」)
 - ・ビデオロスしている (P. 6-28「ビデオロス」)

● スポット出力のイベントポップアップ機能

スポット出力をライブ映像専用の出力に設定しているときは、イベント発生時に、イベント録画 (P. 6-12「イベント機能」) しているカメラの映像を1画面表示させることができます。ビデオロスイベントの場合は、ビデオロスしたカメラの代わりに録画するカメラ映像を表示します。

イベントポップアップ表示を行う場合は、あらかじめイベントポップアップ表示するカメラとイベントポップアップ機能を有効に設定する必要があります (P. 4-55「スポット出力の表示を設定する (スポット)」)。

複数のイベントが発生した場合は、後優先でチャンネル番号が小さいカメラ映像を1画面表示します。

イベント録画中のカメラに再度イベントが発生した場合は、表示しているカメラ映像がそのまま表示され続けます。

すべてのポスト録画時間が経過したあとは、最後に表示したカメラ映像を表示します。

メモ

- 緊急録画を行ってもイベントポップアップ表示します。イベントポップアップ表示するカメラは、緊急録画しているチャンネル番号が小さいカメラです。
- イベントポップアップ表示前にシーケンスを行っていた場合、イベントポップアップ表示が発生するとシーケンスが解除されます。

■ ライブ音声

ライブ画面表示中に本機に入力された音声信号を切り換えて音声を出力することができます。音声はカメラ映像と連動しません。

また、DRNETの音声送信機能を使用するとDRNETからの音声を本機で出力することができます。この場合、DRNETからの音声送信機能が優先して出力されるため、本機の入力音声を出力することはできません。

● 音声の切り換えを行う

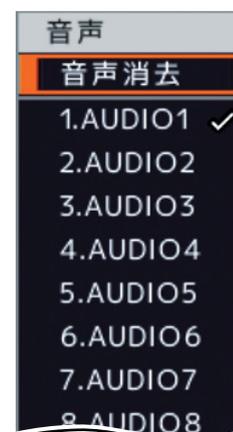
音声出力する音声チャンネルを切り換えます。

1 ライブ操作メニューの「音声」を選択し、決定キーを押す。

音声選択メニューが表示されます。

現在選択中の音声チャンネルにチェックが入っています。

[音声選択メニュー]



メモ

音声を出さない場合は、音声選択メニューの「音声消去」を選択し、決定キーを押してください。

ご注意

工場出荷時設定では音声は出力されません。使用する音声チャンネルを選択してください。(P. 4-44「使用する音声チャンネルを決める」)

録画

本機の録画は、連続録画とイベント録画（センサー録画、モーション録画、ビデオロス録画）、緊急録画があります。また、イベント録画と緊急録画には、イベント発生直前を録画するプリ録画機能があります。

ご注意

- 録画中に録画設定を変更すると、設定切換中の録画は途切れます。
- ネットワーク接続を行っている場合や画面全体に激しいノイズのある映像を録画している場合など、本機の負荷が高くなると設定どおりに録画や録音ができないことがあります。その場合は、録画条件を変更する必要があります。

■ 録画する

● 連続録画

スケジュールで連続録画が設定されている場合、スケジュール期間中は連続して録画を行います。

- ・ 録画共通設定をする（P. 4-59）
- ・ 録画スケジュールを設定する（P. 4-63）

● イベント録画（センサー録画、モーション録画、ビデオロス録画）

スケジュール期間中にイベントが発生すると録画を開始します。

- ・ 録画共通設定をする（P. 4-59）
- ・ 録画スケジュールを設定する（P. 4-63）
- ・ 録画時間を設定する（P. 4-62）
- ・ イベントの設定をする（P. 6-12）

【センサー録画】

スケジュールでイベント録画が設定されている場合、スケジュール期間中にセンサー入力端子に信号が入力されると録画を行います。

【モーション録画】

スケジュールでイベント録画が設定されている場合、スケジュール期間中に設定されたエリアにモーションを検知すると録画を行います。

【ビデオロス録画】

スケジュールでイベント録画が設定されている場合、映像信号が途切れると別のカメラの録画を行います。

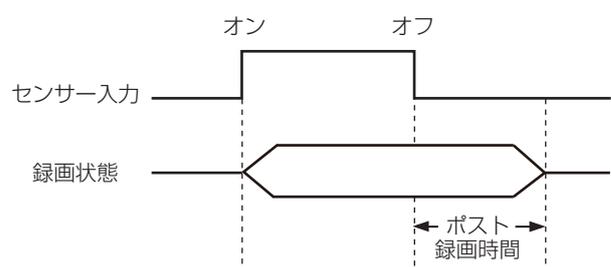
【ポスト録画時間】

ポスト録画時間は、以下のイベントが終了してからの録画継続時間です。最大 30 分間録画を継続できます。イベントが発生してからポスト録画時間が終了するまでは録画が行われます。センサーイベントは、ポスト録画を行わずにセンサーを入力している間だけセンサー録画を行うこともできます。（P. 4-62「イベント録画と緊急録画を設定する」）

センサーイベント：センサーを入力している間

モーションイベント：動きを検知している間

ビデオロスイベント：ビデオロスを検知している間



第5章 基本機能

メモ

本機は、センサー入力をすべてレベル入力として受けます。レベル入力中はイベント状態を継続します。

ご注意

ビデオロスイベントは、ビデオロスを検知している間にいずれかのキーを押すか、マウスの左右どちらかをクリックすると終了し、ポスト録画時間後にビデオロス録画は終了します。

● 緊急録画

本機前面の緊急録画キーを押す、ライブ操作メニューや再生操作メニューで緊急録画を選択する、または、緊急録画入力端子に入力があると、緊急録画を開始します。

緊急録画が行われると、録画スケジュールに関係なくすべてのカメラの録画を開始します。録画レートと画質は P. 4-59 「各録画の共通設定をする」 で設定します。カメラごとに録画レート、画質、および解像度を設定することはできません。

緊急録画中はステータスバーの緊急録画アイコンが点灯します。(P. 5-5 「ライブ画面のステータスバー表示」)

緊急録画の継続録画時間を設定できます。(P. 4-62 「イベント録画と緊急録画を設定する」)

緊急録画を開始したときの動作 (アラーム、遠隔通知、PTZ) を設定できます。(P. 6-12 「イベント機能」)

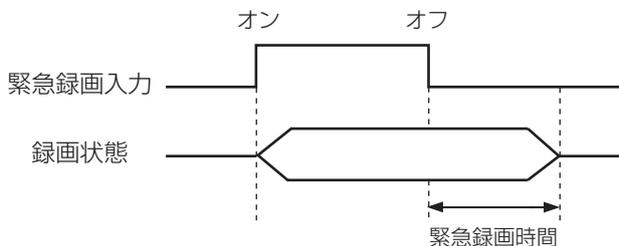
【緊急録画時間：制限】

緊急録画キーを押すか、ライブ操作メニューや再生操作メニューで緊急録画を選択して録画を開始した場合は、設定時間が過ぎると自動的に終了します。

緊急録画入力端子の入力で録画を開始した場合は、入力が終了してから設定時間が過ぎると、自動的に終了します。また、緊急録画時間内に緊急録画キーを押す、ライブ操作メニューや再生操作メニューで緊急録画を選択する、または、緊急録画入力端子に入力があると、その時点から緊急録画は延長されて録画を行います。

メモ

緊急録画入力はレベル入力として受け付けます。レベル入力中は緊急録画状態を継続します。



【緊急録画時間：無制限】

緊急録画中に緊急録画キーを再度押すか、ライブ操作メニューや再生操作メニューで緊急録画を再度選択すると停止します。

緊急録画入力は、入力が終了すると緊急録画を停止します。

ご注意

録画共通設定画面 (P. 4-59) で「緊急録画を使用」を必ず選択してください。選択されていないときは、緊急録画は行いません。

● プリ録画

スケジュールにイベント録画が設定されている場合に、センサー録画、モーション録画、ビデオロス録画、緊急録画が発生すると、最大 30 秒前の映像から録画することができます。(P. 4-62「イベント録画と緊急録画を設定する」)

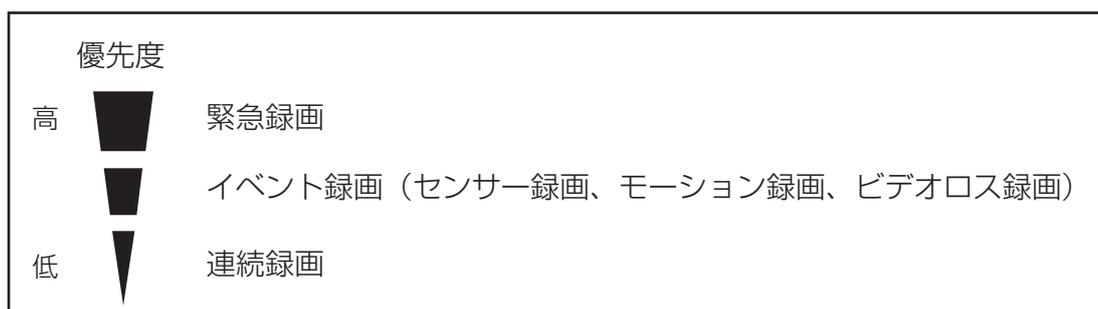
ご注意

- 他の録画が行われている場合には、実行中の録画が優先されるため、プリ録画は行われません。
- プリ録画を使用するには、録画スケジュールの「モード」の設定を「イベント録画」に設定する必要があります。(P. 4-63「録画スケジュールを設定する」)
「録画しない」、「連続録画」、「連続・イベント録画」に設定されている場合には、プリ録画は行えません。
- プリ録画の録画レート、画質、および解像度は、プリ録画が行われる期間のイベント録画の設定に従います。
- 緊急録画時にプリ録画を行うカメラは、録画スケジュールを「イベント録画」に設定しているカメラだけです。また、プリ録画の録画レート、画質、および解像度もイベント録画の設定に従います。

● 録画の優先度

複数のスケジュールを設定した場合は、番号の大きいスケジュールが優先されます。(P. 4-63「録画スケジュールを設定する」)

同じスケジュール内での録画の優先順位は以下のようになります。複数の録画が発生した場合は、優先度の高い録画を行います。スケジュール内での録画の優先順位は以下のようになります。



メモ

センサー録画、モーション録画とビデオロス録画に優先順位はありません。

● 録画レートについて

録画レートとは、1秒間に録画する画像枚数を表します。録画レートの単位は、ips (image per second) で表します。カメラ 1 台あたりの録画レートは、最大 30 ips まで設定できます。

設定できる総録画レートは、解像度の設定によって異なります。

480 ips : HD (1280 × 720)、WD1 (944 × 480)、D1 (704 × 480)、WQVGA (480 × 272)

240 ips : Full HD (1920 × 1080)

ご注意

Full HD の場合は、カメラ 8 入力ごとに録画レートを分け合うため、実際にはカメラ入力 1～8 で 120 ips、カメラ入力 9～16 で 120 ips の上限があります。上限を超えないように録画レートを設定してください。

■ 録音する

本機はチャンネルごとに音声録音を行うことができます。
工場出荷時は音声録音しない設定になっていますので、録音するときは設定を変更してください。

1 音声入力を接続する。

音声入力をピンジャック（16 系統）から入力します。

2 音声設定を行う。

- ライブ音声の設定で選択した音声チャンネルを録音できます。（P. 5-16 「ライブ音声」）
- 録音した音声は、「録音カメラ選択画面（P. 4-45）」で選択したカメラチャンネルの 1 画面再生中に出力されます。

ご注意

音声を録音するには、必ずカメラ映像の録画を同時に行う必要があります。そのため、以下の場合は録音できません。

- 使用するカメラとして選択していない場合（P. 4-39 「使用するカメラとカメラ名称を決める」）
- 映像入力がない場合（ライブ画面で （ビデオロス）が表示される場合）
- 録画スケジュールが設定されていない、など録画を行わない場合
- 音声が入力されていない場合

■ 録画の OSD 表示

録画状態表示：録画状態と録画モードをアイコンの色と形で表示します。（P. 5-4 「ライブ画面の OSD 表示」）



- （灰色）：録画停止（録画スケジュールの時間外）
- （赤色）：連続録画中
- Ⓜ（赤色）：緊急録画中
- Ⓜ（赤色）：イベント録画中
- Ⓜ（青色）：プリ録画中
- （マークなし）：録画停止（イベント待機中、ビデオロス中、ハードディスクフルなど）

再生

本機に録画されたデータを再生することができます。

ご注意

- 再生操作は再生権限を持つユーザーでログインしている場合のみ操作できます。(P. 3-8 「ログイン」)
- 13分割画面、16分割画面の再生は、録画データの録画レートにかかわらず、カメラチャンネルごとに1秒あたり1枚程度の再生になります。すべてのフレームを再生するときは、別の画面表示に切り換えて再生を行ってください。
- 本機で再生中は、ネットワーク配信レートがカメラごとに1秒あたり1枚程度になります。

再生画面の表示

● 再生画面で表示できること

再生時の映像は、以下の画面表示をすることができます。

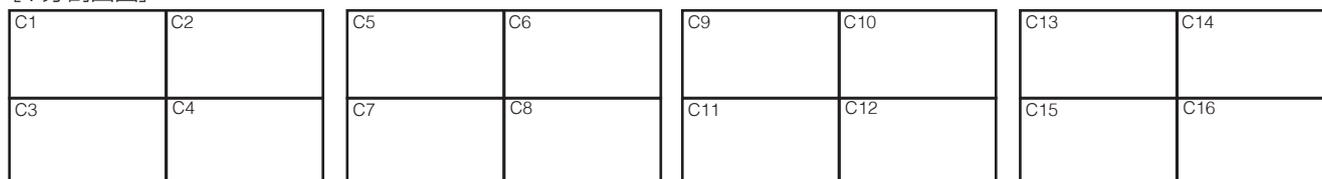
[画面表示]

- 1画面 : 1チャンネルの録画映像を表示します。
- 4分割画面 : モニターを4分割して4チャンネルの録画映像を表示します。
- 6分割画面 : モニターを6分割して6チャンネルの録画映像を表示します。
- 8分割画面 : モニターを8分割して8チャンネルの録画映像を表示します。
- 9分割画面 : モニターを9分割して9チャンネルの録画映像を表示します。
- 13分割画面 : モニターを13分割して13チャンネルの録画映像を表示します。
- 16分割画面 : モニターを16分割して16チャンネルの録画映像を表示します。

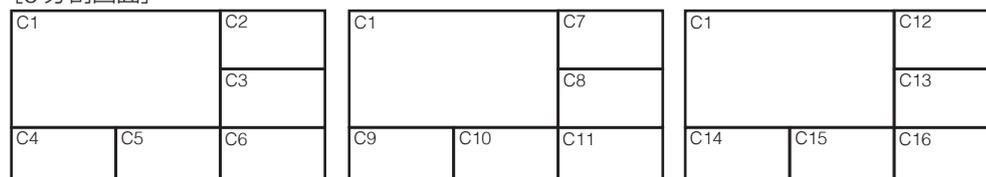
[1画面]



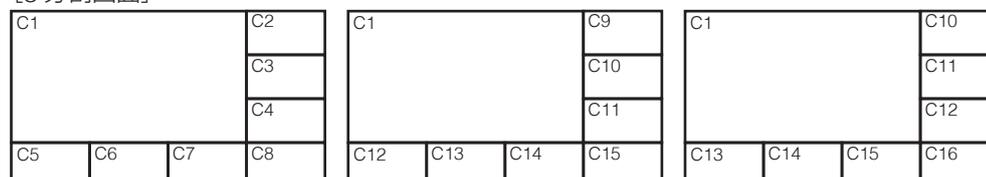
[4分割画面]



[6分割画面]



[8分割画面]



第5章 基本機能

[9分割画面]

C1	C2	C3	C8	C9	C10
C4	C5	C6	C11	C12	C13
C7	C8	C9	C14	C15	C16

[13分割画面]

C1		C2	C3	C1		C5	C6
		C4	C5			C7	C8
C6	C7	C8	C9	C9	C10	C11	C12
C10	C11	C12	C13	C13	C14	C15	C16

[16分割画面]

C1	C2	C3	C4
C5	C6	C7	C8
C9	C10	C11	C12
C13	C14	C15	C16

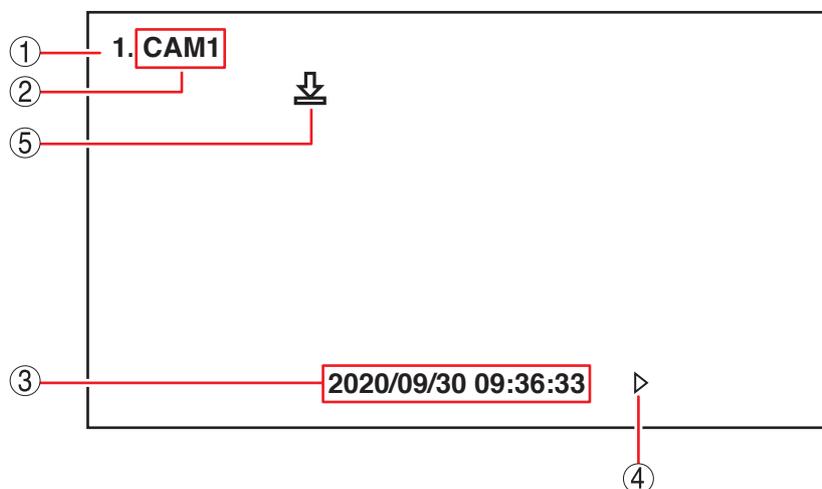
画面表示の変更操作は、P. 5-27「再生操作メニューによる再生操作」を参照してください。

ご注意

- 以下のカメラチャンネルは黒画面を表示します。
 - ・ 録画データがないチャンネル
 - ・ 「マスク設定」のモードを「中」または「高」にしているチャンネル (P. 4-43「モニター画面で表示しないカメラを決める (マスク設定)」)
- 分割画面で再生中に、再生が終わったチャンネルは、最後の画面を表示し続けます。

● 再生画面の OSD 表示

再生画面の状態や情報を OSD 表示します。



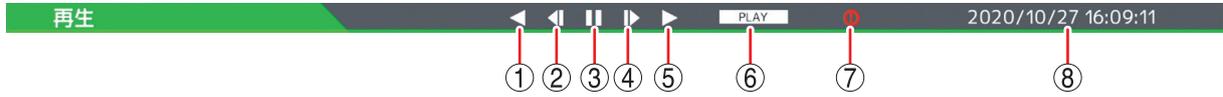
- ① 再生チャンネル : 再生しているカメラチャンネル番号を表示します。
- ② カメラ名 : 再生しているカメラ名称を表示します。(P. 4-39「使用するカメラとカメラ名称を決める」)
- ③ 再生日時 (ステータスバー) : 再生映像の日時またはステータスバーを表示します。
ステータスバーを表示すると再生日時はステータスバーの中に表示されます。(P. 5-24「再生画面のステータスバー表示」)
- ×モ
- 再生日時は画面下部に表示されます。分割画面再生の場合、チャンネルごとには表示されません。
 - 日時の表示形式は変更することができます。(P. 4-27「現在時刻を変更する」)
- ④ 再生状態表示 (ステータスバー) : 再生している状態を表示します。表示内容は以下のとおりです。
ステータスバーを表示すると再生状態はステータスバーの中に表示されます。(P. 5-24「再生画面のステータスバー表示」)
- | | | | |
|-------|----------------|-------|-----------------|
| ⏏ | : 一時停止 | | |
| ▶ | : 再生 (速度 1 倍) | ◀ | : 逆再生 (速度 1 倍) |
| ▶▶×2 | : 再生 (速度 2 倍) | ◀◀×2 | : 逆再生 (速度 2 倍) |
| ▶▶×4 | : 再生 (速度 4 倍) | ◀◀×4 | : 逆再生 (速度 4 倍) |
| ▶▶×8 | : 再生 (速度 8 倍) | ◀◀×8 | : 逆再生 (速度 8 倍) |
| ▶▶×16 | : 再生 (速度 16 倍) | ◀◀×16 | : 逆再生 (速度 16 倍) |
| ▶▶×32 | : 再生 (速度 32 倍) | ◀◀×32 | : 逆再生 (速度 32 倍) |
- ⑤ バックアップ表示 : バックアップ実行中に表示されます。

×モ

- ① ~ ⑤ の OSD はすべて非表示にすることができます。OSD やステータスバー表示の設定は、再生操作メニューの「OSD」で行うことができます。(P. 5-27「再生操作メニューによる再生操作」)
- OSD の表示位置を調整することができます。(P. 4-50「OSD やステータスバー表示位置を設定する」)

● 再生画面のステータスバー表示

再生画面の再生日時表示・再生状態表示部分に以下のように表示されます。
再生画面のステータスバーは、マウスによる再生操作で使用します。



- ① 逆再生を行います。クリックするごとに再生速度が2倍、4倍、8倍、16倍、32倍と段階的に変化します。一時停止中に3秒以上押し続けると、前のイベントの先頭に飛んで一時停止します。(P. 5-30「イベント飛ばしをする」)
- ② コマ戻し再生を行います。
- ③ 再生または逆再生を一時停止します。
- ④ コマ送り再生を行います。
- ⑤ 再生を行います。クリックするごとに、再生速度が2倍、4倍、8倍、16倍、32倍と段階的に変化します。一時停止中に3秒以上押し続けると、次のイベントの先頭に飛んで一時停止します。(P. 5-30「イベント飛ばしをする」)
- ⑥ 現在の再生状態を表示します。
PAUSE : 一時停止
PLAY : 再生 (速度1倍) R.PLAY : 逆再生 (速度1倍)
FF × 2 : 再生 (速度2倍) RW × 2 : 逆再生 (速度2倍)
FF × 4 : 再生 (速度4倍) RW × 4 : 逆再生 (速度4倍)
FF × 8 : 再生 (速度8倍) RW × 8 : 逆再生 (速度8倍)
FF × 16 : 再生 (速度16倍) RW × 16 : 逆再生 (速度16倍)
FF × 32 : 再生 (速度32倍) RW × 32 : 逆再生 (速度32倍)
- ⑦ 緊急録画中に点灯 (オレンジ色) します。(P. 5-18「緊急録画」)
- ⑧ 再生映像の日時を表示します。

メモ

- 再生画面のOSDやステータスバー表示の設定は、再生操作メニューの「OSD」で行うことができます。(P. 5-27「再生操作メニューによる再生操作」)
- ステータスバーの表示時間を設定することができます。(P. 4-50「OSDやステータスバー表示位置を設定する」)

■ 再生操作

ライブ画面から再生画面に切り換えることで録画データを再生できます。

ご注意

- 録画中に再生を行う場合、現在時刻から1分以内の録画データは再生できない場合があります。1分程度待つてから再生してください。
- 逆再生、早戻し再生、および早送り再生は、フレームをスキップしながら再生します。すべてのフレームを再生していません。
- 一定の速度で再生、逆再生できないことがあります。
- 13分割画面、16分割画面の再生は、録画データの録画レートにかかわらず、カメラチャンネルごとに1秒あたり1枚程度の再生になります。すべてのフレームを再生するときは、別の画面表示に切り換えて再生を行ってください。

● 再生画面へ切り換える

メモ

ライブ画面から再生画面に切り換わったときは、ライブ時の画面表示が維持されます。ただし、ライブ画面を8分割画面、13分割画面、または16分割画面で表示していたときは9分割画面で表示されます。

手順：ライブ画面で再生キーを押す。

ライブ画面から再生画面に切り換わります。

[ライブ操作メニューによる操作]

1 ライブ画面でメニューキーを押す。

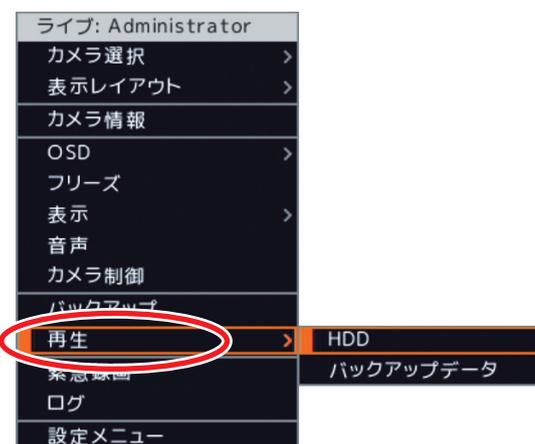
ライブ操作メニューが表示されます。

メニューを閉じる場合は、メニューキーを押します。

2 ライブ操作メニューの「再生」を選択し、決定キーを押す。

再生選択メニューが表示されます。

[ライブ操作メニュー]



メモ

USBメモリーに独自形式のバックアップデータがある場合は「バックアップデータ」を選択し、本機で再生できます。(P. 5-56「独自形式 (STRG形式) のファイルを本機で再生する」)

3 「HDD」を選択し、決定キーを押す。

ライブ画面から再生画面に切り換わります。

● 再生を終了する

メモ

再生画面からライブ画面に切り換わったあとは、再生画面へ切り換える前のライブ時の画面表示に戻ります。

手順：再生画面で再生キーを押す。

再生画面からライブ画面に切り換わります。

[再生操作メニューによる操作]

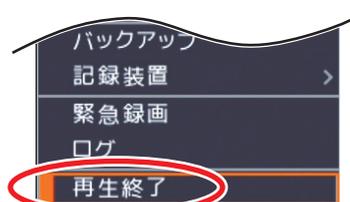
1 再生画面でメニューキーを押す。

再生操作メニューが表示されます。

2 「再生終了」を選択し、決定キーを押す。

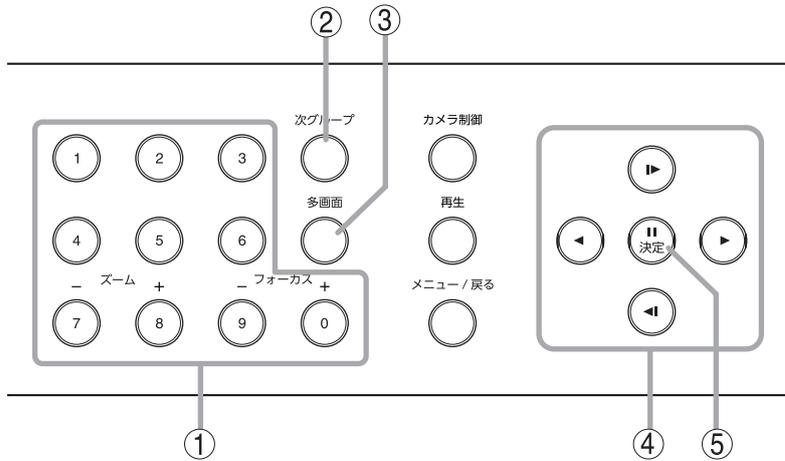
再生画面からライブ画面に切り換わります。

[再生操作メニュー]



● 再生操作を行う

再生画面で前面キーから以下の再生操作ができます。



- ① カメラ選択キー : 選択したカメラ選択キーと同じチャンネルを 1 画面で表示します。
メモ
 カメラチャンネル 10～16 を選択する場合は、以下のように押してください。
 (例) カメラチャンネル「10」のとき：「1」、「0」
- ② 次グループキー : 1 画面表示中はカメラチャンネルが次のチャンネルに切り換わります。分割画面表示中は同じ分割画面の次の画面 (グループ) に切り換わります。
- ③ 多画面キー : 画面表示が切り換わります。押すごとに画面表示が段階的に変化します。
 7 段階：1 画面 ⇒ 4 分割 ⇒ 6 分割 ⇒ 9 分割 ⇒ 8 分割 ⇒ 13 分割 ⇒ 16 分割
- ④ 上下左右キー (再生操作キー) : 右キー で再生を行います。再生中は押すごとに再生速度が 2 倍、4 倍、8 倍、16 倍、32 倍と段階的に変化します。一時停止中に右キー を 3 秒以上押すと、次のイベントの先頭に飛んで一時停止します。(P. 5-30「イベント飛ばしをする」)
 : 左キー で逆再生を行います。再生中は押すごとに再生速度が 2 倍、4 倍、8 倍、16 倍、32 倍と段階的に変化します。一時停止中に左キー を 3 秒以上押すと、前のイベントの先頭に飛んで一時停止します。(P. 5-30「イベント飛ばしをする」)
 : 上キー でコマ送り再生を行います。
 : 下キー でコマ戻し再生を行います。
- ⑤ 決定キー (一時停止キー) : 再生または逆再生を一時停止します。

● マウスによる再生操作

マウスによる再生操作は、再生ステータスバーから行います。(P. 5-24 「再生画面のステータスバー表示」)
操作を行うためにはステータスバーを表示してください。(P. 5-9 「OSD 表示を設定する」)

[× モ]

マウスで再生画面をダブルクリックすると、1 画面表示中は直前に表示していた分割画面に切り換わります。
分割画面表示中はダブルクリックしたカメラチャンネルの 1 画面に切り換わります。

● 再生操作メニューによる再生操作

再生操作メニューによる再生操作を行います。再生操作メニューは、再生画面でメニューキーを押すと表示されます。メニューを閉じる場合は、メニューキーを押します。

[× モ]

マウスでは、再生画面で右クリックすると表示されます。
メニューを閉じる場合は、メニュー表示部以外でクリックまたは右クリックします。

カメラ選択 : 1 画面表示するカメラチャンネルまたは 16 分割画面表示
を選択します。(P. 5-7 「指定したカメラを表示する」)

表示レイアウト : 分割画面表示を選択します。(P. 5-8 「分割画面を表示する」)

検索 : 検索画面が表示されます。日時を指定して再生したり、
カレンダーやイベントリストから検索して再生します。
(P. 5-31 「検索」)

指定 : 時間を指定して再生します。(P. 5-28 「時間を指定して再生する」)

ブックマーク : 任意の再生映像の時刻をブックマークに登録できます。
登録したブックマークは一覧で表示され、選択して再生
できます。(P. 5-28 「ブックマークを登録して再生する」)

OSD : OSD とステータスバーの表示状態を選択します。
(P. 5-9 「OSD 表示を設定する」)

ズーム : 1 画面表示中の再生画面を拡大表示します。
拡大表示中に表示領域を移動することができます。
(P. 5-11 「映像の一部を拡大する (電子ズーム機能)」)

音声 : 再生時の音声出力の切り換えを行います。(P. 5-36 「再生音声を出力する」)

バックアップ : バックアップ設定画面が表示されます。(P. 5-38 「バックアップ (コピー) する」)
再生中は簡易バックアップになります。(P. 5-44 「再生中にバックアップする (簡易バックアップ)」)

[× モ]

バックアップ権限を持たないユーザーは使用できません。

記録装置 : 再生するデータの保存元を変更します。「HDD」と「バックアップデータ」のどちらかを選択することができます。USB メモリーに独自形式のバックアップデータがある場合は「バックアップデータ」を選択し、本機で再生できます。(P. 5-56 「独自形式 (STRG 形式) のファイルを本機で再生する」)

緊急録画 : 緊急録画を行います。(P. 5-18 「緊急録画」)

ログ : システムログとイベントログを表示します。(P. 6-16 「ログ情報」)

[× モ]

イベントログ表示画面からイベント録画の再生ができます。(P. 6-22 「イベントログを表示する」)

再生終了 : 再生画面を終了してライブ画面に戻ります。

[再生操作メニュー]



● 時間を指定して再生する

1 再生操作メニューの「指定」を選択し、決定キーを押す。

指定選択メニューが表示されます。

最初に移動 : 再生画面に録画の最古データを表示します。

最後に移動 : 再生画面に録画の最新データを表示します。

5 秒戻す : 再生画面に 5 秒前の録画データを表示します。

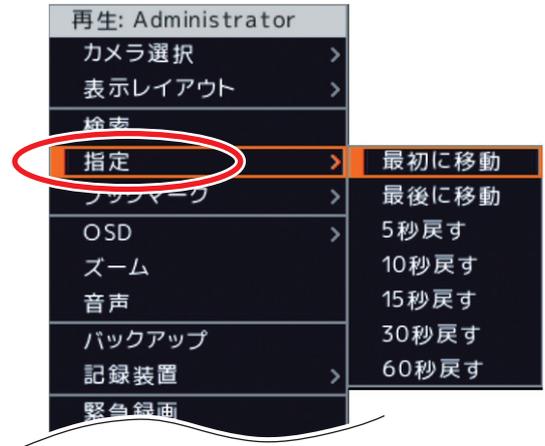
10 秒戻す : 再生画面に 10 秒前の録画データを表示します。

15 秒戻す : 再生画面に 15 秒前の録画データを表示します。

30 秒戻す : 再生画面に 30 秒前の録画データを表示します。

60 秒戻す : 再生画面に 60 秒前の録画データを表示します。

[再生操作メニュー]



2 指定選択メニューの項目を選択し、決定キーを押す。

指定した録画データが再生画面に表示されます。

● ブックマークを登録して再生する

任意の再生映像の時刻をブックマークとして最大 10 件まで登録できます。

登録したブックマークは一覧で表示され、見たいブックマークを選択し再生を行います。

メモ

ブックマーク登録した時刻の録画データが上書きされたり、フォーマットなどで削除されたりした場合は、ブックマークも削除されます。

[ブックマークの登録]

1 ブックマーク登録したい再生映像で一時停止キーを押し、一時停止する。

2 再生操作メニューの「ブックマーク」を選択し、決定キーを押す。

ブックマーク選択メニューが表示されます。

3 ブックマーク選択メニューの「登録」を選択し、決定キーを押す。

文字入力画面が表示されます。

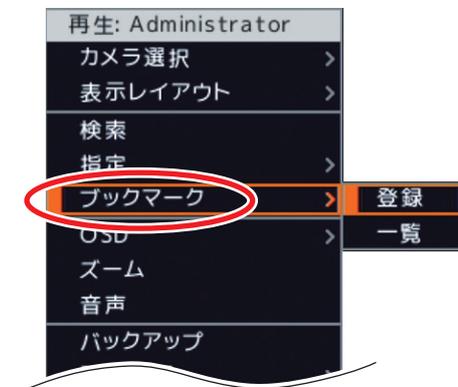
英数、記号で最大 16 文字まで入力できます。

(P. 4-13 「文字を入力する」)

4 「文字入力画面」で、タイトルを入力し「OK」を選択し、決定キーを押す。

一時停止中の時刻がブックマークに登録され、再生画面に戻ります。

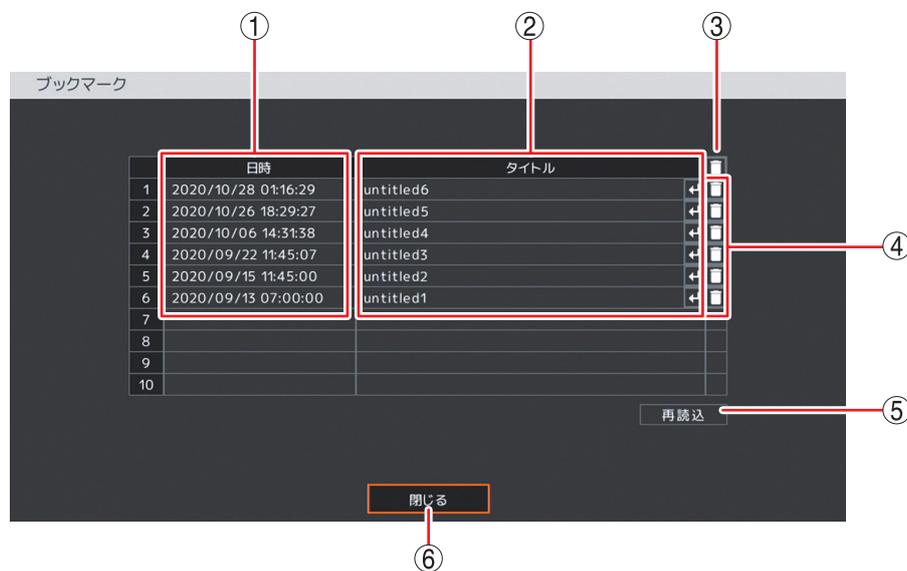
[再生操作メニュー]



[ブックマークからの再生]

- 1 再生操作メニューの「ブックマーク」を選択し、決定キーを押す。
ブックマーク選択メニューが表示されます。
- 2 ブックマーク選択メニューの「一覧」を選択し、決定キーを押す。
登録したブックマークの一覧が表示されます。
- 3 タイトルを選択し、決定キーを押す。
登録した時刻の再生映像が表示されます。

[ブックマーク一覧画面]



- ① 日時 : ブックマーク登録した再生映像の日時を表示します。
- ② タイトル : ブックマーク登録時に入力したタイトルを表示します。
選択して決定キーを押すと、登録した時刻の再生映像を表示します。
- ③  (全削除) : すべてのブックマークを削除します。
- ④  (削除) : 選択したブックマークを削除します。
- ⑤ 再読み込み : 情報を更新します。
- ⑥ 閉じる : 再生画面に戻ります。

● イベント飛ばしをする

イベント飛ばしは、再生する映像をイベント単位で移動させることができ、短時間で見たい映像を探し出すことができます。

イベント飛ばしは、以下のイベントの先頭まで移動して一時停止します。

- ・ 緊急録画を開始した時刻
- ・ イベント録画（センサー録画、モーション録画、ビデオロス録画）を開始した時刻

【ご注意】

日をまたいでイベント飛ばしをすることはできません。

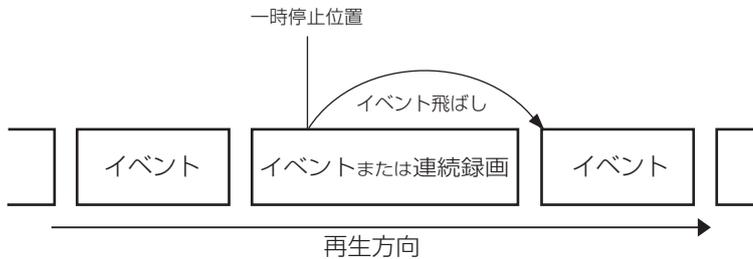
【次のイベントに飛ばすとき】

手順：一時停止中に右キー  を 3 秒以上押す。

次のイベントの先頭に飛んで一時停止します。

【メモ】

マウスでは一時停止中にステータスバーの再生ボタンを 3 秒以上押し続けます。



【前のイベントに戻すとき】

手順：一時停止中に左キー  を 3 秒以上押す。

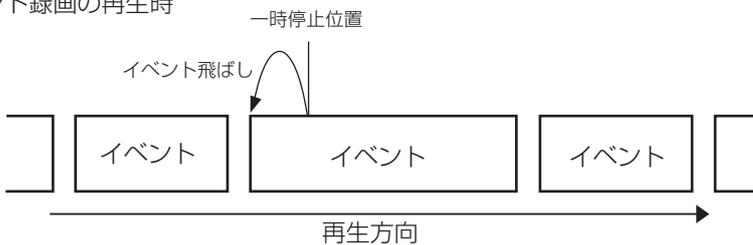
イベント録画の再生時は、現在のイベントの先頭に飛んで一時停止します。

連続録画の再生時は、前のイベントの先頭に飛んで一時停止します。

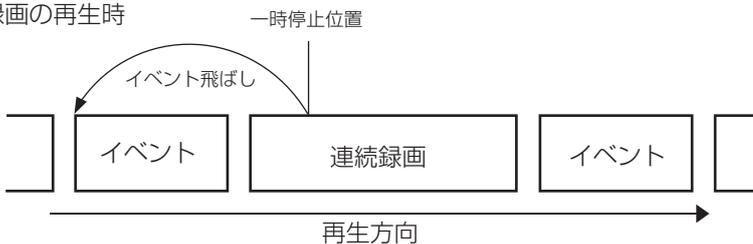
【メモ】

マウスでは一時停止中にステータスバーの逆再生ボタンを 3 秒以上押し続けます。

● イベント録画の再生時



● 連続録画の再生時



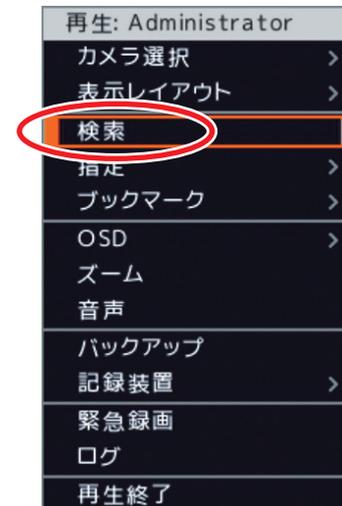
■ 検 索

検索には、直接日時を指定したり、カレンダーから検索する「カレンダー検索」、イベントリストから絞り込みを行う「イベント検索」があります。

● 日時を指定して再生する

日時を指定して再生を行います。

[再生操作メニュー]



1 再生操作メニューの「検索」を選択し、決定キーを押す。
日時指定画面が表示されます。

2 日付／時刻の年・月・日、時・分・秒を設定し、決定キーを押す。

3 「OK」を選択し、決定キーを押す。
設定した日付／時間の録画データが再生画面に表示されます。

[日時指定画面]



- ① 日付／時間 : 再生を開始する日時を設定します。
日付または時刻を選択し決定キーを押します。左右キーで年・月・日または時・分・秒を選択し、上下キーで数値を変更します。
- ② 最初に移動 : チェックを入れると録画した最も古い日時を ① に表示します。
- ③ 最後に移動 : チェックを入れると録画した最も新しい日時を ① に表示します。
- ④ OK : 設定した日時の録画データが表示されます。
- ⑤ キャンセル : 設定した日時を保存せずに前画面に戻ります。

● カレンダー検索して再生する

再生画面に表示しているカメラチャンネルの録画データを検索できます。

分割画面再生時に検索した場合は、いずれかのカメラに録画データがあるとタイムテーブルに表示されます。

1 再生操作メニューの「検索」を選択し、決定キーを押す。

日時指定画面が表示されます。(P. 5-31「日時を指定して再生する」)

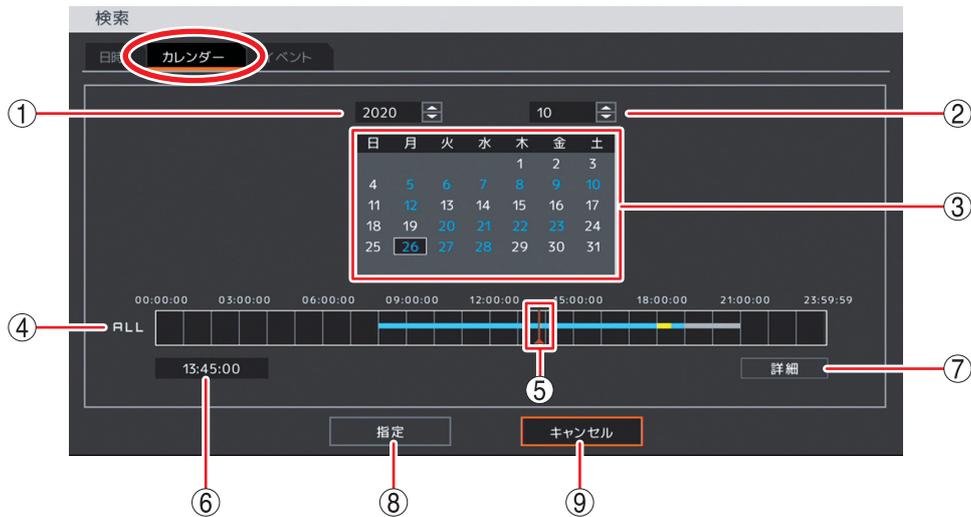
2 「カレンダー」タブを選択する。

カレンダー検索画面が表示されます。

3 日時を選択したあとに「指定」を選択し、決定キーを押す。

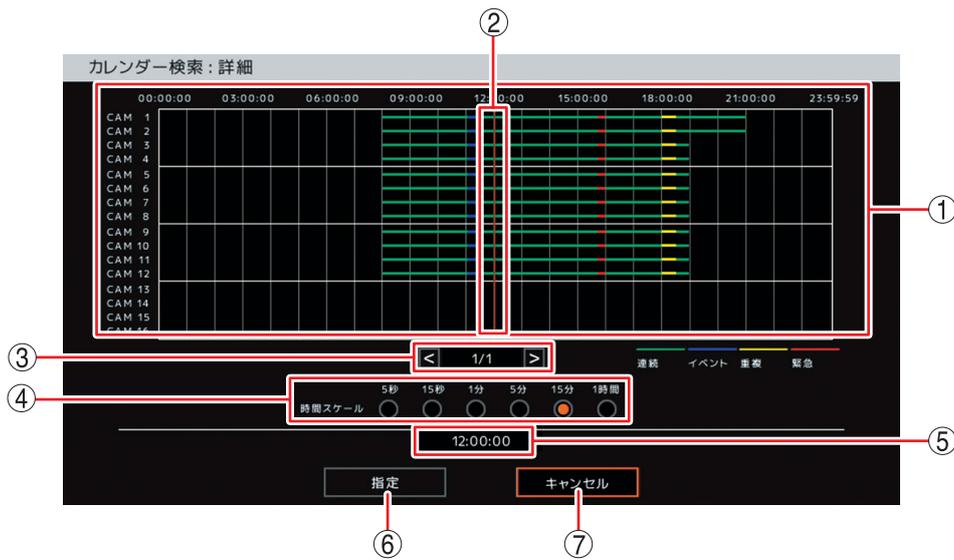
再生画面に設定した日時の録画データが表示されます。

[カレンダー検索画面]



- ① 年 : 再生を開始する年を設定します。
決定キーを押して、上下キーで数値を変更します。
- ② 月 : 再生を開始する月を設定します。
決定キーを押して、上下キーで数値を変更します。
- ③ カレンダー : カレンダーの日付を選択します。再生を開始したい日を上下左右キーで選択して、決定キーを押します。録画データの存在する日付は青色で表示されます。
- ④ タイムテーブル : 録画データは15分ごとのカラーバーで表示します。再生画面に表示しているカメラチャンネルの録画データがある時間は、水色または黄色で表示されます。
水色 : 録画データがある。
黄色 : 同一時刻に重複した録画データがある (P. 5-34)。
灰色 : 再生画面に表示されていないカメラのみに録画データがある。
- ⑤ 時刻カーソル : 再生したい時刻に合わせて。タイムテーブルを選択し、左右キーで15分単位で移動させることができます。
- ⑥ 時刻表示 : 時刻カーソル位置の時刻を表示します。
- ⑦ 詳細 : カメラごとの録画データをカラーバーで表示する「詳細画面 (次ページ)」が表示されます。
- ⑧ 指定 : 設定した日時の録画データが表示されます。
[メモ]
時刻カーソルが再生画面に表示されているカメラに録画データがない時刻を指定している場合は、他のカメラに録画データがあっても指定ボタンを選択できません。
- ⑨ キャンセル : 前画面に戻ります。

[詳細画面]



- ① タイムテーブル : カメラごとに録画したデータをカラーバーで表示します。
 緑色：連続録画データ
 青色：イベント録画データ
 黄色：同一時刻で重複した録画データ
 赤色：緊急録画データ

- ② 時刻カーソル : 再生したい時刻に合わせます。
 タイムテーブルを選択し、左右キーで④の「時間スケール」で設定した時間の単位で移動させることができます。

- ③ ページ切り換え : タイムテーブルが1ページで表示できない場合は、**<** **>** でページを切り換えて表示します。

- ④ 時間スケール : タイムテーブルの時間スケールを選択します。
 [選択] 5秒 / 15秒 / 1分 / 5分 / 15分 / 1時間

- ⑤ 時刻表示 : 時刻カーソル位置の時刻を表示します。

- ⑥ 指定 : 設定した日時の録画データが表示されます。

×モ

 時刻カーソルが再生画面に表示されているカメラに録画データがない時刻を指定している場合は、他のカメラに録画データがあっても指定ボタンを選択できません。

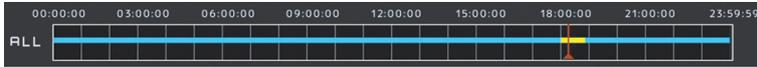
- ⑦ キャンセル : 前画面に戻ります。

第5章 基本機能

[同一時刻に録画データが重なっている場合の再生]

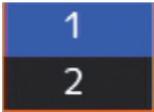
時刻調整や NTP 調時 (P. 4-28 「NTP 調時機能を設定する」) によって本機の時刻が変更されたときに、同一時刻に録画データが重複することがあります。重複した時刻の録画データは録画した順に再生されます。

この時刻でカレンダー検索を行うと、重複した時刻はカラーバーの色が黄色になります。



重複した時刻を選択すると、再生選択画面が表示されます。

「1」または「2」を選択し、決定キーを押してください。



「1」を選択 : 先に録画したデータの時刻から再生を行います。あとに録画したデータも再生します。

「2」を選択 : あとに録画したデータの時刻から再生を行います。先に録画したデータは再生しません。

● イベント検索して再生する

1 再生操作メニューの「検索」を選択し、決定キーを押す。

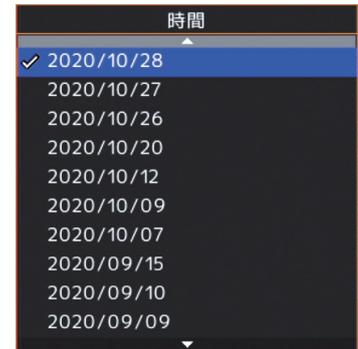
日時指定画面が表示されます。(P. 5-31 「日時を指定して再生する」)

2 「イベント」タブを選択する。

イベント検索画面 (次ページ) が表示されます。

3 「時間」を選択し、決定キーを押す。

検索可能な日付が表示されます。



4 検索する日付を選択し、決定キーを押す。

選択した日付のイベントリストが表示されます。

5 「イベント」を選択し、決定キーを押す。

イベントが表示されます。



6 検索するイベントを選択し、決定キーを押す。

選択したイベントのリストが表示されます。

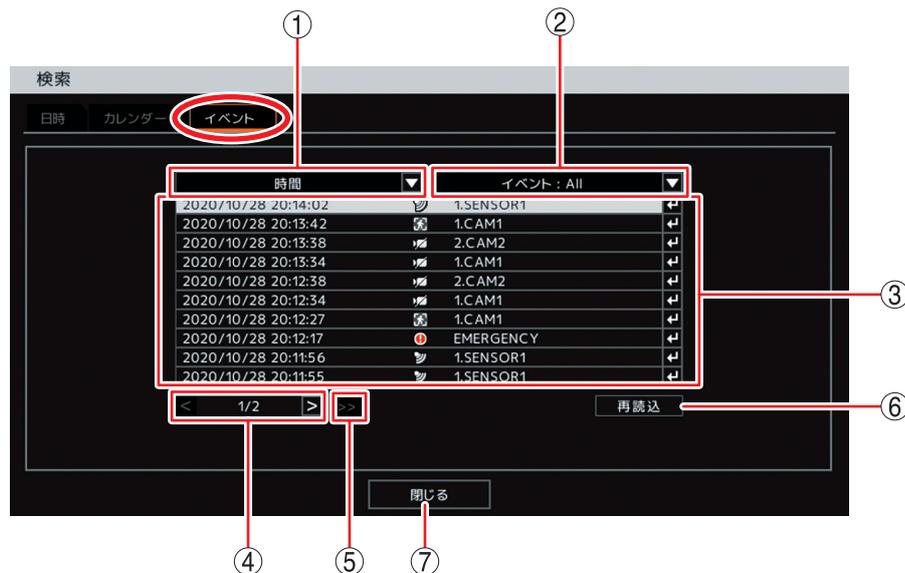
7 イベントリストからイベントを選択する。

1 ページで表示できない場合は、<、>、>> でページを切り換えて選択してください。

8 決定キーを押す。

再生画面にイベント発生時刻の録画データが表示されます。

[イベント検索画面]



- ① 時間 : 決定キーを押すとイベント発生日の選択肢が表示され、選択した日付のイベント情報がリストに表示されます。
- ② イベント : 決定キーを押すと以下の選択肢が表示され、選択したイベントの情報がリストに表示されます。「All」はすべてのイベントの情報がリストに表示されます。
[選択] All / モーション / センサー / ビデオロス / 緊急
- ③ イベントリスト : イベント検索結果をリスト表示します。
- ④ ページ切り換え : ◀ ▶ でページを切り換えてイベントリストを表示します。100 ページ以内での移動ができます。
- ⑤ >> : イベントリストを 100 ページ先に送ります。
ご注意
100 ページ送りを行うと、前の 100 ページには戻れません。「閉じる」を押して前画面に戻してから再度検索を行ってください。
- ⑥ 再読込 : 最新のイベント情報に更新して、1 ページ目を表示します。
- ⑦ 閉じる : イベント検索画面を閉じて前画面に戻ります。

■ 音声を再生する

本機に録画されたデータに音声が含まれているときは、録音した音声を出力することができます。音声は、「録音カメラ選択画面（P. 4-45）」で選択したカメラチャンネルの1画面再生中に出力されます。

ご注意

- 再生速度を変更したとき、分割画面表示中、および逆再生中は音声は出力されません。
- ごくまれに音声が途切れることがあります。

● 再生音声を出力する

再生操作メニューで再生音声の出力（オン／オフ）を切り換えることができます。

手順：再生操作メニューの「音声」を選択し、決定キーを押す。

再生画面にアイコンが約1秒表示され、音声出力が切り換わります。

[音声を出力するとき]



[音声を出力しないとき]



メモ

音声出力時には、再生操作メニューの「音声」にチェックが入ります。

録画データのバックアップ（コピー）

録画されたデータを USB メモリーに保存することができます。本機前面の USB2.0 端子または USB3.0 端子に USB メモリーを接続し、バックアップ操作を行ってください。バックアップ後は、指定した時間がバックアップできていることを確認してください。

■ データ保存形式

以下の3種類から選択できます。

データ形式	バックアップデータ			再生方法など	参照ページ
	映像	音声	カメラ台数		
DVR Media Player 形式 (EXE 形式)	○	○	最大 16 台	PC で再生できます。(ビューアーを含む実行ファイル形式です。) バックアップデータにパスワードが設定できます。	P. 5-40
独自形式 (STRG 形式)	○	○	最大 16 台	本機または DRNET がインストールされている PC で再生できます。バックアップデータにパスワードが設定できます。	P. 5-41
AVI 形式	○	○	1 台	PC で再生できます。([Windows Media Player]または「映画 & テレビ」が必要です。) バックアップデータにパスワードは設定できません。H.265 方式の録画データを AVI 形式でバックアップし PC で再生する場合は、「HEVC ビデオ拡張機能」のインストールが必要です。	P. 5-42

ご注意

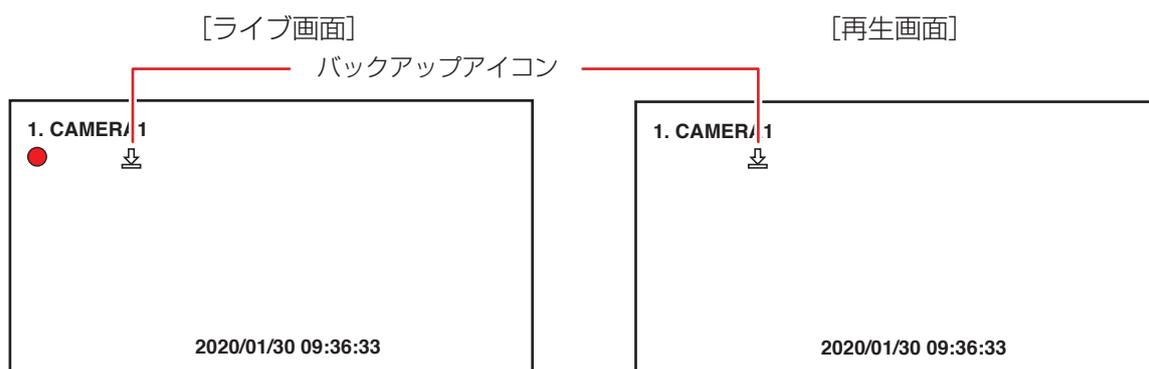
- バックアップはバックアップ権限を持つユーザーでログインしている場合のみ使用できます。(P. 3-8 「ログイン」)
- USB メモリーは FAT32 または NTFS でフォーマットされたものを使用してください。
- 同時に複数の USB メモリーを接続して使用しないでください。
- バックアップ中は USB メモリーを取り外さないでください。システムに異常が発生するおそれがあります。
- 上書き録画でバックアップ中の録画データが消去され、バックアップ終了時刻までの録画データがすべてなくなると「データは上書きされました」とメッセージが表示されてバックアップは終了します。録画データが残っているとバックアップを継続します。
- バックアップ中はキー操作やマウス操作が遅くなることがあります。
- バックアップ中に DRNET、DRNET Mobile、または Web ブラウザーと接続しているときは、バックアップ時間が長くなることがあります。
- バックアップデータに対するイベント検索はできません。

メモ

USB3.0 対応の USB メモリーを使用するときは、USB3.0 端子に接続することをお勧めます。バックアップにかかる時間が短くなります。

■ バックアップ中の OSD 表示

ライブ画面や再生画面のバックアップ中の OSD は下図のように表示されます。



メモ

バックアップ中は、すべてのカメラチャンネルにバックアップアイコンが表示されます。

■ バックアップ（コピー）する

複数のカメラチャンネルの映像データと音声データを1つのファイルにしてビューアーを含む実行ファイル形式の DVR Media Player 形式（EXE 形式）と本機や DRNET で再生できる独自形式（STRG 形式）のファイルを作成できます。また、1つのカメラチャンネルの映像データと音声データを1つのファイルにして「Windows Media Player」や「映画 & テレビ」で再生できる AVI 形式のファイルを作成できます。

DVR Media Player 形式（EXE 形式）、または、独自形式（STRG 形式）のバックアップデータにはパスワードを設定できます。

バックアップを行うと、バックアップアイコンが表示されます。（P. 5-37 「バックアップ中の OSD 表示」）

1 本機前面の **USB2.0** 端子または **USB3.0** 端子に **USB メモリー** を接続する。

2 ライブ画面または再生画面でバックアップキーを押す。

バックアップ設定画面が表示されます。

閉じる場合は、バックアップキーまたはメニューキーを押します。

[バックアップ設定画面]



ご注意

複数台の PC から同時にネットワーク接続を行っている場合など本機の負荷が高くなると、バックアップ設定画面が表示されるのに時間がかかることがあります。

メモ

ライブ操作メニューまたは再生操作メニューの「バックアップ」を選択し、決定キーを押してもバックアップ設定画面が表示されます。（P. 5-6 「ライブ操作メニューによるライブ操作」、P. 5-27 「再生操作メニューによる再生操作」）

3 バックアップする形式のタブ（EXE 形式 / STRG 形式 / AVI 形式）を選択する。

[選択]

EXE 形式 : DVR Media Player 形式（EXE 形式）（P. 5-40 「DVR Media Player 形式（EXE 形式）でバックアップする」）

STRG 形式 : 独自形式（STRG 形式）（P. 5-41 「独自形式（STRG 形式）でバックアップする」）

AVI 形式 : AVI 形式（P. 5-42 「AVI 形式でバックアップする」）

4 各項目を設定して「スタート」を選択し、決定キーを押す。

バックアップが開始されます。

バックアップ完了すると、バックアップの完了メッセージが表示されます。

ご注意

- USB メモリーが接続されていない場合や正しく認識されないときは、バックアップを開始できません。USB メモリーを正しく接続してからバックアップ設定画面の「アップデート」を選択して、決定キーを押し、USB メモリーの接続状態を更新してください。
- バックアップするデータサイズや本機の状態により、完了画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。バックアップの完了メッセージが表示されるまで USB メモリーを取り外さないください。

5 USB メモリーを取り外す。

【バックアップパスワードを設定する】

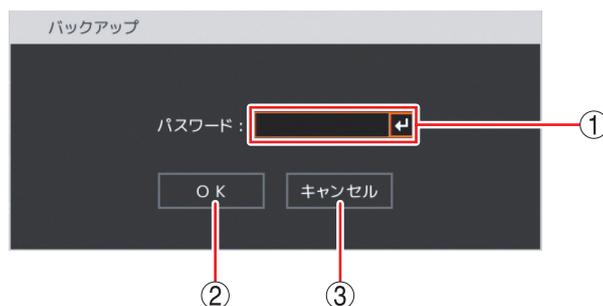
DVR Media Player 形式 (EXE 形式)、または、独自形式 (STRG 形式) のバックアップデータにパスワードを設定できます。バックアップ設定画面で「パスワード」にチェックが入っている場合にスタートボタンを押すと、バックアップパスワード設定画面が表示されます。

パスワードは英数、記号で最大 8 文字まで入力できます。

【ご注意】

パスワードはバックアップしたデータを再生するために必要な情報です。パスワードを忘れないよう、メモを取るなどして大切に保管してください。

[バックアップパスワード設定画面]



- ① パスワード : 決定キーを押すと「文字入力画面」が表示されます。
登録したいパスワードを入力します。入力した文字は「*」で表示されます。(P. 4-13「文字を入力する」)
- ② OK : パスワードを保存してバックアップを開始します。

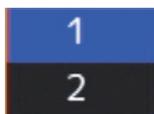
メモ

 パスワードが未入力の場合は、「パスワードが不正です。」とメッセージが表示されます。
- ③ キャンセル : 設定を保存せずに「バックアップ設定画面」に戻ります。

【同一時刻に録画データが重なっている場合のバックアップ】

時刻調整や NTP 調時によって本機の時刻が変更されたとき、同一時刻に録画データが重複することがあります。重複した時間がバックアップ開始時刻と終了時刻の中に含まれている場合、スタートボタンを押したときにバックアップ選択画面が表示されます。

「1」または「2」を選択し、決定キーを押してください。



- 「1」を選択 : 開始時刻から終了時刻まで重複したデータもすべてバックアップを行います。
- 「2」を選択 : あとに録画したデータの時刻から終了時刻までバックアップを行います。先に録画したデータはバックアップされません。

【ご注意】

開始時刻または終了時刻が重複した時間の中に含まれる場合は、データの一部をバックアップできません。重複した時間より長くなるように、開始時刻か終了時刻を調整してください。

● DVR Media Player 形式（EXE 形式）でバックアップする

ビューアーを含む実行ファイル形式です。バックアップデータにパスワードを設定できます。

【ご注意】

ファイルサイズが 4 GB を超えるとファイルが分割されます。分割されたファイルのファイル名には、自動で通し番号が付加されます。

[バックアップ設定画面（EXE 形式）]



- ① ソース : 「録画」と表示されます。
- ② デバイス : 「USB Storage」と表示されます。
- ③ ファイル名 : ファイル名を変更できます。決定キーを押すと「文字入力画面」が表示され、ファイル名の入力ができます。最大 59 文字まで入力できます。(P. 4-13 「文字を入力する」)

アルファベットと数字以外に、使用できる記号は、「_」「-」「.」「;」です。
- ④ 開始 : 開始日時を設定します。
日付または時刻を選択し決定キーを押します。左右キーで年・月・日または時・分・秒を選択し、上下キーで数値を変更します。
- ⑤ 終了 : 終了日時を設定します。
日付または時刻を選択し決定キーを押します。左右キーで年・月・日または時・分・秒を選択し、上下キーで数値を変更します。
- ⑥ カメラ : バックアップするカメラ番号を選択します。複数のカメラチャンネルを選択できます。
- ⑦ パスワード : チェックを入れるとバックアップデータにパスワードを設定できます。

⑩「スタート」ボタンを選択して決定キーを押すと、パスワード設定画面が表示されます。
- ⑧ ステータス : 設定中は接続されているデバイスの容量を表示します。バックアップを開始するとバックアップの進捗状態を表示します。進捗状態表示が 100% になると終了処理を行い、完了画面が表示されてバックアップが終了します。
- ⑨ アップデート : USB メモリーの接続状態を確認し、情報を更新します。

- ⑩ スタート : バックアップを開始します。
パスワードにチェックが入っている場合は、バックアップパスワード設定画面 (P. 5-39) が表示され、パスワードを保存するとバックアップを開始します。

ご注意

- USB メモリーが接続されていない場合や正しく認識されないときは、バックアップを開始できません。USB メモリーを正しく接続してからバックアップ設定画面の「アップデート」を選択して決定キーを押し、USB メモリーの接続状態を更新してください。
- バックアップするデータサイズや本機の状態により、完了画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。バックアップの完了メッセージが表示されるまで USB メモリーを取り外さないでください。

- ⑪ 閉じる : 元の画面に戻ります。

メモ

バックアップを開始すると ⑩ の「スタート」ボタンは「キャンセル」ボタンに変わります。「キャンセル」を選択して決定キーを押すと、「中止しますか？」というメッセージが表示されます。バックアップを停止する場合は「はい」を選択して、決定キーを押してください。

● 独自形式 (STRG 形式) でバックアップする

本機や DRNET で再生できる形式です。バックアップデータにパスワードを設定できます。バックアップ設定画面の各項目の設定およびバックアップの開始のしかたは DVR Media Player 形式 (EXE 形式) と同じです。(P. 5-40 「DVR Media Player 形式 (EXE 形式) でバックアップする」)

ご注意

USB メモリーが FAT32 でフォーマットされている場合、ファイルサイズが 4 GB を超えるとファイルは分割されます。分割されたファイルのファイル名には、自動で通し番号が付加されます。NTFS でフォーマットされている場合は、ファイルは分割されません。

● AVI形式でバックアップする

「Windows Media Player」や「映画 & テレビ」で再生できる形式です。

【ご注意】

- バックアップデータのファイルサイズが4 GBを超えたり、映像データの録画解像度が変わったりした場合はファイルが分割されます。分割されたファイルのファイル名には、自動で通し番号が付加されます。
- バックアップするデータサイズや本機の状態により、完了画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。バックアップの完了メッセージが表示されるまでUSBメモリーを取り外さないでください。
- カメラ名に日本語（漢字、ひらがな、カタカナ）を入力した場合は、カメラ名が正しく表示されません。（P. 4-39「使用するカメラとカメラ名称を決める」）
- バックアップデータにパスワードは設定できません。
- H.265方式の録画データをAVI形式でバックアップしPCで再生する場合は、「HEVCビデオ拡張機能」のインストールが必要です。

[バックアップ設定画面 (AVI形式)]



- ① ソース : 「録画」と表示されます。
- ② デバイス : 「USB Storage」と表示されます。
- ③ ファイル名 : ファイル名を変更できます。決定キーを押すと「文字入力画面」が表示され、ファイル名の入力ができます。最大59文字まで入力できます。（P. 4-13「文字を入力する」）
【メモ】
アルファベットと数字以外に、使用できる記号は、「_」「-」「.」「;」です。
- ④ 開始 : 開始日時を設定します。
日付または時刻を選択し決定キーを押します。左右キーで年・月・日または時・分・秒を選択し、上下キーで数値を変更します。
- ⑤ 終了 : 終了日時を設定します。
日付または時刻を選択し決定キーを押します。左右キーで年・月・日または時・分・秒を選択し、上下キーで数値を変更します。
- ⑥ カメラ : バックアップするカメラ番号を選択します。1チャンネルのみ選択できます。
- ⑦ ステータス : 設定中は接続されているデバイスの容量を表示します。バックアップを開始するとバックアップの進捗状態を表示します。進捗状態表示が100%になると終了処理を行い、完了画面が表示されてバックアップが終了します。

⑧ アップデート：USBメモリーの接続状態を確認し、情報を更新します。

⑨ スタート：バックアップを開始します。

ご注意

- USBメモリーが接続されていない場合や正しく認識されないときは、バックアップを開始できません。USBメモリーを正しく接続してからバックアップ設定画面の「アップデート」を選択して決定キーを押し、USBメモリーの接続状態を更新してください。
- バックアップするデータサイズや本機の状態により、完了画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。バックアップの完了メッセージが表示されるまでUSBメモリーを取り外さないでください。

⑩ 閉じる：元の画面に戻ります。

メモ

バックアップを開始すると⑨の「スタート」ボタンは「キャンセル」ボタンに変わります。「キャンセル」を選択して決定キーを押すと、「中止しますか?」というメッセージが表示されます。バックアップを停止する場合は「はい」を選択して、決定キーを押してください。

■ 再生中にバックアップする（簡易バックアップ）

再生表示しているカメラチャンネルの映像データと音声データをバックアップできます。バックアップを行うと、再生画面にバックアップアイコンが表示されます。（P. 5-37 「バックアップ中の OSD 表示」）簡易バックアップによって、ビューアーを含む実行ファイル形式の DVR Media Player 形式（EXE 形式）と本機や DRNET で再生できる独自形式（STRG 形式）のファイルを作成できます。

ご注意

- DVR Media Player 形式（EXE 形式）のバックアップは、ファイルサイズが 4 GB を超えるとファイルが分割されます。また、独自形式（STRG 形式）のバックアップは、USB メモリーが FAT32 でフォーマットされている場合、ファイルサイズが 4 GB を超えるとファイルが分割されます。分割されたファイルのファイル名には、自動で通し番号が付加されます。
- バックアップするデータサイズや本機の状態により、完了画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。バックアップの完了メッセージが表示されるまで USB メモリーを取り外さないでください。
- 13 分割画面、16 分割画面の再生中は、録画データの録画レートにかかわらず、カメラチャンネルごとに 1 秒あたり 1 枚程度のバックアップになります。録画されているすべてのフレームをバックアップするときは、別の画面表示に切り換えてバックアップを行ってください。
- 逆再生や早送り、早戻し、一時停止中は、簡易バックアップを使用できません。

メモ

- 分割画面で再生している場合は、表示しているカメラチャンネルをバックアップします。
- 簡易バックアップ中は再生速度が通常より遅くなります。

1 本機前面の **USB2.0** 端子または **USB3.0** 端子に **USB** メモリーを接続する。

2 再生中（速度 1 倍時）にバックアップキーを押す。

簡易バックアップ設定画面（次ページ）が表示されます。
閉じる場合は、バックアップキーまたはメニューキーを押します。

ご注意

複数台の PC から同時にネットワーク接続を行っている場合など本機の負荷が高くなると、簡易バックアップ設定画面が表示されるのに時間がかかることがあります。

メモ

再生中（速度 1 倍時）に再生操作メニューの「バックアップ」を選択し決定キーを押しても、簡易バックアップ設定画面が表示されます。

3 バックアップする形式のタブ（**EXE 形式**／**STRG 形式**）を選択する。

EXE 形式 : DVR Media Player 形式（EXE 形式）でバックアップする
STRG 形式 : 独自形式（STRG 形式）でバックアップする

4 各項目を設定して「スタート」を選択し、決定キーを押す。

簡易バックアップを開始し、再生画面に戻ります。

ご注意

USB メモリーが接続されていない場合や正しく認識されていないときは、バックアップを開始できません。USB メモリーを正しく接続してから簡易バックアップ設定画面の「アップデート」を選択して決定キーを押し、USB メモリーの接続状態を更新してください。

メモ

簡易バックアップ中は、バックアップキーまたは一時停止キー以外の操作はできません。

5 簡易バックアップを終了するときには、バックアップキーまたは一時停止キーを押す。

「中止しますか？」というメッセージが表示されます。

メモ

マウスではステータスバーの一時停止ボタンをクリックします。

6 「はい」を選択し、決定キーを押す。

「簡易バックアップ完了」のメッセージが表示されます。

7 USB メモリーを取り外す。

[簡易バックアップ設定画面]

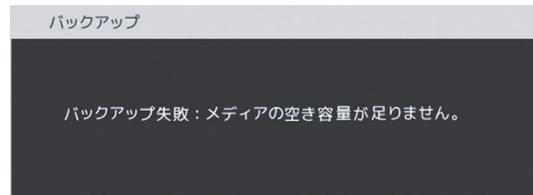


- ① デバイス : 「USB Storage」と表示されます。
- ② ファイル名 : ファイル名が変更できます。決定キーを押すと「文字入力画面」が表示され、ファイル名の入力ができます。最大 59 文字まで入力できます。(P. 4-13「文字を入力する」)
- ☒ ☒
アルファベットと数字以外に、使用できる記号は「_」「-」「.」「;」です。
- ③ パスワード : チェックを入れるとバックアップデータにパスワードを設定できます。
- ☒ ☒
⑥ の「スタート」ボタンを選択して決定キーを押すと、パスワード設定画面が表示されます。
- ④ ステータス : 設定中は接続されているデバイスの容量を表示します。
- ⑤ アップデート : USB メモリーの接続状態を更新します。
- ⑥ スタート : 簡易バックアップを開始します。
パスワードにチェックが入っている場合は、パスワード設定画面 (P. 5-39) が表示され、パスワードを保存すると簡易バックアップを開始します。バックアップが終わると再生画面に戻ります。
- ご注意**
- USB メモリーが接続されていない場合や正しく認識されないときは、バックアップを開始できません。USB メモリーを正しく接続してからバックアップ設定画面の「アップデート」を選択して決定キーを押し、USB メモリーの接続状態を更新してください。
 - バックアップするデータサイズや本機の状態により、完了画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。バックアップの完了メッセージが表示されるまで USB メモリーを取り外さないでください。
- ⑦ 閉じる : 元の画面に戻ります。

■ バックアップのエラーメッセージ

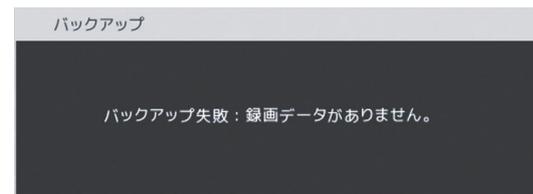
① USB メモリーの空き容量が不足している場合、右のエラーメッセージを表示します。

- 緊急録画キー以外のいずれかのキーを押すか、マウスのクリックまたは右クリックで、エラーメッセージを消去します。
- USB メモリーを交換し、バックアップを開始してください。



② 指定した範囲に録画データがない場合は、右のエラーメッセージが表示されます。

緊急録画キー以外のいずれかのキーを押すか、マウスのクリックまたは右クリックで、エラーメッセージを消去します。



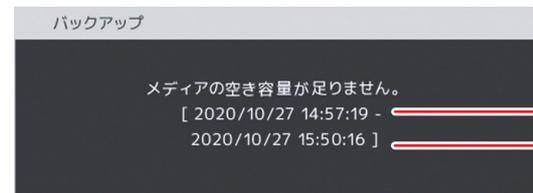
③ バックアップ中に USB メモリーを取り外したり、USB メモリーが正常に動作せずバックアップができなくなったりした場合は、右のエラーメッセージが表示されます。

緊急録画キー以外のいずれかのキーを押すか、マウスのクリックまたは右クリックで、エラーメッセージを消去します。



④ バックアップ中に USB メモリーの空き容量が不足した場合、右のエラーメッセージを表示します。表示された期間まではバックアップが完了しています。

- バックアップを続けて行う場合は、エラーメッセージの終了日時を記録してください。
- 緊急録画キー以外のいずれかのキーを押すか、マウスのクリックまたは右クリックで、エラーメッセージを消去します。
- USB メモリーを交換し、再びバックアップ設定画面を表示してください。
- バックアップの開始日時を記録した終了日時に変更して、バックアップを再開してください。



開始日時
終了日時

■ バックアップしたデータを見る

バックアップした録画データは、バックアップの形式によって、PC や本機で再生できます。バックアップの形式には、DVR Media Player 形式 (EXE 形式)、独自形式 (STRG 形式)、AVI 形式の3種類があります。(P. 5-37 「録画データのバックアップ (コピー)」)

● DVR Media Player 形式 (EXE 形式) のファイルを再生する

バックアップ、もしくは簡易バックアップによって DVR Media Player 形式で保存された映像データと音声データを PC で再生できます。DVR Media Player ファイルは USB メモリーの直下に保存されます。DVR Media Player ファイルはビューアーを含む実行ファイル形式で簡単に再生することができます。

[DVR Media Player 形式のファイル]

(例) untitled.exe

ご注意

- DVR Media Player 形式のデータを再生するために PC にログインするときは、管理者 (Administrator) 権限を持つユーザーアカウントを使用してください。
- 再生する PC によっては、再生音が出ないことや映像の速度が遅くなる場合があります。
- ファイルサイズが大きくなると、PC の性能によっては再生までに時間がかかる場合があります。

以下の手順で、バックアップデータを再生できます。

1 バックアップデータが保存されている USB メモリーを PC に挿入する。

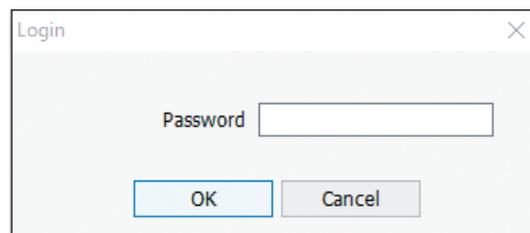
2 再生したいバックアップファイルを選択し、ダブルクリックする。

DVR Media Player 画面が表示されます。

「ユーザーアカウント制御」ダイアログが表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

[バックアップデータにパスワードが設定されている場合]

パスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力し「OK」をクリックすると、DVR Media Player 画面が表示されます。

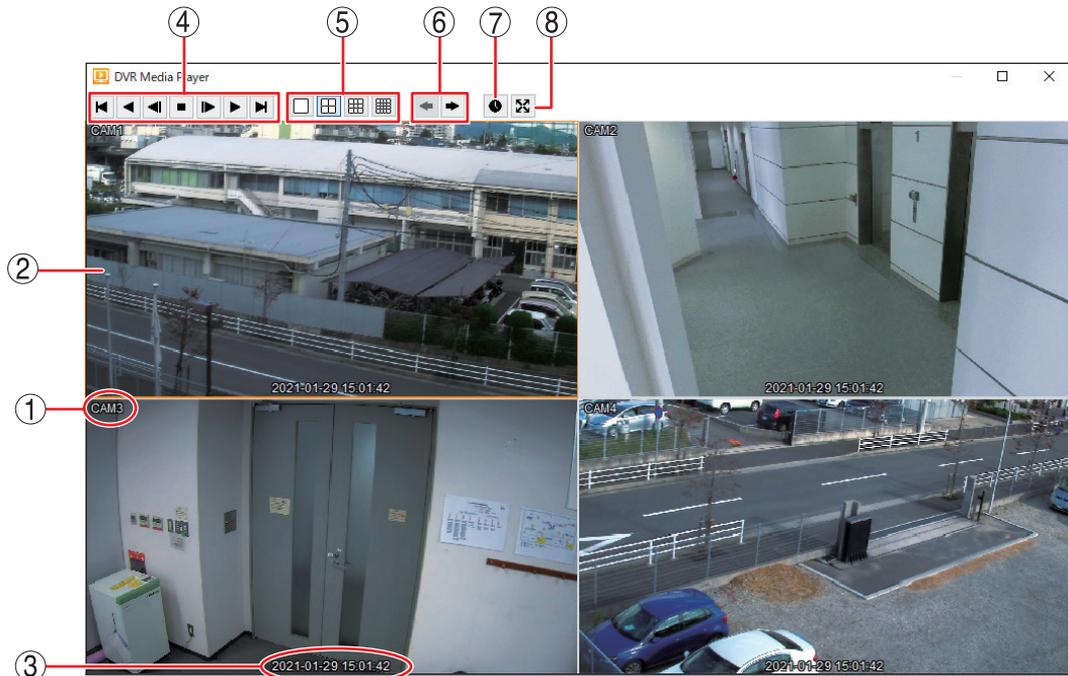


×モ

パスワードを間違えて入力した場合は「Invalid Password」と表示されます。DVR Media Player を再起動し、正しいパスワードを入力してください。

● DVR Media Player 画面表示について

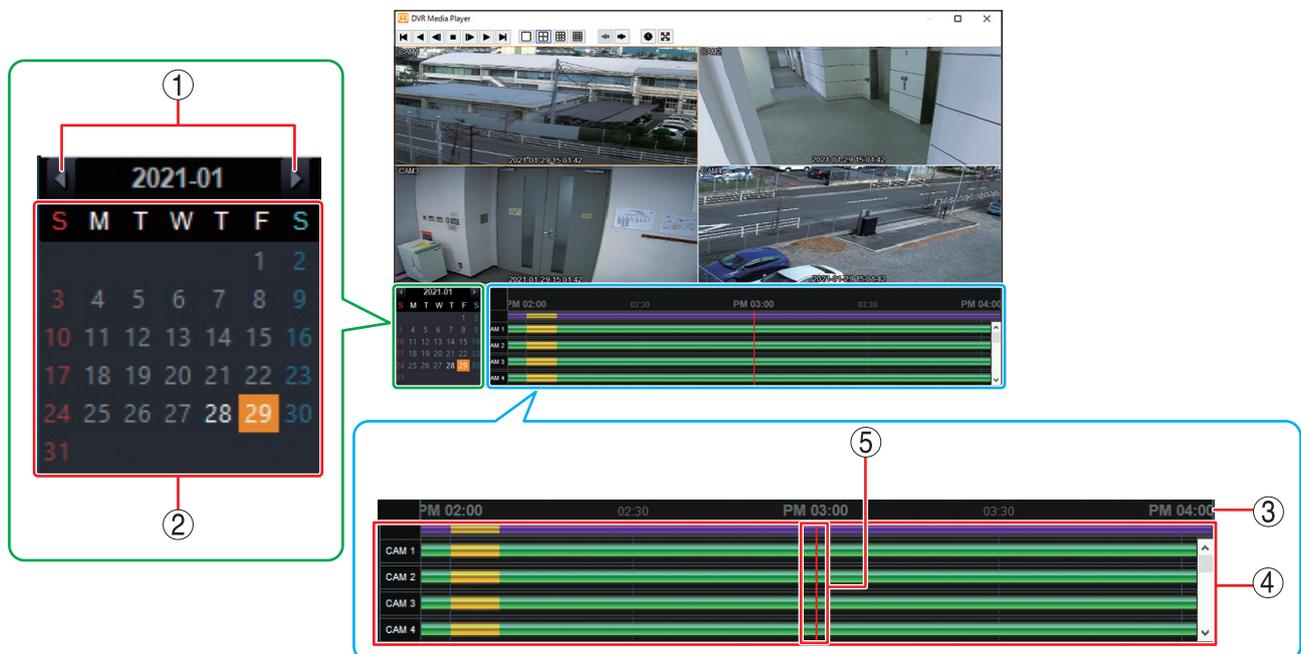
DVR Media Player は再生開始日時の指定、複数カメラチャンネルの分割表示、再生などの操作ができます。



- ① カメラ名 : 再生中のカメラ名を表示します。(P. 4-39「使用するカメラとカメラ名称を決める」)
- ② 映像表示画面 : バックアップデータの再生映像を表示します。1画面や分割画面の表示ができます。再生映像をダブルクリックすると、1画面と分割画面の表示が切り換わります。
- ③ 再生日時 : 再生中の日時を表示します。
- ④ 再生操作部 : 再生操作を行います。
 -  : バックアップデータの最古の映像を頭出しします。
 -  : 逆再生します。クリックごとに再生速度が2倍、4倍、8倍、16倍、32倍と段階的に変化します。
 -  : コマ戻し再生を行います。
 -  : 再生を停止します。
 -  : コマ送り再生を行います。
 -  : 再生します。クリックごとに再生速度が2倍、4倍、8倍、16倍、32倍と段階的に変化します。
 -  : バックアップデータの最新の映像に移動します。
- ⑤ 画面表示アイコン部
 -  : 1画面表示します。
 -  : 4分割画面表示します。
 -  : 9分割画面表示します。
 -  : 16分割画面表示します。
- ⑥ グループ切換ボタン : カメラチャンネルや同じ分割画面の別の画面(グループ)に切り換えます。
 -  : 1画面表示中はカメラチャンネルが前のチャンネルに切り換わります。分割画面表示中は同じ分割画面の前の画面(グループ)に切り換わります。
 -  : 1画面表示中はカメラチャンネルが次のチャンネルに切り換わります。分割画面表示中は同じ分割画面の次の画面(グループ)に切り換わります。

- ⑦ カレンダー検索ボタン：映像表示画面下にカレンダー検索画面が表示されます。もう一度クリックするとカレンダー検索画面は消えます。
- ⑧ 全画面表示ボタン：全画面表示します。もう一度全画面ボタンをクリックするかPCのESCキーを押すと全画面表示を解除します。

[カレンダー検索画面]



- ① ◀ ▶ : 前月または翌月を表示します。
- ② カレンダー表示部 : バックアップデータが存在する日付を白く強調表示します。また、タイムテーブルに表示している日付の背景をオレンジ色で表示します。
- ③ タイムテーブル : 時刻を表示します。マウスのホイールで時間間隔を拡大／縮小できます。
- ④ カラーバー
- (紫色) : いずれかのカメラチャンネルにバックアップデータが存在する
 - (緑色) : カメラチャンネルにバックアップデータが存在する
 - (黄色) : 同一時刻に重複したバックアップデータが存在する
- ⑤ 時刻カーソル : 再生の開始位置を表します。タイムテーブルのバックアップデータが存在する任意の位置でダブルクリックすると、時刻カーソルの位置にダブルクリックした時刻が移動します。

☒ ☒

再生停止中にタイムテーブル上で左ボタンを押したままマウスを左右に動かすと、タイムテーブルを移動することができます。

[音声を再生する]

DVR Media Player 形式のバックアップデータに音声が含まれているときは、音声を出力することができます。音声は1画面再生中に出力されます。

【ご注意】

- 再生速度を変更したとき、分割画面表示中、および逆再生中は音声は出力されません。
- 再生するPCによっては、再生音声が出ないことがあります。

● AVI 形式のファイルを再生する

バックアップで保存した AVI 形式の映像データと音声データを PC で再生できます。AVI 形式のファイルは「Windows Media Player」または「映画 & テレビ」のアプリを使用して再生することができます。

Windows Media Player は、バージョン 12 以降を使用してください。

AVI 形式のファイルは USB メモリーの直下に保存されます。

また、同時に AVI 形式のファイルと同じ名前の 2 種類の字幕ファイル（SMI 形式、SRT 形式）が保存されます。

[AVI 形式のファイル]

(例) untitled.avi

untitled.smi

untitled.srt

ご注意

- H.265 方式の録画データを AVI 形式でバックアップし PC で再生する場合は、「HEVC ビデオ拡張機能」が事前にインストールされている必要があります。
- 録画解像度が WD1 (944 × 480) または WQVGA (480 × 272) で録画した NTSC カメラ映像のデータを再生した場合、横長の映像としてワイド表示されます。
- 録画解像度が D1 (704 × 480) で録画した AHD カメラ映像のデータを再生した場合、アスペクト比 4 : 3 の映像に変換されて、縦長の映像として表示されます。
- 再生する PC によっては、再生音が出ないことや映像の速度が遅くなる場合があります。
- ファイルサイズが大きくなると、PC の性能によっては再生までに時間がかかることがあります。

以下の手順で AVI 形式ファイルを再生できます。

1 バックアップデータが保存されている USB メモリーを PC に挿入する。

2 再生したい AVI 形式のファイルをダブルクリックする。

Windows Media Player または映画 & テレビ画面が表示されます。

メモ

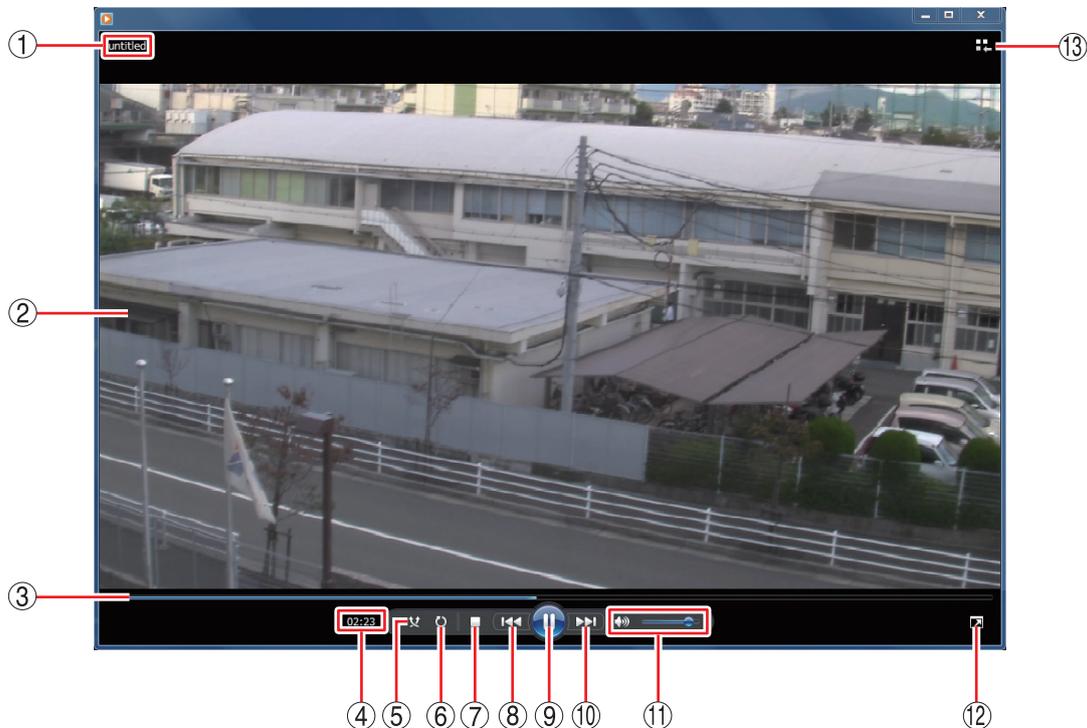
AVI 形式のファイルが、「Windows Media Player」または「映画 & テレビ」に関連付けされていない場合、別のアプリケーションが起動します。

この場合は、起動したアプリケーションを終了して以下の手順で起動してください。

1. 再生したい AVI 形式のファイルを右クリックする。
コマンドメニューが表示されます。
2. [プログラムから開く → Windows Media Player または映画 & テレビ] をクリックする。
選択したプレーヤーの画面が表示されます。

● Windows Media Player 画面表示について

以下では、AVI 形式の再生プレーヤーとして Windows Media Player の基本動作を説明します。
詳しくは、Windows Media Player 画面上で右クリックし、コマンドメニューの「再生についてのヘルプ」
をご覧ください。



- ① ファイル名 : バックアップデータのファイル名を表示します。
- ② 映像表示画面 : バックアップデータの再生映像を表示します。
- ③ 再生バー : 再生中の位置を表示します。再生中に再生バーをクリックするとその位置まで再生バーと映像が移動します。
- ④ 再生時間 : バックアップデータの先頭からの経過時間を表示します。
- ⑤ ランダム再生ボタン : ランダム再生のオン/オフを切り換えます。
Windows Media Player の再生リストに複数のファイルを保存している場合は、ランダム再生をオンにすると、ランダムな順番でファイルを再生します。
- ⑥ 連続再生ボタン : 連続再生のオン/オフを切り換えます。
連続再生をオンにすると、再生が終了したときに再び先頭から再生が始まります。
- ⑦ 停止ボタン : 再生を停止します。
- ⑧ 前へボタン : 押し続けている間、早戻し再生を行います。
- ⑨ 一時停止/再生ボタン : 再生中は一時停止ボタンとなり、クリックすると再生中の映像を一時停止します。
一時停止中は再生ボタンとなり、クリックすると再生バーのカーソル位置から再生を行います。
- ⑩ 次へボタン : 押し続けている間、早送り再生を行います。
- ⑪ 音量ボタン : 音量を調整します。
スピーカーマークをクリックすると、ミュートのオン/オフを切り換えます。
[音声を出力するとき] [音声を出力しないとき]



第5章 基本機能

⑫ 全画面表示ボタン：全画面表示のオン/オフを切り換えます。

⑬ ライブラリに切り換えボタン

：プレビューモードから Player ライブラリモードに切り換えます。バックアップデータの再生映像はプレビューモード画面で表示します。

[メモ]

Player ライブラリモードからプレビューモードに切り換えるには、Windows Media Player の右下隅にある「プレビューに切り換え」ボタンをクリックします。

[Player ライブラリモード画面例]



[カメラ名や日時を表示する]

AVI 形式のファイルを保存した場合、同時に AVI 形式のファイルと同じ名前の字幕ファイル（SMI 形式）が保存されます。

字幕ファイル（SMI 形式）を再生する AVI 形式のファイルと同じフォルダーに入れて、Windows Media Player の以下の設定を行うことで、再生映像のカメラ名や再生日時を表示できます。

ご注意

- カメラ名に日本語（漢字、ひらがな、カタカナ）を入力した場合は、カメラ名が正しく表示されません。（P. 4-39 「使用するカメラとカメラ名称を決める」）
- 再生する PC によっては、カメラ名や日時を表示しないことがあります。

1 AVI 形式のファイルを再生する。

2 Windows Media Player 画面上で右クリックする。

コマンドメニューが表示されます。

3 [歌詞、キャプション、および字幕 → 利用できる場合はオン] をクリックし、選択する。

[メモ]

Windows Media Player のバージョンによっては、表示が異なる場合があります。

4 再度、Windows Media Player 画面上で右クリックする。

コマンドメニューが表示されます。

5 「その他のオプション」をクリックする。

オプション画面が表示されます。

6 オプション画面の「セキュリティ」タブをクリックする。

7 「ローカルキャプションがある場合は表示する」にチェックを入れる。

メモ

Windows Media Player のバージョンによっては、表示が異なる場合があります。

8 「OK」をクリックする。

9 Windows Media Player を再起動する。

再生映像のカメラ名や再生日時が表示されます。



【音声を再生する】

AVI 形式のバックアップデータに音声が含まれているときは、音声を出力することができます。

【ご注意】

再生する PC によっては、再生音声が出ないことがあります。

● 映画 & テレビ画面表示について

以下では、AVI 形式の再生プレーヤーとして映画 & テレビの基本動作を説明します。
詳しくは、「映画 & テレビのヘルプ」を Web サイトで検索しご覧ください。



- | | |
|-------------------|---|
| ① 再生バー | : 再生中の位置を表示します。 |
| ② 経過時間 | : バックアップデータの先頭からの経過時間を表示します。 |
| ③ 音量メニューボタン | : 音量バーを表示し音量を調整します。音量バーのスピーカーマークをクリックしてミュートのオン/オフを切り換えます。
[音声を出力するとき] [音声を出力しないとき] |
| |   |
| ④ 字幕とオーディオメニューボタン | : カメラ名や日時を表示します。(P. 5-55 「カメラ名や日時を表示する」) |
| ⑤ 巻き戻しスキップボタン | : 10 秒前の再生映像を表示します。 |
| ⑥ 一時停止/再生ボタン | : 再生中は一時停止ボタンとなり、クリックすると再生中の映像を一時停止します。一時停止中は再生ボタンに変わり、クリックすると再生バーのカーソル位置から再生を行います。 |
| ⑦ 早送りスキップボタン | : 30 秒後の再生映像を表示します。 |
| ⑧ 全画面ボタン | : 全画面表示のオン/オフを切り換えます。 |
| ⑨ 残り時間 | : バックアップデータの残り時間を表示します。 |

[カメラ名や日時を表示する]

AVI 形式のファイルを保存した場合、同時に AVI 形式のファイルと同じ名前の字幕ファイル（SRT 形式）が保存されます。

字幕ファイル（SRT 形式）を再生する AVI 形式のファイルと同じフォルダーに入れて、映画 & テレビの以下の設定を行うことで、再生映像のカメラ名や再生日時を表示できます。

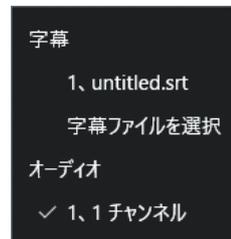
ご注意

- カメラ名に日本語（漢字、ひらがな、カタカナ）を入力した場合は、カメラ名が正しく表示されません。（P. 4-39「使用するカメラとカメラ名称を決める」）
- 再生する PC によっては、カメラ名や日時を表示しないことがあります。

1 AVI 形式のファイルを再生する。**2 映画 & テレビの画面左下の「字幕とオーディオメニュー」ボタンをクリックする。**

字幕の選択メニューが表示され、同じフォルダーにある SRT 形式のファイル名が表示されます。

字幕ファイル（SRT 形式）と再生する AVI 形式のファイルが別のフォルダーに入っている場合など字幕ファイルが表示されない場合は、選択メニューの「字幕ファイルを選択」をクリックし、字幕ファイル（SRT 形式）を選択できます。

**3 AVI 形式と同じ SRT 形式のファイル名をクリックする。**

再生映像のカメラ名や再生日時が表示されます。

[音声を再生する]

AVI 形式のバックアップデータに音声が含まれているときは、音声を出力することができます。

ご注意

再生する PC によっては、再生音声が出ないことがあります。

● 独自形式（STRG 形式）のファイルを本機で再生する

バックアップまたは簡易バックアップによって独自形式で保存された映像データと音声データを本機で再生できます。

独自形式のファイルは USB メモリーの直下に保存されます。

[独自形式のファイル]

(例) untitled.strg

以下の手順で、独自形式のファイルを本機で再生できます。

1 独自形式のファイルが保存されている **USB** メモリーを本機の **USB2.0** 端子または **USB3.0** 端子に接続する。

2 ライブ表示中にメニューキーを押すか、マウスを右クリックしてライブ操作メニューを表示する。

3 ライブ操作メニューの「再生」を選択し、決定キーを押す。

再生データ選択メニューが表示されます。

4 「バックアップデータ」を選択し、決定キーを押す。

バックアップデータ選択画面（次ページ）が表示されます。

5 「デバイス」で「**USB Storage**」を選択し、決定キーを押す。

USB メモリーに保存された独自形式のファイルがリスト表示されます。

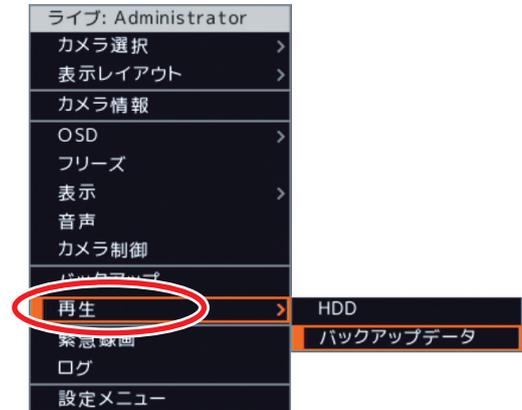
6 再生したいバックアップデータ（ファイル名）を選択し、決定キーを押す。

再生画面に選択したバックアップデータの最新時刻の映像が表示されます。

7 再生操作を行う。

再生方法については、P. 5-25 「再生操作」を参照してください。

[ライブ操作メニュー]

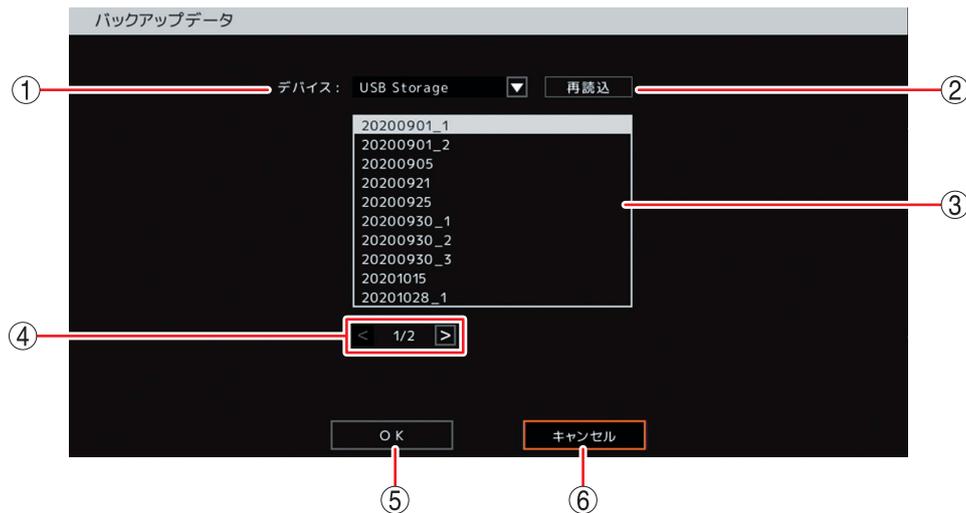


[メモ]

再生画面の表示中は、再生操作メニューの [記録装置 → バックアップデータ] を選択すると、「再生を停止し、他のバックアップデータファイルを開きますか？」とメッセージが表示されます。

「はい」を選択して決定キーを押すと、「バックアップデータ選択画面（次ページ）」が表示されます。

[バックアップデータ選択画面]



- ① デバイス : バックアップデータの保存メディアを選択します。
- ② 再読込 : デバイスの再読み込みを行います。
- ③ リスト : 保存メディア内にある独自形式ファイルをリスト表示します。再生したいファイルを選択し、決定キーを押します。
- ④ ページ切り換え : ◀ ▶ でページを切り換えてリスト表示します。
- ⑤ OK : バックアップデータの読み込みを行い、再生映像を一時停止して表示します。
- ⑥ キャンセル : バックアップデータの読み込みを行わず、元の画面に戻ります。

● 独自形式 (STRG 形式) のファイルを PC で再生する

バックアップまたは簡易バックアップによって独自形式で保存された映像データと音声データを PC で再生できます。

DRNET がインストールされている PC に USB メモリーを接続します。

再生したい独自形式のファイルをダブルクリックすると、DRNET が起動して再生可能な状態となります。

独自形式のファイルは USB メモリーの直下に保存されます。

[独自形式のファイル]

(例) untitled.strg

メモ

DRNET のインストールおよび再生方法については、DRNET の取扱説明書をご覧ください。

第6章

その他の機能

コンビネーションカメラ制御

本機に TOA 製コンビネーションカメラを接続すると簡易操作やカメラ設定を行うことができます。

ご注意

- コンビネーションカメラ制御はカメラ制御権限を持つユーザーでログインしている場合のみ操作できます。(P. 3-8 「ログイン」)
- NTSC コンビネーションカメラの制御方式は RS-485 制御です。AHD コンビネーションカメラは同軸多重方式または RS-485 制御方式のどちらかをメニューで選択できます。RS-485 制御をする場合は RS-485 制御線を接続してください。

設定と接続

コンビネーションカメラを本機に接続するときは、コンビネーションカメラで以下の設定を行ってから接続してください。

- カメラアドレス : 他のカメラのアドレスと重複しないように 1 ~ 255 から設定してください。
- 通信速度 : 38400 bps
- 通信方式 (カメラプロトコル) : タイプ B
- 終端 : ON (RS-485 制御線の末端のカメラのみ)

メモ

AHD コンビネーションカメラを同軸多重制御する場合、設定は不要です。

コンビネーションカメラの操作

● コンビネーションカメラ制御画面を立ち上げる

1 ライブ画面でカメラ制御キーを押す。

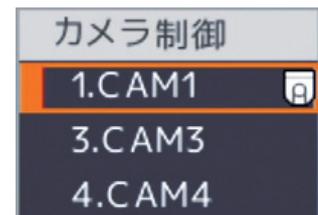
カメラ制御選択画面が表示されます。
閉じる場合は、カメラ制御キーまたはメニューキーを押します。

 : 操作可能なコンビネーションカメラチャンネル
マークなし : AHD カメラチャンネル

メモ

- 操作可能なコンビネーションカメラや AHD カメラが存在しない場合は、カメラ制御選択画面は表示されません。
- 操作可能なコンビネーションカメラや AHD カメラ以外のチャンネルは、カメラ制御選択画面に表示されません。
- AHD コンビネーションカメラを接続した状態でカメラのプロトコルが設定されていない場合は、AHD カメラとして扱われます。(P. 4-42 「コンビネーションカメラ設定をする (PTZ)」)
- 操作可能なコンビネーションカメラが 1 画面表示されている場合は、すぐにコンビネーションカメラ制御画面に切り換わります。カメラ制御選択画面は表示されません。
- ライブ操作メニューの「カメラ制御」からカメラ制御選択画面を表示することもできます。操作可能なコンビネーションカメラや AHD カメラが存在しない場合は、ライブ操作メニューの「カメラ制御」は選択できません。(P. 5-6 「ライブ操作メニューによるライブ操作」)

[カメラ制御選択]

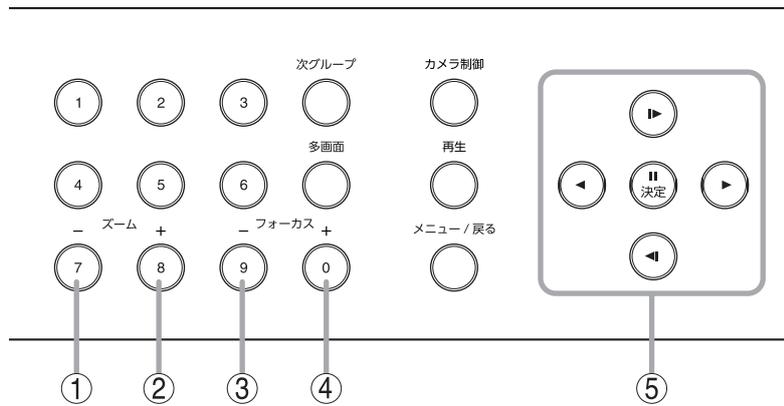


2 操作したいコンビネーションカメラチャンネルを選択し、決定キーを押す。

選択したカメラチャンネルが 1 画面表示され、コンビネーションカメラ制御画面に切り換わります。

● コンビネーションカメラを操作する

コンビネーションカメラ制御画面で前面キーから以下のカメラ操作ができます。



- ① ズーム（-）キー ： 光学ズーム操作（広角）を行います。
- ② ズーム（+）キー ： 光学ズーム操作（望遠）を行います。
- ③ フォーカス（-）キー ： 焦点を近くにあわせます。
- ④ フォーカス（+）キー ： 焦点を遠くにあわせます。
- ⑤ 上下左右キー ： パン操作（左右）、チルト操作（上下）を行います。

メモ

パン／チルトの巡回速度は、PTZ 設定の「スピード」で変更できます。(P. 4-42「コンビネーションカメラ設定をする (PTZ)」)

第6章 その他の機能

[マウスによる操作]

コンビネーションカメラ制御画面に表示されるアイコンから行います。

[コンビネーションカメラ制御画面]



アイコン		カメラの操作	
①		上下左右	パン操作（左右）、チルト操作（上下）を行います。 斜め方向の移動もできます。
②		ズーム（－）	光学ズーム操作（広角）を行います。
③		ズーム（＋）	光学ズーム操作（望遠）を行います。
④		フォーカス（－）	焦点を近くに合わせます。
⑤		フォーカス（＋）	焦点を遠くに合わせます。

メモ

パン／チルトの回転速度は、PTZ 設定の「スピード」で変更できます。（P. 4-42 「コンビネーションカメラ設定をする（PTZ）」）

● コンビネーションカメラを制御する

コンビネーションカメラの制御を行うにはカメラ制御メニューを使います。カメラ制御メニューは、コンビネーションカメラ制御画面でメニューキーを押すと表示されます。メニューを閉じる場合は、メニューキーを押します。

[メモ]

マウスでは、コンビネーションカメラ制御画面で右クリックすると表示されます。メニューを閉じる場合は、メニュー表示部以外でクリックまたは右クリックします。

① プリセット

[プリセット登録]

プリセットの登録を行います。(P. 6-6「プリセット登録を行う」)

[メモ]

プリセットは1～16まで登録できます。

[プリセット移動]

あらかじめ登録したプリセットに移動します。(P. 6-6「プリセット移動を行う」)

② オートパン

[ON]

オートパン動作を開始します。

[OFF]

オートパン動作を停止します。

③ ツアー

[ON]

コンビネーションカメラにあらかじめ設定した動作を行う「ツアー」機能を開始します。

[OFF]

ツアーを停止します。

④ パターン

[ON]

コンビネーションカメラにあらかじめ登録したプリセットポジションを巡回するパターン動作(プリセットシーケンス)を開始します。

[OFF]

パターン動作を停止します。

ご注意

パターン動作(プリセットシーケンス)に対応していないコンビネーションカメラは動作しません。

⑤ ホームポジション

コンビネーションカメラにホームポジションとしてあらかじめ設定した位置にコンビネーションカメラを移動します。

[カメラ制御メニュー]



⑥ メニュー

[ON]

コンビネーションカメラのカメラメニューを起動します。

[OFF]

カメラメニューを終了します。(P. 6-7「コンビネーションカメラのカメラメニューを設定する」)

⑦ その他

[ESC]

カメラメニューの設定内容を保存せずに前画面に戻ります。(Clear 機能)

[ENTER]

カメラメニューの設定項目や内容を確定し画面を切り換えます。(Set 機能)

[ワンプッシュ AF]

オートフォーカス動作を1度行います。

⑧ カメラ制御終了

コンビネーションカメラ制御画面を終了し、ライブ画面に切り換わります。

● プリセット登録を行う

1 コンビネーションカメラを制御して、あらかじめプリセット登録をしたい画角にカメラ映像を合わせておく。

2 カメラ制御メニューの「プリセット」を選択し、決定キーを押す。

3 「プリセット登録」を選択し、決定キーを押す。

プリセット登録メニューが表示されます。
プリセットは、1～16まで登録できます。

4 プリセット番号に指定したい番号を選択し決定キーを押す。

文字入力画面が表示されます。プリセット名を入力してください。
英数、記号で最大16文字まで入力できます。(P. 4-13「文字を入力する」)

メモ

プリセット登録メニューを閉じるときは、メニューキーを押します。

5 「OK」を選択し、決定キーを押す。

表示中の画面がプリセットとして登録されます。

[プリセット登録メニュー]



ご注意

- プリセット17以降はカメラメニューで登録してください。(P. 6-7「コンビネーションカメラのカメラメニューを設定する」)
- カメラによってプリセット最大登録数が異なります。詳しくは、カメラの取扱説明書をご覧ください。

● プリセット移動を行う

あらかじめ登録したプリセット名を選択または、プリセット番号を入力して表示させることができます。

1 カメラ制御メニューの「プリセット」を選択し、決定キーを押す。

2 「プリセット移動」を選択し、決定キーを押す。

プリセット移動メニューが表示されます。

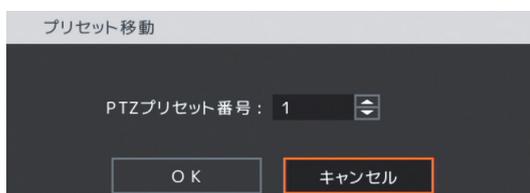
3 プリセット移動させたい番号1～16（プリセット名）を選択し、決定キーを押す。

選択したプリセットの映像が表示されます。

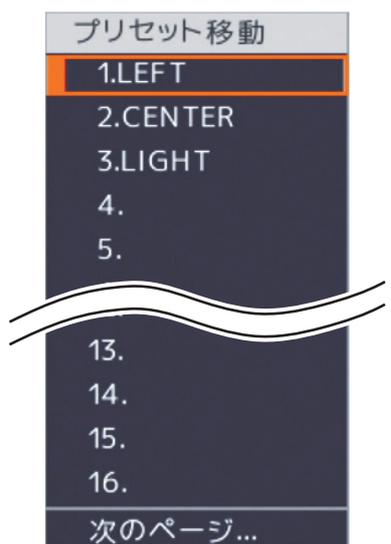
メモ

「次のページ...」を選択して決定キーを押すと、プリセット番号指定画面表示されます。プリセット移動させたいプリセット番号(1～255)を指定することもできます。プリセット移動メニューを閉じるときは、メニューキーを押します。

[プリセット番号指定画面]



[プリセット移動メニュー]



● コンビネーションカメラのカメラメニューを設定する

カメラ制御メニューの「メニュー」で「ON」を選択して決定キーを押すと、画面上にコンビネーションカメラのカメラメニューが起動します。カメラ制御メニューの「メニュー」で「OFF」を選択して決定キーを押すと、カメラメニューは終了します。

カメラメニューは、本機の前面キーまたはマウスでコンビネーションカメラ制御画面に表示されるアイコンから行います。

詳しい設定方法や設定項目については、カメラの取扱説明書をご覧ください。

アイコン	本機前面キー	機能説明
—	メニューキー	カメラ制御メニューを表示します。 プリセット登録中のワンプッシュ AF やカメラメニューの終了を行います。
	上下左右キー	上下で設定項目の選択、左右で設定内容の選択をします。 プリセット登録などではパン操作（左右）とチルト操作（上下）を行います。
	ズーム（-）キー	プリセット登録などで光学ズーム操作（広角）を行います。
	ズーム（+）キー	プリセット登録などで光学ズーム操作（望遠）を行います。
	フォーカス（-）キー	カメラメニューの設定項目や内容を確定し、画面を切り換えます。 (Set 機能)
	フォーカス（+）キー	カメラメニューの設定内容を保存せずに前画面に戻ります。(Clear 機能)

メモ

AHD コンビネーションカメラを同軸多重制御する場合、カメラ制御メニューの「メニュー」を選択します。ON/OFF のどちらをクリックしても、カメラメニューの起動／終了ができます。

AHD カメラ制御

■ AHD カメラの操作

本機に TOA 製 AHD カメラを接続するとカメラメニューの設定を行うことができます。

【ご注意】

AHD カメラ設定はカメラ制御権限を持つユーザーでログインしている場合のみ操作できます。(P. 3-8 「ログイン」)

● AHD カメラ制御画面を立ち上げる

[カメラ制御選択]

1 ライブ画面でカメラ制御キーを押す。

カメラ制御選択画面が表示されます。

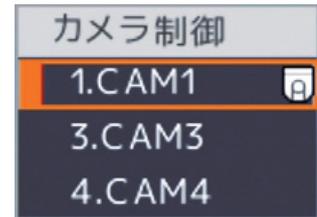
閉じる場合は、カメラ制御キーまたはメニューキーを押します。

 : 操作可能なコンビネーションカメラチャンネル

マークなし : AHD カメラチャンネル

メモ

- 操作可能なコンビネーションカメラや AHD カメラが存在しない場合は、カメラ制御選択画面は表示されません。
- 操作可能なコンビネーションカメラや AHD カメラ以外のチャンネルは、カメラ制御選択画面に表示されません。
- AHD カメラが 1 画面表示されている場合は、すぐに AHD カメラ制御画面に切り換わります。カメラ制御選択画面は表示されません。
- ライブ操作メニューの「カメラ制御」からカメラ制御選択画面を表示することもできます。操作可能なコンビネーションカメラや AHD カメラが存在しない場合は、ライブ操作メニューの「カメラ制御」は選択できません。(P. 5-6 「ライブ操作メニューによるライブ操作」)



2 操作したい AHD カメラチャンネルを選択し、決定キーを押す。

選択したカメラチャンネルが 1 画面表示され、AHD カメラ制御画面に切り換わります。

● AHD カメラメニューを設定する

AHD カメラ制御画面で AHD カメラのカメラメニューを起動することができます。カメラメニューの設定は、本機の前面キーまたはマウスで AHD カメラ制御画面に表示されるアイコンから行います。詳しい設定方法や設定項目については、カメラの取扱説明書をご覧ください。

[AHD カメラ制御画面]



アイコン	本機前面キー	機能説明
①	上下左右キー	上下で設定項目の選択、左右で設定内容の選択をします。
②	決定キー	AHD カメラのカメラメニューを起動します。カメラメニュー表示中は、設定項目や内容を確定し、画面を切り換えます。

メモ

カメラメニューを終了するには、カメラメニュー内の「終了」を選択してください。

[カメラ制御メニューによる操作]

カメラ制御メニューから AHD カメラのカメラメニューの起動や設定を行うこともできます。AHD カメラ制御画面でメニューキーを押すとカメラ制御メニューが表示されます。カメラ制御メニューを閉じる場合は、メニューキーを押します。

メモ

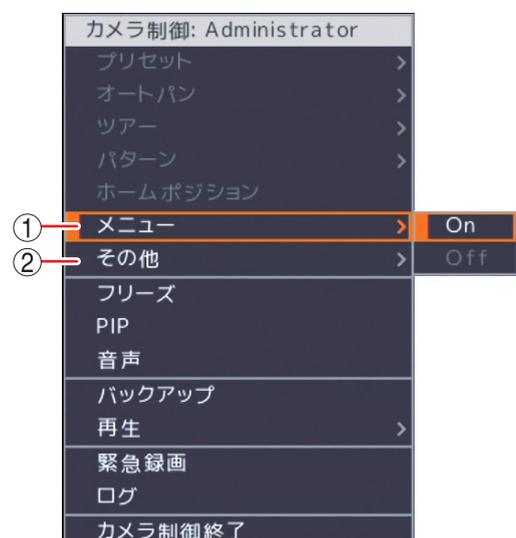
マウスでは、AHD カメラ制御画面で右クリックすると表示されます。メニューを閉じる場合は、メニュー表示部以外でクリックまたは右クリックします。

- ① メニュー
 - On : AHD カメラのカメラメニューを起動します。カメラメニュー表示中は、設定項目や内容を確定し、画面を切り換えます。
 - Off : 選択できません。
- ② その他
 - ENTER : AHD カメラのカメラメニューを起動します。カメラメニュー表示中は、設定項目や内容を確定し、画面を切り換えます。

メモ

- メニュー「On」とその他「ENTER」は同じ動作になります。
- カメラメニューを終了するには、カメラメニュー内の「終了」を選択してください。

[カメラ制御メニュー]



リモートコントローラー制御

本機にリモートコントローラー（C-RM700）を接続し、リモートコントローラーから1画面表示、4／9／13／16分割画面表示、シーケンス表示を選択することができます。

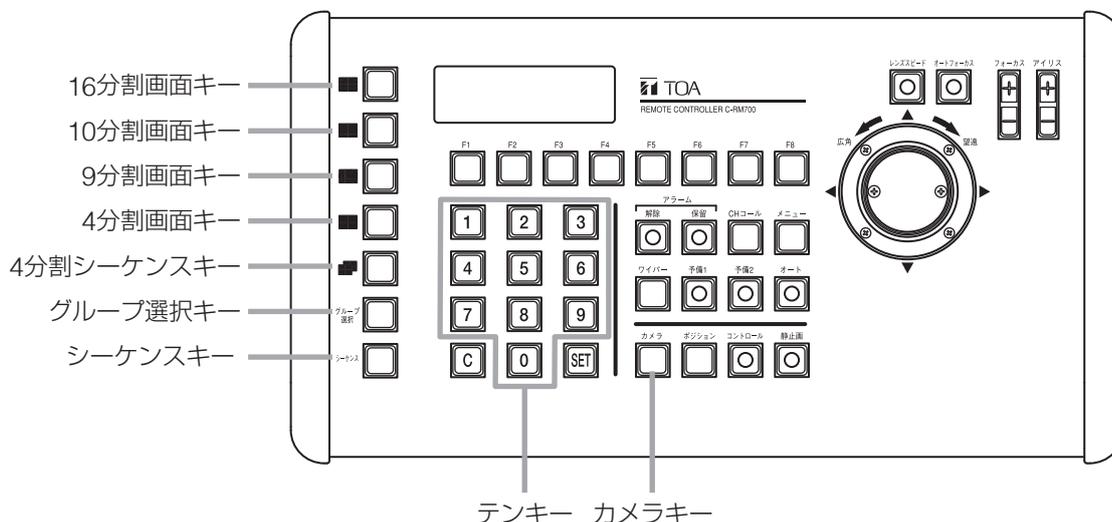
リモートコントローラー（C-RM700）から操作する場合は、RS-485の設定で用途を「コントローラー」に設定します。（P. 4-49「RS485設定」）

メモ

- 用途を「コントローラー」に設定すると、通信速度、データビット、ストップビット、パリティはリモートコントローラー（C-RM700）から操作可能な設定に自動で変更されます。
- 本機を操作するために必要なリモートコントローラー（C-RM700）側の設定はありません。

リモートコントローラーからの操作

[操作に使用するキー]



● 1画面表示する

1 テンキーで1画面表示したいカメラチャンネルの番号を押す。

2 カメラキーを押す。

指定されたカメラチャンネルの映像が1画面表示されます。

【ご注意】

コントロールキーは使用しないでください。

● 4分割表示する

1 4分割画面キーを押す。

4分割画面（カメラチャンネル1～4）が表示されます。

2 4分割画面キーまたはグループ選択キーを押す。

4分割画面（カメラチャンネル5～8）が表示されます。

キーを押すごとに9～12、13～16とカメラチャンネルの表示が切り換わります。

● **9分割画面表示する**

1 9分割画面キーを押す。

9分割画面（カメラチャンネル1～9）が表示されます。

2 9分割画面キーまたはグループ選択キーを押す。

9分割画面（カメラチャンネル8～16）が表示されます。

● **13分割画面表示する**

1 10分割画面キーを押す。

13分割画面（カメラチャンネル1～13）が表示されます。

2 10分割画面キーまたはグループ選択キーを押す。

13分割画面（カメラチャンネル1、5～16）が表示されます。

● **16分割画面表示する**

手順：16分割画面キーを押す。

16分割画面（カメラチャンネル1～16）が表示されます。

● **シーケンス表示する**

手順：シーケンスキーを押す。

本機で設定したシーケンス間隔に従い、ライブ表示中の1画面または分割画面のシーケンスを開始します。（P. 5-10「シーケンス表示する」）

● **4分割シーケンス表示する**

手順：ライブ4分割画面表示中に4分割シーケンスキーを押す。

本機で設定したシーケンス間隔に従い、4分割画面のシーケンスを開始します。（P. 5-10「シーケンス表示する」）

イベント機能

本機は、各種の「イベント」が発生することでさまざまな機能を活用できます。

ご注意

イベント発生時の機能を使用するためには、あらかじめ設定を行う必要があります。

■ イベントの種類

本機では、以下の動作を「イベント」としています。

- 緊急録画イベント : 緊急録画キーを押す、ライブ操作メニューや再生操作メニューで緊急録画を選択する、または、緊急録画入力端子に信号が入力され緊急録画が開始されたとき
- センサーイベント : 外部センサーからセンサー入力端子に信号が入力されたとき
- モーションイベント : カメラ映像の中に動きを検知したとき (P. 6-13 「モーションイベント」)
- ビデオロスイベント : 映像信号が途切れたとき (P. 6-13 「ビデオロスイベント」)
- システムイベント : システムが異常を検出したとき (P. 6-14 「システムイベント」)

■ イベントの動作

イベントの発生を検知すると、以下の動作を行うように設定できます。

- 録画 : イベント録画を開始する。
- アラーム : コントロール出力から信号を出力する。ブザーを鳴動する。警告メッセージを表示する。(P. 6-15 「イベントによるアラーム」)

メモ

アラーム状態になると、ステータスバーのアラームアイコン (P. 5-5 「ライブ画面のステータスバー表示」) とアラーム表示灯が点灯します。

- 遠隔通知 : 遠隔監視している PC にイベント発生を知らせる。Eメールを送信する。(P. 4-74 「遠隔通知設定」)
- PTZ : コンビネーションカメラをあらかじめ設定した方向に向ける。(P. 4-89 「イベント発生時にプリセット移動させる (PTZ)」)
- イベントポップアップ : イベントが発生したカメラ映像をライブ画面に表示させる。(P. 5-13 「イベントが発生したカメラ映像を表示する (イベントポップアップ機能)」、P. 5-15 「スポット出力のイベントポップアップ機能」)

メモ

システムイベントでは、録画、PTZ、イベントポップアップの動作は行いません。

● 緊急録画イベント

緊急録画イベントを使用するには、録画共通設定画面で「緊急録画を使用」を必ず選択してください。

緊急録画を開始したときの動作 (アラーム、遠隔通知、PTZ) を設定できます。

また、イベントポップアップの設定を行うと緊急録画中にイベントポップアップさせることができます。

緊急録画イベント時の動作は、以下の手順で設定します。

1. 緊急録画入力の名称や入力形式を設定する。(P. 4-81 「センサー入力を設定する」)
2. 緊急録画を開始したときの動作を設定する。
 - ・ コントロール出力やブザー鳴動する (P. 4-84 「イベントが発生したときに出力するアラームを設定する」)
 - ・ 遠隔 PC への通知や Eメール送信を行う (P. 4-74 「遠隔通知設定」)
 - ・ コンビネーションカメラをあらかじめ設定した方向に向ける (P. 4-89 「イベント発生時にプリセット移動させる (PTZ)」)
 - ・ ライブ画面にイベントポップアップさせる (P. 5-13 「イベントが発生したカメラ映像を表示する (イベントポップアップ機能)」)

● センサーイベント

センサーイベントを使用するには、必ずセンサー入力の設定で使用するセンサー番号を選択してください。選択されたセンサー番号の動作（録画、アラーム、遠隔通知、PTZ）が設定できます。また、イベントポップアップの設定を行うとセンサー録画中にイベントポップアップさせることができます。センサーイベント時の動作は、以下の手順で設定します。

1. 使用するセンサーを選択する。（P. 4-81「センサー入力を設定する」）
2. センサーを受け付けしたときの動作を設定する。
 - ・ センサー録画を開始する（P. 4-82「センサー録画を行う」）
 - ・ コントロール出力やブザー鳴動する（P. 4-84「イベントが発生したときに出力するアラームを設定する」）
 - ・ 遠隔 PC への通知や E メール送信を行う（P. 4-74「遠隔通知設定」）
 - ・ コンビネーションカメラをあらかじめ設定した方向に向ける（P. 4-89「イベント発生時にプリセット移動させる（PTZ）」）
 - ・ ライブ画面にイベントポップアップさせる（P. 5-13「イベントが発生したカメラ映像を表示する（イベントポップアップ機能）」）

● モーションイベント

モーションイベントを使用するには、必ずモーションイベントの設定で使用するカメラ番号を選択してください。選択されたカメラ番号の動作（録画、アラーム、遠隔通知、PTZ）が設定できます。また、イベントポップアップの設定を行うとモーション録画中にイベントポップアップさせることができます。

ご注意

モーション感度や画像により、動きを検知できない場合や誤検知する場合があります。この機能は、盗難や火災などを防止するための確実な動作を保証するものではありません。万一発生した事故や損害に関して一切の責任を負いかねます。

モーションイベント時の動作は、以下の手順で設定します。

1. モーションイベントに使用するカメラを選択する。（P. 4-91「モーション設定」、P. 4-92「モーション範囲を設定する」）
2. モーションを検知したときの動作を設定する。
 - ・ モーション録画を開始する（P. 4-94「モーション録画を行う」）
 - ・ コントロール出力やブザー鳴動する（P. 4-84「イベントが発生したときに出力するアラームを設定する」）
 - ・ 遠隔 PC への通知や E メール送信を行う（P. 4-74「遠隔通知設定」）
 - ・ コンビネーションカメラをあらかじめ設定した方向に向ける（P. 4-89「イベント発生時にプリセット移動させる（PTZ）」）
 - ・ ライブ画面にイベントポップアップさせる（P. 5-13「イベントが発生したカメラ映像を表示する（イベントポップアップ機能）」）

● ビデオロスイベント

ビデオロスイベントはカメラからの映像信号が途切れた場合に発生します。（P. 6-28「ビデオロス」）ビデオロスが発生したときの動作（録画、アラーム、遠隔通知、PTZ）が設定できます。また、イベントポップアップの設定を行うとビデオロス録画中にイベントポップアップさせることができます。ビデオロスイベント時の動作は、以下で設定します。

- ・ ビデオロスしていないカメラ映像を録画する（P. 4-95「ビデオロス録画を行う」）
- ・ コントロール出力やブザー鳴動する（P. 4-96「ビデオロスが発生したときに出力するアラームを設定する」）
- ・ 遠隔 PC への通知や E メール送信を行う（P. 4-74「遠隔通知設定」）
- ・ コンビネーションカメラをあらかじめ設定した方向に向ける（P. 4-89「イベント発生時にプリセット移動させる（PTZ）」）
- ・ ライブ画面にビデオロスしたカメラの代わりに録画するカメラの映像をイベントポップアップさせる（P. 5-13「イベントが発生したカメラ映像を表示する（イベントポップアップ機能）」）

ご注意

AHD カメラのメニュー設定を終了したときや、AHD カメラの調整モードの表示・終了をしたときにビデオロスが発生することがあります。

● システムイベント

システムイベントは、システムがハードディスクの異常やファンの異常を検出した場合に発生します。アラームや遠隔通知が設定できます。

メモ

システムイベントによるイベント録画を行うことはできません。

システムイベントには以下の種類があります。

- HDD エラー : ハードディスクに異常が発生したとき (P. 6-25 「ハードディスクエラー」)
- 残容量警告 : 録画設定で上書き禁止に設定して、ハードディスクの使用容量が残容量警告しきい値に達したとき (P. 6-27 「ハードディスクフル (残量警告)」)
- S.M.A.R.T. : ハードディスクの持つ S.M.A.R.T. 情報によりエラーを検出したとき (P. 6-26 「S.M.A.R.T.」)
- 録画異常 : ハードディスクが認識できず、録画ができない状態になったとき (P. 6-25 「ハードディスクエラー」)
- HDD 接続エラー : ハードディスクを認識できない状態で本機を起動したとき (P. 6-25 「ハードディスクエラー」)
- ファン異常検出 : ファン異常が発生したとき (P. 6-24 「ファン異常」)

システムイベントを検知したときの動作を設定します。

- ・ コントロール出力やブザー鳴動、警告メッセージを表示する (P. 4-98 「システムイベントが発生したときに出力するアラームを設定する」)
- ・ 遠隔 PC への通知や E メール送信を行う (P. 4-74 「遠隔通知設定」)

アラーム動作

本機後面のコントロール出力端子へ信号を出力する、ブザー音を鳴らす、または、システムの警告メッセージを表示することを本機では「アラーム」と呼びます。(P. 4-46「アラーム設定」)

イベントの発生やアラームスケジュールを組むことでアラーム状態になります。アラーム中は、本機前面のアラーム表示灯が点灯し、同時にステータスバーのアラームアイコンが点灯します。(P. 1-4「各部の名称とはたらき」、P. 5-5「ライブ画面のステータスバー表示」)

イベントによるアラーム状態は、緊急録画キー以外のいずれかのキーを押すか、マウスの左右どちらかをクリックすると終了します。

ご注意

アラーム解除権限を持つユーザーでログインしている場合のみ、アラーム状態を終了できます。(P. 3-8「ログイン」)

■ イベントによるアラーム

イベント発生時または緊急録画開始時に、アラームを出力させることができます。

イベントには、センサーイベント、モーションイベント、ビデオロスイベント、システムイベントがあります。あらかじめ各イベント設定で、イベント発生時にどのアラームを出力させるか設定しておく必要があります。(P. 4-84「イベントが発生したときに出力するアラームを設定する」、P. 4-96「ビデオロスが発生したときに出力するアラームを設定する」、P. 4-98「システムイベントが発生したときに出力するアラームを設定する」)

ご注意

各イベントでアラームの設定が行われていても、アラーム設定のスケジュール (P. 4-47「アラームを有効にする条件を決める(スケジュール)」) でイベントモード時のアラームが設定されていない場合には、アラームは出力されません。

■ スケジュールによるアラーム

イベントの発生に関係なくスケジュールで設定した時間にアラームを出力したり、アラームを出力しないようにスケジュールを組んだりすることができます。(P. 4-47「アラームを有効にする条件を決める(スケジュール)」)

たとえば、夜間 (00:00 - 06:00 とする) のみブザー鳴動を止めたい場合は、アラームのスケジュール設定に以下のスケジュールを追加します。

曜日：ALL、開始 - 終了：00:00 - 06:00、モード：Off、アラーム：B (ブザー)

ただし、この場合は、夜間に機器異常を含むすべてのイベントが発生しても 06:00 になるまでブザーが鳴動しません。

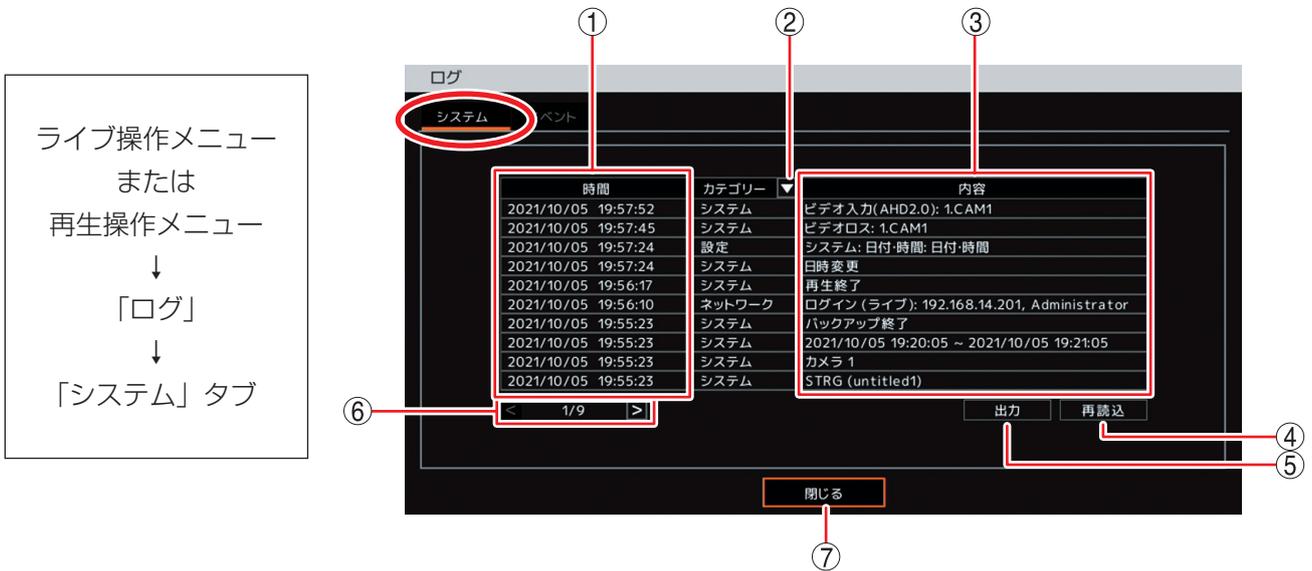
ログ情報

本機の動作をログで確認することができます。システムログとイベントログの2種類があります。システムログはUSBメモリーに出力でき、最大10,000件のログが保存されます。10,000件を超えると古いログから順に削除します。イベントログは日付とイベント種類を指定して表示することができます。録画データが削除されると同時刻のイベントログも削除されます。

■ システムログ

● システムログを表示する

ライブ操作メニューまたは再生操作メニューで「ログ」を選択するとログ画面が表示されます。「システム」タブを選択すると、以下の画面が表示されます。



- ① 時間 : 発生した日付、時刻を表示します。新しい順に上から表示します。
 - ② カテゴリ : 決定キーを押すと選択肢が表示されます。上下キーで選択して決定キーを押すと、選択したカテゴリのログが表示されます。「All」を選択すると、すべてのログが表示されます。
[選択] All / 設定 / システム / ネットワーク
 - ③ 内容 : ログの内容を表示します。
各ログの詳細は、P. 6-18 「システムログ一覧」を参照してください。
 - ④ 再読込 : 画面表示の更新を行います。
 - ⑤ 出力 : 本機のシステムログ情報を USB メモリーに保存します。(P. 6-17 「システムログを USB メモリーに保存する」)
- ご注意**
イベントログは保存できません。
- ⑥ ページ切り換え : 11 件以上のログがあるときに **<** **>** でページを切り換えます。
 - ⑦ 閉じる : 前画面に戻ります。

メモ

システムログは、設定メニューの [システム → システムログ] から表示できます。

● システムログを USB メモリーに保存する

本機のシステムログ情報を USB メモリーに保存することができます。
保存されたファイルは USB メモリーの直下に保存されます。

【注意】

- 出力したファイルの内容は、Excel2003 以前のバージョンの Excel では表示できません。メモ帳などのアプリケーションを利用して PC で見ることができます。(P. 6-21 「システムログを PC で表示する」)
- 本機ではイベントログは保存できません。
- USB メモリーは FAT32 または NTFS でフォーマットされたものを使用してください。
- データを保存する場合は、USB メモリーを USB2.0 端子または USB3.0 端子に 1 つだけ接続してください。
- データの保存中は USB メモリーを取り外さないでください。システムに異常が発生するおそれがあります。

1 USB メモリーを USB2.0 端子または USB3.0 端子に挿入する。

2 ライブ操作メニューまたは再生操作メニューの「ログ」から「システム」タブを選択する。

3 「出力」を選択し、決定キーを押す。

ファイル名確認画面が表示されます。

メモ

USB メモリーが認識できないときは「USB メモリーエラー。[No such device.]」と表示されます。

4 ファイル名確認画面の「ファイル名」を選択し、決定キーを押す。

文字入力画面が表示され、ファイル名の入力ができます。

英数、記号で最大 16 文字まで入力できます。(P. 4-13 「文字を入力する」)

メモ

ファイル名の初期値は untitled.csv です。

【注意】

「|」「\」「/」「,」「?」「*」「<」「>」「:」はファイル名に使用できません。

5 文字入力画面でファイル名を入力し「OK」を選択し、決定キーを押す。

ファイル名確認画面に戻ります。

6 ファイル名確認画面で「OK」を選択し、決定キーを押す。

「ログメッセージ出力中...」とメッセージが表示され、完了するとメッセージは消えます。

メモ

USB メモリーが認識できなくなったときや、USB メモリーの容量がいっぱいで出力できないときは「ログメッセージ出力失敗」と表示されます。

7 USB メモリーを取り外す。

第6章 その他の機能

● システムログ一覧

システムログは、本機の電源起動・終了や設定変更などのログを表示します。

ご注意

ログ表示画面上では一部の文字が表示されないことがあります。ログ出力するとすべて表示されます。
(P. 6-17 「システムログを USB メモリーに保存する」)

カテゴリー	ログの保存条件
設定	
初期設定値に変更	設定を初期値に戻すと保存します。
設定値出力： <u>ファイル名</u>	設定データを USB メモリーに出力すると保存します。 下線部は出力したファイル名を表示します。
設定値入力： <u>ファイル名</u>	設定データを USB メモリーから入力すると保存します。 下線部は入力したファイル名を表示します。
<u>設定 1</u> ： <u>設定 2</u> ： <u>設定 3</u>	設定メニューを変更したときに保存します。 下線部は変更した項目を表示します。 [メモ] [システム → 情報] の項目を変更したときは“システム：情報”と表示されます。 [システム → 日付・時間 → 日付・時間タブ] の項目を変更したときは“システム：日付・時間：日付・時間”と表示されます。
ネットワークポート変更： <u>ポート番号</u>	ネットワークポートを変更すると保存します。 下線部は変更後のポート番号を表示します。
ネットワーク	
ログイン (ライブ)： <u>IP アドレス</u> ， <u>ユーザー ID</u>	DRNET、DRNET Mobile、または Web ブラウザーにより、本機にネットワーク接続すると保存します。 下線部は、接続の種類を表示します。 二重下線部は、接続先の IP アドレスを表示します。 波形下線部は、ログインしたユーザー ID を表示します。
ログアウト (ライブ)： <u>IP アドレス</u>	ネットワークの切断や、アプリケーションを終了すると保存します。また、接続中のネットワークとの接続が確認できなくなると保存します。 下線部は、接続の種類を表示します。 二重下線部は、切断先の IP アドレスを表示します。
NTP 調時：成功	NTP サーバーに接続して、時刻の同期に成功すると保存します。
NTP 調時：失敗	NTP サーバーに接続を試みて、時刻の同期に失敗すると保存します。
Wi-Fi 接続：SSID	Wi-Fi の接続に成功すると保存します。
Wi-Fi 切断：SSID	Wi-Fi の接続が切断されると保存します。
システム	
システム起動： <u>X.X.X</u>	本機の起動時に保存します。 下線部は、ファームウェアのバージョンを表示します。
シャットダウン	本機がシャットダウンしたときに保存します。
UPS シャットダウン	無停電電源装置 (UPS) からの信号でシャットダウンしたときに保存します。
ログイン： <u>ユーザー ID</u>	ログインすると保存します。 下線部はログインしたユーザー ID を表示します。

カテゴリー	ログの保存条件
システム	
ログアウト	ログアウトすると保存します。
日時変更	現在時刻設定を変更すると保存します。ログで表示する日時は変更後の日時です。
接点調時：成功	調時入力端子からの入力で、時刻を正時に調時すると保存します。
接点調時：失敗	調時が可能な時刻に、調時入力端子からの入力で、時刻の設定に失敗すると保存します。
HDD フォーマット	ハードディスクをフォーマットすると保存します。
ミラーリング： <u>On</u>	ハードディスクをフォーマットする際、ミラーリングを有効または無効に変更すると保存します。 下線部は On（有効）または Off（無効）を表示します。
アップグレード	ファームウェアを更新したときに保存されます。
ログ出力： <u>ファイル名</u>	システムログを USB メモリーに出力すると保存します。 下線部は出力したファイル名を表示します。
メインシーケンス開始	HDMI 出力やアナログ RGB 出力のシーケンス表示を開始すると保存します。
メインシーケンス終了	HDMI 出力やアナログ RGB 出力のシーケンス表示を終了すると保存します。
スポットシーケンス開始	スポット出力（ライブ映像専用）のシーケンス表示を開始すると保存します。
スポットシーケンス終了	スポット出力（ライブ映像専用）のシーケンス表示を終了すると保存します。
緊急録画開始	緊急録画を開始すると保存します。
緊急録画終了	緊急録画を停止すると保存します。
再生スタート	再生モードに入ると保存します。
再生終了	再生モードで再生終了すると保存します。
バックアップ開始	バックアップを開始すると保存します。
バックアップ終了*	バックアップで、以下の状態になるとバックアップ終了と判断し保存します。 ・バックアップが正常に完了したとき ・バックアップ中に USB メモリーの容量がいっぱいになり、バックアップできなくなったとき
バックアップ中止	バックアップ中にバックアップ中止の操作を行ったとき保存します。
バックアップ失敗	バックアップで以下の状態になるとバックアップ失敗と判断し保存します。 ・バックアップ中に USB メモリーを認識できなくなったとき ・録画データのない時間を指定し、バックアップを行ったとき
簡易バックアップ開始	簡易バックアップ開始すると保存します。
簡易バックアップ終了*	簡易バックアップで、以下の状態になると簡易バックアップ終了と判断し保存します。 ・再生が最新録画に追いついたとき ・簡易バックアップ中止の操作を行ったとき ・簡易バックアップ中に USB メモリーの容量がいっぱいになり、バックアップできなくなったとき
簡易バックアップ失敗	簡易バックアップで、以下の状態になると簡易バックアップ失敗と判断し保存します。 ・簡易バックアップ中に USB メモリーを認識できなくなったとき

第6章 その他の機能

カテゴリー	ログの保存条件
システム	
ビデオ入力 (映像信号方式) : <u>1.CAM1</u>	<p>映像が入力されると保存します。</p> <p>[映像方式] NTSC : NTSC 信号方式 AHD2.0 : AHD2.0 信号方式 AHD3.0 : AHD3.0 信号方式 不明 : それ以外の映像信号方式</p> <p>下線部は入力されたカメラの映像信号方式を表示します。 二重下線部は映像が入力されたカメラチャンネル番号とカメラ名を表示します。</p> <p>メモ 本機は NTSC 信号方式および AHD2.0 信号方式のカメラに対応しています。AHD3.0 信号方式は認識しますが、映像 (解像度) は非対応です。「不明」が表示されている場合は、接続しているカメラの映像方式を確認してください。</p>
ビデオロス : <u>1.CAM1</u>	<p>ビデオロスが発生すると保存します。</p> <p>下線部はビデオロスが発生したカメラチャンネル番号とカメラ名を表示します。</p>
HDD エラー : <u>1</u>	<p>ハードディスクに異常が発生すると保存します。</p> <p>下線部はエラーが発生したハードディスク番号を表示します。</p>
録画異常	ハードディスクが認識できず、録画ができなくなると保存します。
HDD 接続エラー	ハードディスクを認識できない状態で、本機を起動したときに保存します。
残容量警告	録画設定で上書きを無効にしている場合、ハードディスクの使用容量が残容量警告しきい値に達したときに保存します。
S.M.A.R.T. : <u>ID</u>	<p>ハードディスクの S.M.A.R.T. 情報からエラー情報を検出したときに保存します。</p> <p>下線部は S.M.A.R.T. 情報の ID 番号と名称を表示します。</p>
S.M.A.R.T. 温度 (1 : <u>65°C/149° F</u>)	<p>ハードディスクの温度が S.M.A.R.T. 限界温度に達したときに保存します。</p> <p>下線部は、S.M.A.R.T. 限界温度に達したハードディスク番号を表示します。</p> <p>二重下線部は、S.M.A.R.T. 温度を表示します。</p>
ファン異常検出	ファンに異常が発生すると保存します。

* バックアップおよび簡易バックアップの終了ログを保存するときに、以下のログも保存します。

Administrator : 保存を行ったユーザー ID (下線部) を表示します。

USB : 保存先デバイス (USB Storage) を表示します。

EXE (untitled) : 保存形式 (下線部) とファイル名 (二重下線部) を表示します。

[保存形式]

EXE ... DVR Media Player 形式 (実行ファイル形式)

STRG ... 独自形式

AVI ... AVI 形式

カメラ 1 ~ 16 : 保存したカメラチャンネル番号 (下線部) を表示します。

開始日時 ~ 終了日時 : 保存した録画データの開始日時 (下線部) と終了日時 (二重下線部) を表示します。

● システムログを PC で表示する

USB メモリーに出力したシステムログを PC で表示することができます。
ファイルは「メモ帳」や文字符号化方式が UTF-8 に対応した「Excel」で開くことができます。

1 システムログを保存した USB メモリーを PC に接続する。

2 PC の「USB ドライブ」を開く。

3 保存したシステムログのファイル（ファイル拡張子が「csv」）をダブルクリックする。

システムログ情報を表示します。

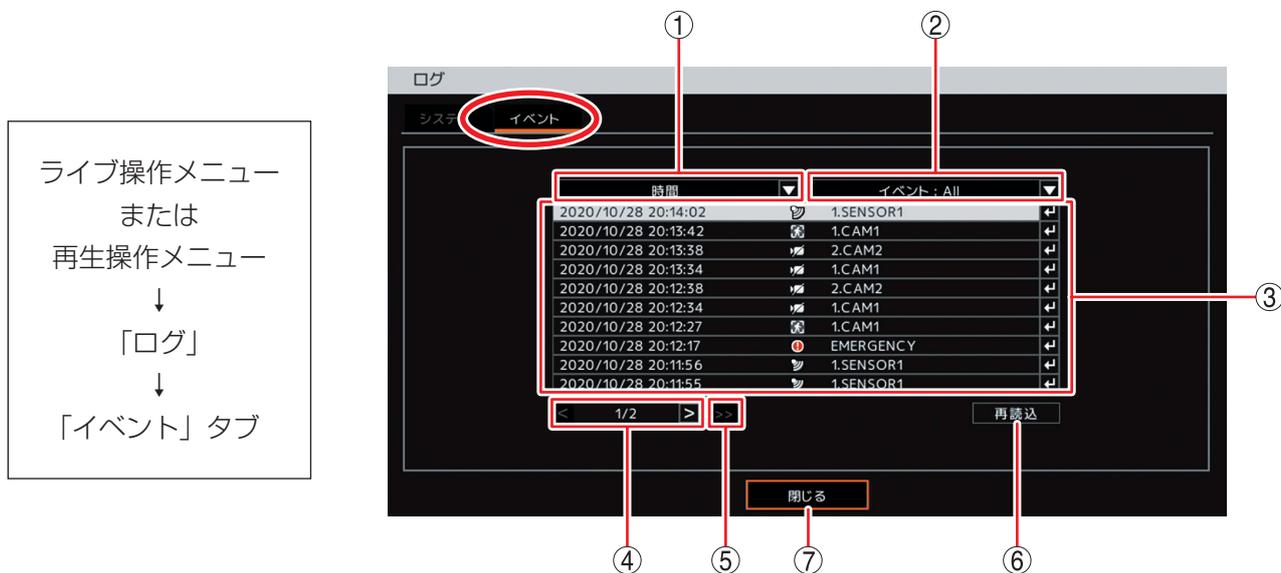
CSV 形式のファイルが「メモ帳」や「Excel」に関連付けされていない場合は、以下の手順で開いてください。

1. ファイルを右クリックする。
 コマンドメニューが表示されます。
2. [プログラムから開く → メモ帳 または Excel] をクリックする。
 選択したアプリケーションで表示されます。

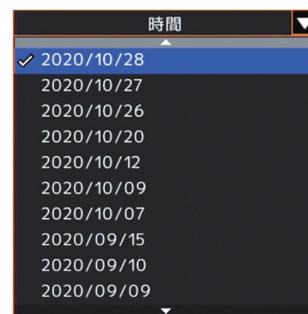
■ イベントログ

● イベントログを表示する

ライブ操作メニューまたは再生操作メニューで「ログ」を選択するとログ画面が表示されます。「イベント」タブを選択すると、以下の画面が表示されます。



- ① 時間 : 決定キーを押すと、イベント発生日の選択肢が表示され、選択した日付のイベント情報がリストに表示されます。
- ② イベント : 決定キーを押すと、選択肢が表示され、選択したイベントの情報がリストに表示されます。
「All」はすべてのイベントがリストに表示されます。
[選択] All / モーション / センサー / ビデオロス / 緊急
- ③ イベントリスト : イベント検索結果をリスト表示します。リスト内のイベントを選択し決定キーを押すと、イベントの発生日時で再生映像を一時停止して表示します。
- ④ ページ切り換え : **<** **>** でページを切り換えてイベントリストを表示します。
- ⑤ **>>** : 100 ページずつスキップして表示します。
- ⑥ 再読み込 : 画面表示の更新を行います。
- ⑦ 閉じる : 前画面に戻ります。



メモ

イベントログは USB メモリーに保存できません。

● イベントログ一覧

イベントログは、各種イベント録画の録画開始のログを表示します。

	ログ表示	内容	保存条件
	1. SENSOR 1	センサー録画開始	センサー録画を開始すると保存します。 下線部は、入力があったセンサー端子番号とセンサー名を表示します。
	1. CAM 1	モーション録画開始	モーション録画を開始すると保存します。 下線部は、モーションを検知したカメラ番号とカメラ名を表示します。
	1. CAM 1	ビデオロス録画開始	ビデオロス録画を開始すると保存します。 下線部は、ビデオロスを検知したカメラ番号とカメラ名を表示します。
	EMERGENCY	緊急録画開始	緊急録画を開始すると保存します。 下線部は、緊急録画入力名を表示します。 <u>メ モ</u> 緊急録画はすべてのカメラチャンネルを録画します。

ご注意

- 録画停止のログは保存しません。
- 連続録画およびプリ録画のログは保存しません。

異常動作

■ 機器異常

本機は、ファンに異常が発生したときやハードディスクに異常が発生した場合、機器異常と判断します。機器異常の場合、異常表示灯を点灯します。異常表示灯は異常が復旧するまで消灯させることはできません。機器異常時は表示灯の点灯以外に、コントロール出力、ブザー鳴動、警告メッセージ表示、遠隔通知、Eメール送信できます。

■ ファン異常

本機の動作中にファンの回転が停止すると、ファン異常となります。

■ ご注意

ファンは消耗品です。約3年を目安に交換してください。ただし、この年数は目安であり部品寿命を保証するものではありません。

ファン異常が発生すると、以下の動作を行います。

- ① 異常表示灯が点灯する。

[警告メッセージ]
- ② 警告メッセージを画面に表示する。

設定メニューで非表示にできます。(P. 4-98「システムイベントが発生したときに出力するアラームを設定する」)

ファン異常検出
[年/月/日 時:分:秒]
ファンを確認してください
- ③ 断続音のブザーが鳴動する(ピーピーピーピーピー)。

設定メニューでブザーを鳴らさないようにできます。(P. 4-98「システムイベントが発生したときに出力するアラームを設定する」)
- ④ イベント設定したコントロール出力番号の端子から信号を出力する。

工場出荷状態では出力しません。設定メニューの変更を行ってください。(P. 4-98「システムイベントが発生したときに出力するアラームを設定する」)
- ⑤ メッセージ、ブザーまたはコントロール出力を設定しているときは、アラーム表示灯が点灯する。

アラーム解除権限を持つユーザーが緊急録画キー以外のいずれかのキーを押すか、マウスの左右どちらかをクリックすると、アラーム表示灯の消灯、メッセージの消去、ブザー音の停止、およびコントロール出力の停止ができます。
- ⑥ イベント設定で設定したアドレスにコールバック情報またはEメールを送信する。

工場出荷状態では送信しません。メニュー設定を行ってください。(P. 4-86「イベント発生時に遠隔通知を行う」)

■ ハードディスクエラー

ハードディスクが正常に動作せず、録画できなくなるとハードディスクエラーになります。
 ハードディスクが認識できず、録画ができなくなると録画異常になります。
 また、本機を起動したとき、ハードディスクを認識できない場合は HDD 接続エラーとなります。
 ハードディスクエラーと録画異常または HDD 接続エラーを検出した場合は、以下の動作を行います。

- ① 異常表示灯が点灯する。
異常表示灯は異常が復旧するまで消灯させることはできません。
 - ② 警告メッセージを画面に表示する。
設定メニューで非表示にできます。(P. 4-98 「システムイベントが発生したときに出力するアラームを設定する」)
 - ③ 断続音のブザーが鳴動する (ピーピーピーピーピー)。
設定メニューで鳴動しないように設定できます。(P. 4-98 「システムイベントが発生したときに出力するアラームを設定する」)
 - ④ イベント設定したコントロール出力番号の端子から信号を出力する。
工場出荷時の設定では出力しません。設定メニューの変更を行ってください。(P. 4-98 「システムイベントが発生したときに出力するアラームを設定する」)
 - ⑤ メッセージ、ブザーまたはコントロール出力を設定しているときは、アラーム表示灯が点灯する。
- ⑥ イベント設定で設定したアドレスにコールバック情報または E メールを送信する。
工場出荷時の設定では送信しません。設定メニューの変更を行ってください。(P. 4-86 「イベント発生時に遠隔通知を行う」)

⑦ 録画を停止する。
録画を停止してステータスバーに「NOT FORMATTED」と表示します。また、この状態で本機を起動すると録画異常や HDD 接続エラーとしてステータスバーに「NO STORAGE」と表示します。

⑧ ログを保存する。(P. 6-18 「システムログ一覧」)

[HDD エラーを検出したとき]

HDD エラー
[年/月/日 時:分:秒]
HDD を確認してください。

[録画異常を検出したとき]

録画異常が発生しました。
[年/月/日 時:分:秒]
HDD を確認してください。

[HDD 接続エラーを検出したとき]

HDD 接続エラー
[年/月/日 時:分:秒]
HDD を確認してください。

メモ

アラーム解除権限を持つユーザーは、緊急録画キー以外のいずれかのキーを押すか、マウスの左右どちらかをクリックすると、アラーム表示灯の消灯、メッセージの消去、ブザー音の停止、およびコントロール出力の停止ができます。

ご注意

- 認識できないハードディスクに保存された録画データは再生できません。認識できるハードディスクに保存された録画データのみ再生できます。
- 認識できないハードディスクに保存されたイベントログは表示できません。ただし、システムログはハードディスクに保存していないためハードディスクエラーが発生しても表示できます。
- ハードディスクが故障した場合は、記録したデータは復旧できません。大切な記録データは、あらかじめ USB メモリーにバックアップして保存してください。(P. 5-37 「録画データのバックアップ (コピー)」)
- ハードディスクは消耗品です。約 3 年を目安に交換してください。ただし、この年数は目安であり部品寿命を保証するものではありません。

[ハードディスクエラーが発生したら...]

ハードディスクが認識できない場合、録画・再生・バックアップなどを行うことができません。
 ハードディスクを交換する必要があります。販売店へお問い合わせください。

■ S.M.A.R.T.

ハードディスクは、ハードディスクの温度や故障の要因となる動作を S.M.A.R.T. 情報 (Self-Monitoring, Analysis and Reporting Technology) として保持しています。本機はハードディスクから S.M.A.R.T. 情報を取得することで、ハードディスクが故障する可能性を検知し、アラームや遠隔通知を行うことができます。本機は、S.M.A.R.T. 情報からエラーとハードディスクの温度を検出します (P. 4-58 「ハードディスクの状態や温度を確認する (S.M.A.R.T.)」)。

S.M.A.R.T. 情報によるエラーの検出はハードディスクの異常ではありませんが、異常につながる可能性がありますので、ハードディスクを交換することをお勧めします。

S.M.A.R.T. 情報から得られるハードディスクの温度が設定した S.M.A.R.T. 限界温度 (P. 4-97 「ハードディスクの S.M.A.R.T. 限界温度や残容量警告しきい値を設定する」) を超えたとき、本機はハードディスクの温度異常と判断します。温度異常を検知した場合は、ハードディスクの温度を調べるとともに、本機の使用環境が使用温度上限 (40°C) を超えていないか、ファンの排気口がふさがれていないか確認してください。本機の使用温度が適切でファンも正常動作している場合は、ハードディスクの異常の可能性がありますのでハードディスクを交換することをお勧めします。

S.M.A.R.T. 情報からのエラーを検出したとき、もしくはハードディスクの温度が設定した S.M.A.R.T. 限界温度を超えたときは、以下の動作を行います。

- ① 以下の警告メッセージを画面に表示する。
設定メニューで非表示にできます。(P. 4-98 「システムイベントが発生したときに出力するアラームを設定する」)

[S.M.A.R.T. 情報からのエラーを検出したとき] [ハードディスクの温度が S.M.A.R.T. 限界温度を超えたとき]

S.M.A.R.T. エラー [年/月/日 時:分:秒] HDD を確認してください。

S.M.A.R.T. 温度 [年/月/日 時:分:秒] HDD の温度を確認してください。

- ② 断続音のブザーが鳴動する (ピーピーピーピー)。
設定メニューで鳴動しないように設定できます。(P. 4-98 「システムイベントが発生したときに出力するアラームを設定する」)
- ③ イベント設定で設定したコントロール出力番号の端子から信号を出力する。
工場出荷時の設定では出力しません。設定メニューの変更を行ってください。(P. 4-98 「システムイベントが発生したときに出力するアラームを設定する」)
- ④ メッセージ、ブザーまたはコントロール出力を設定しているときは、アラーム表示灯が点灯する。
メモ
アラーム解除権限を持つユーザーは、緊急録画キー以外のいずれかのキーを押すか、マウスの左右どちらかをクリックすると、アラーム表示灯の消灯、メッセージの消去、ブザー音の停止、およびコントロール出力の停止ができます。
- ⑤ イベント設定で設定したアドレスにコールバック情報または E メールを送信する。
工場出荷時の設定では出力しません。設定メニューの変更を行ってください。(P. 4-86 「イベント発生時に遠隔通知を行う」)
- ⑥ ログを保存する。(P. 6-18 「システムログ一覧」)
- ⑦ 録画を継続する。
S.M.A.R.T. 情報からのエラー検出や温度異常の検知はハードディスクの異常ではありません。録画を停止することはありません。

ご注意

ハードディスクは消耗品です。約 3 年を目安に交換してください。ただし、この年数は目安であり部品寿命を保証するものではありません。

■ ハードディスクフル（残量警告）

録画設定で上書き禁止に設定している場合、ハードディスクの使用容量が残容量警告しきい値に達したときは、以下の動作を行います。ハードディスクが容量いっぱいになったときにハードディスクフルとなり、録画を停止します。

[警告メッセージ]

- ① 警告メッセージを画面に表示する。
設定メニューで非表示にできます。(P. 4-98 「システムイベントが発生したときに出力するアラームを設定する」)
- ② 断続音のブザーが鳴動する（ピーピーピーピーピー）。
設定メニューで鳴動しないように設定できます。(P. 4-98 「システムイベントが発生したときに出力するアラームを設定する」)
- ③ イベント設定したコントロール出力番号の端子から信号を出力する。
工場出荷時の設定では出力しません。設定メニューの変更を行ってください。(P. 4-98 「システムイベントが発生したときに出力するアラームを設定する」)
- ④ メッセージ、ブザーまたはコントロール出力を設定しているときは、アラーム表示灯が点灯する。
[メモ]
アラーム解除権限を持つユーザーは、緊急録画キー以外のいずれかのキーを押すか、マウスの左右どちらかをクリックすると、アラーム表示灯の消灯、メッセージの消去、ブザー音の停止、およびコントロール出力の停止ができます。
- ⑤ イベント設定で設定したアドレスにコールバック情報またはEメールを送信する。
工場出荷時の設定では送信しません。設定メニューの変更を行ってください。(P. 4-86 「イベント発生時に遠隔通知を行う」)
- ⑥ ログを保存する。(P. 6-18 「システムログ一覧」)

残容量警告。
[年/月/日 時:分:秒]
HDDを確認してください

[ハードディスクフルが発生したら...]

録画は自動的に停止します。

録画を再開するには、上書き録画を許可するかハードディスクをフォーマットする必要があります。ハードディスクに必要なデータがある場合は、フォーマットする前にUSBメモリーにバックアップしてください。

■ ビデオロス

「デバイス設定」で使用するカメラとして設定しているカメラチャンネルで映像信号が入力されないと、そのカメラチャンネルはビデオロスになります。ビデオロス中は録画を停止します。(P. 4-39「使用するカメラとカメラ名称を決める」)

ビデオロスが発生すると、以下の動作を行います。

[ビデオロスアイコン]

- ① ビデオロスが発生したカメラチャンネルにビデオロスアイコンを表示する。
(P. 5-4「ライブ画面の OSD 表示」)



- ② 断続音のブザーが鳴動する(ピーピーピーピー)。
工場出荷時の設定ではブザーは鳴動しません。設定メニューの変更を行ってください。(P. 4-96「ビデオロスが発生したときに出力するアラームを設定する」)

- ③ イベント設定したコントロール出力番号の端子から信号を出力する。
工場出荷時の設定では出力しません。設定メニューの変更を行ってください。(P. 4-96「ビデオロスが発生したときに出力するアラームを設定する」)

- ④ ブザーまたはコントロール出力を設定しているときは、アラーム表示灯が点灯する。

メモ

アラーム解除権限を持つユーザーは、緊急録画キー以外のいずれかのキーを押すか、マウスの左右どちらかをクリックすると、アラーム表示灯の消灯、ブザー音の停止、およびコントロール出力の停止ができます。

- ⑤ イベント設定をしていた場合、設定したカメラチャンネルを録画する。
工場出荷時の設定では録画しません。設定メニューの変更を行ってください。(P. 4-95「ビデオロス録画を行う」)

- ⑥ イベント設定で設定したアドレスにコールバック情報または E メールを送信する。
工場出荷時の設定では送信しません。設定メニューの変更を行ってください。(P. 4-86「イベント発生時に遠隔通知を行う」)

- ⑦ イベント設定で設定したカメラチャンネルのコンビネーションカメラをあらかじめ登録したプリセットに移動する。
工場出荷時の設定では移動しません。設定メニューの変更を行ってください。(P. 4-89「イベント発生時にプリセット移動させる (PTZ)」)

- ⑧ ログを保存する。(P. 6-18「システムログ一覧」)

ご注意

AHD カメラのメニュー設定を終了したときや、AHD カメラの調整モードの表示・終了をしたときにビデオロスが発生することがあります。

【ビデオロスが発生したら...】

- カメラの映像を復旧させる
映像が復旧するとビデオロスは解消します。
- 「デバイス設定」で使用するカメラを無効にする
使用するカメラのチェックを外すと、ビデオロスは解消します。(P. 4-39「使用するカメラとカメラ名称を決める」)

■ 自動復旧動作について

● 自動で再起動を行う場合

本機が安定した動作を継続するために必要と判断した場合、自動で再起動を行うことがあります。再起動後はライブ画面を表示します。連続録画が設定されている場合は、連続録画を再開します。

● 自動で工場出荷時の設定に戻る場合

設定メニューのデータに異常が発生し修復できない場合、電源起動時に自動で工場出荷時の設定に戻すことがあります。

このとき「設定情報に異常が発生したため、設定値を初期値に戻しました。」とメッセージが表示されます。使用する前に、再度必要な設定を行ってください。

■ 停電復旧後の動作について

● モニター表示

停電復旧後、本機に電源が供給されると自動的にシステムが起動し、システムチェック後にライブ画面を表示します。

電源起動後の画面は、停電前の状態（1画面、分割画面）で表示されます。

● 録 画

連続録画に設定されている場合、システム起動後に連続録画を再開します。

ご注意

停電時、直前の録画データが破損するおそれがあります。

■ ハードディスク交換時のミラーリングハードディスクの コピーについて

ハードディスクの交換は販売店にご依頼ください。

交換するハードディスクが1台の場合、残りのハードディスクの録画データを新しいハードディスクにコピーします。

本機の状態によってコピー時間は異なります。コピーにかかる時間（目安）は、数時間～15日間です。

メモ

コピー中も録画は継続されます。

● コピーの進捗を確認する

記録装置画面でコピーの進捗状況を確認することができます。

設定メニュー画面で [録画 → 記録装置 → 記録装置タブ] を選択すると、以下の画面が表示されます。



① HDD コピー : コピーの進捗状況を表示します（コピー中のみ表示）。

② 再読込 : 画面表示の更新を行います。

③ 閉じる : 前画面に戻ります。

Remote Monitoring System (Web ブラウザー)

PC の Web ブラウザーから本機の IP アドレスを指定し、ログインすることで Remote Monitoring System を起動することができます。ネットワーク経由でライブ映像を見ることが本機の設定ができます (Live)。また、本機に録画した画像の再生もできます (Playback)。

対応 Web ブラウザー：Microsoft Edge (以下、Edge) の Internet Explorer モード (以下、IE モード)

メモ

- 1 台の PC で起動できる Remote Monitoring System は 1 つです。
- 本機は同時に最大 10 台の PC から Remote Monitoring System を使用してネットワーク接続できます。(DRNET および DRNET Mobile の接続も同時接続に含まれます。) また、Live と Playback が同時に接続できる PC の台数は以下のとおりです。Live はライブ配信するデータの解像度によって異なります。(P. 4-79 「映像配信」)

Remote Monitoring System Live ※ ライブ配信の解像度で異なります。	台数
WQVGA (480 × 272)	8 台
D1 (704 × 480)、WD1 (944 × 480)	6 台
HD (1280 × 720)、Full HD (1920 × 1080)	4 台
Remote Monitoring System Playback	2 台

ご注意

- Web ブラウザーの画面表示の拡大率を 100% 以外に設定しているときは、正しく画面を表示できないことがあります。
- Remote Monitoring System 動作中には他のアプリケーションを起動しないでください。
- PC のスクリーンセーバーや電源プランの省電力を利用すると、映像を正しく表示できないことがあります。

Remote Monitoring System に接続する

Web ブラウザーを使用するためには、本機から Remote Monitoring System のインストールを行う必要があります。PC にログインするときは、管理者 (Administrator) 権限を持つユーザーアカウントを使用してください。また、インストールする前に「ソフトウェア使用許諾契約書」を必ずお読みください。

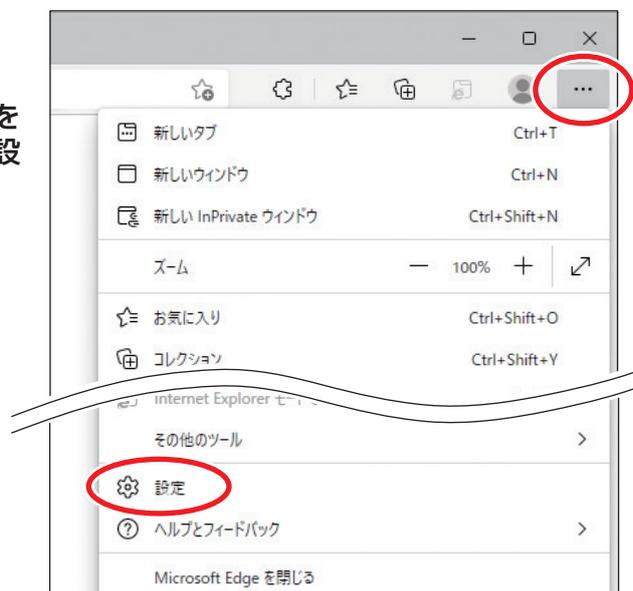
メモ

Remote Monitoring System をインストールしたあとに PC にログインするときは、標準ユーザー権限を持つユーザーアカウントが使用できます。

● Edge の IE モードを使用する前に

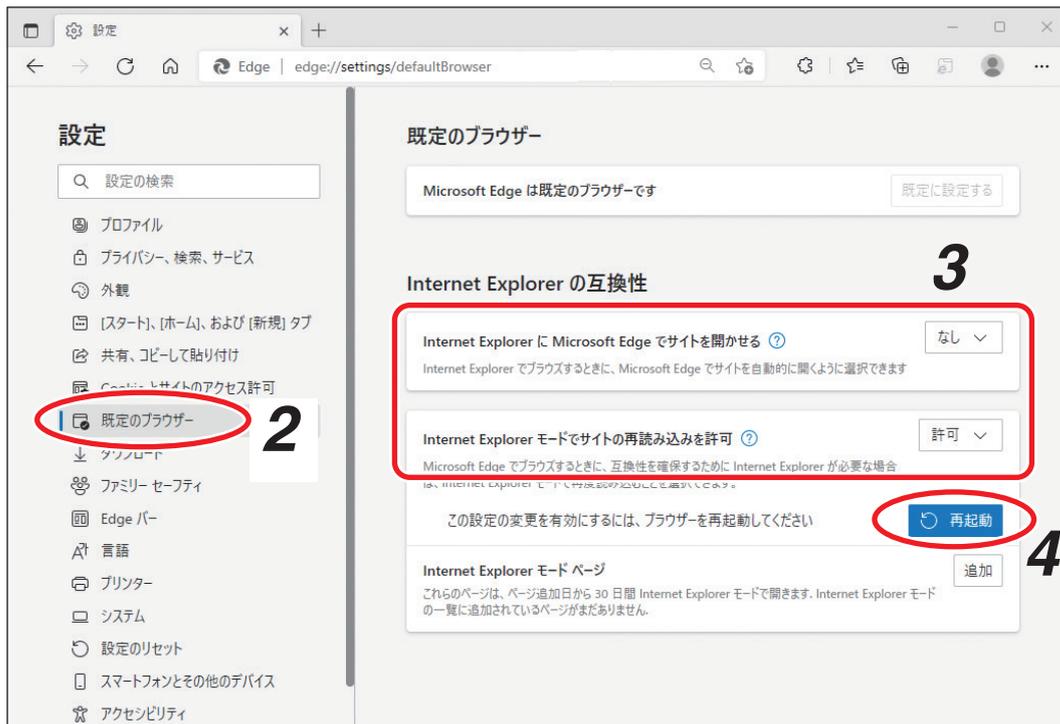
この手順は初回のみ必要です。

- 1 Edge を起動し、右上のメニューアイコンをクリックしてメニューを開き、メニューの「設定」をクリックする。



第6章 その他の機能

設定画面が表示されます。



2 設定メニューの「既定のブラウザー」をクリックする。

3 「Internet Explorer の互換性」を設定する。

次のとおりに設定します。

Internet Explorer に Microsoft Edge でサイトを開かせる : なし

Internet Explorer モードでサイトの再読み込みを許可 : 許可

4 再起動ボタンをクリックする。

Edge が再起動します。

● Edge の IE モードを使用する

1 Edge を起動し、アドレスバーに接続するデジタルレコーダーの IP アドレスを入力し PC の「Enter」キーを押す。

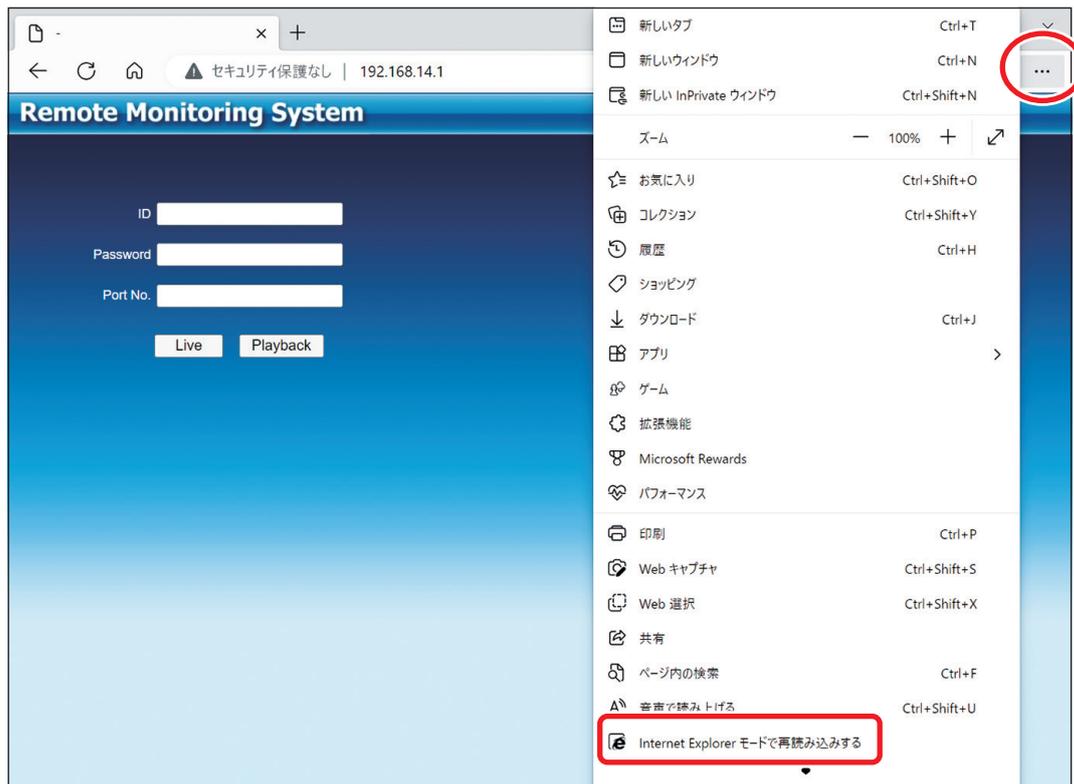
ログイン画面が表示されます。

☒ ☒

ログイン画面が表示されないときは、IP アドレスの前に「http://」を入力し再度実行してください。

(例) IP アドレスが 192.168.14.1 の場合

http://192.168.14.1



2 Edge の右上のメニューアイコンをクリックしてメニューを開き、メニューの「Internet Explorer モードで再読み込みする」をクリックする。

Edge の IE モードに切り換わります。

☒ ☒

右の画面が表示された場合は、「次回、このページを Internet Explorer モードで開く」を有効 にして「完了」をクリックします。

Internet Explorer モードページに IP アドレスが追加され、次回接続時は手順 2 を省略することができます。(P. 6-35 「Internet Explorer モードページへの追加」)



3 「ID」を入力する。

本機ของผู้ใช้設定で設定した「ユーザー名」が ID になります。(P. 4-33「ユーザー設定を登録・変更する」)

メモ

ID はアルファベットの大文字、小文字を区別します。

「Administrator」を使用する場合に「administrator」と入力するとエラーになります。

4 「Password」を入力する。

本機ของผู้ใช้設定で登録されているユーザーのパスワードが Password になります。(P. 4-33「ユーザー設定を登録・変更する」)

5 「Port Number」を入力する。

本機のネットワーク設定で設定した「ネットワークポート」が Port Number になります。(P. 4-73「ポートを設定する」)

メモ

工場出荷時は「10101」です。Playback を使用するときも Live と同じ番号になります。

6 「Live」または「Playback」をクリックする。

Remote Monitoring System がインストールされている場合は、選択した遠隔監視画面 (Live) または遠隔再生画面 (Playback) が表示されます。Remote Monitoring System のインストールが必要な場合は、ActiveX コントロールをインストールする情報バーが表示されます。⇒ 手順 7 へ



メモ

遠隔監視もしくは本機の設定を行う場合は「Live」をクリックします。

本機の録画データを再生する場合は「Playback」をクリックします。

7 ActiveX コントロールをインストールする情報バーの「インストール」をクリックする。

メモ

Internet Explorer の設定によってはアドオンを実行する情報バーが表示されます。

8 メッセージに従い実行する。

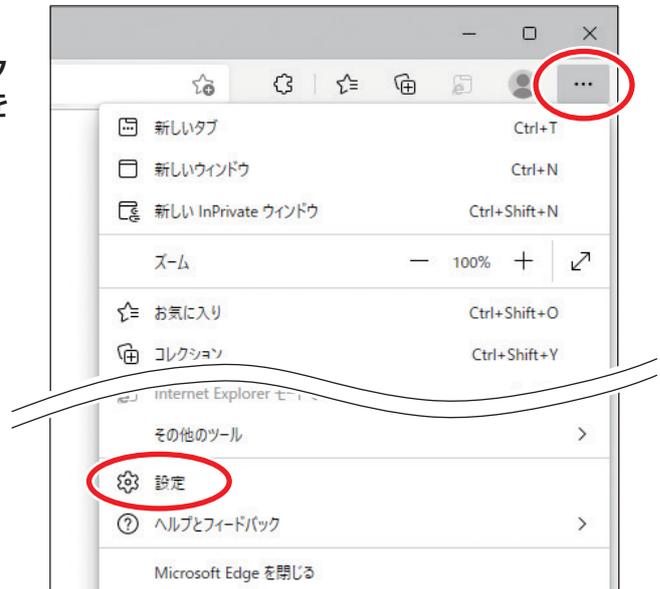
手順 6 で選択した遠隔監視画面 (Live) または遠隔再生画面 (Playback) が表示されます。

【Internet Explorer モードページへの追加】

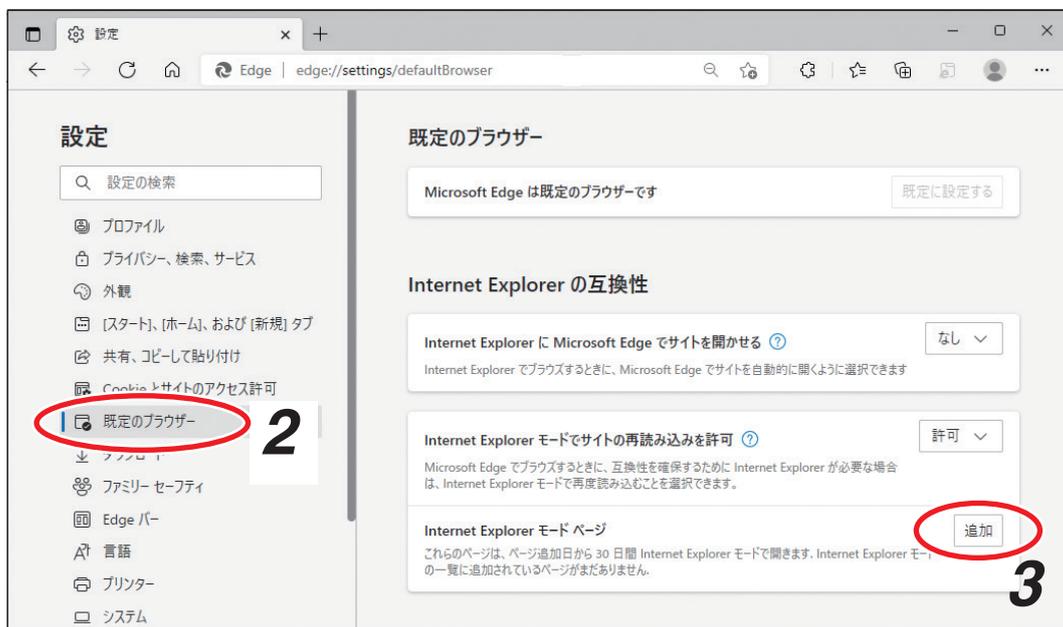
接続するデジタルレコーダーの IP アドレスを「Internet Explorer モードページ」に設定すると「Edge の IE モードを使用する」の手順 2 を省略することができます。

ただし、「Internet Explorer モードページ」の登録有効期間は 30 日間で、30 日経過後は再度設定する必要があります。

- 1 Edge の右上のメニューアイコンをクリックしてメニューを開き、メニューの「設定」をクリックする。



設定画面が表示されます。



- 2 設定メニューの「既定のブラウザー」をクリックする。

- 3 「Internet Explorer モードページ」の「追加」をクリックする。

「ページの追加」画面が表示されます。

4 接続するデジタルレコーダーの IP アドレス (URL) を入力し、「追加」をクリックする。

(例)

IP アドレスが、192.168.14.1 の場合
http://192.168.14.1

メモ

機器が複数台ある場合は、この手順を繰り返してすべての IP アドレスを追加します。

ページの追加

URL を入力してください:

http://192.168.14.1

追加 キャンセル

5 Edge のアドレスバーに登録した IP アドレスを入力して PC の「Enter」キーを押す。

Edge の IE モードで表示されます。

第6章 その他の機能

チェック無：アスペクト比 16：9 の映像に変換して、画面全体に表示します。
[× モ] AHD カメラの映像は、チェック有／無に関係なく画面全体に表示します。

- ⑥ アプリケーションの切替：Live から Playback へ切り換えます。
- ⑦ カメラ名：本機で設定したカメラ名を表示します。(P. 4-39 「使用するカメラとカメラ名称を決める」)
- ⑧ コンビネーションカメラマーク ：本機のコンビネーションカメラ設定が有効になっている場合に表示されます。(P. 4-42 「コンビネーションカメラ設定をする (PTZ)」)
- ⑨ 日時：本機の日時を表示します。
[× モ] 時刻の表示方法は 24 時間形式になります。

● コンビネーションカメラを操作する

コンビネーションカメラマークがある画面を 1 画面表示すると、画面に以下のようなコンビネーションカメラ操作パネルが表示されます。コンビネーションカメラを操作できるように接続している必要があります。(P. 2-12 「コンビネーションカメラの接続」)

ご注意

ネットワークカメラ制御権限を持つユーザーで Remote Monitoring System にログインした場合のみ操作できます。



- ① パン・チルト：パン操作（左右）、チルト操作（上下）を行います。斜め方向の移動もできます。パン／チルトの旋回速度は、PTZ 設定で変更できます。(P. 4-42 「コンビネーションカメラ設定をする (PTZ)」)
- ② ズーム：ズーム操作（：広角、：望遠）を行います。
- ③ フォーカス：フォーカス調整（：近、：遠）を行います。
- ④ プリセット：プリセットの登録と移動を行います。

登録（）：登録可能なプリセット番号 1～16 が表示されます。登録する番号を選択し、プリセット名称を入力して「OK」をクリックすると、現在表示中の画面をプリセットとして記憶します。最大 16 文字まで入力できます。

ご注意

プリセットの名称にアルファベット、数字、以下の記号以外は使用しないでください。

使用可能な記号：「_」 「!」 「\」 「/」 「,」 「?」 「!」 「@」 「#」 「\$」 「%」 「^」 「&」 「*」 「(」 「)」 「-」 「+」 「=」 「<」 「>」 「:」 「;」

移動（）：移動可能なプリセット番号 1～16 が表示されます。1～16 を選択すると、あらかじめ登録されているプリセットに移動します。

● ライブ音声を出力する

遠隔監視では、選択したカメラチャンネルのライブ音声出力されます。分割画面では、ライブ音声を聞きたいカメラチャンネルにマウスポインターを合わせ、映像表示画面をクリックすると、選択したカメラチャンネルのライブ音声出力されます。音声の出力を停止するには、PC の音量を 0（消音）にしてください。

ご注意

- ライブ音声の設定で選択されている音声チャンネルのライブ音声を聞くことができます。音声チャンネルが選択されていないと、ライブ音声を聞くことはできません。(P. 5-16 「ライブ音声」)
- 分割画面でライブ音声を聞くと音が途切れることがあります。

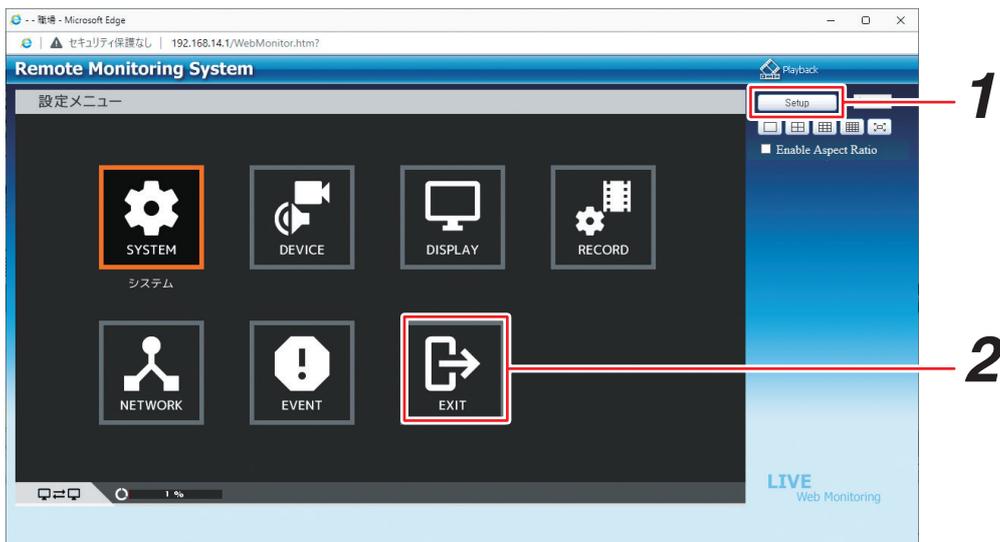
■ 遠隔設定する

遠隔地から本機の設定を変更できます。

ご注意

- 各設定メニューの変更は、ネットワーク設定権限を持つユーザーで Remote Monitoring System にログインした場合のみ操作できます。
- Remote Monitoring System、DRNET、および DRNET Mobile からデジタルレコーダーに同時に遠隔設定できるのは 1 台です。
- 以下の機能は Remote Monitoring System からは設定できません。本機で設定を行ってください。
 - ・ ログアウト、シャットダウン (P. 3-6 「設定メニューから本機を終了する」、P. 3-9 「ログアウト」)
 - ・ 設定出力、設定入力 (P. 4-23 「システム設定」)
 - ・ ハードディスクの初期化 (P. 4-19 「ハードディスクをフォーマットする」)
 - ・ システムログの出力 (P. 6-17 「システムログを USB メモリーに保存する」)
 - ・ デバイス設定のカメラ映像方式 (P. 4-39 「使用するカメラとカメラ名称を決める」)
 - ・ デバイス設定のカメラ画質設定 (P. 4-40 「カメラ映像の画質を調整する」)
 - ・ ディスプレー設定の解像度設定 (P. 4-52 「モニター出力の解像度を決める」)
 - ・ イベント設定のモーション範囲設定 (P. 4-92 「モーション範囲を設定する」)

● 遠隔設定メニューの起動と終了



1 「Setup」をクリックする。

遠隔設定メニューが表示されます。遠隔設定メニューは、本機の設定メニューと同じように使用できます。詳しくは、本機の設定メニューを参照してください。(P. 4-2 「設定メニュー構成」)

2 遠隔設定メニューで「EXIT」をクリックする。

遠隔設定メニューを終了し、Remote Monitoring System の Live に戻ります。

● 遠隔設定でカメラ名を設定する

遠隔設定を使用してカメラ名に日本語（漢字、ひらがな、カタカナ）を入力できます。英数、記号は、本機でも入力できます。（P. 4-39 「使用するカメラとカメラ名称を決める」）

【ご注意】

カメラ名に日本語（漢字、ひらがな、カタカナ）を入力した場合は、AVI形式のバックアップデータを「Windows Media Player」や「映画 & テレビ」で再生するとカメラ名が正しく表示されません。

【使用可能な文字種】

カメラ名に使用可能な文字種は以下のとおりです。

文字種	半角	全角
漢字	—	○
ひらがな	—	○
カタカナ	×	○
英数	○	○
記号*	○	○

○：使用可能です。
×：使用できません。
—：対象外

* 「\」「,」「%」はカメラ名には使用しないでください。

【ご注意】

表示できない文字は「#」で表示されたり、入力した文字と違う場合があります。この場合は、入力する文字を変更してください。

【表示可能な文字数】

半角の英数、記号を使用した場合は、最大 16 文字まで入力できます。すべて日本語（漢字、ひらがな、カタカナ）を使用した場合、最大 10 文字まで入力できます。

メモ

文字入力後に最後の文字が「#」や「,」などで表示される場合は、最大文字数を超過しています。

【ご注意】

分割画面によってはすべての文字を表示できないことがあります。

[カメラ名を設定する]

- 1** [デバイス → カメラ → カメラタブ] を選択する。
カメラ設定画面が表示されます。



- 2** 「タイトル」 をクリックする。
タイトル入力画面が表示されます。

Title ×

- 1. 駐車場
- 2. 正面玄関
- 3. 受付
- 4. ロビー
- 5. 待合室
- 6. エレベーター前
- 7. 1階廊下
- 8. 2階廊下
- 9. 3階廊下
- 10. 南階段
- 11. 北階段
- 12. 屋上
- 13. CAM13
- 14. CAM14
- 15. CAM15
- 16. CAM16

OK
Cancel

- 3** カメラ名を入力し、「OK」 をクリックする。
タイトル入力画面が閉じ、カメラ設定画面に戻ります。

- 4** 「OK」 をクリックする。
設定を保存します。

メモ

設定を保存しないで終了する場合は「キャンセル」をクリックしてください。

■ 遠隔再生する (Playback)

遠隔再生で本機の録画データを再生することができます。

ご注意

- 遠隔再生は、ネットワーク再生権限を持つユーザーで Remote Monitoring System にログインした場合のみ操作できます。
- 録画データに音声が含まれていても Remote Monitoring System の Playback で音声を出力することはできません。
- Remote Monitoring System の Playback、DRNET の DRNET 再生、および DRNET Mobile の遠隔再生からデジタルレコーダーに同時に接続できるのは 2 台までです。

メモ

Remote Monitoring System から本機に接続して録画した映像を再生する場合は、録画したときの解像度・画質・レートが適用されます。



- ① カメラ名 : 再生中のカメラ名を表示します。(P. 4-39「使用するカメラとカメラ名称を決める」)
- ② 映像表示画面 : 再生映像を表示します。
録画データがない場合は黒い画面、「マスク設定」のモードを「中」または「高」にしている場合はグレーの画面を表示します。(P. 4-43「モニター画面で表示しないカメラを決める (マスク設定)」)
- メモ
画面をダブルクリックすると 1 画面と分割画面が切り換わります。
- ③ 日時 : 録画データの日時を表示します。
メモ
時刻の表示方法は 24 時間形式になります。
- ④ アプリケーションの切替 : Playback から Live へ切り換えます。
- ⑤ 検索アイコン部
- 📅 カレンダー検索ボタン : カレンダー検索モードに切り換わります。(P. 6-45「カレンダー検索から再生を行う」)
 - 🔍 イベント検索ボタン : イベント検索モードに切り換わります。(P. 6-46「イベント検索から再生を行う」)
 - 🔒 : 使用できません。

- ⑥ カメラ選択 : 1画面表示中は、選択したカメラ番号の映像を表示します。
分割画面表示中は、選択したカメラ番号を含む分割画面を表示します。
- ⑦ 画面分割表示アイコン部
-  : 1画面表示します。
 -  : 4分割画面表示します。
 -  : 9分割画面表示します。
 -  : 16分割画面表示します。
 -  : 全画面表示します。画面をクリックすると全画面表示を解除します。
- ⑧ 検索表示部 : カレンダー検索画面やイベント検索画面を表示します。
- ⑨ 再生操作部 : 再生操作を行います。(P. 6-44 「再生する」)
- ⑩ アスペクト比を維持する (Enable Aspect Ratio) : NTSC カメラ映像のアスペクト比を維持して表示します。
チェック有 : 画面の左右に黒い帯を表示し、映像のアスペクト比 4 : 3 を維持して表示します。
チェック無 : アスペクト比 16:9の映像に変換して、画面全体に表示します。
-  AHD カメラの映像は、チェック有/無に関係なく画面全体に表示します。
- ⑪ タイムテーブル : 録画データは 10 分ごとのカラーバーで表示します。再生画面に表示しているカメラチャンネルの録画データがある時間は、緑色またはオレンジ色で表示されます。
緑色 : 録画データがある
オレンジ色 : 同一時刻に重複した録画データがある
薄い緑色 : 再生画面に表示されていないカメラのみに録画データがある
-  時刻調整や NTP 調時によって本機の時刻が変更されたときに同一時刻に録画データが重複することがあります。
- ⑫ 時刻カーソル : 再生を開始する位置を指定するためのカーソルです。タイムテーブルをクリックすると録画データの時間範囲内でカーソルが移動します。
-  時刻カーソルの移動は 10 分単位になります。

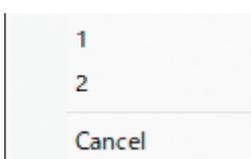
【同一時刻に録画データが重なっている場合の再生】

時刻調整や NTP 調時によって本機の時刻が変更されたときに同一時刻に録画データが重複することがあります。重複した時刻の録画データは録画した順に再生されます。

この時刻でカレンダー検索を行うと、重複した時刻はカラーバーの色がオレンジ色になります。



重複した時刻を選択すると、再生選択画面が表示されます。

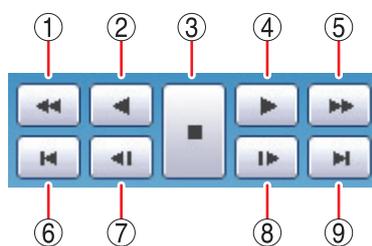


「1」を選択 : 先に録画したデータの時刻から再生を行います。あとに録画したデータも再生します。

「2」を選択 : あとに録画したデータの時刻から再生を行います。先に録画したデータは再生しません。

● 再生する

カレンダー検索またはイベント検索で再生する日を選んだあとに再生します。



- ① 早戻し再生 : 早戻し再生を行います。
クリックごとに逆再生速度が2倍、4倍、8倍、16倍、32倍と変化します。
- ② 逆再生 : 逆再生します。
- ③ 停止 : 再生を停止します。
- ④ 再生 : 再生します。
- ⑤ 早送り再生 : 早送り再生を行います。
クリックごとに再生速度が2倍、4倍、8倍、16倍、32倍と変化します。
- ⑥ 最古 : 選択した日の中で録画データの最古の映像を頭出しします。
- ⑦ コマ戻し : コマ戻し再生を行います。
- ⑧ コマ送り : コマ送り再生を行います。
- ⑨ 最新 : 選択した日の中で最新の録画データの映像に移動します。

メモ

再生から逆再生を行うときやコマ送りを行う場合は、一度停止ボタンで再生動作を停止してください。

● カレンダー検索から再生を行う

1 カレンダー検索ボタン  をクリックする。
カレンダー検索画面が表示されます。

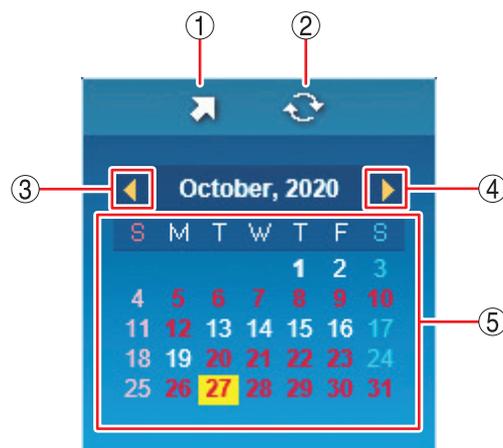
2 前月ボタン ③、翌月ボタン ④ をクリックし、再生する月を選択する。

3 再生する日を選択する。
タイムテーブルに録画データがある時間がカラーバーとして表示されます。

4 時刻カーソルを再生する時刻に合わせてクリックする。
時刻カーソルは 10 分単位で選択します。

5 再生操作を行う。(P. 6-44 「再生する」)

[カレンダー検索画面]

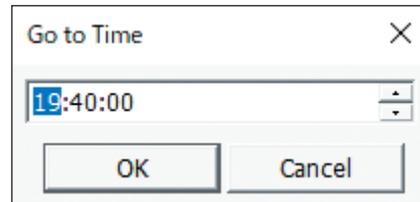


- ① 時刻指定ボタン : 再生する時刻を入力します。
- ② 更新ボタン : カレンダー表示を最新の状態に更新します。
- ③ 前月ボタン : カレンダーを 1 月分戻します。
- ④ 翌月ボタン : カレンダーを 1 月分送ります。
- ⑤ カレンダー表示部 : 再生する日をクリックすると、その日の録画データをカラーバーとしてタイムテーブルに表示します。
文字が赤色 : 録画データのある日
背景が黄色 : 現在選択している日

● 直接時刻を指定して再生する

あらかじめ再生する時刻が決まっている場合は、時刻指定ボタンをクリックして時刻指定ウィンドウを表示します。

[時刻指定ウィンドウ]



時刻を入力し、「OK」をクリックします。

再生したい時刻に時刻カーソルが移動するので、再生操作を行ってください。(P. 6-44 「再生する」)

メモ

指定した時刻に録画データが存在しない場合は、「Not found」と表示されます。

● イベント検索から再生を行う

1 イベント検索ボタン をクリックする。

検索表示部がイベント検索画面に変わり、「イベント検索ウィンドウ (次ページ)」が表示されます。

2 「Date」から検索する年月日を選択する。

3 「Camera」から検索するカメラ番号を選択する。

4 「Event」から検索するイベントを選択する。

5 「OK」をクリックする。

イベント検索画面にイベント結果が表示されます。

6 再生したいイベントを選択し、クリックする。

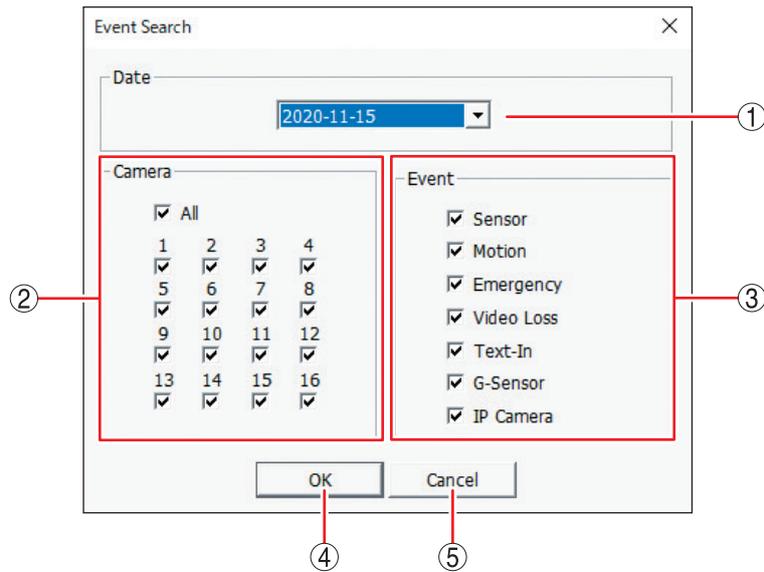
イベント時刻の映像が表示されます。

7 再生操作を行う。(P. 6-44 「再生する」)

メモ

再度条件を変えて検索したいときは、イベント検索ウィンドウボタン  をクリックしてイベント検索を行ってください。検索結果にイベントがなかったときは、「No event」と表示されます。

[イベント検索ウィンドウ]



- ① Date : イベント検索する日付です。録画データが存在する日から選択できます。
- ② Camera : 検索対象とするカメラを選択します。
 [選択]
 All : すべてのカメラを選択、解除します。
 1～16: カメラチャンネル1～16を選択、解除します。
- ③ Event : 検索対象とするイベントを選択します。
 [選択]
 Sensor : センサー録画 Text-In : 使用できません。
 Motion : モーション録画 G-Sensor : 使用できません。
 Emergency : 緊急録画 IP Camera : 使用できません。
 Video Loss : ビデオロス録画
- ④ OK : ①～③の条件でイベント検索を行い、結果をイベント検索画面に表示します。
- ⑤ Cancel : イベント検索を行わずに前画面に戻ります。

- ① ページ送りボタン : 次のイベント結果を表示します。
- ② イベント結果 : イベント検索結果を新しい順に表示します。イベントマーク、チャンネル番号、日付、時刻を表示します。
 : センサー録画
 : モーション録画
 : ビデオロス録画
 : 緊急録画

[メモ]

チャンネル番号には、センサー録画の場合はセンサー番号、モーション録画とビデオロス録画はカメラ番号、緊急録画は常に「01」が入ります。

- ③ イベント検索
 ウィンドウボタン : イベント検索ウィンドウを表示します。

[イベント検索画面]



第7章

補足・仕様

ファイルサイズ一覧表

録画設定の解像度・画質・録画レート・音声の有無の設定条件でファイルサイズが異なります。以下の表は各設定条件での1フレーム当りのファイルサイズを表します。

- ※ 録画レートは、1秒間あたりの録画する画像枚数を表します。単位はips (image per second) を使用しています。
- ※ カメラ1台あたりの録画レートは、解像度の設定にかかわらず最大30ipsです。
- ※ ファイルサイズは、録画する画像により変動することがあります。
- ※ ファイルサイズは参考値です。保証するものではありません。
- ※ 音声記録を行う場合は、音声チャンネルごとに19KB/secが必要になります。1フレーム当たりのファイルサイズを計算する場合は、19KB/secを録画レートで除算したものを下記の表に加えてください。
- ※ 1KB = 1024バイト

● 画像圧縮方式：H.264

単位：KB

解像度	画質	ips						
		1	5	10	15	20	25	30
Full HD (1920 × 1080)	最高	328	83	53	43	38	35	33
	高	218	55	35	28	25	23	22
	標準	129	32	20	16	14	13	12
	中	90	22	14	11	10	9	9
	低	56	14	9	8	7	6	6
HD (1280 × 720)	最高	189	47	30	24	21	20	19
	高	129	32	20	16	14	13	12
	標準	89	22	14	11	10	9	8
	中	62	15	9	7	6	6	5
	低	40	9	5	4	4	3	3
WD1 (944 × 480)	最高	128	30	18	14	12	11	10
	高	88	20	12	9	8	7	7
	標準	62	14	8	6	5	5	4
	中	44	10	6	4	4	3	3
	低	26	6	3	2	2	2	1
D1 (704 × 480)	最高	99	23	14	11	9	8	8
	高	69	16	9	7	6	6	5
	標準	50	11	6	5	4	4	3
	中	36	8	4	3	3	2	2
	低	22	5	2	2	1	1	1
WQVGA (480 × 272)	最高	41	10	6	4	4	3	3
	高	31	7	4	3	3	2	2
	標準	24	5	3	2	2	2	1
	中	20	4	2	2	1	1	1
	低	14	3	1	1	1	1	1

● 画像圧縮方式：H.265

単位：KB

解像度	画質	ips						
		1	5	10	15	20	25	30
Full HD (1920 × 1080)	最高	189	47	30	24	21	20	19
	高	159	40	25	20	18	16	16
	標準	109	27	17	14	12	11	10
	中	77	19	12	10	8	8	7
	低	50	13	8	7	6	6	5
HD (1280 × 720)	最高	114	28	18	14	13	12	11
	高	88	22	13	11	9	9	8
	標準	69	17	10	8	7	7	6
	中	54	13	8	6	5	5	5
	低	37	8	5	4	3	3	3
WD1 (944 × 480)	最高	81	19	11	8	7	7	6
	高	67	15	9	7	6	5	5
	標準	56	13	7	6	5	4	4
	中	44	10	6	4	4	3	3
	低	26	5	3	2	2	1	1
D1 (704 × 480)	最高	69	16	9	7	6	6	5
	高	55	12	7	6	5	4	4
	標準	45	10	6	4	4	3	3
	中	36	8	4	3	3	2	2
	低	22	5	2	2	1	1	1
WQVGA (480 × 272)	最高	33	8	4	3	3	3	2
	高	28	6	4	3	2	2	2
	標準	24	5	3	2	2	2	1
	中	20	4	2	2	1	1	1
	低	13	3	1	1	1	1	1

記録時間表

ファイルサイズ一覧表を元に、デジタルレコーダーで録画できる記録時間を算出しています。

- ※ 録画レートは、1秒間あたりの録画する画像枚数を表します。単位は ips (image per second) を使用しています。
- ※ カメラ1台あたりの録画レートは、解像度の設定にかかわらず最大 30 ips です。
- ※ 記録時間表は参考値です。記録時間を保証するものではありません。
- ※ すべてのカメラの録画設定（解像度、画質、録画レート、音声の有無）を、すべて同一に設定した場合に記録できる時間を表します。
- ※ 記録時間は録画する画像により変動することがあります。ここで示す値は、固定カメラの映像や動きの多い映像を元に算出された平均の値です。
- ※ ミラーリング使用時は、記録時間が約半分になります。
- ※ 以下の表の「-」欄は、カメラの録画レートの合計が、設定できる総録画レートを超えるものです。

● 画像圧縮方式：H.264

[音声記録：なし]

単位：時間

解像度	画質	ips						
		1	5	10	15	20	25	30
Full HD (1920 × 1080)	最高	187	147	115	94	—	—	—
	高	281	222	174	143	—	—	—
	標準	475	378	298	245	—	—	—
	中	678	538	422	345	—	—	—
	低	1095	834	618	468	—	—	—
HD (1280 × 720)	最高	325	257	202	166	140	121	106
	高	475	378	298	245	208	180	158
	標準	684	548	435	360	305	265	233
	中	985	798	637	529	451	392	346
	低	1536	1265	1027	861	739	647	573
WD1 (944 × 480)	最高	478	404	333	283	246	217	193
	高	692	586	486	414	360	318	284
	標準	981	836	698	598	522	462	413
	中	1377	1187	999	860	754	669	601
	低	2312	2038	1748	1526	1358	1217	1102
D1 (704 × 480)	最高	617	519	429	364	315	278	248
	高	880	745	619	528	459	405	362
	標準	1229	1052	880	754	659	584	522
	中	1693	1461	1239	1070	941	836	751
	低	2718	2404	2081	1835	1630	1470	1332
WQVGA (480 × 272)	最高	1493	1226	993	834	715	626	554
	高	1955	1630	1339	1133	977	858	764
	標準	2517	2147	1794	1531	1335	1181	1056
	中	2951	2557	2156	1856	1630	1456	1306
	低	4370	3974	3509	3142	2844	2614	2393

[音声記録：あり]

単位：時間

解像度	画質	ips						
		1	5	10	15	20	25	30
Full HD (1920 × 1080)	最高	177	141	111	92	—	—	—
	高	259	208	165	137	—	—	—
	標準	415	339	273	228	—	—	—
	中	562	462	373	311	—	—	—
	低	821	656	507	396	—	—	—
HD (1280 × 720)	最高	296	239	190	158	134	117	103
	高	415	339	273	228	195	170	150
	標準	566	470	384	323	279	244	217
	中	758	642	533	454	395	349	312
	低	1047	914	781	680	601	537	485
WD1 (944 × 480)	最高	418	359	302	260	228	203	182
	高	572	497	423	367	323	289	260
	標準	755	666	575	504	448	403	365
	中	971	872	764	680	610	553	505
	低	1358	1258	1139	1038	952	880	816
D1 (704 × 480)	最高	519	448	379	327	287	255	230
	高	694	607	520	454	402	359	325
	標準	895	797	693	611	546	493	448
	中	1118	1012	897	804	727	662	606
	低	1488	1390	1272	1169	1080	1003	935
WQVGA (480 × 272)	最高	1027	893	762	663	584	522	471
	高	1226	1090	948	839	748	676	614
	標準	1427	1299	1155	1038	941	861	790
	中	1556	1439	1299	1181	1080	997	922
	低	1878	1801	1693	1592	1507	1431	1358

第7章 補足・仕様

● 画像圧縮方式：H.265

[音声記録：なし]

単位：時間

解像度	画質	ips						
		1	5	10	15	20	25	30
Full HD (1920 × 1080)	最高	325	257	202	166	—	—	—
	高	386	306	241	198	—	—	—
	標準	561	448	354	291	—	—	—
	中	796	635	499	409	—	—	—
	低	1229	941	701	534	—	—	—
HD (1280 × 720)	最高	536	428	338	278	236	204	180
	高	695	557	442	365	310	269	237
	標準	880	710	566	469	399	347	306
	中	1121	910	730	607	519	452	399
	低	1658	1373	1121	941	809	708	628
WD1 (944 × 480)	最高	758	644	535	456	397	350	313
	高	912	774	645	552	481	426	381
	標準	1097	937	785	672	587	520	466
	中	1377	1187	999	860	754	670	601
	低	2356	2073	1781	1561	1390	1242	1128
D1 (704 × 480)	最高	880	745	619	528	459	406	362
	高	1118	954	796	682	594	526	470
	標準	1366	1173	983	845	738	655	587
	中	1693	1461	1239	1070	941	836	751
	低	2765	2441	2118	1871	1664	1502	1358
WQVGA (480 × 272)	最高	1835	1531	1255	1056	910	800	710
	高	2196	1856	1531	1303	1128	995	885
	標準	2517	2147	1794	1531	1335	1181	1056
	中	2951	2557	2156	1856	1630	1456	1306
	低	4414	4042	3591	3228	2915	2671	2453

[音声記録：あり]

単位：時間

解像度	画質	ips						
		1	5	10	15	20	25	30
Full HD (1920 × 1080)	最高	296	239	190	158	—	—	—
	高	345	280	224	186	—	—	—
	標準	479	394	319	267	—	—	—
	中	641	531	432	362	—	—	—
	低	895	720	563	442	—	—	—
HD (1280 × 720)	最高	461	378	306	256	220	192	170
	高	573	477	389	328	282	248	220
	標準	694	584	482	409	355	313	279
	中	836	713	596	511	446	396	354
	低	1102	969	833	728	646	579	523
WD1 (944 × 480)	最高	616	538	460	400	353	316	285
	高	714	626	539	471	418	375	340
	標準	823	729	632	556	496	447	406
	中	971	872	764	680	610	553	505
	低	1373	1272	1153	1054	967	893	830
D1 (704 × 480)	最高	694	607	520	454	402	359	325
	高	834	739	640	563	501	451	409
	標準	965	864	754	669	600	543	495
	中	1118	1014	897	804	727	662	606
	低	1502	1402	1285	1184	1095	1018	948
WQVGA (480 × 272)	最高	1178	1045	905	796	709	638	579
	高	1317	1187	1043	928	833	757	690
	標準	1427	1299	1155	1038	941	861	790
	中	1556	1439	1299	1181	1080	997	922
	低	1885	1815	1711	1619	1526	1448	1377

故障かな？と思ったら

症 状	調べるところ	対 処
電源が入らない。	付属の電源コードが本機のインレットおよび電源コンセントに接続されていますか？	電源コードを正しく接続してください。
	後面の主電源スイッチが「切」になっていませんか？	後面の主電源スイッチを「入」にしてください。
シャットダウンができない。	シャットダウン権限を持つユーザーでログインしていますか？	シャットダウン権限を持つユーザーでログインしてから操作してください。 ( P. 4-31 「ユーザー設定」)
映像が表示できない。	モニターと正しく接続できていますか？	ケーブルを正しく接続してください。
	モニターの電源が「切」になっていませんか？	モニターの電源スイッチを「入」にしてください。
	画面に  と表示されていませんか？	カメラ映像がビデオロス中です。ケーブルを正しく接続し、ビデオロスを復旧してください。
	使用するカメラとして選択されていますか？	映像を表示するカメラを選択してください。 ( P. 4-39 「使用するカメラとカメラ名称を決める」)
	カメラ映像のマスク設定のモードを「中」や「高」に設定していませんか？	マスク設定のモードを「Off」にしてください。 ( P. 4-43 「モニター画面で表示しないカメラを決める (マスク設定)」)
ライブ音が出ない。	音声入力端子にケーブルが正しく接続されていますか？	ケーブルを正しく接続してください。
	音声出力端子とスピーカーは正しく接続されていますか？	ケーブルを正しく接続してください。
	音声を出力しない設定になっていませんか？	音声消去に設定していると、音声を出ません。音声消去の設定を解除してください。 ( P. 5-16 「音声の切り換えを行う」)
	音声チャンネルは選択されていますか？	使用する音声チャンネルを選択してください。 ( P. 4-44 「使用する音声チャンネルを決める」)
マウスの操作ができない。	マウスは USB2.0 端子または USB3.0 端子に接続されていますか？	マウスを正しく接続してください。
	(無線方式のマウスの場合) マウスの設定は正しくできていますか？	マウスの取扱説明書を確認し、通信できるように設定してください。
マウスポインターが動かない。	(無線方式のマウスの場合) 電波の届く範囲で操作していますか？	マウスと受信機の距離を短くして、確実に電波の届く範囲で操作してください。

症 状	調べるところ	対 処
マウスポインターが動かない。	(光学式マウスの場合) ボタン操作はできますか？	ボタン操作ができる場合、操作する場所によってはマウスの動きを認識できない場合があります。マウスを操作する場所を変更し、再度操作してください。
設定メニュー画面の操作ができない。	メニュー画面を操作する権限を持たないユーザーでログインしていませんか？	メニュー画面を操作する権限を持つユーザーでログインしてから、操作してください。(P. 4-31「ユーザー設定」)
録画できない。	録画スケジュールの時間内ですか？	録画スケジュールの時間外の場合は、録画スケジュールを正しく設定してください。(P. 4-63「録画スケジュールを設定する」)
	使用するカメラとして選択されていますか？	録画するカメラを選択してください。(P. 4-39「使用するカメラとカメラ名称を決める」)
	イベントの設定を行いましたか？	イベントの設定を行ってください。(P. 6-12「イベント機能」)
	緊急録画を使用しない設定になっていませんか？	緊急録画を使用する設定にしてください。(P. 4-59「各録画の共通設定をする」)
	上書き禁止の設定になっていませんか？	上書きを許可する設定にしてください。(P. 4-60「ハードディスクに上書き録画をする」)
録画できない。(画面に録画マークが表示されていない)	カメラ映像のマスク設定のモードを「高」に設定していませんか？	マスク設定のモードを「Off」か「中」にして、録画マークが表示されることを確認してください。(P. 4-43「モニター画面で表示しないカメラを決める (マスク設定)」)
再生できない。	再生権限を持つユーザーでログインしていませんか？	再生権限を持つユーザーでログインしてから操作してください。(P. 4-31「ユーザー設定」)
音声再生ができない。	分割画面表示中または再生 (速度 1) 以外で再生していませんか？	1画面表示の再生 (速度 1) で再生してください。
バックアップを開始できない。	USB メモリーは USB2.0 端子または USB3.0 端子に接続されていますか？	USB メモリーを正しく接続してください。
	FAT32 または NTFS でフォーマットした USB メモリーを接続していますか？	FAT32 または NTFS でフォーマットした USB メモリーを接続し、操作してください。
	バックアップ権限を持つユーザーでログインしていませんか？	バックアップ権限を持つユーザーでログインしてください。(P. 4-31「ユーザー設定」)
バックアップに時間がかかる。 バックアップが終了しない。	USB メモリーのフォーマットにクイックフォーマットを使用していませんか？	クイックフォーマットを使わずに USB メモリーをフォーマットするか、メーカー推奨のフォーマッターを使用してください。

症 状	調べるところ	対 処
ブザーが鳴動しない。	アラームのスケジュール設定でブザーが無効になっていませんか？	アラームのスケジュール設定でブザーを有効にしてください。(P. 4-47「アラームを有効にする条件を決める(スケジュール)」)
	イベントのアラーム設定で出力するブザーは選択されていますか？	出力するブザーを選択してください。 センサー : P. 4-84「イベントが発生したときに出力するアラームを設定する」 モーション : P. 4-84「イベントが発生したときに出力するアラームを設定する」 ビデオロス : P. 4-96「ビデオロスが発生したときに出力するアラームを設定する」 システム : P. 4-98「システムイベントが発生したときに出力するアラームを設定する」
ブザーを停止できない。	アラーム解除権限を持たないユーザーを使用していますか？	「Administrator」などアラーム解除権限を持つユーザーを使用してください。
コンビネーションカメラの操作ができない。	操作するカメラを1画面表示にしていますか？	カメラ操作は1画面表示中でのみ可能です。1画面表示で操作してください。(P. 6-2「コンビネーションカメラの操作」)
	コンビネーションカメラを操作する権限を持つユーザーでログインしていますか？	コンビネーションカメラを操作する権限を持つユーザーでログインしてください。(P. 4-31「ユーザー設定」)
	本機の後面のRS-485制御端子は正しく接続されていますか？	カメラ制御端子の+と-、COMを確認し、正しく接続してください。(P. 2-12「コンビネーションカメラの接続」)
	RS-485の設定で用途は「PTZ」が選択されていますか？	用途を「PTZ」に設定してください。(P. 4-49「RS485設定」)
	コンビネーションカメラのアドレス設定と本機のカメラアドレス設定は一致していますか？	コンビネーションカメラのアドレス設定と本機のカメラアドレス設定を一致させて、ケーブルを接続してください。
	コンビネーションカメラの通信方式設定は本機のカメラの通信方式の設定と一致していますか？	カメラの通信方式を設定してください(P. 4-42「コンビネーションカメラ設定をする(PTZ)」)。 カメラ側の通信方式をタイプBに設定する方法については、カメラの取扱説明書をご覧ください。設定後は、カメラを再起動してください。

症 状	調べるところ	対 処
コンビネーションカメラの操作ができない。	コンビネーションカメラの通信速度設定は本機の通信速度設定と一致していますか？	本機とコンビネーションカメラの通信速度を 38400 bps に設定してください。
リモートコントローラー (C-RM700) からの操作ができない。	RS-485 の設定で用途は「コントローラー」が選択されていますか？	用途を「コントローラー」に設定してください。(P. 4-49 「RS485 設定」)
	本機の後面の RS-485 端子は正しく接続されていますか？	リモートコントローラーのスイッチャ制御端子の+と-、COM を確認し、正しく接続してください。(P. 2-4 「リモートコントローラーシステム」)
ネットワークに接続できない。	[有線 LAN の場合] LAN ケーブルは LAN 端子に接続されていますか？	LAN ケーブルを正しく接続してください。
	[Wi-Fi の場合] Wi-Fi 子機は USB2.0 端子または USB3.0 端子に接続されていますか？	Wi-Fi 子機を正しく接続してください。
	[Wi-Fi の場合] SSID の名称は正しく設定されていますか？	正しく設定してください。
	[Wi-Fi の場合] SSID のパスワードは正しく設定されていますか？	正しく設定してください。
	ネットワーク設定は正しく設定されていますか？	IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS、ポートを正しく設定してください。(P. 4-67 「ネットワーク設定」)
	セキュリティソフトが起動していたり、ファイアウォールが設定されていませんか？	セキュリティソフトやファイアウォールを適切に設定してください。
登録したユーザーのパスワードを忘れてしまった。	—	ユーザー ID 「Administrator」 でメニューにログインし、ユーザー設定でパスワードを忘れたユーザーを削除し、再度ユーザー追加を行ってください。(P. 4-33 「ユーザー設定を登録・変更する」)
ユーザー ID 「Administrator」 のパスワードを忘れてしまった。	—	販売店にご相談ください。
ユーザー ID 「Guest」 のパスワードを忘れてしまった。	—	販売店にご相談ください。

工場出荷時設定一覧表

設定メニュー項目、ライブ／再生操作メニュー項目の工場出荷時の設定を一覧表示しています。
○印は、設定出力可能な項目（A 欄）、設定初期化可能な項目（B 欄）を表します。グレーアウト表示する項目は [] で表します。

■ 設定メニュー

● システム設定

メニュー		項目	A	B	工場出荷時設定		
情報		DVR 名		○	なし		
日付・時間	日付・時間	タイムゾーン			(GMT+09:00) Osaka, Sapporo, Tokyo		
		日付 (表示形式)		○	年/月/日		
		時間 (表示形式)		○	時:分:秒 (24 時間)		
	NTP	NTP を使用する		○	○	チェックなし	
		NTP サーバー		○	○	[なし]	
		間隔		○	○	[1 日]	
		NTP サーバー機能を有効にする		○	○	チェックなし	
	休日	開始/終了		○	○	[なし] / [なし]	
	調時	調時を使用する			○	チェックなし	
		調時モード			○	[スレープ]	
調時時刻				○	[正時]		
ユーザー	ユーザー	オートログイン (ユーザー)			Off	[Administrator]	
		自動ログアウト (時間)			Off	[1 分]	
		Administrator	グループ			Administrator	
			パスワード			guest	
	Guest	グループ			Guest		
		パスワード			guest		
	グループ	Administrator			[すべてチェックあり]		
		Guest			[すべてチェックなし]		
簡易設定	システム	DVR 名		○	なし		
		言語			日本語		
		Administrator パスワード			guest		
		タイムゾーン			(GMT+09:00) Osaka, Sapporo, Tokyo		
		日付 (表示形式)			○	年/月/日	
		時間 (表示形式)			○	時:分:秒 (24 時間)	
	ネットワーク	形式			DHCP		
		IP アドレス			[192.168.14.1] (固定 IP にしたとき)		
		サブネットマスク			[255.255.255.0] (固定 IP にしたとき)		
		ゲートウェイ			[0.0.0.0] (固定 IP にしたとき)		
		DNS サーバーアドレス (自動)			チェックなし		
		DNS サーバー			0.0.0.0		
		ポート	ネットワークポート			10101	
			ウェブポート			80	

メニュー		項目		A	B	工場出荷時設定
簡易設定	録画	上書き		○	○	チェックあり
		緊急録画を使用		○	○	チェックあり
		連続録画	ips	○	○	5
			画質	○	○	標準
			解像度	○	○	Full HD
		イベント録画	ips	○	○	8
			画質	○	○	標準
			解像度	○	○	Full HD
		緊急録画	ips	○	○	8
	画質		○	○	標準	
解像度	○		○	Full HD		
記録装置	フォーマット	ミラーリング使用			チェックなし	
表示	解像度		○	○	1920x1080	
	HDMI 解像度を自動で検知する		○	○	チェックあり	

● デバイス設定

メニュー		項目		A	B	工場出荷時設定
カメラ	カメラ	チェック		○	○	あり
		タイトル		○	○	CAM * (*はチャンネル番号)
		映像方式		○	○	自動
		画質	明るさ	○	○	0
			コントラスト	○	○	0
			彩度	○	○	0
			色相	○	○	0
			方式	○	○	1
	EQ (AHD2.0/AHD3.0)	○	○	自動認識		
	PTZ	チェック		○	○	なし
		プロトコル		○	○	[TOA-B]
		アドレス		○	○	[1]
		スピード		○	○	[5]
	マスク設定	曜日		○	○	ALL
開始～終了		○	○	00:00 ~ 24:00		
モード		○	○	Off		
カメラ		○	○	1 ~ 16		
音声	チェック		○	○	なし	
	タイトル		○	○	[AUDIO *] (*は端子番号)	
	カメラ		○	○	[音声と同じ番号のカメラ]	
アラーム	アラーム	アラーム継続時間		○	○	10 秒
		タイトル		○	○	CONTROL OUT * (*は端子番号)
		形式		○	○	NO
	スケジュール	曜日		○	○	ALL
		開始～終了		○	○	00:00 ~ 24:00
		モード		○	○	イベント
		カメラ		○	○	1 ~ 16、B
RS485	bps		○	○	38400	
	データ長		○	○	[8]	
	ストップビット		○	○	[1]	
	パリティ		○	○	[偶数]	
	用途		○	○	PTZ	

● ディスプレー設定

メニュー		項目	A	B	工場出荷時設定	
表示	表示	言語			日本語	
		ステータスバー消去	○	○	Off	[10 秒]
		ステータスバー垂直位置	○	○	0	
		OSD 垂直位置	○	○	4	
		OSD 水平位置	○	○	4	
	表示レイアウト	1 ~ 16	○	○	CAM * (*はチャンネル番号)	
	解像度	解像度	○	○	1920x1080	
		HDMI 解像度を自動で検知する	○	○	チェックあり	
	PIP	サイズ	○	○	小	
		ポジション	○	○	右下	
モニタリング	メイン	イベントポップアップ	○	○	チェックなし	
		シーケンス間隔	○	○	10 秒	
	スポット	イベントポップアップ	○	○	チェックなし	
		シーケンス間隔	○	○	10 秒	
		1	○	○	1 ~ 16	
		アスペクト比を維持する	○	○	チェックなし	
		スポット出力映像	○	○	メイン	

● 録画設定

メニュー		項目		A	B	工場出荷時設定		
録画	記録装置	フォーマット	ミラーリング使用			チェックなし		
	録画	上書き		○	○	チェックあり		
		緊急録画を使用		○	○	チェックあり		
		自動消去 (日)		○	○	Off	[7]	
		連続録画	ips	○	○	5		
			画質	○	○	標準		
			解像度	○	○	Full HD		
		イベント録画	ips	○	○	8		
			画質	○	○	標準		
			解像度	○	○	Full HD		
		緊急録画	ips	○	○	8		
	画質		○	○	標準			
	解像度		○	○	Full HD			
	圧縮方式	1 ~ 16				H.264		
	イベント	プリ録画時間		○	○	Off	[10 秒]	
		緊急録画時間		○	○	制限	1 分	
		ポスト録画時間		○	○	1 分		
		センサーイベントでポスト録画を行わない		○	○	チェックなし		
	スケジュール	曜日		○	○	ALL		
		開始~終了		○	○	00 : 00 ~ 24 : 00		
		モード		○	○	T、E (連続録画、イベント録画)		
		カメラ		○	○	1 ~ 16		
		設定	連続録画	ips	○	○	5	
				画質	○	○	標準	
				解像度	○	○	Full HD	
			イベント録画	ips	○	○	8	
	画質			○	○	標準		
解像度	○			○	Full HD			
初期設定値に戻す			○	○	チェックあり			

● ネットワーク設定

メニュー		項目	A	B	工場出荷時設定		
アドレス	アドレス	有線 LAN/Wi-Fi			有線 LAN		
		形式			DHCP		
		IP アドレス			[192.168.14.1] (固定 IP にしたとき)		
		サブネットマスク			[255.255.255.0] (固定 IP にしたとき)		
		ゲートウェイ			[0.0.0.0] (固定 IP にしたとき)		
		DNS サーバーアドレス (自動)			チェックなし		
		DNS サーバー			0.0.0.0		
		Wi-Fi	SSID			なし	
			パスワード			なし	
			自動接続			チェックなし	
			形式			DHCP	
			IP アドレス			[192.168.14.1] (固定 IP にしたとき)	
			サブネットマスク			[255.255.255.0] (固定 IP にしたとき)	
			ゲートウェイ			[0.0.0.0] (固定 IP にしたとき)	
	DNS サーバー アドレス (自動)				チェックなし		
DNS サーバー			0.0.0.0				
ポート	ネットワークポート			10101			
	ウェブポート			80			
遠隔通知	コールバック	コールバック間隔	○	○	1分		
		チェック	○	○	なし		
		アドレス	○	○	[なし]		
		ポート	○	○	[10110]		
	E メール	E メール間隔	○	○	1分		
		チェック	○	○	なし		
		受信アドレス	○	○	[なし]		
		SMTP	SMTP サーバー	○	○	なし	
			ポート	○	○	587	
			送信アドレス	○	○	なし	
			ID	○	○	なし	
			パスワード	○	○	なし	
SSL を使用する	○	○	チェックなし				
映像配信	帯域制限 (Mbps)	○	○	無制限	[10]		
	圧縮方式			H.264			
	配信先			[1]			
	ネットワーク ライブ	ips	○	○	60		
		画質	○	○	標準		
解像度		○	○	WD1			

● イベント設定

メニュー		項目	A	B	工場出荷時設定	
センサー	センサー	1 ~ 16	チェック	○	○	なし
			タイトル	○	○	[SENSOR *] (*は端子番号)
			形式	○	○	[NO]
		E	チェック	○	○	[あり]
			タイトル	○	○	EMERGENCY
			形式	○	○	NO
	録画	1 ~ 16	○	○	[センサーと同じ番号のカメラ]	
		E	○	○	1 ~ 16	
	アラーム	1 ~ 16	○	○	[なし]	
		E	○	○	なし	
	遠隔通知	1 ~ 16	○	○	[なし]	
		E	○	○	なし	
	PTZ	1 ~ 16	○	○	[なし]	
		E	○	○	なし	
モーション	モーション	チェック	○	○	なし	
		感度	○	○	[通常]	
		範囲	○	○	[全範囲設定]	
	録画	1 ~ 16	○	○	[モーションと同じ番号のカメラ]	
	アラーム	1 ~ 16	○	○	[なし]	
	遠隔通知	1 ~ 16	○	○	[なし]	
	PTZ	1 ~ 16	○	○	[なし]	
ビデオロス	録画	1 ~ 16	○	○	なし	
	アラーム	1 ~ 16	○	○	なし	
	遠隔通知	1 ~ 16	○	○	なし	
	PTZ	1 ~ 16	○	○	なし	
システム	システム	残容量警告しきい値(%)	○	○	100	
		S.M.A.R.T. 限界温度	○	○	65°C / 149°F	
	アラーム	HDD エラー	○	○	B、A	
		残容量警告	○	○	B、A	
		S.M.A.R.T.	○	○	B、A	
		録画異常	○	○	B、A	
		HDD 接続エラー	○	○	B、A	
		ファン異常検出	○	○	B、A	
		遠隔通知	HDD エラー	○	○	なし
	残容量警告		○	○	なし	
	S.M.A.R.T.		○	○	なし	
	録画異常		○	○	なし	
	HDD 接続エラー		○	○	なし	
	ファン異常検出		○	○	なし	
	UPS	電源異常待機時間 (秒)	○	○	60	

■ 操作メニュー

メニュー	項目	A	B	工場出荷時設定
ライブ操作メニュー	カメラ選択			ALL
	表示レイアウト			4 × 4
	OSD			OSD + ステータスバー
	表示	○	○	メイン
	音声			[AUDIO1] チェックあり
再生操作メニュー	カメラ選択			ALL
	表示レイアウト			4 × 4
	OSD			OSD + ステータスバー
	音声			チェックあり

仕 様

本機の仕様については、TOA 商品データダウンロードサイト (<https://www.toa-products.com/download>) で公開しています。

タブレット端末やスマートフォンなどでブラウザを起動して URL を入力するか、右の QR コードを読み取って、表示された画面で品番を入力し、検索してください。



● 付属品

電源コード (2 m) 1
 CD (ネットワークソフトウェア DRNET、取扱説明書 (PDF)) 1

● 別売品

ラックマウント金具 : MB-23B
 リモートコントローラー : C-RM700

商標および登録商標について

- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。
- Windows および Microsoft Edge は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel Core は米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- その他の会社名および製品名も各社の商標です。

ライセンス情報

● AVC/H.264 特許ライセンスに関するご注意

本製品は、画像情報の取り扱いに関して、MPEG 技術 (AVC/H.264 STANDARD) を使用しており、同技術の使用に関しては、特許管理団体 MPEG LA,LLC. の許諾を受けております。

以下の場合を除いては、本製品のご利用が禁止されていますので、ご注意下さい。

MPEG 技術利用者の個人的使用及び非営利的な使用であって、(i) AVC/H.264 STANDARD に適合するビデオ (以下、「AVC/H.264」) の符号化、及びまたは、(ii) 個人的使用及び非営利活動に従事する MPEG 技術利用者により符号化された AVC/H.264、及びまたは、MPEG LA,LLC. からライセンス許諾されているビデオ・プロバイダーから提供された AVC/H.264 の復号化。

なお、販売促進のための使用、営利目的の使用、並びに、ライセンスに関する追加情報は、MPEG LA,LLC. までお問い合わせ下さい。

[HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com) をご覧下さい。

● HEVC/H.265 特許ライセンスに関するご注意

本製品は下記 URL に掲載されている特許の 1 つ以上の請求項の権利範囲に含まれています。
patentlist.hevcadvance.com

● オープンソースソフトウェアのライセンスについて

本製品では、以下のオープンソースソフトウェアライセンスに基づくソフトウェアを使用しています。

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2
GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1
Apache License, Version 2.0
zlib/libpng License
Original SSLeay License

本製品において、GPL 等の条項に従いオープンソースソフトウェアそのものの動作に関しては保証を行いませんが、弊社は製造物としての動作保証を行います。

[オープンソースソフトウェアの個別情報]

本製品に搭載しているオープンソースソフトウェアの詳細情報、およびソースコードが必要な場合は、TOA 商品データダウンロードサイト (<https://www.toa-products.com/download>) で本機の品番を検索しダウンロードしてください。なお、ソースコードの内容に関するお問い合わせはご遠慮ください。

アフターサービスについて

保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な点があれば、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

● 保証書

保証書はこの取扱説明書の裏表紙についています。必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から1年間です。

● 保証期間中に修理を依頼されるとき

取扱説明書をお読みになって、ご不明な点やご不審な点があれば、お買い上げの販売店にご連絡ください。お客様が修理することはできません。

もし、機器をあけたり、内部に手を触れた場合は、保証期間中であっても保証の対象から外れますのでご注意ください。

● 保証期間経過後に修理を依頼されるとき

お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合には、ご要望により有料で修理致します。

● 連絡していただきたいこと

住所・氏名・電話番号・製品名・品番・購入日・故障の内容や異常の状況。

● 補修用性能部品の保有期間

補修用性能部品の保有期間は、生産完了後7年間となっております。

保有期間内に補修用性能部品の入手が不可能な場合には、同等性能部品を供給させていただきます。

※ 補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

機器保証書

品番	製造（ロット）番号		この保証書は、下記記載の内容により無償修理を行うことをお約束するものです。 お買い上げの日から左記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
保証期間	お買い上げ日から1年間 ただし、消耗部品を除く（詳しくは下記に記載）		
お買い上げ日	□□□□年□□月□□日		
お客様様	ご住所	□□□□□□□□ TEL () -	住所・店名・TEL 販売店
	お名前	様	

上記保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から1年間です。なお、保証期間中でも有料になることがありますので、下記をよくお読みください。

<無償修理規定>

- 上記記載の保証期間内において、取扱説明書、本体注意ラベルなどに従った、正常な使用状態で万一故障した場合、お買い上げの販売店に修理をご依頼のうえ、修理に際して本書をご提示ください。
- 修理に際して再生部品・代替部品を使用する場合があります。
- 無償修理期間内でも、次の場合には有償修理になります。
 - ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障または損傷。
 - 当社が指定する消耗品部品（各取扱説明書ご参照）の交換の場合。
 - お買い上げ後の輸送、移転、落下、水没などによる故障および損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、ガス害（硫化ガス）や異常電圧、その他使用に伴う自然摩耗などによる故障および損傷など。
 - 本商品に接続している当社指定以外の機器故障に起因する故障。
 - 保証書のご提示がない場合。
 - 保証書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入がない場合、または、字句が書き換えられた場合。
- テープデッキ、CD/DVD/BDユニットの保証期間は、お買い上げ日から6カ月といたします。
- 記録媒体を搭載または使用する商品の場合、いかなる場合においても商品の設定情報や記録内容については保証いたしません。
- この保証書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

修理メモ

- ※ 本商品の故障に起因する付随的・派生的損害についての補償はお受けできません。
- ※ この保証書は本書に明記した期間および条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、お買い上げの販売店または最寄りの当社営業所にお問い合わせください。
- ※ 当社は、皆様から提供された個人情報について、その重要性を認識し、個人情報の保護に関する法律を遵守することにより、個人情報の適正な収集、利用、安全管理を行います。当社の個人情報の取り扱いに関する詳細は、<https://www.toa.co.jp/privacy.htm> をご参照ください。
- ※ お客様情報は商品を安全にお使いいただくための修理目的のほか、サービスのご案内や買い替えのご提案に利用させていただく場合があります。また、当利用目的の範囲内において、サービス会社および販売店などの第三者にお客様情報を提供する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

TOA 株式会社

〒650-0046 神戸市中央区港島中町七丁目2番1号 TEL (078) 303-5620 (代)

TOA お客様相談センター	フリーダイヤル（固定電話専用） 0120-108-117	商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。最寄りの営業所については、TOA ホームページをご確認ください。
商品の内容や組み合わせ、操作方法についてのお問い合わせにお応えします。 受付時間 9:00～17:00（土日、祝日除く）	ナビダイヤル 0570-064-475（有料） FAX 0570-017-108（有料） ※ PHS、IP 電話からはつながりません。	

当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。

TOA ホームページ <https://www.toa.co.jp/>

TOA 株式会社



133-02-00727-00